科目「体育」

種目別評価システム

１　単元目標

２　単元の評価規準

３　評価規準例

４　評価規準の評価観点例

５　指導と評価の計画例

６　Ⅰ個人評価シート例
　　Ⅱ集団評価シート例(20人用)
　　Ⅲ集団評価シート例(40人用)

愛知県高等学校課題研究保健体育研究班

２００６年１２月

高等学校課題研究研究員

（平成 15・16 年度）

県立加茂丘高等学校	校長	高橋　宏美
県立豊田工業高等学校	教頭	平松　　学
県立豊田工業高等学校	教頭	河合　朝晴
県立旭丘高等学校	教諭	谷口　浩司
県立中村高等学校	教諭	間瀬　真一
県立中川商業高等学校	教諭	大谷　一司
県立春日井東高等学校	教諭	利根　美砂
県立岩倉総合高等学校	教諭	青　　学
県立西春高等学校	教諭	加藤　祥二
県立一宮高等学校	教諭	平松　雅夫
県立一宮西高等学校	教諭	河村　禎之
県立木曽川高等学校	教諭	渡辺　貞彦
県立東海南高等学校	教諭	成田　　稔
県立知多高等学校	教諭	伊藤　博次
県立豊田高等学校	教諭	矢野　一也
県立岡崎東高等学校	教諭	東浦　至孝
県立刈谷高等学校	教諭	三矢　勝己
県立安城東高等学校	教諭	鳥山　　匡
県立知立東高等学校	教諭	深津　　悟
県立三好高等学校	教諭	平尾　章芳
県立時習館高等学校	教諭	峯田　博行
県立国府高等学校	教諭	笹瀬　貴司
県立宝陵高等学校	教諭	長坂　英司
愛知県教育委員会体育スポーツ課	主査	大野　芳樹
〃	指導主事	杉浦　吉彦

（平成 17・18 年度）

県立守山高等学校	校長	波多野　壽
県立高浜高等学校	教頭	村松　利之
県立旭丘高等学校	教諭	磯部　明嗣
県立明和高等学校	教諭	久保田竜弥
県立松蔭高等学校	教諭	廣　　美里
県立一宮高等学校	教諭	岩田　政久
県立西春高等学校	教諭	加藤　祥二
県立五条高等学校	教諭	池田　博貴
県立知多高等学校	教諭	伊藤　博次
県立知多翔洋高等学校	教諭	吉川　師弘
県立武豊高等学校	教諭	鈴木　政之
県立岡崎東高等学校	教諭	東浦　至孝
県立刈谷高等学校	教諭	三矢　勝己
県立刈谷北高等学校	教諭	市野　雄智
県立加茂丘高等学校	教諭	岡田　英樹
県立安城東高等学校	教諭	鳥山　　匡
県立時習館高等学校	教諭	峯田　博行
県立国府高等学校	教諭	市川　　工
県立宝陵高等学校	教諭	長坂　英司
県立小坂井高等学校	教諭	本多　芳隆
愛知県教育委員会体育スポーツ課	主査	杉浦　吉彦
〃	指導主事	丸山　洋生

目　　次

＜各項目表示＞
◇Ａ～Ｇ……各領域
◇ア～ケ……各種目内容
◇①－１　単元目標,　　２　単元の評価規準
②－３　評価規準例
③－４　評価規準の評価観点例
④－５　指導と評価の計画例
⑤－６　Ⅰ個人評価シート例
⑥－６　Ⅱ集団評価シート例（20 人用）
⑦－６　Ⅲ集団評価シート例（40 人用）

領　域	内　　容	頁	
Ａ　体つくり運動		Ａ－－	①～⑦
Ｂ　器械運動	ア　マット運動	Ｂ－ア－	①～⑦
	イ　鉄棒運動	Ｂ－イ－	①～⑦
	ウ　平均台運動	Ｂ－ウ－	①～⑦
	エ　跳び箱運動	Ｂ－エ－	①～⑦
Ｃ　陸上競技	ｱ1　競走　（短距離走）	Ｃ－ｱ1－	①～⑦
	ｱ2　競走　（中・長距離走）	Ｃ－ｱ2－	①～⑦
	ｱ3　競走　（ハードル走）	Ｃ－ｱ3－	①～⑦
	イ　跳躍　（走り幅跳び）	Ｃ－イ－	①～⑦
	ウ　投てき（砲丸投げ）	Ｃ－ウ－	①～⑦
Ｄ　水　泳	ア　クロール	Ｄ－ア－	①～⑦
	イ　平泳ぎ	Ｄ－イ－	①～⑦
	ウ　背泳ぎ	Ｄ－ウ－	①～⑦
	エ　バタフラ	Ｄ－エ－	①～⑦
	オ　横泳ぎ	Ｄ－オ－	①～⑦
Ｅ　球　技	ア　バスケットボール	Ｅ－ア－	①～⑦
	イ　ハンドボール	Ｅ－イ－	①～⑦
	ウ　サッカー	Ｅ－ウ－	①～⑦
	エ　ラグビー	Ｅ－エ－	①～⑦
	オ　バレーボール	Ｅ－オ－	①～⑦
	カ　テニス	Ｅ－カ－	①～⑦
	キ　卓球	Ｅ－キ－	①～⑦
	ク　バドミントン	Ｅ－ク－	①～⑦
	ケ　ソフトボール	Ｅ－ケ－	①～⑦
Ｆ　武　道	ア　柔道	Ｆ－ア－	①～⑦
	イ　剣道	Ｆ－イ－	①～⑦
Ｇ　ダンス	ア　創作ダンス	Ｇ－ア－	①～⑦
	イ　フォークダンス	Ｇ－イ－	①～⑦
	ウ　現代的なリズムのダンス	Ｇ－ウ－	①～⑦

単元　「A　体つくり運動」

1　単元目標

(1) 体つくり運動の特性を理解し，体ほぐしをしたり，体力を高めたりするとともに，自己の体力や生活に応じた体つくり運動を構成し活用することができる資質や能力を育てる。

ア　体ほぐし運動においては，いろいろな手軽な運動や律動的な運動を行い，体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって自己の体に気付き，体の調子を整え，仲間との交流を豊かにすることができるようにする。

イ　体力を高める運動においては各種の運動に関する体力および健康に関連する体力の向上ができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) 互いに協力したりして練習ができるようにする。また，手具を点検し，安全に留意して練習や発表ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) 自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。　**（学び方の内容）**

2　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

体つくり運動の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習に取組もうとする。また，安全に留意して練習や発表をしようとする。

①　体つくり運動の特性に強い興味や関心を持ち，自ら進んでその楽しさや喜びを味わおうとする。

②　仲間と協力して補助し合ったり，教え合ったりしようとする。

③　運動の内容について公正な態度がとれ，結果を客観的に受け止めようとする。

④　器械・器具の状態を確かめるとともに，適切な場づくりや体の調子に気付くなど，安全に気を配ろうとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の体力や生活に応じた体つくり運動の行い方と体力の高め方を目指して，練習の仕方を工夫している。

①　自己の体力に応じた運動を選択したり，組み合わせたりして課題を設定している。

②　課題解決に必要な，練習や場づくりの仕方を選んだり，見つけたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ，練習計画を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

各種の運動に関連する体力及び健康に関する体力の向上に必要な体つくり運動を身につけながら体力を高めることができる。

①　体力の向上に必要な体つくり運動を行うことができる。

②　今できる運動を円滑に行うことができるとともに新しく身に付けた運動を行うことができる。

注　体ほぐし運動についての技能の判定は行わない。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

体ほぐし運動の意義や特性を理解するとともに，その楽しみ方や学習の進め方，安全性を理解し知識を身に付けている。

体つくり運動の意義や特性を理解するとともに，その計画的な行い方，安全性を理解し，知識を身に付けている。

①　運動種目ごとの特性に合った体ほぐし運動の学習の仕方を理解している。

②　体ほぐし運動や体力を高める運動のねらいに即した運動の活用を理解し、説明できる。

③　体つくり運動のできばえの楽しみ方や評価方法を知っている。

３　評価規準例　「体つくり運動」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①体つくり運動の特性に強い興味や関心を持ち自ら進んでその楽しさや喜びを味わおうとする。	①体つくり運動の特性に目標を持ち自ら取り組もうとする。	①決められた運動に取り組もうとする。
	②仲間と協力して互いに思いやりながら高い技術の運動を行なおうとする。	②仲間と協力して互いに思いやりながら進んで運動を行おうとする。	②仲間の指示やアドバイスを受け，運動を行おうとする。
	③体つくり運動の必要性を意識し，正しく受け止め，自ら進んで各運動の特性に応じた体力を高めようとする。	③体つくり運動の必要性を意識し，正しく受け止め，進んで体力を高めようとする。	③体つくり運動の必要性を意識し，体力を高めようとする。
	④常に互いの体の調子を確かめながら，練習場や用具・器具などの安全に留意し，健康・安全に運動を進めようとする。	④練習場や用具・器具などの安全に留意し，健康・安全に運動を進めようとする。	④練習場や用具・器具の安全に留意せず運動を行おうとする。
Ⅱ思考・判断	①場面に応じて技術選択をし，各運動に対して自己の能力を最大限に引き出すための目標を設定している。	①自己の能力に応じてできる選択し,運動の組み合わせを工夫し目標を設定している。	①仲間の指示やアドバイスにより運動の組み合わせを行っている。
	②自己の能力やグループに適した課題をつかみ，仲間や先生の助言を受けながら改善している。	②自己やグループの運動を円滑に行うための課題をつかみ改善を行おうとしている。	②自己やグループに与えられた課題をつかみ改善している。
	③自己の課題の解決に向け，自ら進んでその達成状況を確認したり運動の内容や方法を見直したりしている。	③自己の課題の解決に向け，その達成状況を確認したり運動の内容や方法を見直したりしている。	③仲間の指示やアドバイスにより，課題の達成状況を確認している。
Ⅲ運動の技能	①各種の運動に関連する体力及び健康に関する体力の向上に必要な運動を身に付けたり自ら進んで合理的に体力を高めたりすることができる。	①各種の運動に関連する体力及び健康に関する体力の向上に必要な運動を身に付けながら合理的に体力を高めることができる。	①体力の向上に必要な運動を身に付けたり体力を高めたりすることができる。
	②今できる運動を円滑に行うとともに新しく身に付けた運動と組み合わせて合理的な運動の行い方を身に付けている。	②今できる運動を円滑に行うとともに新しく身に付けた運動と組み合わせて行うことができる。	②今できる運動を円滑に行うことができる。
Ⅳ知識・理解	①体ほぐし運動の楽しみ方や学習の進め方，運動の系列や構造に基づく発展性を見に付けるとともにその意義を十分に理解している。	①体ほぐし運動の楽しみ方や学習の進め方，運動の系列や構造に基づく発展性を理解している。	①体ほぐし運動の学習の進め方の一部を理解している。
	②体ほぐしの運動や体力を高める運動のねらいに即した運動の多種・多様な組み立て方，活用の仕方について，具体例を挙げて説明することができる。	②体ほぐしの運動や体力を高める運動のねらいに即した運動の多種・多様な組み立て方，活用の仕方について，具体例を挙げている。	②体ほぐしの運動や体力を高める運動のねらいに即した運動の組み立て方，活用の仕方を知っている。
	③練習の環境つくりの方法や計画の進め方，運動のできばえの確かめ方や評価方法を知っている。	③運動のできばえの確かめ方や評価方法を知っている。	③運動のできばえの評価方法を知っている。

＊なお,「体ほぐしの運動」は, 技能の獲得・向上を直接のねらいとするものではないことから, 運動の技能の観点から削除している。

５　指導と評価の計画例「体つくり運動」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の評価・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1) 体つくり運動の特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やグループの課題を決める。 (3) 学習ノートや学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―② 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート	・体つくり運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見つけようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（3時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 効果的な体力を高める運動を選び練習をする。 (2) 自己の身体に関心を持ち，一人一人の調子や体力の程度の応じた課題を持って体をほぐしたり，体力を高めたりする。 (3) 心と体を一体としてとらえ，個人に適した運動の内容や時間・回数などの質や量を工夫しながら円滑に行う。 (4) 安全に行えるようにお互い配慮をして運動をおこなう。	Ⅱ―① 行動観察 Ⅰ―① 行動観察 Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ―④ 行動観察	・課題を見つけて練習しようとする。 ・技のポイントを見つけようとする。 ・お互いに協力して補助し合いながら運動しようとする。 ・タッチ走において意欲的に走る楽しさを味わおうとする。 ・相手の体調や自己の健康について気を配ろうとする。
なか2（3時間）	**ねらい２** **（高まった能力に合せて）** (1) 自己の身体の各部位の可動範囲を理解させ，仲間と協力しながらボールや棒などの手具を使ってより効果的に行う。 (2) 手具の特性を考え，身体を最大限にいかせるように運動の内容や時間・回数などの質や量を工夫しながら誰でも手軽に運動ができるようにする。 (3) 多人数で工夫して運動することで協調性を養い，課題解決に必要な方法を選び，体つくり運動の楽しさを深める。	Ⅰ―② 行動観察 Ⅲ―② 行動観察 Ⅱ―② 行動観察 学習ノート	・手具を使った律動的な運動を習得する。 ・体ほぐし運動のできばえを改善したり，新たに運動を加えたりして運動の内容を変えることができる。 ・体つくり運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・創作体操においては各部位の動きのねらいを考えている。 ・お互いに協力し合いながら練習しようとする。
なか3（2時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 自己の身体に関心を持つとともに集団の仲間一人一人の体の調子や体力の程度に応じた計画的な練習方法を見直して運動を行う。 (2) 心と体を一体としてとらえ集団に適した運動の内容・質や量を工夫しながら運動種目ごとの特性にあった運動を行う。 (3) 共同の運動により，仲間と協調性やバランスを考えた内容に公正に取り組みその結果を客観的に受け止める。	Ⅱ―③ 行動観察 学習ノート グループノート Ⅳ―① 行動観察 学習ノート Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―全 小テスト	・仲間の体力に応じた運動を考えている。 ・習得した技を組み合わせて連続した技ができる。
まとめ（1時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目および，毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) 体つくり運動に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して運動をしていたか。 (4) 協調性を重んじて授業を展開していたか。

４　評価規準の評価観点例「体つくり運動」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア体つくり運動の説明に対ししっかりした姿勢で耳を傾け聴いている。 イさまざまな運動を自ら積極的に取り組んでいる。 ②ア運動の不得手な者へ積極的に援助をしている。 イ仲間の中心となって話し合いながら運動している。 ③ア学習ノートに体つくり運動の意義や必要性が細かく記入してある。 イ体つくり運動を工夫し積極的に取り組んでいる。 ④ア自分や仲間の体調の管理に配慮している。 イ練習場の安全確認や用具の点検をしてから運動している。	①ア体つくり運動の説明に対し耳を傾け聴いている。 イさまざまな運動を自ら取り組んでいる。 ②ア運動の不得手な者へ手助けをしている。 イ仲間と話し合いながら運動している。 ③ア学習ノートに体つくり運動の必要性が記入してある。 イ体つくり運動を積極的に取り組んでいる。 ④ア自己の体調の管理に配慮ししっかりできている。 イ練習場の安全確認をしてから運動している。	①ア体つくり運動の説明に対し注意を受け聴こうとする。 イさまざまな運動を指示されながら取り組んでいる。 ②ア自分の行動に対し懸命に努力している。 イアドバイスを受けながら運動している。 ③ア学習ノートに体つくり運動の概要が記入してある。 イ体つくり運動を指摘を受けながら取り組んでいる。 ④ア自己の体調の管理が概ねできている。 イ練習場の安全確認をせずに運動している。
Ⅱ思考・判断	①ア運動構成の際，あらゆる場面に工夫された運動が組み込まれている。 ②ア動きの中からグループの能力に適した課題を見いだし常に改善しながら動いている。 ③ア学習ノートに自己目標の達成状況を記入し，改善点を把握しながら内容方法を見直している。	①ア運動構成の際，自ら進んで運動を工夫している。 ②ア グループの課題を考え，仲間で相談し改善しながら動いている。 ③ア学習ノートに自己目標の達成状況が記入してあり，改善する姿勢が伺える。	①ア運動構成の際，指導を受けながら運動をしている。 ②ア課題を与えられ，指摘を受けながら動いている。 ③ア学習ノートには，指摘された内容やアドバイスなどの反省点が記入してある。
Ⅲ運動の技能	①ア各種目に応じた適切な体づくり運動を工夫し実践している。 イ体力テストを抜粋して再実施し、体力の向上がみられる。 ②ア体つくり運動を全員の前で堂々と発表できる。 イ与えられたテーマに対して運動を工夫し上手く組み合わせている。	①ア各種目に適切な体づくり運動を実践している。 イ体力テストを抜粋して再実施し，体力の維持がみられる。 ②ア体つくり運動を全員の前で一応発表できる。 イ与えられたテーマに対して運動を上手く組み合わせている。	①ア各種目に合わない体づくり運動を実践している。 イ体力テストを抜粋して再実施し、体力の低下が見られる。 ②ア体つくり運動を全員の前で苦しみながら発表できる。 イ与えられたテーマに対して運動を組み合わせている。
Ⅳ知識・理解	①ア体ほぐし運動を仲間と連携し楽しみながら学習する仕方を理解している。 ②ア グループ別に実技発表させ，客観的に内容を評価し採点ができる。 イ周囲の環境や仲間の動きをよく把握したうえで自己評価ができている。 ③ア実技発表させ、運動のねらいに合った組み立て方や活用の仕方がされている。 イ与えたテーマに基づいた体づくり運動が具体的にレポートに上手くまとめてある。	①ア体ほぐし運動を楽しみながら学習する仕方を理解している。 ②ア グループ別に実技発表させ，主観的に採点ができる。 イ自己評価がしっかりとできている。 ③ア実技発表させ，演技が多様な組み立て方で構成されている。 イ与えたテーマに基づいた体づくり運動がレポートに整理してまとめてある。	①ア体ほぐし運動の学習の仕方を概ね理解している。 ②ア グループ別に実技発表させ，一部採点ができる。 イ自己評価ができている。 ③ア実技発表させ，演技がねらいにあって構成されている。 イ与えたテーマに基づいた体づくり運動がレポートにまとめられている。

＊なお，「体ほぐしの運動」は，技能の獲得・向上を直接のねらいとするものではないことから，運動の技能の観点から削除している。

６　Ｉ個人評価シート例「体つくり運動」

２年〇組　〇〇番　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	体つくり運動の特性に関心が高い。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	自ら進んで運動の楽しさや喜びに関心がある。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	仲間と協力して運動を行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	運動の内容について公正な態度がとれている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	5	体ほぐし運動において自己の体に気づいている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	体ほぐし運動において体の調整ができている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	体ほぐし運動において仲間との交流ができている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	安全に留意して活動できている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	9	自己の体力に応じた運動を選択している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	10	運動の組み合わせを考え、課題を設定している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	11	課題解決に必要な練習を行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	12	多人数で行う運動を組み合わせることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	13	常に新しい課題を設定することができる。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－②	14	課題の設定が適切である。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－②	15	課題解決の方法を適切に判断している。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	16	各種の運動に応じた運動を選択している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－②	17	体力を高める運動を円滑に行うことができる。	A	B	C			× 1	
				（注）体ほぐし運動については技能を評価しない。							
	技能テスト	Ⅲ－①	18	体力の向上に必要な体つくり運動を行うことができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	19	新しく身につけた体力を高める運動を行うことができる。	A	B	C			× 1	
				（注）体ほぐし運動については技能を評価しない。							
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	体つくり運動の学習の仕方を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	運動種目ごとの特性にあった体ほぐし運動を理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	22	計画的な体力を高める運動を理解している	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	23	体つくり運動のできばえの楽しみ方や評価ができる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	24	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　体つくり運動　2年生（10時間）

総時間数（　）時間　欠席時間数（　）時間　見学時間（　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度									Ⅱ思考・判断								Ⅲ運動の技能					Ⅳ知識・理解							合計得点
評価方法	行動観察								Ⅰ小計	行動観察					学習ノート		Ⅱ小計	行動観察		技能テスト		Ⅲ小計	行動観察		学習ノート		テスト		Ⅳ小計	
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－②	Ⅱ－②		Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－①	Ⅲ－②		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8		9	10	11	12	13	14	15		16	17	18	19		20	21	22	23	24			
観点別評価項目（具体例）	体つくり運動の特性に関心が高い。	自ら進んで運動の楽しさや喜びに関心がある。	仲間と協力して運動を行っている。	運動の内容について公正な態度がとれている。	体ほぐし運動において自己の体に気づいている。	体ほぐし運動において体の調整ができている。	体ほぐし運動において仲間との交流ができている。	安全に留意して活動できている。		自己の体力に応じた運動を選択している。	運動の組み合わせを考え、課題を設定している。	課題解決に必要な練習を行っている。	多人数で行う運動を組み合わせることができる。	常に新しい課題を設定することができる。	課題の設定が適切である。	課題解決の方法を適切に判断している。		各種の運動に応じた運動を選択している。	体力を高める運動を円滑に行うことができる。	体力の向上に必要な体つくり運動を行うことができる。	新しく身につけた体力を高める運動を行うことができる。		体つくり運動の学習の仕方を理解している。	運動種目ごとの特性にあった体ほぐし運動を理解している。	計画的な体力を高める運動を理解している。	体つくり運動のできばえの楽しみ方や評価ができる。	小テスト			
実施月／日																														
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／	／ ×2		／	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2		／	／	／ ×2	／ ×2		／	／	／	／	／ ×10			
1																														
2																														
3																														
4																														
5																														
6																														
7																														
8																														
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														
16																														
17																														
18																														
19																														
20																														

倍率

体育授業　記録シート

年　組 種目名 （体つくり運動）	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	評価項目番号 氏　名														
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「体つくり運動」

２年生（１０時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	体つくり運動の特性に関心が高い。
		Ⅰ－①	2	自ら進んで運動の楽しさや喜びに関心がある。
		Ⅰ－②	3	仲間と協力して運動を行っている。
		Ⅰ－③	4	運動の内容について公正な態度がとれている。
		Ⅰ－④	5	体ほぐし運動において自己の体に気づいている。
		Ⅰ－④	6	体ほぐし運動において体の調整ができている。
		Ⅰ－④	7	体ほぐし運動において仲間との交流ができている。
		Ⅰ－④	8	安全に留意して活動できている。
Ⅱ思考・判断	行動観察対話	Ⅱ－①	9	自己の体力に応じた運動を選択している。
		Ⅱ－①	10	運動の組み合わせを考え、課題を設定している。
		Ⅱ－②	11	課題解決に必要な練習を行っている。
		Ⅱ－②	12	多人数で行う運動を組み合わせることができる。
		Ⅱ－③	13	常に新しい課題を設定することができる。
	学習ノート	Ⅱ－②	14	課題の設定が適切である。
		Ⅱ－②	15	課題解決の方法を適切に判断している。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	16	各種の運動に応じた運動を選択している。
		Ⅲ－②	17	体力を高める運動を円滑に行うことができる。
	技能テスト	Ⅲ－①	18	体力の向上に必要な体つくり運動を行うことができる。
		Ⅲ－②	19	新しく身につけた体力を高める運動を行うことができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	体つくり運動の学習の仕方を理解している。
		Ⅳ－②	21	運動種目ごとの特性にあった体ほぐし運動を理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	22	計画的な体力を高める運動を理解している
		Ⅳ－③	23	体つくり運動のできばえの楽しみ方や評価ができる。
	テスト	Ⅳ－全	24	小テスト

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｂ　器械運動(マット運動)」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じてマット運動の技能を高め，技が円滑にできるようにする。

ア　自己の能力に応じて技を選択，習得し，それらの技を組み合わせて「はじめーなかーおわり」という連続した技ができるようにするとともに，演技を発表できるようにする。

イ　演技の構成は,まず,「はじめーなかーおわり」という構成を考え，それに既習の技をあてはめてロングマットの上で行うことができるようにする。次いで,それらの技の改善をしながら，演技の構成に修正を加えていくようにする。　**(技能の内容)**

(2) 互いに協力したりして練習ができるようにする。また，器械・器具を点検し，安全に留意して練習や発表ができるようにする。　**(態度の内容)**

(3) 自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。　**(学び方の内容)**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

器械運動の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習に取り組もうとする。また，器械・器具を点検し，安全に留意して練習や発表をしようとする。

①　技の達成や演技のできばえを求める器械運動の，楽しさや喜びを味わおうとする。

②　器械・器具の状態を確かめるとともに,適切な場づくりや体の調子に気付くなど,安全に気を配ろうとする。

③　互いに協力し,補助し合いながら,練習をしようとする。

④　練習や発表では，お互いの技や演技のできばえの良さを認め合おうとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた技を習得するための課題を設定し,その解決を目指して,練習の仕方や演技の構成，発表の仕方を工夫している。

①　自己の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うための課題を設定している。

②　課題解決に必要な，練習の仕方を選んだり，見付けたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ,練習や発表の仕方を見直したり,新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

マット運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め,技を組み合わせて演技ができる。

①　自分の能力に応じた技を身に付けるとともに，技を組み合わせて演技することができる。

②　美しい姿勢と力強さを表現することができる。

③　技のできばえを改善したり,新たに技を加えたりして,演技内容を豊かにすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

マット運動の特性や技術の構造を理解するとともに,技の確かめ方,補助の仕方,練習の計画的な行い方，演技構成の仕方を理解し，知識を身に付けている。

①　マット運動の楽しみ方や学習の進め方，技の系・技群・グループの構造など技の系統性や発展性を理解している。

②　練習の仕方や場づくりの方法,練習計画の立て方,技の出来栄えの確かめ方や評価の方法を理解している。

③　特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方を理解している。

３　評価規準例「器械運動(マット運動)」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①マット運動の特性に強い興味を持ち，自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとしている。	①マット運動の特性に興味を持ち楽しさや喜びを味わおうとしている。	①決められた回数の練習をしている。
	②仲間のためにマットの位置を調節するなど，自ら進んで器具の安全を確かめ，事故防止に努めている。	②自分が練習したあとに，マットの位置など，安全を確かめている。	②指示されてマットの位置など，安全を確かめるている。
	③互いに協力し，積極的に正しく補助をしあいながら，練習しようとしている。	③互いに協力し，補助をしあいながら，練習しようとしている。	③補助をしてもらいながら，練習しようとしている。
	④練習や発表では，お互いの技や演技のできばえを正しく指摘し，そのよさを認め合おうとしている。	④練習や発表では，お互いの技や演技のできばえのよさを認め合おうとしている。	④練習や発表では，お互いの技や演技を見ようとしている。
Ⅱ思考・判断	①自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うために見通しを持った課題の設定をしている。	①自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うための課題の設定をしている。	①技を選択したり，組み合わせたりして課題の設定をしている。
	②課題解決に必要な練習の仕方を自ら進んで選んだり，見つけたりしている。	②課題解決に必要な練習の仕方を選んだり，見つけたりしている。	②教師や仲間の助言を受けて，課題解決に必要な練習の仕方を選んでいる。
	③課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を自ら進んで見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けて，課題や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①習得した技をより多く組み合わせて，「はじめーなかーおわり」という連続した演技ができる。	①習得した技を組み合わせて，「はじめーなかーおわり」という連続した演技ができる。	①習得した技を組み合わせて演技ができる。
	②美しい姿勢と力強さを十分に表現することができる。	②美しい姿勢と力強さをある程度表現することができる。	②美しい姿勢と力強さを少し表現することができる。
	③技の出来栄えを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容を豊かにすることができる。	③技の出来栄えを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に変化を加えることができる。	③技の出来栄えを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に少し変化を加えることができる。
Ⅳ知識・理解	①マット運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，明確に説明できる。	①マット運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，言ったり書き出したりすることができる。	①マット運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，知っている。
	②マット運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，明確に説明できる。	②マット運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について具体例を挙げることができる。	②マット運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について知っている。
	③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，説明できる。	③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，具体例を挙げることがきる。	③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，知っている。

４　評価規準の評価観点例「器械運動(マット運動)」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア マット運動の技術を十分理解している。 イ 積極的に繰り返し練習している。 ②ア マットの位置を自主的に何回も調整している。 イ 多くの他人の体調を気遣っている。 ③ア 準備や片づけに積極的に参加している。 イ 自主的に他人の補助をしている。 ④ア より多くの人の演技を見て認め，励ましている。 イ 励ましてくれた他人に対して，丁寧に感謝の意を表わしている。	①ア マット運動の技術を理解している。 イ 繰り返し練習している。 ②ア マットの位置を調整している。 イ 他人の体調を気遣っている。 ③ア 準備や片づけに参加している。 イ 他人の補助をしている。 ④ア 他人の演技を見て，認め，励ましている。 イ 励ましてくれた他人に対して，感謝の意を表わしている。	①ア マット運動の技術をおおむね理解している。 イ 練習している。 ②ア 指示されてマットの位置を調整している。 イ 他人の体調をおおむね気遣っている。 ③ア 準備や片づけにおおむね参加している。 イ おおむね他人の補助をしている。 ④ア 他人の演技を見ている。 イ 励ましてくれた他人に対して，おおむね感謝の意を表わしている。
Ⅱ思考・判断	①ア できない技に積極的にチャレンジしている。 イ できる技はより美しくできるよう積極的に練習している。 ②ア ウレタンマットなどを有効に使用して積極的に練習している。 イ より多くの人に見てもらいアドバイスを受けている。 ③ア 技の練習回数や練習方法を自主的に工夫している。 イ 技の組み合わせを工夫して独創的な演技を構成している。	①ア できない技にチャレンジしている。 イ できる技はより美しくできるように練習している。 ②ア ウレタンマットなどを有効に使用して練習している。 イ 他人に見てもらいアドバイスを受けている。 ③ア 技の練習回数や練習方法を工夫している。 イ 技の組み合わせを工夫して演技を構成している。	①ア できない技におおむねチャレンジしている。 イ できる技はより美しくできるようにおおむね練習している。 ②ア ウレタンマットなどを使用して練習している。 イ まれに他人に見てもらいアドバイスを受けている。 ③ア 技の練習回数や練習方法をおおむね工夫している。 イ 単純に技を組み合わせて演技を構成している。
Ⅲ運動の技能	①ア 演技に，難易度の高い技が多く含まれている。 イ 自分の課題となる技がたくさん習得されている。 ②ア 難易度の低い技が，十分美しく演技できる。 イ 技と技の間の姿勢が，手足の先まで美しさを十分表現している。 ③ア 学習前よりも，技が十分安定してできる。 イ 学習前よりも，技が十分美しくできる。	①ア 演技に，難易度の低い技から高い技まで含まれている。 イ 自分の課題となる技が習得されている。 ②ア 難易度の低い技が，美しく演技できる。 イ 技と技の間の姿勢が，手足の先まで美しさを表現している。 ③ア 学習前よりも，技が安定してできる。 イ 学習前よりも，技が美しくできる。	①ア 演技に，難易度の低い技が多く含まれている。 イ 自分の課題となる技がおおむね習得されている。 ②ア 難易度の低い技が，おおむねできる。 イ 技と技の間の姿勢が，手足の先まで美しさをおおむね表現している。 ③ア 学習前よりも，技がおおむね安定してできる。 イ 学習前よりも，技がおおむね美しくできる。
Ⅳ知識・理解	①ア 基本的な技の技術について十分知っている。 イ 技の系や技群など技の特徴や系統性や発展性を十分知っている。 ②ア 基本的な練習方法を十分理解している。 イ 補助の仕方を十分理解している。 ③ア 演技発表の進め方を十分理解している。 イ 採点方法を十分理解している。	①ア 基本的な技の技術について知っている。 イ 技の系や技群など技の特徴や系統性や発展性を知っている。 ②ア 基本的な練習方法を理解している。 イ 補助の仕方を理解している。 ③ア 演技発表の進め方を理解している。 イ 採点方法を理解している。	①ア 基本的な技の技術についておおむね知っている。 イ 技の系や技群など技の特徴や系統性や発展性をおおむね知っている。 ②ア 基本的な練習方法をおおむね理解している。 イ 補助の仕方をおおむね理解している。 ③ア 演技発表の進め方をおおむね理解している。 イ 採点方法をおおむね理解している。

５　指導と評価の計画例「器械運動(マット運動)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1) マット運動の特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やグループの課題を決める。 (3) 学習カードや学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―② 学習カード Ⅳ―④ 学習カード	・マット運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見付けようとする。 ・学習カードや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 課題の技群からできる技を選び練習をする。 (2) お互いに見せ合ったり，補助をしたりして教え合う。 (3) できる技をつなげて連続しておこなう。 (4) 安全に行えるようにお互いに補助をしたり，マットや器具の点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅲ―① 学習カード Ⅰ―② 行動観察	・課題を見付けて練習しようとする。 ・技のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して補助し合いながら練習しようとする。 ・習得した技を組み合わせて連続した技ができる。 ・マットの位置を調節するなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２** **（高まった能力に合せて）** (1) 習得した技をより美しく安定して行えるようにする。 (2) さらに難しい課題に挑戦する。 (3) 「はじめーなかーおわり」と連続した技ができるようにする。 (4) 技の習得や演技を発表することでマット運動の楽しさを深める。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習カード 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習カード	・美しい姿勢と力強さを表現することができる。 ・多くの技についてポイントや練習方法を知っている。 ・技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして演技の内容をかえることができる。 ・マット運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) ５つ以上の技を連続して演技を構成する。 (2) 技のできばえを理解してお互いに指導できる。 (3) 採点方法を理解して公正に演技を採点できる。	Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ―④ 行動観察 Ⅳ―② 学習カード 小テスト	・新しく習得した技を組み合わせて連続した技ができる。 ・お互いに協力して補助しあいながら練習しようとする。 ・審判法を理解して，仲間の演技の良し悪しがわかる。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 ⑴学習の準備や片付けをしていたか。 ⑵マット運動に適した準備運動を行おうとしていたか。 ⑶健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 ⑷正しい補助の仕方について理解して進んで行おうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「器械運動（マット運動）」

２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果 評価	○&×		特記事項	評価点	備考 評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	技ができた時の達成感を楽しそうに味わっている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	継続して繰り返し練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	ずれたマットの位置を直している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	補助を頼むなど安全に注意して練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	他人の補助を安全に行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	他人に補助を頼んで安全に練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	他人の技を見て、認め、励ましている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	発表を見て良い所、悪い所を伝えあっている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－全	9	繰り返し練習を行い努力している内容が記入されている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	10	技の組合せを工夫し能力にあった演技を構成している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	11	できない技をどこがいけないのか考えながら練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	12	技の練習回数や練習方法を工夫して行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	13	先生や他の生徒に技を見てもらい、アドバイスを受けながら練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	14	助言を聞き入れ練習方法を改善している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	15	できる技は、美しくできるように意識して練習している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－全	16	技の組合せ方や練習で工夫していることが記入されている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	技能テスト	Ⅲ－①	17	演技の難易度及び、構成が自己の能力に応じて実施できる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	18	技と技の間の演技が止まることなくスムーズに実施できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	19	はじめ－なか－おわりという連続した演技ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	20	演技全体を通して美しさ（つま先・膝等）を意識して実施している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	21	演技全体を通して力強さを意識して実施している。	A	B	C			× 1	
	行動観察	Ⅲ－②	22	いままで学習した成果を出そうと努力している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	23	学習前半よりも、技が安定してできる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	24	学習前半よりも、技が美しくできる。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅲ－全	25	学習した成果が記入されている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	26	基本的な技の名称、技の系統を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	27	基本的な技の練習方法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	28	安全な補助の方法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	29	採点方法を理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－全	30	基本的な技の名称、技の系統が間違いなく記入されている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－全	31	客観的に評価した内容が記入されている。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	32	小テスト。	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

特記事項

Ｂ－ア－⑤

評価シート　器械運動（マット運動　）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間,　欠席時間数（　　）時間,　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度											Ⅱ思考・判断											Ⅲ運動の技能												Ⅳ知識・理解													合計得点
評価方法	行動観察									学習ノート		行動観察							学習ノート			技能テスト				行動観察			学習ノート				行動観察				学習ノート	小テスト										
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－全			Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－全			Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－全				Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全	Ⅳ－全	Ⅳ－全									
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Ⅰ小計	倍率	10	11	12	13	14	15	16	Ⅱ小計	倍率	17	18	19	20	21	22	23	24	25	Ⅲ小計	倍率		26	27	28	29	30	31	32								Ⅳ小計	倍率	
観点別評価項目（具体例）	技ができた時の達成感を楽しそうに味わっている。	継続して繰り返し練習している。	ずれたマットの位置を直している。	補助を頼むなど安全に注意して練習している。	他人の補助を安全に行っている。	他人に補助を頼んで安全に練習している。	他人の技を見て、認め、励ましている。	発表を見て良い所、悪い所を伝えあっている。	繰り返し練習を行い努力している内容が記入されている。			技の組合せ方や練習で工夫していることが記入されている。									演技全体を通して美しさ（つま先・膝等）を意識して実施している。				演技全体を通して力強さを意識して実施している。				学習した成果が記入されている。			基本的な技の名称、技の系統を理解している。	基本的な技の練習方法を理解している。														
実施月／日																																															
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／	／	／	／	／				／	／	／	／	／	／	／	／								
1																																															
2																																															
3																																															
4																																															
5																																															
6																																															
7																																															
8																																															
9																																															
10																																															
11																																															
12																																															
13																																															
14																																															
15																																															
16																																															
17																																															
18																																															
19																																															
20																																															

B－ア－⑥

6 Ⅲ集団評価シート例（40人用）「器械運動（マット運動）」

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　） 実施月日			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	氏名＼評価項目番号															
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	

観点別評価項目例「器械運動（マット運動）」　２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	技ができた時の達成感を楽しそうに味わっている。
		Ⅰ－①	2	継続して繰り返し練習している。
		Ⅰ－②	3	ずれたマットの位置を直している。
		Ⅰ－②	4	補助を頼むなど安全に注意して練習している。
		Ⅰ－③	5	他人の補助を安全に行っている。
		Ⅰ－③	6	他人に補助を頼んで安全に練習している。
		Ⅰ－④	7	他人の技を見て、認め、励ましている。
		Ⅰ－④	8	発表を見て良い所、悪い所を伝えあっている。
	学習ノート	Ⅰ－全	9	繰り返し練習を行い努力している内容が記入されている。
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	10	技の組合せを工夫し能力にあった演技を構成している。
		Ⅱ－①	11	できない技をどこがいけないのか考えながら練習している。
		Ⅱ－②	12	技の練習回数や練習方法を工夫して行っている。
		Ⅱ－②	13	先生や他の生徒に技を見てもらい、アドバイスを受けながら練習している。
		Ⅱ－③	14	助言を聞き入れ練習方法を改善している。
		Ⅱ－③	15	できる技は、美しくできるように意識して練習している。
	学習ノート	Ⅱ－全	16	技の組合せ方や練習で工夫していることが記入されている。
Ⅲ運動の技能	技能テスト	Ⅲ－①	17	演技の難易度及び、構成が自己の能力に応じて実施できる。
		Ⅲ－①	18	技と技の間の演技が止まることなくスムーズに実施できる。
		Ⅲ－①	19	はじめ－なか－おわりという連続した演技ができる。
		Ⅲ－②	20	演技全体を通して美しさ（つま先・膝等）を意識して実施している。
		Ⅲ－②	21	演技全体を通して力強さを意識して実施している。
	行動観察	Ⅲ－②	22	いままで学習した成果を出そうと努力している。
		Ⅲ－③	23	学習前半よりも、技が安定してできる。
		Ⅲ－③	24	学習前半よりも、技が美しくできる。
	学習ノート	Ⅲ－全	25	学習した成果が記入されている。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	26	基本的な技の名称、技の系統を理解している。
		Ⅳ－②	27	基本的な技の練習方法を理解している。
		Ⅳ－②	28	安全な補助の方法を理解している。
		Ⅳ－③	29	採点方法を理解している。
	学習ノート	Ⅳ－全	30	基本的な技の名称、技の系統が間違いなく記入されている。
		Ⅳ－全	31	客観的に評価した内容が記入されている。
	テスト	Ⅳ－全	32	小テスト。

総時間数（　　）時間 ， 欠席時間数（　　）時間 ， 見学時間（　　）時間

単元　「Ｂ　器械運動（鉄棒運動）」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じて鉄棒運動の技能を高め，技が円滑にできるようにする。

ア　自己の能力に応じて技を選択，習得し，それらの技を組み合わせて「上がる－回る－下りる」という連続した技ができるようにするとともに，演技を発表できるようにする。

イ　演技の構成は,まず,「上がる－回る－下りる」という構成を考え，それに既習の技をあてはめて低鉄棒又は高鉄棒で行うことができるようにする。次いで，それらの技の改善をしながら，演技の構成に修正を加えていくようにする。

（技能の内容）

(2) 互いに協力したりして練習ができるようにする。また，器械・器具を点検し，安全に留意して練習や発表ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) 自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

器械運動の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習に取り組もうとする。また，器械・器具を点検し，安全に留意して練習や発表をしようとする。

①　鉄棒運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとしている。
②　自分が練習した後に，マットの位置などを調節するなど安全に気を配ろうとする。
③　互いに協力し，補助をし合いながら，練習をしようとする。
④　練習や発表では，お互いの技や演技のできばえの良さを認め合おうとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた技を習得するための課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や演技の構成，発表の仕方を工夫している。

①　自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うための課題の設定をしている。
②　課題解決に必要な，練習の仕方を選んだり，見つけたりしている。
③　課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

鉄棒運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め,技を組み合わせて演技ができる。

①　習得した技を組み合わせて,「上がる－回る－下りる」という連続した演技ができる。
②　美しい姿勢と雄大性を表現し止まることなく演技ができる。
③　技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に変化を加えることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

鉄棒運動の特性や技術の構造を理解するとともに，技の確かめ方，補助の仕方，練習の計画的な行い方，演技構成の仕方を理解し，知識を身に付けている。

①　鉄棒運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，言ったり書き出したりすることができる。
②　鉄棒運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，具体例を挙げることができる。
③　技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，具体例を挙げることができる。

３　評価規準例「器械運動（鉄棒運動）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①鉄棒運動の特性に強い興味を持ち，自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②仲間のためにマットの位置を調節するなど，自ら進んで器具の安全を確かめ，事故防止に努めている。 ③互いに協力し，積極的に正しく補助をし合いながら，練習しようとする。 ④練習や発表では，お互いの技や演技のできばえを正しく指摘し，そのよさを認め合おうとする。	①鉄棒運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ②自分が練習した後に，マットの位置などを調節するなど，安全に気を配ろうとする。 ③互いに協力し，補助をし合いながら，練習をしようとする。 ④練習や発表では，お互いの技や演技のできばえのよさを認め合おうとする。	①決められた回数の練習をすることができる。 ②指示されてマットの位置を調節するなど，安全に気を配ろうとする。 ③補助をしてもらいながら，練習をしようとする。 ④練習や発表では，お互いの技や演技を見ようとしている。
Ⅱ思考・判断	①自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うために見通しを持った課題の設定をしている。 ②課題解決に必要な練習の仕方を自ら進んで選んだり，見つけたりしている。 ③課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を自ら進んで見直したり，新しい課題を選んだりしている。	①自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うための課題の設定をしている。 ②課題解決に必要な練習の仕方を選んだり，見つけたりしている。 ③課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	①技を選択したり，組み合わせたりして課題を設定をしている。 ②教師や仲間の助言を受けて，課題解決に必要な練習の仕方を選んでいる。 ③教師や仲間の助言を受けて，課題や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①習得したより多くの技を組み合わせて，「上がる－回る－下りる」という連続した演技ができる。 ②美しい姿勢と雄大性を十分に表現し，止まることなく演技ができる。 ③技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容を豊かにすることができる。	①習得した技を組み合わせて，「上がる－回る－下りる」という連続した演技ができる。 ②美しい姿勢と雄大性を表現し止まることなく演技ができる。 ③技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に変化を加えることができる。	①習得した技を組み合わせて演技ができる。 ②美しい姿勢と雄大性をある程度表現することができる。 ③技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に少し変化を加えることができる。
Ⅳ知識・理解	①鉄棒運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，説明できる。 ②鉄棒運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，説明できる。 ③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，説明できる。	①鉄棒運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，言ったり書き出したりすることができる。 ②鉄棒運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，具体例を挙げることができる。 ③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，具体例を挙げることができる。	①鉄棒運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，知っている。 ②鉄棒運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，知っている。 ③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，知っている。

４　評価規準の評価観点例「器械運動（鉄棒運動）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している。 イ練習をしている姿に熱意と高い意欲が感じられる。 ②ア自ら進んで器具の安全を確かめている。 イ自ら進んで安全マットの位置を調節するなど，事故防止に努めている。 ③ア積極的に補助をし合う。 イ補助で危険な状態を防止できるとともに，動きを誘導できる。 ④ア仲間の練習を見て、できばえをアドバイスする。 イ仲間と協力し合い，意欲的に練習している	①ア楽しそうに練習している。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。 ②ア器具の安全を確かめている。 イマットの位置を調節するなど，事故防止に努めている。 ③ア補助をし合う。 イ危険な状態を防止できる。 ④ア仲間の練習を見て，できばえを伝える。 イ仲間と協力し合い練習している。	①ア自分なりに練習している。 イ教師や仲間に促されて練習する。 ②ア指示されて器具の安全を確かめている。 イ指示されてマットの位置を調節するなど，安全に気を配ろうとする。 ③ア補助をしようとしている。 イ危険な状態がわかる。 ④ア仲間の練習を見ている。 イ仲間と練習している。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力を最大限に引き出すための，技を選んで練習している。 イ常に練習の中から自分の課題を見つけている。 ②ア補助具などを，場面に応じて選び，有効に使っている。 イ練習方法に多くの工夫が見られる。 ③アできばえを客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えながら，見通しを立てて取り組んでいる。	①ア自分にあった技を選んで練習している。 イ練習の中から自分の課題を見つけている。 ②ア補助具などを有効に使っている。 イ練習方法に工夫が見られる。 ③アできばえをとらえている。 イ練習方法に修正を加えている。	①ア技を選んで練習している。 イ時々自分の課題を見つけている。 ②ア補助具などを使っている。 イ練習方法に工夫を加えることもある。 ③ア教師や仲間に聞いて，できばえをとらえている。 イ教師や，仲間の助言により，練習方法に修正を加えている。
Ⅲ運動の技能	①ア構成に工夫して，連続的な技を作り発表することができる。 イ技の数がかなり多い。 ②アつま先まで神経が行き届き，振幅も極大に近い。 イ停止しないで，なめらかに技がつながる。 ③ア繰り返し練習し，技を安定させ，雄大さも身につけている。 イ今までできなかった技をより多く習得している。	①ア連続的な技を作り発表することができる。 イ技の数が多い。 ②ア大まかにつま先が伸び，振幅も大きい。 イ小さな停止はあるが，全体としてはなめらかに技がつながる。 ③ア繰り返し練習し，技を安定させている。 イ今までできなかった技を多く習得している。	①ア技を組み合わせて発表することができる。 イ技の数が決められた数。 ②ア振幅が小さく，姿勢欠点が多い。 イ演技中に停止が多い。 ③ア繰り返し練習し，技の成功率を上げている。 イ今までできなかった技を習得している。
Ⅳ知識・理解	①ア技術ポイントや運動の特性を説明できる。 ②ア技のできばえや仲間との学習の進め方などを，自己評価・相互評価できる。 イ自分にあった練習方法を学習カードに詳しく書き出している。 ③ア演技発表の進め方を理解し，進行役となっている。	①ア技術ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。 ②ア技のできばえや仲間との学習の進め方などを，自己評価できる。 イ自分にあった練習方法を学習カードに書き出している。 ③ア演技発表の進め方を理解し，準備などしている。	①ア技術ポイントや運動の特性を仲間の助言を受けてまとめている。 ②ア技のできばえなどを自己評価できる。 イ自分にあった練習方法を学習カードに仲間に教えてもらいながら書き出している。 ③ア演技発表の進め方を理解し，指示されて動いているている。

５　指導と評価の計画例「器械運動（鉄棒運動）」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1)　鉄棒運動の特性や学習の仕方を理解する。 (2)　自分やグループの課題を決める。 (3)　学習カードや学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―② 学習カード Ⅳ―④ 学習カード	・鉄棒運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見付けようとする。 ・学習カードや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	ねらい１（今ある能力で工夫） (1)　課題の技群からできる技を選び練習をする。 (2)　お互いに見せ合ったり，補助をしたりして教え合う。 (3)　できる技をつなげて連続しておこなう。 (4)　安全に行えるようにお互いに補助をしたり，マットや器具の点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅲ―① 学習カード Ⅰ―② 行動観察	・課題を見付けて練習しようとする。 ・技のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して補助し合いながら練習しようとする。 ・習得した技を組み合わせて連続した技ができる。 ・マットの位置を調節するなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	ねらい２ （高まった能力に合せて） (1)　習得した技をより美しく安定して行えるようにする。 (2)　さらに難しい課題に挑戦する。 (3)　「上がる－回る－下りる」と連続した技ができるようにする。 (4)　技の習得や演技を発表することで鉄棒運動の楽しさを深める。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習カード 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習カード	・美しい姿勢と力強さを表現することができる。 ・多くの技についてポイントや練習方法を知っている。 ・技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして演技の内容をかえることができる。 ・鉄棒運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。
なか3（4時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　多くの技を連続して演技を構成する。 (2)　技のできばえを理解してお互いに指導できる。 (3)　採点方法を理解して公正に演技を採点できる。	Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―② 学習カード Ⅳ―③ 学習カード 小テスト	・新しく習得した技を組み合わせて連続した技ができる。 ・お互いに協力して補助しあいながら練習しようとする。 ・審判法を理解して，仲間の演技の良し悪しがわかる。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録をてがかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2)　活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3)　技能はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)学習の準備や片付けをしていたか。 (2)鉄棒運動に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3)健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 (4)正しい補助の仕方について理解して，進んで行おうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例　「器械運動(鉄棒運動）」　　２年〇組　〇〇番　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	器具の安全を確かめている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	マットの位置を調整するなど，事故防止に努めている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	危険な状態を防止できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	補助をしあっている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	仲間の練習を見て，できばえを伝える。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	仲間と協力し合い練習している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	9	学習ノートに意欲的な感想が記入してある。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	10	自分にあった技を選んで練習している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	11	練習の中から自分の課題を見つけている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	12	練習の方法に工夫が見られる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	13	補助具などを有効に使っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	14	練習方法に修正を加えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	15	できばえを客観的にとらえている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－②	16	学習ノートに自己の課題が記載されている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	17	連続的な技を作り発表することができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	18	技の数が多い。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	19	上がる一回る一下りるという演技の構成ができている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	20	繰り返し練習し，技を安定させている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	21	今までできなかった技を多く習得している。	A	B	C			× 1	
	技能テスト	Ⅲ－②	22	つま先が伸び，振幅も大きい。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	23	小さな停止はあるが，全体としてはなめらかに技がつながる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	24	安全に技を連続させることができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	25	技術ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	26	技のできばえや仲間との学習のしかたを自己評価できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	27	演技発表の進め方を理解し，準備などをしている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	28	自分にあった練習方法を学習ノートに書き出している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	29	技のポイントや練習方法をノートに書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	30	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　器械運動（鉄棒運動）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度											Ⅱ思考・判断								Ⅲ運動の技能													Ⅳ知識・理解									合計得点
評価方法	行動観察									学習ノート	Ⅰ小計	行動観察						学習ノート	Ⅱ小計	行動観察					技能テスト			Ⅲ小計					行動観察			学習ノート		テスト	Ⅳ小計	
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－②			Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－②		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②						Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全		
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9			10	11	12	13	14	15	16		17	18	19	20	21	22	23	24						25	26	27	28	29	30		
観点別評価項目（具体例）	楽しそうに練習している。	練習をしている姿に意欲が感じられる。	器具の安全を確かめている。	マットの位置を調整するなど、事故防止に努めている。	危険な状態を防止できる。	補助をしあっている。	仲間の練習を見て、できばえを伝える。	仲間と協力して練習している。	学習ノートに意欲的な感想が記入してある。			自分にあった技を選んで練習している。	練習の中から自分の課題を見つけている。	練習の方法に工夫が見られる。	補助具などを有効に使っている。	練習方法に修正を加えている。	できばえを客観的にとらえている。	学習ノートに自己の課題が記載されている。		連続的な技を作り発表する事ができる。	技の数が多い。	上がる－回る－下りるという演技の構成ができている。	繰り返し練習し、技を安定させている。	今までできなかった技を多く習得している。	つま先が伸び、振幅も大きい。	小さな停止はあるが、全体としてはなめらかに技がつながる。	安全に技を連続させることができる。						技術ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	技のできばえや仲間との学習の仕方を自己評価できる。	演技発表の進め方などを理解し、準備などをしている。	自分にあった練習方法を学習ノートに書き出している。	技のポイントや練習方法をノートに書き出している。	小テスト		
実施月／日											倍率								倍率									倍率										倍率	
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	／	／						／	／	／	／	／	／	×10	
1																																							
2																																							
3																																							
4																																							
5																																							
6																																							
7																																							
8																																							
9																																							
10																																							
11																																							
12																																							
13																																							
14																																							
15																																							
16																																							
17																																							
18																																							
19																																							
20																																							

6　Ⅲ集団評価シート例（40人用）「器械運動（鉄棒運動）」

体育授業　記録シート

年　組	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
種目名（　　）		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No. 組・番 氏名＼評価項目番号																
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「器械運動（鉄棒運動）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している。
		Ⅰ－①	2	練習している姿に意欲が感じられる。
		Ⅰ－②	3	器具の安全を確かめている。
		Ⅰ－②	4	マットの位置を調整するなど，事故防止につとめている。
		Ⅰ－③	5	危険な状態を防止できる。
		Ⅰ－③	6	補助をしあっている。
		Ⅰ－④	7	仲間の練習を見て，できばえを伝える。
		Ⅰ－④	8	仲間と協力し合い練習している。
	学習ノート	Ⅰ－①	9	学習ノートに意欲的な感想が記入している。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－①	10	自分に合った技を練習している。
		Ⅱ－①	11	練習の中から自分の課題を見つけている。
		Ⅱ－②	12	練習の方法に工夫が見られる。
		Ⅱ－②	13	補助具などを有効に使っている。
		Ⅱ－③	14	練習方法に工夫が見られる。
		Ⅱ－③	15	できばえを客観的にとらえている。
	学習ノート	Ⅱ－②	16	学習ノートに自己の課題が記載されれている。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	17	連続的な技を作り発表する事ができる。
		Ⅲ－①	18	技の数が多い。
		Ⅲ－①	19	上がる－回る－降りるという演技の構成ができている。
		Ⅲ－③	20	繰り返し練習し，技を安定させている。
		Ⅲ－③	21	今までできなかった技を多く習得している。
	技能テスト	Ⅲ－②	22	つま先が伸び，振幅も大きい。
		Ⅲ－②	23	小さな停止はあるが，全体としてはなめらかに技がつながる。
		Ⅲ－②	24	安全に技を連続させることができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	25	技術ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。
		Ⅳ－②	26	技のできばえや仲間との学習の仕方を自己評価できる。
		Ⅳ－③	27	演技発表の進め方を理解し，準備などをしている。
	学習ノート	Ⅳ－②	28	自分に合った技を練習方法を学習ノートに書き出している。
		Ⅳ－③	29	技のポイントや練習方法をノートに書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	30	小テスト。

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｂ　器械運動（平均台運動)」

１　単元目標

(1)　自己の能力に応じて平均台運動の技能を高め，技が円滑にできるようにする。

ア　自己の能力に応じて技を選択，習得し，それらの技を組み合わせて「上がる一移動・バランス・回転する一下りる」という連続した技ができるようにするとともに，演技を発表できるようにする。

イ　演技の構成は,まず,「上がる一移動・バランス・回転する一下りる」という構成を考え，それに既習の技をあてはめてマットや床の上で行うことができるようにする。次いで,それらの技の改善をしながら，演技の構成に修正を加えていくようにする。**(技能の内容)**

(2)　互いに協力したりして練習ができるようにする。また，器械・器具を点検し，安全に留意して練習や発表ができるようにする。**(態度の内容)**

(3)　自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。**(学び方の内容)**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

器械運動の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習に取り組もうとする。また，器械・器具を点検し，安全に留意して練習や発表をしようとする。

①　技の達成や演技のできばえを求める器械運動の，楽しさや喜びを味わおうとする。

②　器械・器具の状態を確かめるとともに,適切な場づくりや体の調子に気付くなど,安全に気を配ろうとする。

③　互いに協力し，補助し合いながら，練習をしようとする。

④　練習や発表では，お互いの技や演技のできばえの良さを認め合おうとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた技を習得するための課題を設定し,その解決を目指して,練習の仕方や演技の構成，発表の仕方を工夫している。

①　自己の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うための課題を設定している。

②　課題解決に必要な，練習や場づくりの仕方を選んだり，見付けたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ,練習や発表の仕方を見直したり,新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

平均台運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め,技を組み合わせて演技ができる。

①　自分の能力に応じた技を身に付けるとともに，技を組み合わせて演技することができる。

②　美しい姿勢と力強さを表現することができる。

③　技のできばえを改善したり,新たに技を加えたりして,演技内容を豊かにすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

平均台運動の特性や技術の構造を理解するとともに,技の確かめ方,補助の仕方,練習の計画的な行い方，演技構成の仕方を理解し，知識を身に付けている。

①　平均台運動の楽しみ方や学習の進め方，技の系・技群・グループの構造など技の系統性や発展性を理解している。

②　練習の仕方や場づくりの方法,練習計画の立て方,技の出来栄えの確かめ方や評価の方法を理解している。

③　特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方を理解している。

3　評価規準例「器械運動（平均台運動）」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①平均台運動の特性に強い興味を持ち，自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとしている。	①平均台運動の特性に興味を持ち楽しさや喜びを味わおうとしている。	①決められた回数の練習をしている。
	②仲間のためにマットの位置を調節するなど，自ら進んで器具の安全を確かめ，事故防止に努めている。	②自分が練習したあとに，マットの位置など，安全を確かめている。	②指示されてマットの位置など，安全を確かめている。
	③互いに協力し，積極的に正しく補助をしあいながら，練習しようとしている。	③互いに協力し，補助をしあいながら，練習しようとしている。	③補助をしてもらいながら，練習しようとしている。
	④練習や発表では，お互いの技や演技のできばえを正しく指摘し、そのよさを認め合おうとしている。	④練習や発表では，お互いの技や演技のできばえのよさを認め合おうとしている。	④練習や発表では，お互いの技や演技を見ようとしている。
Ⅱ思考・判断	①自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うために見通しを持った課題の設定をしている。	①自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うための課題の設定をしている。	①技を選択したり，組み合わせたりして課題の設定をしている。
	②課題解決に必要な練習の仕方を自ら進んで選んだり，見つけたりしている。	②課題解決に必要な練習の仕方を選んだり，見つけたりしている。	②教師や仲間の助言を受けて，課題解決に必要な練習の仕方を選んでいる。
	③課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を自ら進んで見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けて，課題や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①習得した技をより多く組み合わせて，「上がる－移動・バランス・回転する－下りる」という連続した演技ができる。	①習得した技を組み合わせて，「上がる－移動・バランス・回転する－下りる」という連続した演技ができる。	①習得した技を組み合わせて演技ができる。
	②美しい姿勢と安定性を十分表現することができる。	②美しい姿勢と安定性をある程度表現することができる。	②美しい姿勢と安定性を少し表現することができる。
	③技の出来栄えを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容を豊かにすることができる。	③技の出来栄えを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に変化を加えることができる。	③技の出来栄えを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に少し変化を加えることができる。
Ⅳ知識・理解	①平均台運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，明確に説明できる。	①平均台運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，言ったり書き出したりすることができる。	①平均台運動の技の系・技群・グループの構造，技の系統性や発展性について，知っている。
	②平均台運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，明確に説明できる。	②平均台運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について具体例を挙げることができる。	②平均台運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について知っている。
	③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，説明できる。	③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，具体例を挙げることがきる。	③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，知っている。

４　評価規準の評価観点例「器械運動（平均台運動）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア平均台運動の技術を十分理解している。 イ積極的に繰り返し練習している。 ②アマットの位置を自主的に何回も調整している。 イ多くの他人の体調を気遣っている。 ③ア準備や片づけに積極的に参加している。 イ自主的に他人の補助をしている。 ④アより多くの人の演技を見て認め，励ましている。 イ励ましてくれた他人に対して，丁寧に感謝の意を表わしている。	①ア平均台運動の技術を理解している。 イ繰り返し練習している。 ②アマットの位置を調整している。 イ他人の体調を気遣っている。 ③ア準備や片づけに参加している。 イ他人の補助をしている。 ④ア他人の演技を見て，認め，励ましている。 イ励ましてくれた他人に対して，感謝の意を表わしている。	①ア平均台運動の技術をおおむね理解している。 イ練習している。 ②ア指示されてマットの位置を調整している。 イ他人の体調をおおむね気遣っている。 ③ア準備や片づけにおおむね参加している。 イおおむね他人の補助をしている。 ④ア他人の演技を見ている。 イ励ましてくれた他人に対して，おおむね感謝の意を表わしている。
Ⅱ思考・判断	①アできない技に積極的にチャレンジしている。 イできる技はより美しくできるよう積極的に練習している。 ②アウレタンマットなどを有効に使用して積極的に練習している。 イより多くの人に見てもらいアドバイスを受けている。 ③ア技の練習回数や練習方法を自主的に工夫している。 イ技の組み合わせを工夫して独創的な演技を構成している。	①アできない技にチャレンジしている。 イできる技はより美しくできるように練習している。 ②アウレタンマットなどを有効に使用して練習している。 イ他人に見てもらいアドバイスを受けている。 ③ア技の練習回数や練習方法を工夫している。 イ技の組み合わせを工夫して演技を構成している。	①アできない技におおむねチャレンジしている。 イできる技はより美しくできるようにおおむね練習している。 ②アウレタンマットなどを使用して練習している。 イまれに他人に見てもらいアドバイスを受けている。 ③ア技の練習回数や練習方法をおおむね工夫している。 イ単純に技を組み合わせて演技を構成している。
Ⅲ運動の技能	①ア演技に，難易度の高い技が多く含まれている。 イ自分の課題となる技がたくさん習得されている。 ②ア難易度の低い技が，十分美しく演技できる。 イ技と技の間の姿勢が，手足の先まで美しさを十分表現している。 ③ア学習前よりも，技が十分安定してできる。 イ学習前よりも，技が十分美しくできる。	①ア演技に，難易度の低い技から高い技まで含まれている。 イ自分の課題となる技が習得されている。 ②ア難易度の低い技が，美しく演技できる。 イ技と技の間の姿勢が，手足の先まで美しさを表現している。 ③ア学習前よりも,技が安定してできる。 イ学習前よりも，技が美しくできる。	①ア演技に，難易度の低い技が多く含まれている。 イ自分の課題となる技がおおむね習得されている。 ②ア難易度の低い技が,おおむねできる。 イ技と技の間の姿勢が，手足の先まで美しさをおおむね表現している。 ③ア学習前よりも，技がおおむね安定してできる。 イ学習前よりも，技がおおむね美しくできる。
Ⅳ知識・理解	①ア基本的な技の技術について十分知っている。 イ技の系や技群など技の特徴や系統性や発展性を十分知っている。 ②ア基本的な練習方法を十分理解している。 イ補助の仕方を十分理解している。 ③ア演技発表の進め方を十分理解している。 イ採点方法を十分理解している。	①ア基本的な技の技術について知っている。 イ技の系や技群など技の特徴や系統性や発展性を知っている。 ②ア基本的な練習方法を理解している。 イ補助の仕方を理解している。 ③ア演技発表の進め方を理解している。 イ採点方法を理解している。	①ア基本的な技の技術についておおむね知っている。 イ技の系や技群など技の特徴や系統性や発展性をおおむね知っている。 ②ア基本的な練習方法をおおむね理解している。 イ補助の仕方をおおむね理解している。 ③ア演技発表の進め方をおおむね理解している。 イ採点方法をおおむね理解している。

５　指導と評価の計画例「器械運動(平均台運動)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	⑴　平均台運動の特性や学習の仕方を理解する。 ⑵　自分やグループの課題を決める。 ⑶　学習カードや学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―② 学習カード Ⅳ―④ 学習カード	・平均台運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見付けようとする。 ・学習カードや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** ⑴　課題の技群からできる技を選び練習をする。 ⑵　お互いに見せ合ったり，補助をしたりして教え合う。 ⑶　できる技をつなげて連続しておこなう。 ⑷　安全に行えるようにお互いに補助をしたり，マットや器具の点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅲ―① 学習カード Ⅰ―② 行動観察	・課題を見付けて練習しようとする。 ・技のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して補助し合いながら練習しようとする。 ・習得した技を組み合わせて連続した技ができる。 ・マットの位置を調節するなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２** **（高まった能力に合せて）** ⑴　習得した技をより美しく安定して行えるようにする。 ⑵　さらに難しい課題に挑戦する ⑶　「上がる一移動・バランス・回転する一下りる」と連続した技ができるようにする。 ⑷　技の習得や演技を発表することで平均台運動の楽しさを深める。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習カード 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習カード	・美しい姿勢と力強さを表現することができる。 ・多くの技についてポイントや練習方法を知っている。 ・技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして演技の内容をかえることができる。 ・平均台運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** ⑴　５つ以上の技を連続して演技を構成する。 ⑵　技のできばえを理解してお互いに指導できる。 ⑶　採点方法を理解して公正に演技を採点できる。	Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ―④ 行動観察 Ⅳ―② 学習カード 小テスト	・新しく習得した技を組み合わせて連続した技ができる。 ・お互いに協力して補助しあいながら練習しようとする。 ・審判法を理解して，仲間の演技の良し悪しがわかる。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録をてがかりにしながら，学習を振り返り,学習全体のまとめをする。 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 ⑵活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 ⑶技能はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 ⑴学習の準備や片付けをしていたか。 ⑵平均台運動に適した準備運動を行おうとしていたか。 ⑶健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 ⑷正しい補助の仕方について理解して進んで行おうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「器械運動（平均台運動）」　　２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合 %
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	技ができた時の達成感を楽しそうに味わっている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	継続して繰り返し練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	ずれたマットの位置を直している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	補助を頼むなど安全に注意して練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	他人の補助を安全に行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	他人に補助を頼んで安全に練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	他人の技を見て、認め、励ましている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	発表を見て良い所、悪い所を伝えあっている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－全	9	繰り返し練習を行い努力している内容が記入されている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	10	技の組合せを工夫し能力にあった演技を構成している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	11	できない技をどこがいけないのか考えながら練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	12	技の練習回数や練習方法を工夫して行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	13	先生や他の生徒に技を見てもらい、アドバイスを受けながら練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	14	助言を聞き入れ練習方法を改善している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	15	できる技は、美しくできるように意識して練習している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－全	16	技の組合せ方や練習で工夫していることが記入されている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	技能テスト	Ⅲ－①	17	演技の難易度及び、構成が自己の能力に応じて実施できる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	18	技と技の間の演技が止まることなくスムーズに実施できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	19	上がる一移動一・バランス・回転する一下りるという技の構成ができている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	20	演技全体を通して美しさ（つま先・膝等）を意識して実施している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	21	演技全体を通して力強さを意識して実施している。	A	B	C			× 1	
	行動観察	Ⅲ－②	22	いままで学習した成果を出そうと努力している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	23	学習前半よりも、技が安定してできる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	24	学習前半よりも、技が美しくできる。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅲ－全	25	学習した成果が記入されている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	26	基本的な技の名称、技の系統を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	27	基本的な技の練習方法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	28	安全な補助の方法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	29	採点方法を理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ一全	30	基本的な技の名称、技の系統が間違いなく記入されている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ一全	31	客観的に評価した内容が記入されている。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ一全	32	小テスト。	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　器械運動（平均台運動　）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度											Ⅱ思考・判断								Ⅲ運動の技能										Ⅳ知識・理解											
評価方法	行動観察									学習ノート		行動観察							学習ノート	技能テスト				行動観察			学習ノート			行動観察				学習ノート	小テスト				
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－全			Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－全		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－全		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全	Ⅳ－全	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9			10	11	12	13	14	15	16		17	18	19	20	21	22	23	24	25		26	27	28	29	30	31	32			
観点別評価項目（具体例）	技ができた時の達成感を楽しそうに味わっている。	継続して繰り返し練習している。	ずれたマットの位置を直している。	補助を頼むなど安全に注意して練習している。	他人の補助を安全に行っている。	他人に補助を頼んで安全に練習している。	他人の技を見て、認め、励ましている。	発表を見て良い所、悪い所を伝えあっている。	繰り返し練習を行い努力している内容が記入されている。	Ⅰ小計	倍率	技の組合せを工夫し能力にあった技を構成している。	できない技をどこがいけないのか考えながら練習している。	技の練習回数や練習方法を工夫して行っている。	先生や他の生徒に技を見てもらい、アドバイスを受けながら練習している。	助言を聞き入れ練習方法を改善している。	できる技は、美しくできるように意識して練習している。	技の組合せ方や練習で工夫していることが記入されている。	Ⅱ小計	倍率	演技の難易度及び、構成が自己の能力に応じて実施できる。	技と技の間の演技が止まることなくスムーズに実施できる。	はじめーなかーおわりという連続した演技ができる。	演技全体を通して美しさ（つま先・膝等）を意識して実施している。	演技全体を通して力強さを意識して実施している。	いままで学習した成果を出そうと努力している。	学習前半よりも、技が安定してできる。	学習前半よりも、技が美しくできる。	学習した成果が記入されている。	Ⅲ小計	倍率	基本的な技の名称、技の系統を理解している。	基本的な技の練習方法を理解している。	安全な補助の方法を理解している。	採点方法を理解している。	基本的な技の名称、技の系統が間違いなく記入されている。	客観的に評価した内容が記入されている。	小テスト。		Ⅳ小計	倍率	合計得点
実施月／日																																							
No. 組・番 氏　名	／	／	／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	×10			
1																																							
2																																							
3																																							
4																																							
5																																							
6																																							
7																																							
8																																							
9																																							
10																																							
11																																							
12																																							
13																																							
14																																							
15																																							
16																																							
17																																							
18																																							
19																																							
20																																							

6 Ⅲ集団評価シート例（40人用）「器械運動（平均台運動）」

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）			実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
No.	組・番	評価項目番号 氏　名		日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「器械運動（平均台運動）」　２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	技ができた時の達成感を楽しそうに味わっている。
		Ⅰ－①	2	継続して繰り返し練習している。
		Ⅰ－②	3	ずれたマットの位置を直している。
		Ⅰ－②	4	補助を頼むなど安全に注意して練習している。
		Ⅰ－③	5	他人の補助を安全に行っている。
		Ⅰ－③	6	他人に補助を頼んで安全に練習している。
		Ⅰ－④	7	他人の技を見て、認め、励ましている。
		Ⅰ－④	8	発表を見て良い所、悪い所を伝えあっている。
	学習ノート	Ⅰ－全	9	繰り返し練習を行い努力している内容が記入されている。
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	10	技の組合せを工夫し能力にあった演技を構成している。
		Ⅱ－①	11	できない技をどこがいけないのか考えながら練習している。
		Ⅱ－②	12	技の練習回数や練習方法を工夫して行っている。
		Ⅱ－②	13	先生や他の生徒に技を見てもらい、アドバイスを受けながら練習している。
		Ⅱ－③	14	助言を聞き入れ練習方法を改善している。
		Ⅱ－③	15	できる技は、美しくできるように意識して練習している。
	学習ノート	Ⅱ－全	16	技の組合せ方や練習で工夫していることが記入されている。
Ⅲ運動の技能	技能テスト	Ⅲ－①	17	演技の難易度及び、構成が自己の能力に応じて実施できる。
		Ⅲ－①	18	技と技の間の演技が止まることなくスムーズに実施できる。
		Ⅲ－①	19	はじめ－なか－おわりという連続した演技ができる。
		Ⅲ－②	20	演技全体を通して美しさ（つま先・膝等）を意識して実施している。
		Ⅲ－②	21	演技全体を通して力強さを意識して実施している。
	行動観察	Ⅲ－②	22	いままで学習した成果を出そうと努力している。
		Ⅲ－③	23	学習前半よりも、技が安定してできる。
		Ⅲ－③	24	学習前半よりも、技が美しくできる。
	学習ノート	Ⅲ－全	25	学習した成果が記入されている。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	26	基本的な技の名称、技の系統を理解している。
		Ⅳ－②	27	基本的な技の練習方法を理解している。
		Ⅳ－②	28	安全な補助の方法を理解している。
		Ⅳ－③	29	採点方法を理解している。
	学習ノート	Ⅳ－全	30	基本的な技の名称、技の系統が間違いなく記入されている。
		Ⅳ－全	31	客観的に評価した内容が記入されている。
	テスト	Ⅳ－全	32	小テスト。

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｂ　器械運動(跳び箱運動)」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じて跳び箱運動の技能を高め，技が円滑にできるようにする。
ア　自己の能力に応じて技を選択，習得する。
イ　演技の構成は,系統の異なった二つの技ができるようにする。次いで，それらの技の改善をしながら，演技の質を高めていくようにする。　**(技能の内容)**

(2) 互いに協力したりして練習ができるようにする。また，器械・器具を点検し，安全に留意して練習や発表ができるようにする。　**(態度の内容)**

(3) 自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。　**(学び方の内容)**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

器械運動の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習に取り組もうとする。また，器械・器具を点検し，安全に留意して練習や発表をしようとする。

①　跳び箱運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとしている。
②　自分が練習した後に，マットの位置などを調節するなど安全に気を配ろうとする。
③　互いに協力し，補助をし合いながら，練習をしようとする。
④　練習や発表では，お互いの技や演技のできばえの良さを認め合おうとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた技を習得するための課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や演技の構成，発表の仕方を工夫している。

①　自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うための課題の設定をしている。
②　課題解決に必要な，練習の仕方を選んだり，見つけたりしている。
③　課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

跳び箱運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め,技を組み合わせて演技ができる。

①　習得した技のなかから、系統の異なった二つの技ができる。
②　美しい姿勢と雄大性を表現し、安全に着地することができる。
③　技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に変化を加えることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

跳び箱運動の特性や技術の構造を理解するとともに，技の確かめ方，補助の仕方，練習の計画的な行い方，演技構成の仕方を理解し，知識を身に付けている。

①　跳び箱運動の技の系・グループの構造，技の系統性や発展性について，言ったり書き出したりすることができる。
②　跳び箱運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，具体例を挙げることができる。
③　技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，具体例を挙げることができる。

３　評価規準例「器械運動（跳び箱運動）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①跳び箱運動の特性に強い興味を持ち，自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②仲間のためにマットの位置を調節するなど，自ら進んで器具の安全を確かめ，事故防止に努めている。 ③互いに協力し，積極的に正しく補助をし合いながら，練習しようとする。 ④練習や発表では，お互いの技や演技のできばえを正しく指摘し，そのよさを認め合おうとする。	①跳び箱運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ②自分が練習した後に，マットの位置などを調節するなど，安全に気を配ろうとする。 ③互いに協力し，補助をし合いながら，練習をしようとする。 ④練習や発表では，お互いの技や演技のできばえのよさを認め合おうとする。	①決められた回数の練習をすることができる。 ②指示されてマットの位置を調節するなど，安全に気を配ろうとする。 ③補助をしてもらいながら，練習をしようとする。 ④練習や発表では，お互いの技や演技を見ようとしている。
Ⅱ思考・判断	①自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うために見通しを持った課題の設定をしている。 ②課題解決に必要な練習の仕方を自ら進んで選んだり，見つけたりしている。 ③課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を自ら進んで見直したり，新しい課題を選んだりしている。	①自分の技能に応じた技を選択したり，組み合わせたりして技を円滑に行うための課題の設定をしている。 ②課題解決に必要な練習の仕方を選んだり，見つけたりしている。 ③課題の達成状況をとらえ，練習や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	①技を選択したり，組み合わせたりして課題を設定をしている。 ②教師や仲間の助言を受けて，課題解決に必要な練習の仕方を選んでいる。 ③教師や仲間の助言を受けて，課題や発表の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①習得したより多くの技のなかから，系統の異なった二つの技ができる。 ②美しい姿勢と雄大性を十分に表現し，余裕を持って着地することができる。 ③技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容を豊かにすることができる。	①習得した技のなかから，系統の異なった二つの技ができる。 ②美しい姿勢と雄大性を表現し安全に着地することができる。 ③技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に変化を加えることができる。	①系統の異なった二つの技ができる。 ②美しい姿勢と雄大性をある程度表現し、着地することができる。 ③技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして，演技内容に少し変化を加えることができる。
Ⅳ知識・理解	①跳び箱運動の技の系・グループの構造，技の系統性や発展性について，明確に説明できる。 ②跳び箱運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，説明できる。 ③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，説明できる。	①跳び箱運動の技の系・グループの構造，技の系統性や発展性について，言ったり書き出したりすることができる。 ②跳び箱運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，具体例を挙げることができる。 ③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，具体例を挙げることができる。	①跳び箱運動の技の系・グループの構造，技の系統性や発展性について，知っている。 ②跳び箱運動の楽しみ方や学習の進め方，練習の仕方や場づくりの方法，練習計画の立て方，技のできばえの確かめ方について，知っている。 ③技の特徴や運動種目ごとの特性に合った演技構成の仕方，発表の仕方について，知っている。

４　評価規準の評価観点例「器械運動（跳び箱運動）」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している。 イ練習をしている姿に熱意と高い意欲が感じられる。 ②ア自ら進んで器具の安全を確かめている。 イ自ら進んで安全マットの位置を調節するなど，事故防止に努めている。 ③ア積極的に補助をし合う。 イ補助で危険な状態を防止できるとともに，動きを誘導できる。 ④ア仲間の練習を見て、できばえをアドバイスする。 イ仲間と協力し合い，意欲的に練習している	①ア楽しそうに練習している。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。 ②ア器具の安全を確かめている。 イマットの位置を調節するなど，事故防止に努めている。 ③ア補助をし合う。 イ危険な状態を防止できる。 ④ア仲間の練習を見て，できばえを伝える。 イ仲間と協力し合い練習している。	①ア自分なりに練習している。 イ教師や仲間に促されて練習する。 ②ア指示されて器具の安全を確かめている。 イ指示されてマットの位置を調節するなど，安全に気を配ろうとする。 ③ア補助をしようとしている。 イ危険な状態がわかる。 ④ア仲間の練習を見ている。 イ仲間と練習している。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力を最大限に引き出すための，技を選んで練習している。 イ常に練習の中から自分の課題を見つけている。 ②ア補助具などを，場面に応じて選び，有効に使っている。 イ練習方法に多くの工夫が見られる。 ③アできばえを客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えながら，見通しを立てて取り組んでいる。	①ア自分にあった技を選んで練習している。 イ練習の中から自分の課題を見つけている。 ②ア補助具などを有効に使っている。 イ練習方法に工夫が見られる。 ③アできばえをとらえている。 イ練習方法に修正を加えている。	①ア技を選んで練習している。 イ時々自分の課題を見つけている。 ②ア補助具などを使っている。 イ練習方法に工夫を加えることもある。 ③ア教師や仲間に聞いて，できばえをとらえている。 イ教師や，仲間の助言により，練習方法に修正を加えている。
Ⅲ運動の技能	①アふたつのグループから難度の高い技を選んでいる。 イ技の数がかなり多い。 ②アつま先まで神経が行き届き，雄大に跳んでいる。 イ余裕を持って着地している。 ③ア繰り返し練習し，技を安定させ，雄大さも身につけている。 イ今までできなかった技をより多く習得している。	①アふたつのグループから技を選んでいる。。 イ技の数が多い。 ②ア大まかにつま先が伸び，大きく跳んでいいる。 イ安全に着地している。 ③ア繰り返し練習し，技を安定させている。 イ今までできなかった技を多く習得している。	①ア片方のグループから技を選んでいる。 イ技の数が決められた数。 ②ア姿勢欠点ともに跳んでいる。 イ足から着地している。 ③ア繰り返し練習し，技の成功率を上げている。 イ今までできなかった技を習得している。
Ⅳ知識・理解	①ア技術ポイントや運動の特性を説明できる。 ②ア技のできばえや仲間との学習の進め方などを，自己評価・相互評価できる。 イ自分にあった練習方法を学習カードに詳しく書き出している。 ③ア演技発表の進め方を理解し，進行役となっている。	①ア技術ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。 ②ア技のできばえや仲間との学習の進め方などを，自己評価できる。 イ自分にあった練習方法を学習カードに書き出している。 ③ア演技発表の進め方を理解し，準備などしている。	①ア技術ポイントや運動の特性を仲間の助言を受けてまとめている。 ②ア技のできばえなどを自己評価できる。 イ自分にあった練習方法を学習カードに仲間に教えてもらいながら書き出している。 ③ア演技発表の進め方を理解し，指示されて動いているている。

５　指導と評価の計画例「器械運動（跳び箱運動）」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1)　跳び箱運動の特性や学習の仕方を理解する。 (2)　自分やグループの課題を決める。 (3)　学習カードや学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―② 学習カード Ⅳ―④ 学習カード	・跳び箱運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見つけようとする。 ・学習カードや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	ねらい１（今ある能力で工夫） (1)　課題の技群からできる技を選び練習をする。 (2)　お互いに見せ合ったり，補助をしたりして教え合う。 (3)　できる技をつなげて連続しておこなう。 (4)　安全に行えるようにお互いに補助をしたり，マットや器具の点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅲ―① 学習カード Ⅰ―② 行動観察	・課題を見つけて練習しようとする。 ・技のポイントを見つけようとする。 ・お互いに協力して補助し合いながら練習しようとする。 ・習得した技を組み合わせて連続した技ができる。 ・マットの位置を調節するなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	ねらい２ （高まった能力に合せて） (1)　習得した技をより美しく安定して行えるようにする。 (2)　さらに難しい課題に挑戦する。 (3)　技の習得や演技を発表する事で跳び箱運動の楽しさを深める。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習カード 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習カード	・美しい姿勢と力強さを表現することができる。 ・多くの技についてポイントや練習方法を知っている。 ・技のできばえを改善したり，新たに技を加えたりして演技の内容をかえることができる。 ・跳び箱運動の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。
なか3（4時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　習得した技をより美しく雄大に，安定させて行えるようにする。 (2)　技のできばえを理解してお互いに指導できる。 (3)　採点方法を理解して公正に演技を採点できる。	Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―② 学習カード Ⅳ―③ 学習カード 小テスト	・新しく習得した技を組み合わせて連続した技ができる。 ・お互いに協力して補助しあいながら練習しようとする。 ・審判法を理解して，仲間の演技の良し悪しがわかる。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録をてがかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2)　活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3)　技能はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)学習の準備や片付けをしていたか。 (2)跳び箱運動に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3)健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 (4)正しい補助の仕方について理解して，進んで行おうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例　「器械運動（跳び箱運動）」

２年〇組　〇〇番　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	器具の安全を確かめている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	マットの位置を調整するなど，事故防止に努めている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	危険な状態を防止できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	補助をしあっている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	仲間の練習を見て，できばえを伝える。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	仲間と協力し合い練習している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	9	学習ノートに意欲的な感想が記入してある。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	10	自分にあった技を選んで練習している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	11	練習の中から自分の課題を見つけている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	12	練習の方法に工夫が見られる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	13	補助具などを有効に使っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	14	練習方法に修正を加えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	15	できばえを客観的にとらえている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－②	16	学習ノートに自己の課題が記載されている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	17	ふたつのグループから技を選んでいる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	18	技の数が多い。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	19	つま先が伸び，大きく跳んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	20	繰り返し練習し，技を安定させている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	21	今までできなかった技を多く習得している。	A	B	C			× 1	
	技能テスト	Ⅲ－②	22	安全に着地している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	23	十分な高さの跳躍ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	24	十分な距離を跳躍できる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	25	技術ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	26	技のできばえや仲間との学習のしかたを自己評価できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	27	演技発表の進め方を理解し、準備などをしている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	28	自分にあった練習方法を学習ノートに書き出している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	29	技のポイントや練習方法をノートに書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	30	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　器械運動（跳び箱運動）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度											Ⅱ思考・判断								Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解									合計得点
評価方法	行動観察								学習ノート			行動観察						学習ノート		行動観察				技能テスト					行動観察			学習ノート		テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－②			Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－②		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9			10	11	12	13	14	15	16		17	18	19	20	21	22	23	24		25	26	27	28	29	30			
観点別評価項目（具体例）	楽しそうに練習している。	練習をしている姿に意欲が感じられる。	器具の安全を確かめている。	マットの位置を調整するなど、事故防止に努めている。	危険な状態を防止できる。	補助をしあっている。	仲間の練習を見て、できばえを伝える。	仲間と協力して練習している。	学習ノートに意欲的な感想が記入してある。	Ⅰ 小計	倍率	自分にあった技を選んで練習している。	練習の中から自分の課題を見つけている。	練習の方法に工夫が見られる。	補助具などを有効に使っている。	練習方法に修正を加えている。	できばえを客観的にとらえている。	学習ノートに自己の課題が記載されている。	Ⅱ 小計	ふたつのグループから技を選んでいる。	技の数が多い。	つま先が伸び、大きく跳んでいる。	繰り返し練習し、技を安定させている。	今までできなかった技を多く習得している。	安全に着地している。	十分な高さの跳躍ができる。	十分な距離を跳躍できる。	Ⅲ 小計	技術ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	技のできばえや仲間との学習の仕方を自己評価できる。	演技発表の進め方を理解し、準備などをしている。	自分にあった練習方法を学習ノートに書き出している。	技のポイントや練習方法をノートに書き出している。	小テスト	Ⅳ 小計	
実施月／日																																				
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／	／	／ ×2		／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／ ×10			
1																																				
2																																				
3																																				
4																																				
5																																				
6																																				
7																																				
8																																				
9																																				
10																																				
11																																				
12																																				
13																																				
14																																				
15																																				
16																																				
17																																				
18																																				
19																																				
20																																				

体育授業 記録シート

年 組 種目名( )	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	評価項目番号 / 氏名															
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例 「器械運動(跳び箱運動)」

2年生(15時間)

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目(具体例)
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している。
		Ⅰ－①	2	練習している姿に意欲が感じられる。
		Ⅰ－②	3	器具の安全を確かめている。
		Ⅰ－②	4	マットの位置を調整するなど，事故防止につとめている。
		Ⅰ－③	5	危険な状態を防止できる。
		Ⅰ－③	6	補助をしあっている。
		Ⅰ－④	7	仲間の練習を見て，できばえを伝える。
		Ⅰ－④	8	仲間と協力し合い練習している。
	学習ノート	Ⅰ－①	9	学習ノートに意欲的な感想が記入している。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－①	10	自分に合った技を練習している。
		Ⅱ－①	11	練習の中から自分の課題を見つけている。
		Ⅱ－②	12	練習の方法に工夫が見られる。
		Ⅱ－②	13	補助具などを有効に使っている。
		Ⅱ－③	14	練習方法に工夫が見られる。
		Ⅱ－③	15	できばえを客観的にとらえている。
	学習ノート	Ⅱ－②	16	学習ノートに自己の課題が記載されれている。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	17	ふたつのグループから技を選んでいる。
		Ⅲ－①	18	技の数が多い。
		Ⅲ－①	19	つま先が伸び，大きく跳んでいる。
		Ⅲ－③	20	繰り返し練習し，技を安定させている。
		Ⅲ－③	21	今までできなかった技を多く習得している。
	技能テスト	Ⅲ－②	22	安全に着地している。
		Ⅲ－②	23	十分な高さの跳躍ができる。
		Ⅲ－②	24	十分な距離を跳躍できる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	25	技術ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。
		Ⅳ－②	26	技のできばえや仲間との学習の仕方を自己評価できる。
		Ⅳ－③	27	演技発表の進め方を理解し，準備などをしている。
	学習ノート	Ⅳ－②	28	自分に合った技を練習方法を学習ノートに書き出している。
		Ⅳ－③	29	技のポイントや練習方法をノートに書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	30	小テスト。

総時間数( )時間 , 欠席時間数( )時間 , 見学時間( )時間

単元　「Ｃ　ｱ1　陸上競技　競走（短距離走）」

１　単元目標

(1)　自己の能力に応じて短距離走の技能を高め，競技したり，記録を高めたりすることができるようにする。　**（技能の内容）**

(2)　互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3)　自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

陸上競技の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や競技に取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，体の調子や活動場所及び器具など，健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。

①　全力をつくして競争したり，記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
②　練習や競技で，よりよい記録がでるように，互いに励まし合ったり，協力をしたりしようとする。
③　自分や仲間の勝敗や記録の結果を受け入れようとする。
④　体の調子を確かめ合ったり，練習や競技場所及び器具の安全を確かめたりするなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や競技の仕方を工夫している。

①　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定している。
②　課題解決に必要な，合理的な練習や競技の方法を選んだり，見付けたりしている。
③　課題の達成状況をとらえ，練習や競技の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

短距離走の種目の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，競技をしたり記録を高めたりすることができる。

①　自分の能力に応じた技能で，特定の短い距離をより速く走ったりすることができる。
②　短距離走の特徴的な動きを身に付け，競技したり記録を高めたりすることができる。
③　短距離走に必要なスタートや加速疾走ができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

短距離走の特性や技術の構造，合理的な練習方法，正しい競技方法，競技規則や審判法及び競技会の企画や運営の方法を理解し，知識を身に付けている。

①　短距離走の特性や技術の構造について，言ったり，書き出したりして，自己の課題解決のための練習方法や学習の進め方について，具体例を挙げている。
②　短距離走のルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。
③　競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「陸上競技　競走（短距離走）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①陸上競技の特性に強い興味や関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んで陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①陸上競技の特性に興味，関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
	②互いの動きを評価し，自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習に取り組もうとする。	②互いの動きを評価し，気付いた点を指摘し合いながら，記録の計測や練習に取り組もうとする。	②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習に取り組もうとする。
	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，結果を客観的に受け入れたり，仲間を尊重しようとする。	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。	③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。
	④自分や仲間の体調を考慮したり，常に練習場所や用具・器具などの安全に細心の注意を払うなど，健康・安全に留意して運動を行おうとする。	④体の調子を確かめ合ったり，練習場所や用具・器具などの安全を確かめながら運動を行おうとする。	④教師や仲間の助言を受けて，練習場所や用具・器具などの安全を確かめて運動を行おうとする。
Ⅱ思考・判断	①自己の能力を向上させるための課題を明らかにした上で，目標記録を設定している。	①自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。
	②課題解決のための効果的な練習方法について，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら選んだりしている。	②課題解決のために効果的な練習方法を選択したり，技能ポイントを意識して練習方法を選んだりしている。	②教師や仲間の支援を得て，課題解決のための練習方法を選んだりしている。
	③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	③練習の成果や課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けて，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①短距離走の特性に応じた高度な技能で練習や競技をすることができる。	①短距離走の特性に応じた技能で練習や競技をすることができる。	①教師や仲間の支援を受けて，練習や競技をすることができる。
	②自己の能力に適した合理的なピッチとストライドの組み合わせを見付け，フォームを意識して練習や競技をすることができる。	②自己の能力に適したピットとストライドの組み合わせを見付け，練習や競技をすることができる。	②教師や仲間の助言を受けて，自己の能力に適したピッチとストライドの組み合わせを見付けることができる。
	③スタート技術に優れ，スムーズな流れで加速疾走に移行し，最高速度を維持することができる。	③スタートから加速疾走までの一連の動作をスムーズに行うことができる。	③スタートからゴールまで走りきることができる。
Ⅳ知識・理解	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を詳しく説明できる。	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を言ったり書き出したりしている。	①練習方法や技能ポイント，運動の特性などを知っている。
	②計測の仕方や審判法，競技規則を詳しく説明できる。	②計測の仕方や審判法，競技規則を理解している。	②計測の仕方や審判法，競技規則を部分的に知っている。
	③競技会をスムーズに運営するための方法を熟知している。	③競技会の企画・運営方法について，具体例を挙げている。	③競技会の企画・運営方法を部分的に知っている。

4　評価規準の評価観点例「陸上競技　競走（短距離走）」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に熱意と高い意欲が感じられる。	①ア楽しそうに練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。	①ア教師や仲間に促されて，楽しく練習しようとしている。
	②ア自ら進んで仲間にアドバイスをしている。 イ仲間と協力し，励まし合いながら意欲的に計測や練習をしている。	②ア仲間の動きを見て，アドバイスをしている。 イ仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	②ア教師や仲間に促されて，練習や記録の計測をしようとしている。
	③ア自己の記録を客観的に受け入れ，仲間を尊重している。	③ア記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	③ア教師や仲間に促されて，記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
	④ア自分や仲間の体調に細心の注意を払っている。 イ用具に不具合がないか確かめたり，走り出す前に声をかけるなど，安全に対する配慮がしっかりできている。	④ア自分や仲間の体調に気を遣っている。 イ走路やスターティングブロックなどの安全に気を配っている。	④ア教師や仲間に促されて，安全に気を配っている。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力をさらに高めることを念頭に置いて，目標記録を設定している。	①ア自分にあった目標記録や課題を設定している。	①ア教師や仲間に促されて，目標記録や課題を設定している。
	②ア自己の課題を解決するための効果的な練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するために資料を活用するなど，正しい練習方法を選択することができる。	②ア自己の課題を見付けて，練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するための練習方法を選択することができる。	②ア教師や仲間の支援を受けて，練習方法を選択することができる。
	③ア練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合った上で，客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えながら，見通しを立てて取り組んでいる。	③ア練習の成果や課題の達成状況を自ら客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えている。	③ア教師や仲間の助言を受けて，練習方法に修正を加えている。
Ⅲ運動の技能	①ア安定した基本姿勢がとれる。 イ腰を高く保ち，しっかり地面を押して走ることができる。	①ア基本姿勢を意識できる。 イしっかり地面を押して走ることができる。	①ア基本姿勢が不安定である。
	②ア加速やスピード維持のための理想的なピッチとストライドの組み合わせを身に付けている。	②ア自己の能力に適したピッチとストライドの組み合わせを身に付けている。	②ア走るたびにピッチとストライドの組み合わせにばらつきがある。
	③ア加速がスムーズで最高速度を長く維持できる。 イスタートダッシュが反応よく力強くできる。	③ア低い姿勢からスムーズに加速している。 イスタートダッシュが力強くできる。	③アスタートからゴールまで走りきることができる。
Ⅳ知識・理解	①ア自分に合った練習方法を学習カードに詳しく書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を説明することができる。	①ア自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	①ア技能ポイントや運動の特性を，仲間の助言を受けながらまとめている。
	②ア正しい計測方法を説明することができる。 イ小テストを行い，競技規則を熟知しているか確認する。	②ア正しい計測方法で記録を計っている。 イ小テストを行い，競技規則の理解状況を確認する。	②ア正しい計測方法を仲間に教えてもらいながら記録を計測している。
	③ア競技会をスムーズに運営するために，詳細な企画・立案ができる。	③ア競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	③ア教師や仲間の助言を受けて，何とか競技会の企画・運営ができる。

５　指導と評価の計画例「陸上競技　競走（短距離走）」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1)　短距離走の特性や学習の仕方を理解する。 (2)　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定する。 (3)　学習カードの活用の仕方を理解する。	Ⅰ－① 行動観察 Ⅱ－① 学習カード Ⅳ－① 学習カード	・短距離走の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・自己の目標記録や課題を設定しようとしている。 ・学習カードの活用方法を理解しようとしている。
なか1（4時間）	ねらい１（今ある能力で工夫） (1)　走りの基本動作を練習する。 (2)　仲間と互いにフォームチェックをしたりして，教え合う。 (3)　スタートや加速疾走の練習を行う。 (4)　安全に練習が行えるように，競技場所や器具の安全点検を行う。	Ⅱ－② 行動観察 Ⅲ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ－④ 行動観察	・自己の課題を見付けて，練習しようとしている。 ・短距離走の動きのポイントを身に付けようとしている ・互いに励まし合ったり，協力したりしようとしている。 ・スムーズなスタートや加速疾走ができるように練習しようとしている。 ・走路やスターティングブロックの安全に気を配ろうとしている。
なか2（4時間）	ねらい２（高まった能力に合せて） (1)　フォームを意識しながら，短い距離の全力疾走を行う。 (2)　現状を把握するために，タイムを計測する。 (3)　より速く走るために，新しい練習方法や課題を設定する。 (4)　短距離走のルール，審判法について，理解する。	Ⅲ－② 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－② 行動観察 学習カード Ⅰ－② 行動観察 Ⅱ－③ 行動観察 Ⅳ－① 学習カード Ⅳ－② 学習カード 小テスト	・自己の能力に応じた技能で，特定の短い距離を速く走ろうとしている。 ・自分の設定した目標記録に対する達成状況を把握しようとしている。 ・正しい計測方法を理解しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・自己の課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・短距離走のルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。
なか3（4時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　短距離走の合理的なフォームを身に付けるために，リラックスした状態で加速度走を行う。 (2)　競技会（記録会）を実施する。 (3)　競技会の企画・運営を行う。	Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習カード	・腰の高いリラックスしたフォームで徐々にスピードを上げて走ろうとしている。 ・自己の目標記録を達成するために，意欲的に記録会に参加しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2)　活動の進め方や工夫の仕方はどうだったか。 (3)　技能や記録はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　学習の準備や片付けをしていたか。 (2)　短距離走に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3)　健康・安全に留意して練習や計測をしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「陸上競技 競走(短距離走)」　　２年○組　○○番　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－①	3	より速く走るための技術の習得に関心が高い。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	5	協力して授業に参加し，お互いに競い合うことができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	自分や仲間の体調に気を遣っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	走路や器具などの安全に留意して活動できる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	9	自分にあった目標記録を設定している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	10	自分の課題を見付けて，練習方法を考えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	11	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	12	練習方法に修正を加えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	13	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	15	地面をしっかりとらえることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	16	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	17	力まずに，身体のブレがなく走ることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	18	正確なピッチとストライドで走ることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	スタートダッシュが力強くできる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅲ－全	20	最高記録を評価表で確認する。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	21	自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	22	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	23	正しい計測方法で記録を計っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	24	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	25	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　陸上競技 競走（短距離走）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度									Ⅱ思考・判断						Ⅲ運動の技能								Ⅳ知識・理解							
評価方法	行動観察									行動観察・学習ノート						行動観察						テスト		行動観察				テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－全		Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	Ⅰ小計	9	10	11	12	13	Ⅱ小計	14	15	16	17	18	19	20	Ⅲ小計	21	22	23	24	25	Ⅳ小計	合計得点	
観点別評価項目（具体例）	楽しそうに練習している姿がみられる。	練習をしている姿に意欲が感じられる。	より速く走るための技術の習得に関心が高い。	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	協力して授業に参加し、お互いに競い合うことができる。	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	自分や仲間の体調に気を遣っている。	走路や器具などの安全に留意して活動できる。		自分にあった目標記録を設定している。	自分の課題を見付け、練習方法を考えている。	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	練習方法に修正を加えている。	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。		腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。	地面をしっかりとらえることができる。	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。	力まずに、身体のブレイがなく走ることができる。	正確なピッチとスライドで走ることができる。	スタートダッシュが力強くできる。	最高記録を評価表で確認する。		自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	正しい計測方法で記録を計っている。	競技会をスムーズに運営するための企画・立案できる。	小テスト			
実施月／日																															
No. 組・番 氏　名	／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／			
1																															
2																															
3																															
4																															
5																															
6																															
7																															
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															

6　Ⅲ集団評価シート例(40人用)「陸上競技　競走(短距離走)」

体育授業　記録シート

年　組			実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
種目名(　　)				月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	評価項目番号 氏名																
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目「陸上競技　競走(短距離走)」

2年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。
		Ⅰ－①	3	より速く走るための技術の習得に関心が高い。
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。
		Ⅰ－②	5	協力して授業に参加し，お互いに競い合うことができる。
		Ⅰ－③	6	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	7	自分や仲間の体調に気を遣っている。
		Ⅰ－④	8	走路や器具などの安全に留意して活動できる。
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	9	自分にあった目標記録を設定している。
		Ⅱ－②	10	自分の課題を見付けて，練習方法を考えている。
		Ⅱ－②	11	課題を解決するための練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	12	練習方法に修正を加えている。
		Ⅱ－③	13	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。
		Ⅲ－①	15	地面をしっかりとらえることができる。
		Ⅲ－①	16	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。
		Ⅲ－②	17	力まずに，身体のブレがなく走ることができる。
		Ⅲ－③	18	正確なピッチとストライドで走ることができる。
		Ⅲ－③	19	スタートダッシュが力強くできる。
	テスト	Ⅲ－全	20	最高記録を評価表で確認する。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	21	自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。
		Ⅳ－①	22	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。
		Ⅳ－②	23	正しい計測方法で記録を計っている。
		Ⅳ－③	24	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。
	テスト	Ⅳ－全	25	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「C　72　陸上競技　競走（中・長距離走)」

1　単元目標

(1)　自己の能力に応じて中・長距離走の技能を高め，競技したり，記録を高めたりすることができるようにする。　**（技能の内容）**

(2)　互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3)　自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

2　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

陸上競技の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や競技に取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，体の調子や活動場所及び器具など，健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。

①　全力をつくして競争したり，記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
②　練習や競技で，よりよい記録がでるように，互いに励まし合ったり，協力をしたりしようとする。
③　自分や仲間の勝敗や記録の結果を受け入れようとする。
④　体の調子を確かめ合ったり，練習や競技場所及び器具の安全を確かめたりするなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や競技の仕方を工夫している。

①　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定している。
②　課題解決に必要な，合理的な練習や競技の方法を選んだり，見付けたりしている。
③　課題の達成状況をとらえ，練習や競技の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

中・長距離走の種目の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，競技をしたり記録を高めたりすることができる。

①　自分の能力に応じた技能で，特定の長い距離をより速く走ったりすることができる。
②　中・長距離走の特徴的な動きを身に付け，競技したり記録を高めたりすることができる。
③　中・長距離走に必要なフォームの習得やペース配分ができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

中・長距離走の特性や技術の構造，合理的な練習方法，正しい競技方法，競技規則や審判法及び競技会の企画や運営の方法を理解し，知識を身に付けている。

①　中・長距離走の特性や技術の構造について，言ったり，書き出したりして，自己の課題解決のための練習方法や学習の進め方について，具体例を挙げている。
②　中・長距離走のルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。
③　競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「陸上競技　競走（中・長距離走）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①陸上競技の特性に強い興味や関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んで陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①陸上競技の特性に興味，関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
	②互いの動きを評価し，自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習に取り組もうとする。	②互いの動きを評価し，気付いた点を指摘し合いながら，記録の計測や練習に取り組もうとする。	②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習に取り組もうとする。
	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，結果を客観的に受け入れたり，仲間を尊重しようとする。	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。	③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。
	④自分や仲間の体調を考慮したり，常に練習場所や用具・器具などの安全に細心の注意を払うなど，健康・安全に留意して運動を行おうとする。	④体の調子を確かめ合ったり，練習場所や用具・器具などの安全を確かめながら運動を行おうとする。	④教師や仲間の助言を受けて，練習場所や用具・器具などの安全を確かめて運動を行おうとする。
Ⅱ思考・判断	①自己の能力を向上させるための課題を明らかにした上で，目標記録を設定している。	①自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。
	②課題解決のための効果的な練習方法について，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら選んだりしている。	②課題解決のために効果的な練習方法を選択したり，技能ポイントを意識して練習方法を選んだりしている。	②教師や仲間の支援を得て，課題解決のための練習方法を選んだりしている。
	③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	③練習の成果や課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けて，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①中・長距離走の特性に応じた高度な技能で練習や競技をすることができる。	①中・長距離走の特性に応じた技能で練習や競技をすることができる。	①教師や仲間の支援を受けて，練習や競技をすることができる。
	②自己の能力に適したリズミカルでリラックスした合理的なフォームを身に付けている。	②自己の能力に適したフォームを身に付けている。	②走るフォームが不安定である。
	③自己の能力に適した効率的なペースを身に付けており，競走距離全体にわたって力を配分し，力を余すことなく発揮して，練習や競技をすることができる。	③自己の能力に適した効率的なペースを身に付けており，そのペースを守って練習や競技をすることができる。	③教師や仲間の助言を受けて，自己のペースを設定し，そのペースで練習や競技をすることができる。
Ⅳ知識・理解	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を詳しく説明できる。	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を言ったり書き出したりしている。	①練習方法や技能ポイント，運動の特性などを知っている。
	②計測の仕方や審判法，競技規則を詳しく説明できる。	②計測の仕方や審判法，競技規則を理解している。	②計測の仕方や審判法，競技規則を部分的に知っている。
	③競技会をスムーズに運営するための方法を熟知している。	③競技会の企画・運営方法について，具体例を挙げている。	③競技会の企画・運営方法を部分的に知っている。

4　評価規準の評価観点例「陸上競技　競走（中・長距離走）」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に熱意と高い意欲が感じられる。	①ア楽しそうに練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。	①ア教師や仲間に促されて，楽しく練習しようとしている。
	②ア自ら進んで仲間にアドバイスをしている。 イ仲間と協力し，励まし合いながら意欲的に計測や練習をしている。	②ア仲間の動きを見て，アドバイスをしている。 イ仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	②ア教師や仲間に促されて，練習や記録の計測をしようとしている。
	③ア自己の記録を客観的に受け入れ，仲間を尊重している。	③ア記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	③ア教師や仲間に促されて，記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
	④ア自分や仲間の体調に細心の注意を払っている。 イ用具に不具合がないか確かめたり，走り出す前に声をかけるなど，安全に対する配慮がしっかりできている。	④ア自分や仲間の体調に気を遣っている。 イ走路や周囲などの安全に気を配っている。	④ア教師や仲間に促されて，安全に気を配っている。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力をさらに高めることを念頭に置いて，目標記録を設定している。	①ア自分にあった目標記録や課題を設定している。	①ア教師や仲間に促されて，目標記録や課題を設定している。
	②ア自己の課題を解決するための効果的な練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するために資料を活用するなど，正しい練習方法を選択することができる。	②ア自己の課題を見付けて，練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するための練習方法を選択することができる。	②ア教師や仲間の支援を受けて，練習方法を選択することができる。
	③ア練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合った上で，客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えながら，見通しを立てて取り組んでいる。	③ア練習の成果や課題の達成状況を自ら客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えている。	③ア教師や仲間の助言を受けて，練習方法に修正を加えている。
Ⅲ運動の技能	①ア安定した基本姿勢がとれる。 イ腰を高く保ち，スムーズな重心移動ができる。	①ア基本姿勢を意識できる。 イスムーズな重心移動ができる。	①ア基本姿勢が不安定である。 イ上下動を伴った重心移動である。
	②アリズムよく足を前に運び，軽快に走ることができる。	②ア足の運びがスムーズにできる。	②ア足の運びが不安定である。
	③ア安定した速いペースで一定の距離を走りきることができる。 イ持てる力を余すことなく発揮して走ることができる。	③ア安定したペースで一定の距離を走りきることができる。 イ粘り強い走りができる。	③ア一定の距離を走る際，ペースが安定しない。
Ⅳ知識・理解	①ア自分に合った練習方法を学習カードに詳しく書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を説明することができる。	①ア自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	①ア技能ポイントや運動の特性を，仲間の助言を受けながらまとめている。
	②ア正しい計測方法を説明することができる。 イ小テストを行い，競技規則を熟知しているか確認する。	②ア正しい計測方法で記録を計っている。 イ小テストを行い，競技規則の理解状況を確認する。	②ア正しい計測方法を仲間に教えてもらいながら記録を計測している。
	③ア競技会をスムーズに運営するために，詳細な企画・立案ができる。	③ア競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	③ア教師や仲間の助言を受けて，何とか競技会の企画・運営ができる。

５　指導と評価の計画例「陸上競技　競走（中・長距離走)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1)　中・長距離走の特性や学習の仕方を理解する。 (2)　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定する。 (3)　学習カードの活用の仕方を理解する。	Ⅰ－① 行動観察 Ⅱ－① 学習カード Ⅳ－① 学習カード	・中・長距離走の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・自己の目標記録や課題を設定しようとしている。 ・学習カードの活用方法を理解しようとしている。
なか１（4時間）	ねらい１（今ある能力で工夫） (1)　走りの基本動作を練習する。 (2)　仲間と互いにフォームチェックをしたりして，教え合う。 (3)　ジョギングやペース走の練習を行う。 (4)　安全に練習が行えるように，競技場所の安全点検を行う。	Ⅱ－② 行動観察 Ⅲ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ－④ 行動観察	・自己の課題を見付けて，練習しようとしている。 ・中・長距離走の動きのポイントを身に付けようとしている ・互いに励まし合ったり，協力したりしようとしている。 ・リラックスしてジョギングやペース走の練習をしようとしている。 ・走路や他の走者の安全に気を配ろうとしている。
なか２（4時間）	ねらい２（高まった能力に合せて） (1)　フォームを意識しながら，インターバル走を行う。 (2)　現状を把握するために，タイムを計測する。 (3)　より速く走るために，新しい練習方法や課題を設定する。 (4)　中・長距離走のルール，審判法について，理解する。	Ⅲ－② 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－② 行動観察 学習カード Ⅰ－② 行動観察 Ⅱ－③ 行動観察 Ⅳ－① 学習カード Ⅳ－② 学習カード 小テスト	・自己の能力に応じた技能で，特定の長い距離を速く走ろうとしている。 ・自分の設定した目標記録に対する達成状況を把握しようとしている。 ・正しい計測方法を理解しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・自己の課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・中・長距離走のルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。
なか３（4時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　中・長距離走の合理的なフォームを身に付けるために，リラックスした状態でペース走を行う。 (2)　競技会（記録会）を実施する。 (3)　競技会の企画・運営を行う。	Ⅲ－② 行動観察 Ⅰ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習カード	・腰の高いリラックスしたフォームでスピードを維持して走ろうとしている。 ・自己の目標記録を達成するために，意欲的に記録会に参加しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2)　活動の進め方や工夫の仕方はどうだったか。 (3)　技能や記録はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　学習の準備や片付けをしていたか。 (2)　中・長距離走に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3)　健康・安全に留意して練習や計測をしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「陸上競技 競走(中・長距離走)」　　２年○組　○○番　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－①	3	より長く速く走るための技術の習得に関心が高い。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	5	協力して授業に参加し，お互いに競い合うことができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	自分や仲間の体調に気を遣っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	走路や周囲の安全に留意して活動できる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	9	自分にあった目標記録を設定している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	10	自分の課題を見付けて，練習方法を考えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	11	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	12	練習方法に修正を加えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	13	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	15	地面をしっかりとらえることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	16	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	17	力まずに，身体のブレがなく走ることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	18	正確なピッチとストライドで走ることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	安定したペースで走ることができる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅲ－全	20	最高記録を評価表で確認する。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	21	自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	22	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	23	正しい計測方法で記録を計っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	24	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	25	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　陸上競技 競走（中・長距離走）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間,　欠席時間数（　　）時間,　見学時間（　　）時間

評価観点			Ⅰ関心・意欲・態度									Ⅱ思考・判断						Ⅲ運動の技能								Ⅳ知識・理解						合計得点
評価方法			行動観察									行動観察・学習ノート						行動観察						テスト		行動観察				テスト		
具体の規準			Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－全		Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全		
項目番号			1	2	3	4	5	6	7	8	Ⅰ小計	9	10	11	12	13	Ⅱ小計	14	15	16	17	18	19	20	Ⅲ小計	21	22	23	24	25	Ⅳ小計	
観点別評価項目（具体例）			楽しそうに練習している姿がみられる。	練習をしている姿に意欲が感じられる。	より長く速く走るための技術の習得に関心が高い。	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	協力して授業に参加し、お互いに競い合うことができる。	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	自分や仲間の体調に気を遣っている。	走路や器具などの安全に留意して活動できる。		自分にあった目標記録を設定している。	自分の課題を見付けて、練習方法を考えている。	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	練習方法に修正を加えている。	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。		腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。	地面をしっかりとらえることができる。	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。	力まずに、身体のプレイがなく走ることができる。	正確なピッチとスライドで走ることができる。	安定したペースで走ることができる。	最高記録を評価表で確認する。		自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	正しい計測方法で記録を計っている。	競技会をスムーズに運営するための企画・立案できる。	小テスト		
実施月／日																															
No.	組・番	氏　名	／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／		
1																															
2																															
3																															
4																															
5																															
6																															
7																															
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															

6 Ⅲ集団評価シート例（40人用）「陸上競技　競走（中・長距離走）」

体育授業　記録シート

年　組　　種目名（　　）　　実施月日

No.	組・番	氏名＼評価項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	

観点別評価項目「陸上競技　競走(中・長距離走)」　２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。
		Ⅰ－①	3	より長く速く走るための技術の習得に関心が高い。
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。
		Ⅰ－②	5	協力して授業に参加し，お互いに競い合うことができる。
		Ⅰ－③	6	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	7	自分や仲間の体調に気を遣っている。
		Ⅰ－④	8	走路や周囲の安全に留意して活動できる。
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	9	自分にあった目標記録を設定している。
		Ⅱ－②	10	自分の課題を見付けて，練習方法を考えている。
		Ⅱ－②	11	課題を解決するための練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	12	練習方法に修正を加えている。
		Ⅱ－③	13	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。
		Ⅲ－①	15	地面をしっかりとらえることができる。
		Ⅲ－①	16	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。
		Ⅲ－②	17	力まずに，身体のブレがなく走ることができる。
		Ⅲ－③	18	正確なピッチとストライドで走ることができる。
		Ⅲ－③	19	安定したペースで走ることができる。
	テスト	Ⅲ－全	20	最高記録を評価表で確認する。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	21	自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。
		Ⅳ－①	22	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。
		Ⅳ－②	23	正しい計測方法で記録を計っている。
		Ⅳ－③	24	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。
	テスト	Ⅳ－全	25	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｃ　ｱ3　陸上競技　競走（ハードル走）」

１　単元目標

(1)　自己の能力に応じてハードル走の技能を高め，競技したり，記録を高めたりすることができるようにする。　**（技能の内容）**

(2)　互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3)　自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

陸上競技の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や競技に取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，体の調子や活動場所及び器具など，健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。

①　全力をつくして競争したり，記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。

②　練習や競技で，よりよい記録がでるように，互いに励まし合ったり，協力をしたりしようとする。

③　自分や仲間の勝敗や記録の結果を受け入れようとする。

④　体の調子を確かめ合ったり，練習や競技場所及び器具の安全を確かめたりするなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や競技の仕方を工夫している。

①　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定している。

②　課題解決に必要な，合理的な練習や競技の方法を選んだり，見付けたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ，練習や競技の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

ハードル走の種目の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，競技をしたり記録を高めたりすることができる。

①　自分の能力に応じた技能で，特定の短い距離を障害を越えながら，より速く走ったりすることができる。

②　ハードル走の特徴的な動きを身に付け，競技したり記録を高めたりすることができる。

③　ハードル走に必要なハードリングやインターバルの走りができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

ハードル走の特性や技術の構造，合理的な練習方法，正しい競技方法，競技規則や審判法及び競技会の企画や運営の方法を理解し，知識を身に付けている。

①　ハードル走の特性や技術の構造について，言ったり，書き出したりして，自己の課題解決のための練習方法や学習の進め方について，具体例を挙げている。

②　ハードル走のルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

③　競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「陸上競技　競走（ハードル走）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①陸上競技の特性に強い興味や関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んで陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①陸上競技の特性に興味，関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
	②互いの動きを評価し，自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習に取り組もうとする。	②互いの動きを評価し，気付いた点を指摘し合いながら，記録の計測や練習に取り組もうとする。	②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習に取り組もうとする。
	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，結果を客観的に受け入れたり，仲間を尊重しようとする。	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。	③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。
	④自分や仲間の体調を考慮したり，常に練習場所や用具・器具などの安全に細心の注意を払うなど，健康・安全に留意して運動を行おうとする。	④体の調子を確かめ合ったり，練習場所や用具・器具などの安全を確かめながら運動を行おうとする。	④教師や仲間の助言を受けて，練習場所や用具・器具などの安全を確かめて運動を行おうとする。
Ⅱ思考・判断	①自己の能力を向上させるための課題を明らかにした上で，目標記録を設定している。	①自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。
	②課題解決のための効果的な練習方法について，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら選んだりしている。	②課題解決のために効果的な練習方法を選択したり，技能ポイントを意識して練習方法を選んだりしている。	②教師や仲間の支援を得て，課題解決のための練習方法を選んだりしている。
	③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	③練習の成果や課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けて，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①ハードル走の特性に応じた高度な技能で練習や競技をすることができる。	①ハードル走の特性に応じた技能で練習や競技をすることができる。	①教師や仲間の支援を受けて，練習や競技をすることができる。
	②ハードル間の疾走能力に優れており，３歩でリズミカルに走ることができる。	②自己の能力に応じた歩数でハードル間をスピードを落とさず走ることができる。	②自己の能力に応じた歩数でハードル間を走ることができる。
	③第１ハードルへのアプローチがスムーズで，スピードを落とすことなく跳び越すことができる。	③第１ハードルをスムーズに跳び越すことができる。	③第１ハードルまでのアプローチが不安定ながらも跳び越すことができる。
Ⅳ知識・理解	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を詳しく説明できる。	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を言ったり書き出したりしている。	①練習方法や技能ポイント，運動の特性などを知っている。
	②計測の仕方や審判法，競技規則を詳しく説明できる。	②計測の仕方や審判法，競技規則を理解している。	②計測の仕方や審判法，競技規則を部分的に知っている。
	③競技会をスムーズに運営するための方法を熟知している。	③競技会の企画・運営方法について，具体例を挙げている。	③競技会の企画・運営方法を部分的に知っている。

４　評価規準の評価観点例「陸上競技　競走（ハードル走）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に熱意と高い意欲が感じられる。	①ア楽しそうに練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。	①ア教師や仲間に促されて，楽しく練習しようとしている。
	②ア自ら進んで仲間にアドバイスをしている。 イ仲間と協力し，励まし合いながら意欲的に計測や練習をしている。	②ア仲間の動きを見て，アドバイスをしている。 イ仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	②ア教師や仲間に促されて，練習や記録の計測をしようとしている。
	③ア自己の記録を客観的に受け入れ，仲間を尊重している。	③ア記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	③ア教師や仲間に促されて，記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
	④ア自分や仲間の体調に細心の注意を払っている。 イ用具に不具合がないか確かめたり，走り出す前に声をかけるなど，安全に対する配慮がしっかりできている。	④ア自分や仲間の体調に気を遣っている。 イ走路やハードル，スターティングブロックなどの安全に気を配っている。	④ア教師や仲間に促されて，安全に気を配っている。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力をさらに高めることを念頭に置いて，目標記録を設定している。	①ア自分にあった目標記録や課題を設定している。	①ア教師や仲間に促されて，目標記録や課題を設定している。
	②ア自己の課題を解決するための効果的な練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するために資料を活用するなど，正しい練習方法を選択することができる。	②ア自己の課題を見付けて，練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するための練習方法を選択することができる。	②ア教師や仲間の支援を受けて，練習方法を選択することができる。
	③ア練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合った上で，客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えながら，見通しを立てて取り組んでいる。	③ア練習の成果や課題の達成状況を自ら客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えている。	③ア教師や仲間の助言を受けて，練習方法に修正を加えている。
Ⅲ運動の技能	①アハードルに対して遠くから勢いよくアプローチできる。 イリード足，抜き足の動きが正確で，切れのある動きができる。	①アハードルに対して遠くからアプローチできる。 イリード足，抜き足の動きが正確にできる。	①アハードルの近くから高くアプローチする。 イリード足，抜き足の動きが不安定である。
	②アハードル間をテンポよく３歩で走りきることができる。	②アハードル間をテンポよく走りきることができる。	②アハードル間の走りにばらつきがある。
	③アスタートから第１ハードルまでの走りが力強く安定している。	③アスタートから第１ハードルまでの走りが安定している。	③アスタートから第１ハードルまでの走りが不安定である。
Ⅳ知識・理解	①ア自分に合った練習方法を学習カードに詳しく書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を説明することができる。	①ア自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	①ア技能ポイントや運動の特性を，仲間の助言を受けながらまとめている。
	②ア正しい計測方法を説明することができる。 イ小テストを行い，競技規則を熟知しているか確認する。	②ア正しい計測方法で記録を計っている。 イ小テストを行い，競技規則の理解状況を確認する。	②ア正しい計測方法を仲間に教えてもらいながら記録を計測している。
	③ア競技会をスムーズに運営するために，詳細な企画・立案ができる。	③ア競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	③ア教師や仲間の助言を受けて，何とか競技会の企画・運営ができる。

５　指導と評価の計画例「陸上競技　競走（ハードル走)」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1)　ハードル走の特性や学習の仕方を理解する。 (2)　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定する。 (3)　学習カードの活用の仕方を理解する。	Ⅰ－① 行動観察 Ⅱ－① 学習カード Ⅳ－① 学習カード	・ハードル走の特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・自己の目標記録や課題を設定しようとしている。 ・学習カードの活用方法を理解しようとしている。
なか1（4時間）	ねらい１（今ある能力で工夫） (1)　ハードリングの基本動作を練習する。 (2)　仲間と互いにフォームチェックをしたりして，教え合う。 (3)　自己の能力に適したインターバルを見付ける。 (4)　安全に練習が行えるように，競技場所や器具の安全点検を行う。	Ⅱ－② 行動観察 Ⅲ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－② 行動観察 Ⅰ－④ 行動観察	・自己の課題を見付けて，練習しようとしている。 ・ハードル走の動きのポイントを身に付けようとしている。 ・互いに励まし合ったり，協力したりしようとしている。 ・スムーズに走ることができるインターバルを見付けようとしている。 ・走路やハードル，スターティングブロックの安全に気を配ろうとしている。
なか2（4時間）	ねらい２（高まった能力に合せて） (1)　フォームを意識しながら，５台のハードルを並べてハードル走を行う。 (2)　現状を把握するために，タイムを計測する。 (3)　より速く走るために，新しい練習方法や課題を設定する。 (4)　ハードル走のルール，審判法について，理解する。	Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－② 行動観察 学習カード Ⅰ－② 行動観察 Ⅱ－③ 行動観察 Ⅳ－① 学習カード Ⅳ－② 学習カード 小テスト	・自己の能力に応じた技能で，より速く走ろうとしている。 ・自分の設定した目標記録に対する達成状況を把握しようとしている。 ・正しい計測方法を理解しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・自己の課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・ハードル走のルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。
なか3（4時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　ハードル走の合理的なフォームを身に付けるために，リラックスした状態でスピードに乗ったハードル走を行う。 (2)　競技会（記録会）を実施する。 (3)　競技会の企画・運営を行う。	Ⅲ－① Ⅲ－② 行動観察 Ⅰ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習カード	・腰の高いリラックスしたフォームでスピードを上げて走ろうとしている。 ・自己の目標記録を達成するために，意欲的に記録会に参加しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとする。 ・競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2)　活動の進め方や工夫の仕方はどうだったか。 (3)　技能や記録はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　学習の準備や片付けをしていたか。 (2)　ハードル走に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3)　健康・安全に留意して練習や計測をしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「陸上競技 競走(ハードル走)」　　２年○組　○○番　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－①	3	より速く走るための技術の習得に関心が高い。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	5	協力して授業に参加し，お互いに競い合うことができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	自分や仲間の体調に気を遣っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	走路や器具などの安全に留意して活動できる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	9	自分にあった目標記録を設定している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	10	自分の課題を見付けて，練習方法を考えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	11	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	12	練習方法に修正を加えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	13	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	15	地面をしっかりとらえることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	16	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	17	力まずに，身体のブレがなく走ることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	ハードルに対して，思い切ったアプローチをすることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	リード足，抜き足の動きがスムーズにできる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅲ－全	20	最高記録を評価表で確認する。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	21	自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	22	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	23	正しい計測方法で記録を計っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	24	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	25	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　陸上競技 競走（ハードル走）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度										Ⅱ思考・判断						Ⅲ運動の技能								Ⅳ知識・理解							合計得点
評価方法	行動観察										行動観察・学習ノート						行動観察						テスト		行動観察				テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④			Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－全		Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	Ⅰ小計		9	10	11	12	13	Ⅱ小計	14	15	16	17	18	19	20	Ⅲ小計	21	22	23	24	25	Ⅳ小計		
観点別評価項目（具体例）	楽しそうに練習している姿がみられる。	練習をしている姿に意欲が感じられる。	より速く走るための技術の習得に関心が高い。	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	協力して授業に参加し、お互いに競い合うことができる。	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	自分や仲間の体調に気を遣っている。	走路や器具などの安全に留意して活動できる。			自分にあった目標記録を設定している。	自分の課題を見付けて、練習方法を考えている。	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	練習方法に修正を加えている。	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。		腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。	地面をしっかりとらえることができる。	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。	力まずに、身体のプレイがなく走ることができる。	ハードルに対して、思い切ったアプローチをすることができる。	リード足、抜き足の動きがスムーズにできる。	最高記録を評価表で確認する。		自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	正しい計測方法で記録を計っている。	競技会をスムーズに運営するための企画・立案できる。	小テスト			
実施月／日	／	／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／			
No. 組・番 氏　名																																
1																																
2																																
3																																
4																																
5																																
6																																
7																																
8																																
9																																
10																																
11																																
12																																
13																																
14																																
15																																
16																																
17																																
18																																
19																																
20																																

6　Ⅲ集団評価シート例（40人用）「陸上競技　競走（ハードル走）」

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
No. 組・番	評価項目番号 / 氏名	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「陸上競技　競走（ハードル走）」　２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。
		Ⅰ－①	3	より速く走るための技術の習得に関心が高い。
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。
		Ⅰ－②	5	協力して授業に参加し，お互いに競い合うことができる。
		Ⅰ－③	6	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	7	自分や仲間の体調に気を遣っている。
		Ⅰ－④	8	走路や器具の安全に留意して活動できる。
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	9	自分にあった目標記録を設定している。
		Ⅱ－②	10	自分の課題を見付けて，練習方法を考えている。
		Ⅱ－②	11	課題を解決するための練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	12	練習方法に修正を加えている。
		Ⅱ－③	13	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。
		Ⅲ－①	15	地面をしっかりとらえることができる。
		Ⅲ－①	16	接地した足にスムーズに上体を乗せることができる。
		Ⅲ－②	17	力まずに，身体のブレがなく走ることができる。
		Ⅲ－③	18	ハードルに対して、思い切ったアプローチをすることができる。
		Ⅲ－③	19	リード足、抜き足の動きがスムーズにできる。
	テスト	Ⅲ－全	20	最高記録を評価表で確認する。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	21	自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。
		Ⅳ－①	22	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。
		Ⅳ－②	23	正しい計測方法で記録を計っている。
		Ⅳ－③	24	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。
	テスト	Ⅳ－全	25	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｃ　イ　陸上競技　跳躍（走り幅跳び)」

１　単元目標

(1)　自己の能力に応じて走り幅跳びの技能を高め，競技したり，記録を高めたりすることができるようにする。　**（技能の内容）**

(2)　互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにするまた，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3)　自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

陸上競技の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や競技に取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，体の調子や活動場所及び器具など，健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。

①　全力をつくして競争したり，記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
②　練習や競技で，よりよい記録がでるように，互いに励まし合ったり，協力をしたりしようとする。
③　自分や仲間の勝敗や記録の結果を受け入れようとする。
④　体の調子を確かめ合ったり，練習や競技場所及び器具の安全を確かめたりするなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や競技の仕方を工夫している。

①　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定している。
②　課題解決に必要な，合理的な練習や競技の方法を選んだり，見付けたりしている。
③　課題の達成状況をとらえ，練習や競技の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

走り幅跳びの種目の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，競技をしたり記録を高めたりすることができる。

①　自分の能力に応じた技能で，跳躍することができる。
②　走り幅跳びの特徴的な動きを身に付け，競技したり記録を高めたりすることができる。
③　走り幅跳びに必要な助走や踏み切りができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

走り幅跳びの特性や技術の構造，合理的な練習方法，正しい競技方法，競技規則や審判法及び競技会の企画や運営の方法を理解し，知識を身に付けている。

①　走り幅跳びの特性や技術の構造について，言ったり，書き出したりして，自己の課題解決のための練習方法や学習の進め方について，具体例を挙げている。
②　走り幅跳びのルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。
③　競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「陸上競技　跳躍（走り幅跳び）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①陸上競技の特性に強い興味や関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んで陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①陸上競技の特性に興味，関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
	②互いの動きを評価し，自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習に取り組もうとする。	②互いの動きを評価し，気付いた点を指摘し合いながら，記録の計測や練習に取り組もうとする。	②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習に取り組もうとする。
	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，結果を客観的に受け入れたり，仲間を尊重しようとする。	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。	③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。
	④自分や仲間の体調を考慮したり，常に練習場所や用具・器具などの安全に細心の注意を払うなど，健康・安全に留意して運動を行おうとする。	④体の調子を確かめ合ったり，練習場所や用具・器具などの安全を確かめながら運動を行おうとする。	④教師や仲間の助言を受けて，練習場所や用具・器具などの安全を確かめて運動を行おうとする。
Ⅱ思考・判断	①自己の能力を向上させるための課題を明らかにした上で，目標記録を設定している。	①自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。
	②課題解決のための効果的な練習方法について，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら選んだりしている。	②課題解決のために効果的な練習方法を選択したり，技能ポイントを意識して練習方法を選んだりしている。	②教師や仲間の支援を得て，課題解決のための練習方法を選んだりしている。
	③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	③練習の成果や課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けて，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①走り幅跳びの特性に応じた高度な技能で練習や競技をすることができる。	①走り幅跳びの特性に応じた技能で練習や競技をすることができる。	①教師や仲間の支援を受けて，練習や競技をすることができる。
	②自己の能力に適した合理的な助走と跳躍方法を見付け，フォームを意識して練習や競技をすることができる。	②自己の能力に適した助走と跳躍方法を見付け，練習や競技をすることができる。	②教師や仲間の助言を受けて，自己の能力に適した助走と跳躍方法ができる。
	③踏み切り技術に優れ，スムーズな流れで助走し，強い踏み切りで跳躍することができる。	③助走から踏み切りまでの一連の動作をスムーズに行うことができる。	③助走から踏み切りまでの一連の動作を不安定ながらも行うことができる。
Ⅳ知識・理解	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を詳しく説明できる。	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を言ったり書き出したりしている。	①練習方法や技能ポイント，運動の特性などを知っている。
	②計測の仕方や審判法，競技規則を詳しく説明できる。	②計測の仕方や審判法，競技規則を理解している。	②計測の仕方や審判法，競技規則を部分的に知っている。
	③競技会をスムーズに運営するための方法を熟知している。	③競技会の企画・運営方法について，具体例を挙げている。	③競技会の企画・運営方法を部分的に知っている。

４　評価規準の評価観点例「陸上競技　跳躍（走り幅跳び）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に熱意と高い意欲が感じられる。 ②ア自ら進んで仲間にアドバイスをしている。 イ仲間と協力し，励まし合いながら意欲的に計測や練習をしている。 ③ア自己の記録を客観的に受け入れ，仲間を尊重している。 ④ア自分や仲間の体調に細心の注意を払っている。 イ用具に不具合がないか確かめたり，助走を始める前に声をけるなど，安全に対する配慮がしっかりできている。	①ア 楽しそうに練習している姿がみられる。 イ 練習をしている姿に意欲が感じられる。 ②ア仲間の動きを見て，アドバイスをしている。 イ仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。 ③ア記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。 ④ア自分や仲間の体調に気を遣っている。 イ助走路や踏み切り板などの安全に気を配っている。	①ア教師や仲間に促されて，楽しく練習しようとしている。 ②ア教師や仲間に促されて，練習や記録の計測をしようとしている。 ③ア**教師や仲間に促されて**，記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。 ④ア**教師**や仲間に促されて，安全に気を配っている。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力をさらに高めることを念頭に置いて，目標記録を設定している。 ②ア自己の課題を解決するための効果的な練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するために資料を活用するなど，正しい練習方法を選択することができる。 ③ア練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合った上で，客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組んでいる。	①ア自分にあった目標記録や課題を設定している。 ②ア自己の課題を見付けて，練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するための練習方法を選択することができる。 ③ア練習の成果や課題の達成状況を自ら客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えている。	①ア教師や仲間に促されて，目標記録や課題を設定している。 ②ア教師や仲間の支援を受けて，練習方法を選択することができる。 ③ア教師や仲間の助言を受けて，練習方法に修正を加えている。
Ⅲ運動の技能	①ア安定した基本姿勢がとれる。 イ腰を高く保ち，しっかり地面を押して助走することができる。 ②ア**踏み切りの力を活かした**スムーズで理想的な空中姿勢ができる。 ③ア**十分**加速しスピードにのった助走から理想的な踏み切りをすることができる。	①ア基本姿勢を意識できる。 イしっかり地面を押して助走することができる。 ②ア**自己の能力に適した**空中姿勢ができる。 ③ア自己の能力に適したスピードでの踏み切りをすることができる。	①ア基本姿勢が不安定である。 イ助走にばらつきがあり，不安定である。 ②ア**空中姿勢が不安定である**。 ③ア踏み切りに力強さが不足している。
Ⅳ知識・理解	①ア自分に合った練習方法を学習カードに詳しく書き出している。 イ 技能ポイントや運動の特性を説明することができる。 ②ア正しい計測方法を説明することができる。 イ小テストを行い，競技規則を熟知しているか確認する。 ③ア 競技会をスムーズに運営するために，詳細な企画・立案ができる。	①ア自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。 ②ア正しい計測方法で記録を計っている。 イ小テストを行い，競技規則の理解状況を確認する。 ③ア競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	①ア技能ポイントや運動の特性を仲間の助言を受けながらまとめている。 ②ア正しい計測方法を仲間に教えてもらいながら記録を計測している。 ③ア教師や仲間の助言を受けて，何とか競技会の企画・運営ができる。

５　指導と評価の計画例「陸上競技　跳躍（走り幅跳び）」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1)　走り幅跳びの特性や学習の仕方を理解する。 (2)　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定する。 (3)　学習カードの活用の仕方を理解する。	Ⅰ－① 行動観察 Ⅱ－① 学習カード Ⅳ－① 学習カード	・走り幅跳びの特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・自己の目標記録や課題を設定しようとしている。 ・学習カードの活用方法を理解しようとしている。
なか1（4時間）	ねらい１（今ある能力で工夫） (1)　走り幅跳びの基本動作を練習する。 (2)　仲間と互いにフォームチェックをしたりして，教え合う。 (3)　助走や踏み切りの練習を行う。 (4)　安全に練習が行えるように，競技場所や器具の安全点検を行う。	Ⅱ－② 行動観察 Ⅲ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ－④ 行動観察	・自己の課題を見付けて，練習しようとしている。 ・走り幅跳びの動きのポイントを身に付けようとしている ・互いに励まし合ったり，協力したりしようとしている。 ・スムーズな助走や踏み切りができるように練習しようとしている。 ・走路や砂場の安全に気を配ろうとしている。
なか2（4時間）	ねらい２（高まった能力に合せて） (1)　フォームを意識しながら，助走から跳躍する。 (2)　現状を把握するために，記録を計測する。 (3)　より遠くに跳ぶために，新しい練習方法や課題を設定する。 (4)　走り幅跳びのルール，審判法について，理解する。	Ⅲ－② 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－② 行動観察 学習カード Ⅰ－② 行動観察 Ⅱ－③ 行動観察 Ⅳ－① 学習カード Ⅳ－② 学習カード 小テスト	・自己の能力に応じた技能で，より遠くに跳ぼうとしている。 ・自分の設定した目標記録に対する達成状況を把握しようとしている。 ・正しい計測方法を理解しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・自己の課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・走り幅跳びのルール，審判法について，　言ったり，書き出したりしている。
なか3（4時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　走り幅跳びの合理的なフォームを身に付けるために，リラックスした状態で跳躍する。 (2)　競技会（記録会）を実施する。 (3)　競技会の企画・運営を行う。	Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習カード	・リラックスしたフォームで徐々にスピードを上げて跳ぼうとしている。 ・自己の目標記録を達成するために，意欲的に記録会に参加しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2)　活動の進め方や工夫の仕方はどうだったか。 (3)　技能や記録はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　学習の準備や片付けをしていたか。 (2)　走り幅跳びに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3)　健康・安全に留意して練習や計測をしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「陸上競技 跳躍（走り幅跳び）」　　２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	仲間の動きを見て，アドバイスをしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	自分や仲間の体調に気を遣っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	助走路や踏み切り板などの安全に気を配っている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	8	自分にあった目標記録や課題を設定している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	自己の課題を見付けて，練習方法を考えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	10	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	11	練習方法に修正を加えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	12	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	13	腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	14	しっかり地面を押して，リズミカルに助走することができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	15	力強い踏み切りができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	16	スムーズな着地に結びつく空中姿勢がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	17	前方に両脚を振り出した着地動作ができる。	A	B	C			× 1	
	計測	Ⅲ－全	18	最高記録を評価表で確認する。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	19	自分に合った練習方法を学習ノートに書き出している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	20	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	21	正しい計測方法で記録を計っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　陸上競技 跳躍（走り幅跳び）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，欠席時間数（　　）時間，見学時間（　　）時間

評価観点			Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断						Ⅲ運動の技能								Ⅳ知識・理解							合計得点
評価方法			行動観察								行動観察・学習ノート						行動観察					計測			行動観察				テスト			
具体の規準			Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－全			Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号			1	2	3	4	5	6	7	Ⅰ小計	8	9	10	11	12	Ⅱ小計	13	14	15	16	17	18	Ⅲ小計		19	20	21	22	23	Ⅳ小計		
観点別評価項目（具体例）			楽しそうに練習している姿がみられる。	練習をしている姿に意欲が感じられる。	仲間の動きを見て、アドバイスをしている。	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	記録の測定や勝敗に対して公正な態度がとれる。	自分や仲間の体調に気を遣っている。	助走路や踏み切り板などの安全に気を配っている。		自分にあった目標記録や課題を設定している。	自己の課題を見付けて、練習方法を考えている。	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	練習方法に修正を加えている。	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。		腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。	しっかり地面を押して、リズミカルに助走することができる。	力強い踏み切りができる。	スムーズな着地に結びつく空中姿勢がとれる。	前方に両脚を振り出した着地動作ができる。	最高記録を評価表で確認する。			自分に合った練習方法を学習ノートに書き出している。	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	正しい計測方法で記録を計っている。	競技会をスムーズに運営するための企画・立案できる。	小テスト			
実施月／日			／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／			
No.	組・番	氏　名																														
1																																
2																																
3																																
4																																
5																																
6																																
7																																
8																																
9																																
10																																
11																																
12																																
13																																
14																																
15																																
16																																
17																																
18																																
19																																
20																																

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	評価項目番号 / 氏　名														
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「陸上競技　跳躍（走り幅跳び）」　２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。
		Ⅰ－②	3	仲間の動きを見て，アドバイスをしている。
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。
		Ⅰ－③	5	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	6	自分や仲間の体調に気を遣っている。
		Ⅰ－④	7	助走路や踏み切り板などの安全に気を配っている。
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	8	自分にあった目標記録や課題を設定している。
		Ⅱ－②	9	自己の課題を見付けて，練習方法を考えている。
		Ⅱ－②	10	課題を解決するための練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	11	練習方法に修正を加えている。
		Ⅱ－③	12	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	13	腰を高く保った基本姿勢を意識することができる。
		Ⅲ－①	14	しっかり地面を押して，リズミカルに助走することができる。
		Ⅲ－②	15	力強い踏み切りができる。
		Ⅲ－②	16	スムーズな着地に結びつく空中姿勢がとれる。
		Ⅲ－③	17	前方に両脚を振り出した着地動作ができる。
	計測	Ⅲ－全	18	最高記録を評価表で確認する。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	19	自分に合った練習方法を学習ノート に書き出している。
		Ⅳ－①	20	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。
		Ⅳ－②	21	正しい計測方法で記録を計っている。
		Ⅳ－③	22	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｃ　ウ　陸上競技　投てき（砲丸投げ）」

１　単元目標

(1)　自己の能力に応じて砲丸投げの技能を高め，競技したり，記録を高めたりすることができるようにする。
（技能の内容）

(2)　互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。
（態度の内容）

(3)　自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

陸上競技の特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や競技に取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，体の調子や活動場所及び器具など，健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。

①　全力をつくして競争したり，記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
②　練習や競技で，よりよい記録がでるように，互いに励まし合ったり，協力をしたりしようとする。
③　自分や仲間の勝敗や記録の結果を受け入れようとする。
④　体の調子を確かめ合ったり，練習や競技場所及び器具の安全を確かめたりするなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や競技の仕方を工夫している。

①　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定している。
②　課題解決に必要な，合理的な練習や競技の方法を選んだり，見付けたりしている。
③　課題の達成状況をとらえ，練習や競技の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

砲丸投げの種目の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，競技をしたり記録を高めたりすることができる。

①　自分の能力に応じた技能で，投げることができる。
②　砲丸投げの特徴的な動きを身に付け，競技したり記録を高めたりすることができる。
③　砲丸投げに必要なステップができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

砲丸投げの特性や技術の構造，合理的な練習方法，正しい競技方法，競技規則や審判法及び競技会の企画や運営の方法を理解し，知識を身に付けている。

①　砲丸投げの特性や技術の構造について，言ったり，書き出したりして，自己の課題解決のための練習方法や学習の進め方について，具体例を挙げている。
②　砲丸投げのルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。
③　競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「陸上競技　投てき（砲丸投げ）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①陸上競技の特性に強い興味や関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んで陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①陸上競技の特性に興味，関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。
	②互いの動きを評価し，自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習に取り組もうとする。	②互いの動きを評価し，気付いた点を指摘し合いながら，記録の計測や練習に取り組もうとする。	②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習に取り組もうとする。
	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，結果を客観的に受け入れたり，仲間を尊重しようとする。	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。	③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。
	④自分や仲間の体調を考慮したり，常に練習場所や用具・器具などの安全に細心の注意を払うなど，健康・安全に留意して運動を行おうとする。	④体の調子を確かめ合ったり，練習場所や用具・器具などの安全を確かめながら運動を行おうとする。	④教師や仲間の助言を受けて，練習場所や用具・器具などの安全を確かめて運動を行おうとする。
Ⅱ思考・判断	①自己の能力を向上させるための課題を明らかにした上で，目標記録を設定している。	①自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の能力に適した目標記録や課題を設定している。
	②課題解決のための効果的な練習方法について，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら選んだりしている。	②課題解決のために効果的な練習方法を選択したり，技能ポイントを意識して練習方法を選んだりしている。	②教師や仲間の支援を得て，課題解決のための練習方法を選んだりしている。
	③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	③練習の成果や課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けて，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①砲丸投げの特性に応じた高度な技能で練習や競技をすることができる。	①砲丸投げの特性に応じた技能で練習や競技をすることができる。	①教師や仲間の支援を受けて，練習や競技をすることができる。
	②自己の能力に適した合理的なひねりと押し出しの組み合わせを見付け，フォームを意識して練習や競技をすることができる。	②自己の能力に適したひねりと押し出しの組み合わせを見付け，練習や競技をすることができる。	②教師や仲間の助言を受けて，自己の能力に適したひねりと押し出しの組み合わせを見付けることができる。
	③技術に優れ，スムーズな流れで突きだしに移行し，安定した投てきができる。	③一連の動作をスムーズに行うことができる。	③一連の動作を不安定ながらも行うことができる。
Ⅳ知識・理解	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を詳しく説明できる。	①運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント，運動の特性を言ったり書き出したりしている。	①練習方法や技能ポイント，運動の特性などを知っている。
	②計測の仕方や審判法，競技規則を詳しく説明できる。	②計測の仕方や審判法，競技規則を理解している。	②計測の仕方や審判法，競技規則を部分的に知っている。
	③競技会をスムーズに運営するための方法を熟知している。	③競技会の企画・運営方法について，具体例を挙げている。	③競技会の企画・運営方法を部分的に知っている。

4　評価規準の評価観点例「陸上競技　投てき（砲丸投げ）」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に熱意と高い意欲が感じられる。	①ア楽しそうに練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。	①ア教師や仲間に促されて，楽しく練習しようとしている。
	②ア自ら進んで仲間にアドバイスをしている。 イ仲間と協力し，励まし合いながら意欲的に計測や練習をしている。	②ア仲間の動きを見て，アドバイスをしている。 イ仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	②ア教師や仲間に促されて，練習や記録の計測をしようとしている。
	③ア自己の記録を客観的に受け入れ，仲間を尊重している。	③ア記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	③ア教師や仲間に促されて，記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
	④ア自分や仲間の体調に細心の注意を払っている。 イ用具に不具合がないか確かめたり，走り出す前に声をかけるなど，安全に対する配慮がしっかりできている。	④ア自分や仲間の体調に気を遣っている。 イサークルや足留材などの安全に気を配っている。	④ア教師や仲間に促されて，安全に気を配っている。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力をさらに高めることを念頭に置いて，目標記録を設定している。	①ア自分にあった目標記録や課題を設定している。	①ア教師や仲間に促されて，目標記録や課題を設定している。
	②ア自己の課題を解決するための効果的な練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するために資料を活用するなど，正しい練習方法を選択することができる。	②ア自己の課題を見付けて，練習方法を考えることができる。 イ課題を解決するための練習方法を選択することができる。	②ア教師や仲間の支援を受けて，練習方法を選んでいる。
	③ア練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合った上で，客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えながら，見通しを立てて取り組んでいる。	③ア練習の成果や課題の達成状況を自ら客観的にとらえている。 イ練習方法に修正を加えている。	③ア教師や仲間の助言を受けて，練習方法に修正を加えている。
Ⅲ運動の技能	①ア安定した基本姿勢がとれる。 イ腰を低く保ち，スムーズな重心移動ができる。	①ア基本姿勢を意識できる。 イスムーズな重心移動ができる。	①ア基本姿勢が不安定である。 イ重心移動が不安定である。
	②アリズムよくステップし，軽快に投げることができる。	②アステップがスムーズにできる。	②アステップが不安定である。
	③ア全身を使い安定して一定の距離を投げることができる。 イ持てる力を余すことなく発揮して投げることができる。	③ア安定して一定の距離を投げることができる。 イ持てる力を発揮している。	③ア投げ方にばらつきがある。
Ⅳ知識・理解	①ア自分に合った練習方法を学習カードに詳しく書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を説明することができる。	①ア自分に合った練習方法を学習カードに書き出している。 イ技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	①ア技能ポイントや運動の特性を，仲間の助言を受けながらまとめている。
	②ア正しい計測方法を説明することができる。 イ小テストを行い，競技規則を熟知しているか確認する。	②ア正しい計測方法で記録を計っている。 イ小テストを行い，競技規則の理解状況を確認する。	②ア正しい計測方法を仲間に教えてもらいながら記録を計測している。
	③ア競技会をスムーズに運営するために，詳細な企画・立案ができる。	③ア競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	③ア教師や仲間の助言を受けて，何とか競技会の企画・運営ができる。

５　指導と評価の計画例「陸上競技　投てき（砲丸投げ）」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1)　砲丸投げの特性や学習の仕方を理解する。 (2)　自分の能力に応じた目標記録や課題を設定する。 (3)　学習カードの活用の仕方を理解する。	Ⅰ－① 行動観察 Ⅱ－① 学習カード Ⅳ－① 学習カード	・砲丸投げの特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・自己の目標記録や課題を設定しようとしている。 ・学習カードの活用方法を理解しようとしている。
なか1（4時間）	ねらい１（今ある能力で工夫） (1)　砲丸投げの基本動作を練習する。 (2)　仲間と互いにフォームチェックをしたりして，教え合う。 (3)　ひねりや押し出しの練習を行う。 (4)　安全に練習が行えるように，競技場所や器具の安全点検を行う。	Ⅱ－② 行動観察 Ⅲ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ－④ 行動観察	・自己の課題を見付けて，練習しようとしている。 ・砲丸投げの動きのポイントを身に付けようとしている ・互いに励まし合ったり，協力したりしようとしている。 ・スムーズなひねりや押し出しができるように練習しようとしている。 ・サークル等の安全に気を配ろうとしている。
なか2（4時間）	ねらい２（高まった能力に合せて） (1)　フォームを意識しながら，全身を使って投げる。 (2)　現状を把握するために，記録を計測する。 (3)　より遠くに投げるために，新しい練習方法や課題を設定する。 (4)　砲丸投げのルール，審判法について，理解する。	Ⅲ－② 行動観察 Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－② 行動観察 学習カード Ⅰ－② 行動観察 Ⅱ－③ 行動観察 Ⅳ－① 学習カード Ⅳ－② 学習カード 小テスト	・自己の能力に応じてより遠くに投げようとしている。 ・自分の設定した目標記録に対する達成状況を把握しようとしている。 ・正しい計測方法を理解しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・自己の課題の達成状況をとらえ，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・砲丸投げのルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。
なか3（4時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　砲丸投げの合理的なフォームを身に付けるために，リラックスした状態で投げる。 (2)　競技会（記録会）を実施する。 (3)　競技会の企画・運営を行う。	Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ－① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習カード	・腰の低いリラックスしたフォームで鋭く突きだし投げようとしている。 ・自己の目標記録を達成するために，意欲的に記録会に参加しようとしている。 ・よりよい記録がでるように，互いに励まし合おうとしている。 ・競技会の企画・運営の方法について，具体例を挙げている。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2)　活動の進め方や工夫の仕方はどうだったか。 (3)　技能や記録はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　学習の準備や片付けをしていたか。 (2)　砲丸投げに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3)　健康・安全に留意して練習や計測をしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「陸上競技 投てき（砲丸投げ）」　　２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	仲間の動きを見て，アドバイスをしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	自分や仲間の体調に気を遣っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	サークルや足留材などの安全に気を配っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	周りの状況を確認して，声をかけてから投げている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	9	自分にあった目標記録や課題を設定している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	10	自己の課題を見付けて，練習方法を考えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	11	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	12	練習方法に修正を加えている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	13	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	基本姿勢を意識して構えることができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	15	グライドの際，水平方向にスムーズな重心移動ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	16	上体のひねりを使って投げることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	17	下半身を有効に使って投げることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	18	低い姿勢から力強い突き出し動作ができる。	A	B	C			× 1	
	計測	Ⅲ－全	19	最高記録を評価表で確認する。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	20	自分に合った練習方法を学習ノートに書き出している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	21	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	22	正しい計測方法で記録を計っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	23	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	24	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　陸上競技　投てき（砲丸投げ）　2年生（15時間）

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度										Ⅱ思考・判断						Ⅲ運動の技能								Ⅳ知識・理解							
評価方法	行動観察										行動観察・学習ノート						行動観察					計測			行動観察				テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－④			Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－全			Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	Ⅰ小計		9	10	11	12	13	Ⅱ小計	14	15	16	17	18	19	Ⅲ小計		20	21	22	23	24	Ⅳ小計		合計得点
観点別評価項目（具体例）	楽しそうに練習している姿がみられる。	練習をしている姿に意欲が感じられる。	仲間の動きを見て、アドバイスをしている。	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。	自分や仲間の体調に気を遣っている。	サークルや足留材などの安全に気を配っている。	周りの状況を確認して、声をかけてから投げている。			自分にあった目標記録を設定している。	自分の課題を見付けて、練習方法を考えている。	課題を解決するための練習方法を選んでいる。	練習方法に修正を加えている。	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。		基本姿勢を意識して構えることができる。	グライドの際、水平方向にスムーズな重心移動ができる。	上体のひねりを使って投げることができる。	下半身を有効に使って投げることができる。	低い姿勢から力強い突き出し動作ができる。	最高記録を評価表で確認する。			自分に合った練習方法を学習ノートに書き出している。	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。	正しい計測方法で記録を計っている。	競技会をスムーズに運営するための企画・立案できる。	小テスト			
実施月／日	／	／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／			
No. 組・番 氏　名																																
1																																
2																																
3																																
4																																
5																																
6																																
7																																
8																																
9																																
10																																
11																																
12																																
13																																
14																																
15																																
16																																
17																																
18																																
19																																
20																																

6　Ⅲ集団評価シート例（40人用）「陸上競技　投てき（砲丸投げ）」

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
No. 組・番	評価項目番号 氏　名	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「陸上競技　投てき（砲丸投げ）」　２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	楽しそうに練習している姿がみられる。
		Ⅰ－①	2	練習をしている姿に意欲が感じられる。
		Ⅰ－②	3	仲間の動きを見て，アドバイスをしている。
		Ⅰ－②	4	仲間と声をかけ合いながら計測や練習をしている。
		Ⅰ－③	5	記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	6	自分や仲間の体調に気を遣っている。
		Ⅰ－④	7	サークルや足留材などの安全に気を配っている。
		Ⅰ－④	8	周りの状況を確認して，声をかけてから投げている。
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	9	自分にあった目標記録を設定している。
		Ⅱ－②	10	自分の課題を見付けて，練習方法を考えている。
		Ⅱ－②	11	課題を解決するための練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	12	練習方法に修正を加えている。
		Ⅱ－③	13	練習の成果や課題の達成状況を客観的にとらえている。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	基本姿勢を意識して構えることができる。
		Ⅲ－①	15	グライドの際，水平方向にスムーズな重心移動ができる。
		Ⅲ－②	16	上体のひねりを使って投げることができる。
		Ⅲ－②	17	下半身を有効に使って投げることができる。
		Ⅲ－③	18	低い姿勢から力強い突き出し動作ができる。
	テスト	Ⅲ－全	19	最高記録を評価表で確認する。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	自分に合った練習方法を学習ノートに書き出している。
		Ⅳ－①	21	技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。
		Ⅳ－②	22	正しい計測方法で記録を計っている。
		Ⅳ－③	23	競技会をスムーズに運営するための企画・立案ができる。
	テスト	Ⅳ－全	24	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｄ　水泳（クロール）」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じてクロールの技能を高め，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができるようにする。

ア　手の動作と呼吸のタイミング，６打法による速く強い足の動作などの技能を習得し，競泳ができるようにする。

イ　スタート，加速やスピードの維持，ターン，ゴールタッチなどの技能を高めるとともに，ペース配分についても学習し競泳に生かすことができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) 互いに協力して練習ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) 自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競泳の仕方を工夫することができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

水泳の特性に関心を持ち，互いに協力したり，事故防止に関する心得を守ったりして，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。

①　記録の向上の喜びや競泳の楽しさなどを味わおうとする。

②　仲間と協力して計測し合ったり，教え合ったりしようとする。

③　記録の計測や勝敗に対して公正な態度をとり，その結果を受け入れようとする。

④　水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じて選択した泳法で，目標タイムや距離を設定し，それを達成するための課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競泳の仕方を工夫している。

①　自分のこれまでの学習経験や泳力などから目標タイムや距離を設定している。

②　課題解決に必要な，練習内容・方法を選んだり，見付けたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

クロールの特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。

①　自分の能力に応じて，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。

②　基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。

③　手と足の調和のとれた動きができ、手の動作に合わせてタイミングよく呼吸ができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

水泳の特性や技術の構造を理解するとともに，練習の計画的な行い方，ルールや審判法について理解している。また、水泳の事故防止の心得や対処方法の知識を身に付けている。

①　水泳の特性や技術の構造，ルールや審判法を知っている。

②　練習の仕方や，練習計画の立て方を知っている。

③　水泳の事故防止の心得や対処方法を知っている。

３　評価規準例「水泳(クロール)」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①クロールの特性に強い関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んでクロールの楽しさや喜びを味わおうとする。	①クロールの特性に関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，クロールの楽しさや喜びを味わおうとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，クロールの楽しさや喜びを味わおうとする。
	②自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習，競泳に取り組もうとする。	②互いに助言し合ったり，記録を計測しあうなど，協力して練習や競泳に取り組もうとする。	②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習，競泳に取り組もうとする。
	③記録の計測や勝敗に対して，公正な態度がとれ，結果を客観的に受け止めたり，仲間を尊重しようとする。	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。	③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。
	④水泳の事故防止に関する心得を常に守り，自ら進んで健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。	④水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。	④教師や仲間の助言を受けて，健康・安全に留意して，練習や競泳をしようとする。
Ⅱ思考・判断	①自分の現状（泳力・記録）を正確に把握し，自己の能力を最大限に引き出すための高い目標記録を設定している。	①自分の現状（泳力・記録）に応じた目標記録を設定している。	①自分の現状（泳力・記録）を把握している。
	②課題解決のための効果的な練習方法を，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら改善しようとしている。	②課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。	②教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を選んだりしている。
	③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	③課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①自己の能力に適したペース配分を把握しており，より速く，長く泳ぐことができる。	①自分の能力に応じて速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。	①自分のペースで泳ぐことができる。
	②基本姿勢を保ちながら，手や足の動作をより速く，正確にできる。	②基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。	②手や足の動作が一部できる。
	③手と足の調和のとれた伸びのある動きができ，手の動作に合わせてタイミングのよいスムーズな呼吸をすることができる。	③手と足の調和のとれた動きができ，手の動作に合わせてタイミングよく呼吸をすることができる。	③手と足の調和のとれた動きや呼吸動作が一部できる。
Ⅳ知識・理解	①クロールの特性や技術の構造，ルール，審判法について詳しく説明できる。	①クロールの特性や技術の構造，ルール，審判法について言ったり書き出したりしている。	①クロールの特性や技術の構造，ルール，審判法を部分的に理解している。
	②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，詳しく説明できる。	②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。	②練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，部分的に知っている。
	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，詳しく説明できる。	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，言ったり書き出したりしている。	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，部分的に知っている。

４　評価規準の評価観点例「水泳（クロール）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア自己の泳力を理解し，向上心を持って楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録の場面で，リーダーシップを発揮している。 ③ア計測結果や競泳の勝敗に対し客観的に受け止め、他人の記録を尊重している。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に積極的に注意を払っている。 イ常に禁止事項を守り、仲間への配慮もしている。 ウ指導者やリーダーの指示を積極的に聞いている。	①ア自己の泳力を理解し，楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録を他と協力しながら行っている。 ③ア計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度をとっている。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に注意を払っている。 イ禁止事項を遵守している。 ウ指導者やリーダーの指示を聞いている。	①ア楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア仲間からの指摘を受けながら計測している。 ③ア仲間からの指摘を受けながら計測結果や競泳の勝敗を受け入れている。 ④ア入水時に注意を払っている。 イ仲間からの指摘を受けながら禁止事項を守っている。 ウ仲間からの指摘を受けながら指導者やリーダーの指示を聞いている。
Ⅱ思考・判断	①ア常に現状を把握し、自己の能力を最大限に引き出すための目標タイムや距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具を有効に使ったり，積極的に仲間の補助をするなどしている。 ③ア仲間と互いのフォームやタイムを評価し，問題点を助言し合ったり，練習方法を指示したりしている。	①ア個々の泳力に応じた目標タイムや距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具などを有効に使ったりてしている。 ③アフォームやタイムを評価し，問題点を見付け，練習方法を修正したりしている。	①ア自分の現状（泳力・記録）を把握している。 ②ア教師や仲間の助言を受けながら，練習したりしている。 イ教師や仲間の助言を受けながら，補助具などを使ったりししている。 ③ア教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したりしいる。
Ⅲ運動の技能	①アペース配分をしながら，目標タイムに到達できる。 イ常に目標距離に到達できる。 ②アけのびの姿勢を常に保ちながら泳ぐことができる。 イ入水からプッシュまで正確なＳ字ストロークができる。 ウ６ビート打法で、大腿から始動させる力強いキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションがよく、スピードに乗った泳ぎができる。 イ体のローリングと手の動作に合わせたスムーズな呼吸動作ができる。	①ア目標タイムに到達できる。 イ目標距離に到達できる。 ②アけのびの姿勢を保ちながら泳ぐことができる。 イ入水からプッシュまでスムーズにストロークできる。 ウ６ビート打法で，大腿から始動させるキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれた泳ぎができる。 イ手の動作に合わせた呼吸動作ができる。	①ア自分のペースで泳ぐことができる。 イ目標距離におおむね到達できる。 ②アけのびの姿勢を一部保ちながら泳ぐことができる。 イ入水からプッシュまでストロークできる。 ウ６ビート打法で，キックができる。 ③ア手と足のコンビネーションが一部できる。 イ呼吸動作ができる。
Ⅳ知識・理解	①ア技術・ルール・審判法について，仲間と積極的に話し合ったり，詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画をより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処についてより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言を積極的にしたりしている。	①ア技術・ルール・審判法について，仲間と話し合ったり，学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画を学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言をしたりしている。	①ア技術・ルール・審判法について，学習ノートに書き出したりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画の一部を学習ノートに書き出したりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について知っている。 イ水泳の事故防止や安全活動について知っている。

５　指導と評価の計画例「水泳（クロール）＜２年生（１０時間）＞」

時間	ねらい・生徒の学習活動	具体の場・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（２時間）	(1)　水泳の特性や安全活動，また泳法における技能の構造を理解する。 (2)　水なれと出入水時の安全確認方法の理解と実践。 **ねらい１（今ある能力で工夫）** (1)　泳力判定（初期計測とグループ分け） ア　壁キックから10m泳法チェック イ　壁キックから25mタイム計測 (2)　グループリーダーの選出	Ⅰ－① 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート Ⅱ－① 学習ノート	・クロールの特性に興味を持ち，安全活動を心掛けるとともに，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故発生時の対処について，言ったり書き出したりしている。 ・自分の現状（泳力・記録）を把握し，自己の能力に応じた目標記録を設定している。
なか１（３時間）	**ねらい２（高まった能力に合わせて）** (1)　泳法技術の習得 ア　基本姿勢 イ　キック ウ　ストローク エ　コンビネーション オ　呼吸法 カ　スタート キ　ターン (2)　技能向上のための練習法の工夫 ア　補助者（２人１組） イ　補助具（ビート板・プルブイ・パドル・フィン） ウ　活動場所 a　プールサイド b　プール壁面 c　水中 (3)　泳法チェック	Ⅳ－① 行動観察 学習ノート Ⅳ－② 行動観察 学習ノート Ⅱ－② 行動観察 学習ノート Ⅰ－④ 行動観察 Ⅲ－② 行動観察	・クロールの特性や技術の構造，ルールについて言ったり書き出したりしている。 ・合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について具体例を挙げている。 ・課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を守り健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。 ・基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。
なか２（２時間）	(1)　泳力向上のための練習法の工夫 ア　スピード練習 イ　インターバル練習 (2)　総合練習	Ⅱ－③ 行動観察 学習ノート Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察	・課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・互いに助言しあったり，励まし合うなど，仲間と協力して練習や競泳に取り組もうとする。 ・手と足の調和のとれた動きができ，手の動作に合わせてタイミングよく呼吸をすることができる。
なか３（２時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1)　記録会・リレー大会 ア　２５mタイム計測 イ　１０分間泳（距離計測） ウ　リレー大会 (2)「水」にかかわる事故防止について ア　着衣水泳 イ　救助法・運搬法 ウ　心肺蘇生法	Ⅲ－① 技能テスト Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート	・自分の能力に応じたフォームで，速く泳いだり，続けて長く泳ぐことができる。 ・記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。 ・水泳の事故防止の心得や事故発生時の対処について，言ったり書き出したりしている。
まとめ（１時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　水泳に対して，興味や関心がさらに高まったかどうか。 (2)　学習活動の進め方や工夫の仕方はどうであったか。 (3)　技能はどのように向上したか。	学習ノートや評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　意欲的に取り組もうと更衣を早く済ませ，集合できたか。 (2)　安全活動を心掛け，不安全な行動や態度をとっていないか。

６　Ｉ個人評価シート例「水泳(クロール)」

２年〇組　〇〇番　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	クロールの特性に関心がある。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	8	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	9	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	11	目標タイムが達成できる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	12	目標距離に到達できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	13	基本姿勢ができている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	14	正確な手の動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	15	正確な足の動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	16	手と足の調和のとれた動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	17	手の動作に合わせた呼吸ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	18	ターンができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	19	クロールの特性や技術の構造について理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　水泳（クロール）　2年生（10時間）

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度							Ⅱ思考・判断					Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解							合計得点
評価方法	行動観察							行動観察・学習ノート					行動観察・技能テスト									行動観察・学習ノート				テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－①		Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	Ⅰ小計	7	8	9	10	Ⅱ小計	11	12	13	14	15	16	17	18	Ⅲ小計	19	20	21	22	23	Ⅳ小計		
観点別評価項目（具体例）	クロールの特性に関心がある。	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	倍率	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。	倍率	目標タイムが達成できる。	目標距離に到達できる。	基本姿勢ができている。	正確な手の動作ができる。	正確な足の動作ができる。	手と足の調和のとれた動作ができる。	手の動作に合わせた呼吸ができる。	ターンができる。	倍率	クロールの特性や技術の構造について理解している。	ルールや審判法を理解している。	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	事故防止の心得や対処方法を理解している。	小テスト	倍率		
実施月／日	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	×10		
No. 組・番 氏　名																												
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												

6　Ⅱ集団評価シート例（20人用）「水泳（クロール）」

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）			実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
				月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	氏名＼評価項目番号																
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「水泳（クロール）」

２年生（１０時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	クロールの特性に関心がある。
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。
		Ⅱ－①	8	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。
		Ⅱ－②	9	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	10	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	11	目標タイムが達成できる。
		Ⅲ－①	12	目標距離に到達できる。
		Ⅲ－②	13	基本姿勢ができている。
		Ⅲ－②	14	正確な手の動作ができる。
		Ⅲ－②	15	正確な足の動作ができる。
		Ⅲ－③	16	手と足の調和のとれた動作ができる。
		Ⅲ－③	17	手の動作に合わせた呼吸ができる。
		Ⅲ－①	18	ターンができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	19	クロールの特性や技術の構造について理解している。
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｄ　水泳(平泳ぎ)」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じて平泳ぎの技能を高め，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができるようにする。

ア　手と足の動作のコンビネーション，手の動作と呼吸のタイミングなどの技能を習得し，競泳ができるようにする。

イ　スタート，加速やスピードの維持，ターン，ゴールタッチなどの技能を高めるとともに，ペース配分についても学習し競泳に生かすことができるようにする。

ウ　長い距離を泳ぐ場合は，足のけりを中心として進み、十分なのびをとって泳ぐようにする。

（技能の内容）

(2) 互いに協力して練習ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳ができるようにする。 **（態度の内容）**

(3) 自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競泳の仕方を工夫することができるようにする。 **（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

水泳の特性に関心を持ち，互いに協力したり，事故防止に関する心得を守ったりして，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。

①　記録の向上の喜びや競泳の楽しさなどを味わおうとする。

②　仲間と協力して計測し合ったり，教え合ったりしようとする。

③　記録の計測や勝敗に対して公正な態度をとり，その結果を受け入れようとする。

④　水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じて選択した泳法で，目標タイムや距離を設定し，それを達成するための課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競泳の仕方を工夫している。

①　自分のこれまでの学習経験や泳力などから目標タイムや距離を設定している。

②　課題解決に必要な，練習内容・方法を選んだり，見付けたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

平泳ぎの特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。

①　自分の能力に応じて，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。

②　基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。

③　手と足の調和のとれた動きができ、手の動作に合わせてタイミングよく呼吸ができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

水泳の特性や技術の構造を理解するとともに，練習の計画的な行い方，ルールや審判法について理解している。また、水泳の事故防止の心得や対処方法の知識を身に付けている。

①　水泳の特性や技術の構造，ルールや審判法を知っている。

②　練習の仕方や，練習計画の立て方を知っている。

③　水泳の事故防止の心得や対処方法を知っている。

３　評価規準例「水泳（平泳ぎ）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①平泳ぎの特性に強い関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んで平泳ぎの楽しさや喜びを味わおうとする。 ②自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習，競泳に取り組もうとする。 ③記録の計測や勝敗に対して，公正な態度がとれ，結果を客観的に受け止めたり，仲間を尊重しようとする。 ④水泳の事故防止に関する心得を常に守り，自ら進んで健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。	①平泳ぎの特性に関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，平泳ぎの楽しさや喜びを味わおうとする。 ②互いに助言し合ったり，記録を計測しあうなど，協力して練習や競泳に取り組もうとする。 ③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。 ④水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，平泳ぎの楽しさや喜びを味わおうとする。 ②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習，競泳に取り組もうとする。 ③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。 ④教師や仲間の助言を受けて，健康・安全に留意して，練習や競泳をしようとする。
Ⅱ思考・判断	①自分の現状（泳力・記録）を正確に把握し，自己の能力を最大限に引き出すための高い目標記録を設定している。 ②課題解決のための効果的な練習方法を，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら改善しようとしている。 ③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	①自分の現状（泳力・記録）に応じた目標記録を設定している。 ②課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。 ③課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	①自分の現状（泳力・記録）を把握している。 ②教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を選んだりしている。 ③教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①自己の能力に適したペース配分を把握しており，より速く，長く泳ぐことができる。 ②基本姿勢を保ちながら，手や足の動作をより速く，正確にできる。 ③手と足の調和のとれた伸びのある動きができ，手の動作に合わせてタイミングのよいスムーズな呼吸をすることができる。	①自分の能力に応じて速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。 ②基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。 ③手と足の調和のとれた動きができ，手の動作に合わせてタイミングよく呼吸をすることができる。	①自分のペースで泳ぐことができる。 ②手や足の動作が一部できる。 ③手と足の調和のとれた動きや呼吸動作が一部できる。
Ⅳ知識・理解	①平泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法について詳しく説明できる。 ②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，詳しく説明できる。 ③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，詳しく説明できる。	①平泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法について言ったり書き出したりしている。 ②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。 ③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，言ったり書き出したりしている。	①平泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法を部分的に理解している。 ②練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，部分的に知っている。 ③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，部分的に知っている。

４　評価規準の評価観点例「水泳（平泳ぎ）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア自己の泳力を理解し，向上心を持って楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録の場面で，リーダーシップを発揮している。 ③ア計測結果や競泳の勝敗に対し客観的に受け止め、他人の記録を尊重している。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に積極的に注意を払っている。 イ常に禁止事項を守り、仲間への配慮もしている。 ウ指導者やリーダーの指示を積極的に聞いている。	①ア自己の泳力を理解し，楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録を他と協力しながら行っている。 ③ア計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度をとっている。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に注意を払っている。 イ禁止事項を遵守している。 ウ指導者やリーダーの指示を聞いている。	①ア楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア仲間からの指摘を受けながら計測している。 ③ア仲間からの指摘を受けながら計測結果や競泳の勝敗を受け入れている。 ④ア入水時に注意を払っている。 イ仲間からの指摘を受けながら禁止事項を守っている。 ウ仲間からの指摘を受けながら指導者やリーダーの指示を聞いている。
Ⅱ思考・判断	①ア常に現状を把握し、自己の能力を最大限に引き出すための目標タイムや距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具を有効に使ったり，積極的に仲間の補助をするなどしている。 ③ア仲間と互いのフォームやタイムを評価し，問題点を助言し合ったり，練習方法を指示したりしている。	①ア個々の泳力に応じた目標タイムや距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具などを有効に使ったりてしている。 ③アフォームやタイムを評価し，問題点を見付け，練習方法を修正したりしている。	①ア自分の現状（泳力・記録）を把握している。 ②ア教師や仲間の助言を受けながら，練習したりしている。 イ教師や仲間の助言を受けながら，補助具などを使ったりししている。 ③ア教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したりしいる。
Ⅲ運動の技能	①アペース配分をしながら，目標タイムに到達できる。 イ常に目標距離に到達できる。 ②ア十分に伸びのある泳ぎができる。 イグライドからリカバリーまでスムーズで力強いストロークができる。 ウグライドからけりはさみ動作までスムーズで力強いキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれたスピードのある泳ぎができる。 イ手と足の動作に合わせた素早い呼吸動作ができる。	①ア目標タイムに到達できる。 イ目標距離に到達できる。 ②ア伸びのある泳ぎができる。 イグライドからリカバリーまでスムーズにストロークできる。 ウグライドからけりはさみ動作までスムーズにキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれた泳ぎができる。 イ手の動作に合わせたスムーズな呼吸動作ができる。	①ア自分のペースで泳ぐことができる。 イ目標距離におおむね到達できる。 ②ア伸びを意識しながら泳ぐことができる。 イグライドからリカバリーまでストロークできる。 ウグライドからけりはさみまでの動作ができる。 ③ア手と足のコンビネーションが一部できる。 イ呼吸動作ができる。
Ⅳ知識・理解	①ア技術・ルール・審判法について，仲間と積極的に話し合ったり，詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画をより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処についてより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言を積極的にしたりしている。	①ア技術・ルール・審判法について，仲間と話し合ったり，学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画を学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言をしたりしている。	①ア技術・ルール・審判法について，学習ノートに書き出したりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画の一部を学習ノートに書き出したりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について知っている。 イ水泳の事故防止や安全活動について知っている。

５　指導と評価の計画例「水泳（平泳ぎ）＜２年生（１０時間）＞」

時間	ねらい・生徒の学習活動	具体の場面・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（２時間）	(1)　水泳の特性や安全活動，また泳法における技能の構造を理解する。 (2)　水なれと出入水時の安全確認方法の理解と実践。 **ねらい１（今ある能力で工夫）** (1)　泳力判定（初期計測とグループ分け） ア　壁キックから10m泳法チェック イ　壁キックから25mタイム計測 (2)　グループリーダーの選出	Ⅰ－① 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート Ⅱ－① 学習ノート	・平泳ぎの特性に興味を持ち，安全活動を心掛けるとともに，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故発生時の対処について，言ったり書き出したりしている。 ・自分の現状（泳力・記録）を把握し，自己の能力に応じた目標記録を設定している。
なか１（３時間）	**ねらい２（高まった能力に合わせて）** (1)　泳法技術の習得 ア　基本姿勢 イ　キック ウ　ストローク エ　コンビネーション オ　呼吸法 カ　スタート キ　ターン (2)　技能向上のための練習法の工夫 ア　補助者（２人１組） イ　補助具（ビート板・プルブイ・パドル・フィン） ウ　活動場所 a　プールサイド b　プール壁面 c　水中 (3)　泳法チェック	Ⅳ－① 行動観察 学習ノート Ⅳ－② 行動観察 学習ノート Ⅱ－② 行動観察 学習ノート Ⅰ－④ 行動観察 Ⅲ－② 行動観察	・平泳ぎの特性や技術の構造，ルールについて言ったり書き出したりしている。 ・合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について具体例を挙げている。 ・課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を守り健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。 ・基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。
なか２（２時間）	(1)　泳力向上のための練習法の工夫 ア　スピード練習 イ　インターバル練習 (2)　総合練習	Ⅱ－③ 行動観察 学習ノート Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察	・課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・互いに助言しあったり，励まし合うなど，仲間と協力して練習や競泳に取り組もうとする。 ・手と足の調和のとれた動きができ，手の動作に合わせてタイミングよく呼吸をすることができる。
なか３（２時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1)　記録会・リレー大会 ア　２５ｍタイム計測 イ　１０分間泳（距離計測） ウ　リレー大会 (2)「水」にかかわる事故防止について ア　着衣水泳 イ　救助法・運搬法 ウ　心肺蘇生法	Ⅲ－① 技能テスト Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート	・自分の能力に応じたフォームで，速く泳いだり，続けて長く泳ぐことができる。 ・記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。 ・水泳の事故防止の心得や事故発生時の対処について，言ったり書き出したりしている。
まとめ（１時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　水泳に対して，興味や関心がさらに高まったかどうか。 (2)　学習活動の進め方や工夫の仕方はどうであったか。 (3)　技能はどのように向上したか。	学習ノートや評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　意欲的に取り組もうと更衣を早く済ませ，集合できたか。 (2)　安全活動を心掛け，不安全な行動や態度をとっていないか。

６　Ｉ個人評価シート例「水泳(平泳ぎ)」

２年〇組　〇〇番　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	平泳ぎの特性に関心がある。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	8	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	9	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	11	目標タイムが達成できる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	12	目標距離に到達できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	13	伸びのある泳ぎができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	14	正確な手の動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	15	正確な足の動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	16	手と足の調和のとれた動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	17	手の動作に合わせた呼吸ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	18	ターンができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	19	平泳ぎの特性や技術の構造について理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　水泳（平泳ぎ）　2年生（10時間）

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点			Ⅰ関心・意欲・態度							Ⅱ思考・判断					Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解							合計得点
評価方法			行動観察							行動観察・学習ノート					行動観察・技能テスト									行動観察・学習ノート				テスト			
具体の規準			Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－①			Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号			1	2	3	4	5	6	Ⅰ小計	7	8	9	10	Ⅱ小計	11	12	13	14	15	16	17	18	Ⅲ小計	19	20	21	22	23	Ⅳ小計		
観点別評価項目（具体例）			平泳ぎの特性に関心がある。	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	倍率	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。	倍率	目標タイムが達成できる。	目標距離に到達できる。	伸びのある泳ぎができる。	正確な手の動作ができる。	正確な足の動作ができる。	手と足の調和のとれた動作ができる。	手の動作に合わせた呼吸ができる。	ターンができる。	倍率	平泳ぎの特性や技術の構造について理解している。	ルールや審判法を理解している。	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	事故防止の心得や対処方法を理解している。	小テスト	倍率		
実施月／日			／	／	／	／	／	／		／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	×10		
No.	組・番	氏　名																													
1																															
2																															
3																															
4																															
5																															
6																															
7																															
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	氏名 ＼ 評価項目番号														
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「水泳（平泳ぎ）」

２年生（１０時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	平泳ぎの特性に関心がある。
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。
		Ⅱ－①	8	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。
		Ⅱ－②	9	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	10	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	11	目標タイムが達成できる。
		Ⅲ－①	12	目標距離に到達できる。
		Ⅲ－②	13	伸びのある泳ぎができている。
		Ⅲ－②	14	正確な手の動作ができる。
		Ⅲ－②	15	正確な足の動作ができる。
		Ⅲ－③	16	手と足の調和のとれた動作ができる。
		Ⅲ－③	17	手の動作に合わせた呼吸ができる。
		Ⅲ－①	18	ターンができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	19	平泳ぎの特性や技術の構造について理解している。
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｄ　水泳(背泳ぎ)」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じて背泳ぎの技能を高め，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができるようにする。

ア　ローリングを生かした手の動作と呼吸のタイミング，大きく強い足の動作などの技能を習得し、競泳ができるようにする。

イ　スタート，加速やスピードの維持，ターン，ゴールタッチなどの技能を高めるとともに，ペース配分についても学習し競泳に生かすことができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) 互いに協力して練習ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) 自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競泳の仕方を工夫することができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

水泳の特性に関心を持ち，互いに協力したり，事故防止に関する心得を守ったりして，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。

①　記録の向上の喜びや競泳の楽しさなどを味わおうとする。

②　仲間と協力して計測し合ったり，教え合ったりしようとする。

③　記録の計測や勝敗に対して公正な態度をとり，その結果を受け入れようとする。

④　水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じて選択した泳法で，目標タイムや距離を設定し，それを達成するための課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競泳の仕方を工夫している。

①　自分のこれまでの学習経験や泳力などから目標タイムや距離を設定している。

②　課題解決に必要な，練習内容・方法を選んだり，見付けたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

背泳ぎの特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。

①　自分の能力に応じて，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。

②　基本姿勢を保ちながら，ローリングを生かした手の動作や大きく強い足の動作ができる。

③　手と足の調和のとれた動きができ、手の動作に合わせてタイミングよく呼吸ができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

水泳の特性や技術の構造を理解するとともに，練習の計画的な行い方，ルールや審判法について理解している。また、水泳の事故防止の心得や対処方法の知識を身に付けている。

①　水泳の特性や技術の構造，ルールや審判法を知っている。

②　練習の仕方や，練習計画の立て方を知っている。

③　水泳の事故防止の心得や対処方法を知っている。

３　評価規準例「水泳（背泳ぎ）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①背泳ぎの特性に強い関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んで背泳ぎのし楽しさや喜びを味わおうとする。 ②自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習，競泳に取り組もうとする。 ③記録の計測や勝敗に対して，公正な態度がとれ，結果を客観的に受け止めたり，仲間を尊重しようとする。 ④水泳の事故防止に関する心得を常に守り，自ら進んで健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。	①背泳ぎの特性に関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，背泳ぎの楽しさや喜びを味わおうとする。 ②互いに助言し合ったり，記録を計測しあうなど，協力して練習や競泳に取り組もうとする。 ③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。 ④水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，背泳ぎの楽しさや喜びを味わおうとする。 ②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習，競泳に取り組もうとする。 ③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。 ④教師や仲間の助言を受けて，健康・安全に留意して，練習や競泳をしようとする。
Ⅱ思考・判断	①自分の現状（泳力・記録）を正確に把握し，自己の能力を最大限に引き出すための高い目標記録を設定している。 ②課題解決のための効果的な練習方法を，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら改善しようとしている。 ③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	①自分の現状（泳力・記録）に応じた目標記録を設定している。 ②課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。 ③課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	①自分の現状（泳力・記録）を把握している。 ②教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を選んだりしている。 ③教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①自己の能力に適したペース配分を把握しており，より速く，長く泳ぐことができる。 ②基本姿勢を保ちながら，ローリングを生かした正確な手の動作や大きく強い足の動作を速く，正確にできる。 ③手と足の調和のとれた伸びのある動きができ，手の動作に合わせてタイミングのよいスムーズな呼吸をすることができる。	①自分の能力に応じて速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。 ②基本姿勢を保ちながら，ローリングを生かした手の動作や強い足の動作ができる。 ③手と足の調和のとれた動きができ，手の動作に合わせてタイミングよく呼吸をすることができる。	①自分のペースで泳ぐことができる。 ②手や足の動作が一部できる。 ③手と足の調和のとれた動きや呼吸動作が一部できる。
Ⅳ知識・理解	①背泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法について詳しく説明できる。 ②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，詳しく説明できる。 ③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，詳しく説明できる。	①背泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法について言ったり書き出したりしている。 ②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。 ③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，言ったり書き出したりしている。	①背泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法を部分的に理解している。 ②練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，部分的に知っている。 ③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，部分的に知っている。

4　評価規準の評価観点例「水泳（背泳ぎ）」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア自己の泳力を理解し，向上心を持って楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録の場面で，リーダーシップを発揮している。 ③ア計測結果や競泳の勝敗に対し客観的に受け止め、他人の記録を尊重している。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に積極的に注意を払っている。 イ常に禁止事項を守り、仲間への配慮もしている。 ウ指導者やリーダーの指示を積極的に聞いている。	①ア自己の泳力を理解し，楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録を他と協力しながら行っている。 ③ア計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度をとっている。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に注意を払っている。 イ禁止事項を遵守している。 ウ指導者やリーダーの指示を聞いている。	①ア楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア仲間からの指摘を受けながら計測している。 ③ア仲間からの指摘を受けながら計測結果や競泳の勝敗を受け入れている。 ④ア入水時に注意を払っている。 イ仲間からの指摘を受けながら禁止事項を守っている。 ウ仲間からの指摘を受けながら指導者やリーダーの指示を聞いている。
Ⅱ思考・判断	①ア常に現状を把握し、自己の能力を最大限に引き出すための目標タイムや距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具を有効に使ったり，積極的に仲間の補助をするなどしている。 ③ア仲間と互いのフォームやタイムを評価し，問題点を助言し合ったり，練習方法を指示したりしている。	①ア個々の泳力に応じた目標タイムや距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具などを有効に使ったりてしている。 ③アフォームやタイムを評価し，問題点を見付け，練習方法を修正したりしている。	①ア自分の現状（泳力・記録）を把握している。 ②ア教師や仲間の助言を受けながら，練習したりしている。 イ教師や仲間の助言を受けながら，補助具などを使ったりししている。 ③ア教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したりしいる。
Ⅲ運動の技能	①アペース配分をしながら，目標タイムに到達できる。 イ常に目標距離に到達できる。 ②ア常にリラックスした状態で，あごをやや引きながら，背筋から腰までまっすぐに伸ばした姿勢で泳ぐことができる。 イローリングを生かして、入水からプッシュまでスカーリングの動作ができる。 ウ大腿から始動させる力強いキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれたスピードのある泳ぎができる。 イ常に手の動作に合わせたスムーズな呼吸動作ができる。	①ア目標タイムに到達できる。 イ目標距離に到達できる。 ②ア あごをやや引きながら，背筋から腰までまっすぐに伸ばした姿勢で泳ぐことができる。 イローリングを生かして，入水からプッシュまでスムーズにストロークできる。 ウ大腿から始動させるキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれた泳ぎができる。 イ手の動作に合わせた呼吸動作ができる。	①ア自分のペースで泳ぐことができる。 イ目標距離におおむね到達できる。 ②ア腰の落ちない姿勢で泳ぐことができる。 イ入水からプッシュまでストロークできる。 ウ水面上に膝のでないキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションが一部できる。 イ呼吸動作ができる。
Ⅳ知識・理解	①ア技術・ルール・審判法について，仲間と積極的に話し合ったり，詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画をより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処についてより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言を積極的にしたりしている。	①ア技術・ルール・審判法について，仲間と話し合ったり，学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画を学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言をしたりしている。	①ア技術・ルール・審判法について，学習ノートに書き出したりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画の一部を学習ノートに書き出したりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について知っている。 イ水泳の事故防止や安全活動について知っている。

５　指導と評価の計画例「水泳(背泳ぎ)＜２年生(１０時間)＞」

時間	ねらい・生徒の学習活動	具体の場面・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（２時間）	(1)　水泳の特性や安全活動，また泳法における技能の構造を理解する。 (2)　水なれと出入水時の安全確認方法の理解と実践。 **ねらい１（今ある能力で工夫）** (1)　泳力判定(初期計測とグループ分け) ア　壁キックから10m泳法チェック イ　壁キックから25mタイム計測 (2)　グループリーダーの選出	Ⅰ－① 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート Ⅱ－① 学習ノート	・背泳ぎの特性に興味を持ち，安全活動を心掛けるとともに，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故発生時の対処について，言ったり書き出したりしている。 ・自分の現状（泳力・記録）を把握し，自己の能力に応じた目標記録を設定している。
なか１（３時間）	**ねらい２（高まった能力に合わせて）** (1)　泳法技術の習得 ア　基本姿勢 イ　キック ウ　ストローク エ　コンビネーション オ　呼吸法 カ　スタート キ　ターン (2)　技能向上のための練習法の工夫 ア　補助者（２人１組） イ　補助具（ビート板・プルブイ・パドル・フィン） ウ　活動場所 a　プールサイド b　プール壁面 c　水中 (3)　泳法チェック	Ⅳ－① 行動観察 学習ノート Ⅳ－② 行動観察 学習ノート Ⅱ－② 行動観察 学習ノート Ⅰ－④ 行動観察 Ⅲ－② 行動観察	・背泳ぎの特性や技術の構造，ルールについて言ったり書き出したりしている。 ・合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について具体例を挙げている。 ・課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を守り健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。 ・基本姿勢を保ちながら，ローリングを生かした手の動作や強い足の動作ができる。
なか２（２時間）	(1)　泳力向上のための練習法の工夫 ア　スピード練習 イ　インターバル練習 (2)　総合練習	Ⅱ－③ 行動観察 学習ノート Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察	・課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・互いに助言しあったり，励まし合うなど，仲間と協力して練習や競泳に取り組もうとする。 ・手と足の調和のとれた動きができ，手の動作に合わせてタイミングよく呼吸をすることができる。
なか３（２時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1)　記録会・リレー大会 ア　２５ｍタイム計測 イ　１０分間泳（距離計測） ウ　リレー大会 (2)「水」にかかわる事故防止について ア　着衣水泳 イ　救助法・運搬法 ウ　心肺蘇生法	Ⅲ－① 技能テスト Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート	・自分の能力に応じたフォームで，速く泳いだり，続けて長く泳ぐことができる。 ・記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。 ・水泳の事故防止の心得や事故発生時の対処について,言ったり書き出したりしている。
まとめ（１時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　水泳に対して，興味や関心がさらに高まったかどうか。 (2)　学習活動の進め方や工夫の仕方はどうであったか。 (3)　技能はどのように向上したか。	学習ノートや評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　意欲的に取り組もうと更衣を早く済ませ，集合できたか。 (2)　安全活動を心掛け，不安全な行動や態度をとっていないか。

６　Ｉ個人評価シート例「水泳(背泳ぎ)」　　２年〇組　〇〇番　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果 評価	○&×	特記事項	評価点	備考 評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	背泳ぎの特性に関心がある。	A B C				× 1	25%
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	A B C				× 1	
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	A B C				× 1	
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	A B C				× 1	
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	A B C				× 1	
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	A B C				× 1	
					合計					
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。	A B C				× 1	25%
		Ⅱ－①	8	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	A B C				× 1	
		Ⅱ－②	9	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	A B C				× 1	
		Ⅱ－③	10	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。	A B C				× 1	
					合計					
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	11	目標タイムが達成できる。	A B C				× 1	25%
		Ⅲ－①	12	目標距離に到達できる。	A B C				× 1	
		Ⅲ－②	13	基本姿勢ができている。	A B C				× 1	
		Ⅲ－②	14	ローリングを生かした手の動作ができる。	A B C				× 1	
		Ⅲ－②	15	正確な足の動作ができる。	A B C				× 1	
		Ⅲ－③	16	手と足の調和のとれた動作ができる。	A B C				× 1	
		Ⅲ－③	17	手の動作に合わせた呼吸ができる。	A B C				× 2	
		Ⅲ－①	18	ターンができる。	A B C				× 2	
					合計					
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	19	背泳ぎの特性や技術の構造について理解している。	A B C				× 1	25%
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。	A B C				× 1	
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	A B C				× 1	
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。	A B C				× 1	
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト	A B C				× 10	
					合計					
					総合計					

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　水泳（背泳ぎ）　2年生（10時間）

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度							Ⅱ思考・判断					Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解							合計得点
評価方法	行動観察							行動観察・学習ノート					行動観察・技能テスト									行動観察・学習ノート				テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－①		Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10		11	12	13	14	15	16	17	18		19	20	21	22	23			
観点別評価項目（具体例）	背泳ぎの特性に関心がある。	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	Ⅰ小計	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。	Ⅱ小計	目標タイムが達成できる。	目標距離に到達できる。	基本姿勢ができている。	ローリングを生かした手の動作ができる。	正確な足の動作ができる。	手と足の調和のとれた動作ができる。	手の動作に合わせた呼吸ができる。	ターンができる。	Ⅲ小計	背泳ぎの特性や技術の構造について理解している。	ルールや審判法を理解している。	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	事故防止の心得や対処方法を理解している。	小テスト	Ⅳ小計		
実施月／日																												
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	倍率	／	／	／	／	倍率	／	／	／	／	／	／	／	／	倍率	／	／	／	／	／ ×10	倍率		
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												

体育授業　記録シート

年　組	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
種目名(　　)		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No. 組・番	評価項目番号 / 氏名															
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「水泳(背泳ぎ)」

２年生（１０時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	背泳ぎの特性に関心がある。
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。
		Ⅱ－①	8	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。
		Ⅱ－②	9	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	10	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	11	目標タイムが達成できる。
		Ⅲ－①	12	目標距離に到達できる。
		Ⅲ－②	13	基本姿勢ができている。
		Ⅲ－②	14	ローリングを生かした手の動作ができる。
		Ⅲ－②	15	正確な足の動作ができる。
		Ⅲ－③	16	手と足の調和のとれた動作ができる。
		Ⅲ－③	17	手の動作に合わせた呼吸ができる。
		Ⅲ－①	18	ターンができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	19	背泳ぎの特性や技術の構造について理解している。
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト

総時間数（　　）時間 ,　　欠席時間数（　　）時間 ,　　見学時間（　　）時間

単元　「Ｄ　水泳（バタフライ）」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じてバタフライの技能を高め，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができるようにする。

ア　全身によるうねりの動作，手と足の動作，呼吸のタイミング等の技能を習得できるようにする。

イ　手の動作と呼吸のタイミング，手と足の動作のコンビネーションなど調和のとれた動作ができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) 互いに協力して練習ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) 自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競泳の仕方を工夫することができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

水泳の特性に関心を持ち，互いに協力したり，事故防止に関する心得を守ったりして，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。

①　記録の向上の喜びや競泳の楽しさなどを味わおうとする。

②　仲間と協力して計測し合ったり，教え合ったりしようとする。

③　記録の計測や勝敗に対して公正な態度をとり，その結果を受け入れようとする。

④　水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じて選択した泳法で、目標タイムや距離を設定し、それを達成するための課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や競泳の仕方を工夫している。

①　自分のこれまでの学習経験や泳力などから目標タイムや距離を設定している。

②　課題解決に必要な，練習内容・方法を選んだり，見付けたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

バタフライの特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。

①　自分の能力に応じて，速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。

②　基本姿勢を保ちながら，全身によるうねりの動作，手や足の動作ができる。

③　手と足の調和のとれた動きができ、手の動作に合わせてタイミングよく呼吸ができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

水泳の特性や技術の構造を理解するとともに，練習の計画的な行い方，ルールや審判法について理解している。また、水泳の事故防止の心得や対処方法の知識を身に付けている。

①　水泳の特性や技術の構造，ルールや審判法を知っている。

②　練習の仕方や，練習計画の立て方を知っている。

③　水泳の事故防止の心得や対処方法を知っている。

3　評価規準例「水泳（バタフライ）」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①バタフライの特性に強い関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んでバタフライの楽しさや喜びを味わおうとする。	①バタフライの特性に関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，バタフライの楽しさや喜びを味わおうとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，バタフライの楽しさや喜びを味わおうとする。
	②自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習，競泳に取り組もうとする。	②互いに助言し合ったり，記録を計測しあうなど，協力して練習や競泳に取り組もうとする。	②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習，競泳に取り組もうとする。
	③記録の計測や勝敗に対して，公正な態度がとれ，結果を客観的に受け止めたり，仲間を尊重しようとする。	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。	③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。
	④水泳の事故防止に関する心得を常に守り，自ら進んで健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。	④水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。	④教師や仲間の助言を受けて，健康・安全に留意して，練習や競泳をしようとする。
Ⅱ思考・判断	①自分の現状（泳力・記録）を正確に把握し，自己の能力を最大限に引き出すための高い目標記録を設定している。	①自分の現状（泳力・記録）に応じた目標記録を設定している。	①自分の現状（泳力・記録）を把握している。
	②課題解決のための効果的な練習方法を，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら改善しようとしている。	②課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。	②教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を選んだりしている。
	③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	③課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①自己の能力に適したペース配分を把握しており，より速く，長く泳ぐことができる。	①自分の能力に応じて速く泳いだり，続けて長く泳いだりすることができる。	①自分のペースで泳ぐことができる。
	②基本姿勢を保ちながら，全身によるうねりの動作、ストロークやキックの動作をより速く，正確にできる。	②基本姿勢を保ちながら，全身によるうねりの動作，手や足の動作ができる。	②手や足の動作が一部できる。
	③手と足の調和のとれた伸びのある動きができ，手や足の動作に合わせてタイミングのよいスムーズな呼吸をすることができる。	③手と足の調和のとれた動きができ，手や足の動作に合わせてタイミングよく呼吸をすることができる。	③手と足の調和のとれた動きや呼吸動作が一部できる。
Ⅳ知識・理解	①バタフライの特性や技術の構造，ルール，審判法について詳しく説明できる。	①バタフライの特性や技術の構造，ルール，審判法について言ったり書き出したりしている。	①バタフライの特性や技術の構造，ルール，審判法を部分的に理解している。
	②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，詳しく説明できる。	②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。	②練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，部分的に知っている。
	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，詳しく説明できる。	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，言ったり書き出したりしている。	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，部分的に知っている。

4　評価規準の評価観点例「水泳（バタフライ）」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア自己の泳力を理解し，向上心を持って楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録の場面で，リーダーシップを発揮している。 ③ア計測結果や競泳の勝敗に対し客観的に受け止め、他人の記録を尊重している。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に積極的に注意を払っている。 イ常に禁止事項を守り、仲間への配慮もしている。 ウ指導者やリーダーの指示を積極的に聞いている。	①ア自己の泳力を理解し，楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録を他と協力しながら行っている。 ③ア計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度をとっている。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に注意を払っている。 イ禁止事項を遵守している。 ウ指導者やリーダーの指示を聞いている。	①ア楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア仲間からの指摘を受けながら計測している。 ③ア仲間からの指摘を受けながら計測結果や競泳の勝敗を受け入れている。 ④ア入水時に注意を払っている。 イ仲間からの指摘を受けながら禁止事項を守っている。 ウ仲間からの指摘を受けながら指導者やリーダーの指示を聞いている。
Ⅱ思考・判断	①ア常に現状を把握し、自己の能力を最大限に引き出すための目標タイムや距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具を有効に使ったり，積極的に仲間の補助をするなどしている。 ③ア仲間と互いのフォームやタイムを評価し，問題点を助言し合ったり，練習方法を指示したりしている。	①ア個々の泳力に応じた目標タイムや距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具などを有効に使ったりてしている。 ③アフォームやタイムを評価し，問題点を見付け，練習方法を修正したりしている。	①ア自分の現状（泳力・記録）を把握している。 ②ア教師や仲間の助言を受けながら，練習したりしている。 イ教師や仲間の助言を受けながら，補助具などを使ったりししている。 ③ア教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したりしいる。
Ⅲ運動の技能	①アペース配分をしながら，目標タイムに到達できる。 イ常に目標距離に到達できる。 ②ア常に全身のうねりを生かした伸びのある泳ぎができる。 イ入水からリカバリーまでスムーズで力強いストロークができる。 ウ全身のうねりを生かし、強弱をつけたドルフィンキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれたスピードのある泳ぎができる。 イ手と足の動作に合わせたタイミングのよい素早い呼吸動作ができる。	①ア目標タイムに到達できる。 イ目標距離に到達できる。 ②ア全身のうねりを生かした伸びのある泳ぎができる。 イ入水からリカバリーまでスムーズにストロークできる。 ウ全身のうねりを生かしたドルフィンキックができる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれた泳ぎができる。 イ手と足の動作に合わせたタイミングのよい呼吸動作ができる。	①ア自分のペースで泳ぐことができる。 イ目標距離におおむね到達できる。 ②ア全身のうねりを意識しながら泳ぐことができる。 イ入水からリカバリーまでストロークできる。 ウ全身のうねりを生かしたドルフィンキックが一部できる。 ③ア手と足のコンビネーションが一部できる。 イ呼吸動作ができる。
Ⅳ知識・理解	①ア技術・ルール・審判法について，仲間と積極的に話し合ったり，詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画をより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処についてより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言を積極的にしたりしている。	①ア技術・ルール・審判法について，仲間と話し合ったり，学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画を学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言をしたりしている。	①ア技術・ルール・審判法について，学習ノートに書き出したりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画の一部を学習ノートに書き出したりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について知っている。 イ水泳の事故防止や安全活動について知っている。

５　指導と評価の計画例「水泳（バタフライ）＜２年生（１０時間）＞」

時間	ねらい・生徒の学習活動	具体の場面・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（２時間）	(1)　水泳の特性や安全活動，また泳法における技能の構造を理解する。 (2)　水なれと出入水時の安全確認方法の理解と実践。 **ねらい１（今ある能力で工夫）** (1)　泳力判定(初期計測とグループ分け) ア　壁キックから10m泳法チェック イ　壁キックから25mタイム計測 (2)　グループリーダーの選出	Ⅰ－① 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート Ⅱ－① 学習ノート	・バタフライの特性に興味を持ち，安全活動を心掛けるとともに，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故発生時の対処について，言ったり書き出したりしている。 ・自分の現状（泳力・記録）を把握し，自己の能力に応じた目標記録を設定している。
なか１（３時間）	**ねらい２（高まった能力に合わせて）** (1)　泳法技術の習得 ア　基本姿勢 イ　キック ウ　ストローク エ　コンビネーション オ　呼吸法 カ　スタート キ　ターン (2)　技能向上のための練習法の工夫 ア　補助者（２人１組） イ　補助具（ビート板・プルブイ・パドル・フィン） ウ　活動場所 a　プールサイド b　プール壁面 c　水中 (3)　泳法チェック	Ⅳ－① 行動観察 学習ノート Ⅳ－② 行動観察 学習ノート Ⅱ－② 行動観察 学習ノート Ⅰ－④ 行動観察 Ⅲ－② 行動観察	・バタフライの特性や技術の構造，ルールについて言ったり書き出したりしている。 ・合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について具体例を挙げている。 ・課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を守り健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。 ・基本姿勢を保ちながら，全身によるうねりの動作を生かした手や足の動作ができる。
なか２（２時間）	(1)　泳力向上のための練習法の工夫 ア　スピード練習 イ　インターバル練習 (2)　総合練習	Ⅱ－③ 行動観察 学習ノート Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察	・課題の達成状況をとらえ，練習や競泳の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。 ・互いに助言しあったり，励まし合うなど，仲間と協力して練習や競泳に取り組もうとする。 ・手と足の調和のとれた動きができ，手や足の動作に合わせてタイミングよく呼吸をすることができる。
なか３（２時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1)　記録会・リレー大会 ア　２５ｍタイム計測 イ　１０分間泳（距離計測） ウ　リレー大会 (2)「水」にかかわる事故防止について ア　着衣水泳 イ　救助法・運搬法 ウ　心肺蘇生法	Ⅲ－① 技能テスト Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート	・自分の能力に応じたフォームで，速く泳いだり，続けて長く泳ぐことができる。 ・記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。 ・水泳の事故防止の心得や事故発生時の対処について，言ったり書き出したりしている。
まとめ（１時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　水泳に対して，興味や関心がさらに高まったかどうか。 (2)　学習活動の進め方や工夫の仕方はどうであったか。 (3)　技能はどのように向上したか。	学習ノートや評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　意欲的に取り組もうと更衣を早く済ませ，集合できたか。 (2)　安全活動を心掛け，不安全な行動や態度をとっていないか。

６　Ｉ個人評価シート例「水泳（バタフライ）」　　２年○組　○○番　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合 %
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	バタフライの特性に関心がある。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	8	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	9	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	11	目標タイムが達成できる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	12	目標距離に到達できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	13	基本姿勢を保ちながら、うねりの動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	14	正確な手の動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	15	正確な足の動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	16	手と足の調和のとれた動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	17	手の動作に合わせた呼吸ができる。	A	B	C			× 2	
		Ⅲ－①	18	ターンができる。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	19	バタフライの特性や技術の構造について理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　水泳（ﾊﾞﾀﾌﾗｲ）　2年生(10時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点			Ⅰ関心・意欲・態度							Ⅱ思考・判断					Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解						
評価方法			行動観察							行動観察・学習ノート					行動観察・技能テスト									行動観察・学習ノート				テスト		
具体の規準			Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－③		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－①		Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全		
項目番号			1	2	3	4	5	6	Ⅰ小計	7	8	9	10	Ⅱ小計	11	12	13	14	15	16	17	18	Ⅲ小計	19	20	21	22	23	Ⅳ小計	合計得点
観点別評価項目（具体例）			バタフライの特性に関心がある。	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。		自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。		目標タイムが達成できる。	目標距離に到達できる。	基本姿勢を保ちながら、うねりの動作ができる。	正確な手の動作ができる。	正確な足の動作ができる。	手と足の調和のとれた動作ができる。	手の動作に合わせた呼吸ができる。	ターンができる。		バタフライの特性や技術の構造について理解している。	ルールや審判法を理解している。	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	事故防止の心得や対処方法を理解している。	小テスト		
実施月／日																													
No.	組・番	氏　名	／	／	／	／	／	／	倍率	／	／	／	／	倍率	／	／	／	／	／	／	／	／	倍率	／	／	／	／	／ ×10	倍率	
1																														
2																														
3																														
4																														
5																														
6																														
7																														
8																														
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														
16																														
17																														
18																														
19																														
20																														

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　） 実施月日			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	評価項目番号 / 氏名															
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	

観点別評価項目例「水泳（ﾊﾞﾀﾌﾗｲ）」

２年生（１０時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	バタフライの特性に関心がある。
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標タイムを設定をしている。
		Ⅱ－①	8	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。
		Ⅱ－②	9	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	10	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	11	目標タイムが達成できる。
		Ⅲ－①	12	目標距離に到達できる。
		Ⅲ－②	13	基本姿勢を保ちながら、うねりの動作ができる。
		Ⅲ－②	14	正確な手の動作ができる。
		Ⅲ－②	15	正確な足の動作ができる。
		Ⅲ－③	16	手と足の調和のとれた動作ができる。
		Ⅲ－③	17	手の動作に合わせた呼吸ができる。
		Ⅲ－①	18	ターンができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	19	バタフライの特性や技術の構造について理解している。
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｄ　水泳(横泳ぎ)」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じて横泳ぎの技能を高め，続けて長く泳いだりすることができるようにする。

ア　浮きをとり水をかく手，水を押し挟むあおり足の動作とそのタイミングなどの技能を習得し，十分な伸びをとって泳ぐことができるようにする。

イ　手の動作と呼吸のタイミング，手と足の動作のコンビネーションなど調和のとれた動作ができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) 互いに協力して練習ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習や競泳ができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) 自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方を工夫することができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

水泳の特性に関心を持ち，互いに協力したり，事故防止に関する心得を守ったりして，健康・安全に留意して練習をしようとする。

①　記録の向上の喜びや水泳の楽しさなどを味わおうとする。

②　仲間と協力して計測し合ったり，教え合ったりしようとする。

③　記録の計測や勝敗に対して公正な態度をとり，その結果を受け入れようとする。

④　水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じて選択した泳法で，目標距離等を設定し，それを達成するための課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方を工夫している。

①　自分のこれまでの学習経験や泳力などから目標距離等を設定している。

②　課題解決に必要な，練習内容・方法を選んだり，見付けたりしている。

③　課題の達成状況をとらえ，練習の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

横泳ぎの特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，続けて長く泳いだりすることができる。

①　自分の能力に応じて，続けて長く泳いだりすることができる。

②　基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。

③　手と足の調和のとれた動きができ、十分な伸びをとって泳ぐことができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

水泳の特性や技術の構造を理解するとともに，練習の計画的な行い方，ルールや審判法について理解している。また、水泳の事故防止の心得や対処方法の知識を身に付けている。

①　水泳の特性や技術の構造，ルールや審判法を知っている。

②　練習の仕方や，練習計画の立て方を知っている。

③　水泳の事故防止の心得や対処方法を知っている。

３　評価規準例「水泳（横泳ぎ）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①横泳ぎの特性に強い関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，自ら進んで横泳ぎのし楽しさや喜びを味わおうとする。	①横泳ぎの特性に関心を持ち，自己の能力にあった目標を定め，横泳ぎの楽しさや喜びを味わおうとする。	①教師や仲間の助言を受けて，自己の目標を定め，横泳ぎの楽しさや喜びを味わおうとする。
	②自ら進んで助言をしたり，励まし合うなど，仲間と協力して記録の計測や練習に取り組もうとする。	②互いに助言し合ったり，記録を計測しあうなど，協力して練習に取り組もうとする。	②仲間からの指摘や励ましを受けて，記録の計測や練習に取り組もうとする。
	③記録の計測や勝敗に対して，公正な態度がとれ，結果を客観的に受け止めたり，仲間を尊重しようとする。	③記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。	③教師や仲間の助言を受けて，自分や仲間の記録や勝敗を受け入れようとする。
	④水泳の事故防止に関する心得を常に守り，自ら進んで健康・安全に留意して練習しようとする。	④水泳の事故防止に関する心得を守り，健康・安全に留意して練習しようとする。	④教師や仲間の助言を受けて，健康・安全に留意して，練習しようとする。
Ⅱ思考・判断	①自分の現状（泳力・記録）を正確に把握し，自己の能力を最大限に引き出すための高い目標記録を設定している。	①自分の現状（泳力・記録）に応じた目標記録を設定している。	①自分の現状（泳力・記録）を把握している。
	②課題解決のための効果的な練習方法を，各種の資料を活用し，自ら考えたり助言を受けながら改善しようとしている。	②課題解決に必要な練習の方法を選んだり，見付けたりしている。	②教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を選んだりしている。
	③練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い，新たな課題の解決に向けて，練習方法に修正を加えながら見通しを立てて取り組もうとする。	③課題の達成状況をとらえ，練習の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	③教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したり，新しい課題を選んだりしている。
Ⅲ運動の技能	①自己の能力に適したペース配分を把握しており，より長く泳ぐことができる。	①自分の能力に応じて，続けて長く泳いだりすることができる。	①自分のペースで泳ぐことができる。
	②基本姿勢を保ちながら，手や足の動作を正確にできる。	②基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。	②手や足の動作が一部できる。
	③手と足の調和のとれた動きができ，大きく伸びをとって泳ぐことができる。	③手と足の調和のとれた動きができ，伸びをとって泳ぐことができる。	③手と足の調和のとれた動きが一部できる。
Ⅳ知識・理解	①横泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法について詳しく説明できる。	①横泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法について言ったり書き出したりしている。	①横泳ぎの特性や技術の構造，ルール，審判法を部分的に理解している。
	②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，詳しく説明できる。	②合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。	②練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について，部分的に知っている。
	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，詳しく説明できる。	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，言ったり書き出したりしている。	③水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故がおきたときの対処について，部分的に知っている。

4　評価規準の評価観点例「水泳(横泳ぎ)」

	A 十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア自己の泳力を理解し，向上心を持って楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録の場面で，リーダーシップを発揮している。 ③ア計測結果を客観的に受け止め、他人の記録を尊重している。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に積極的に注意を払っている。 イ常に禁止事項を守り、仲間への配慮もしている。 ウ指導者やリーダーの指示を積極的に聞いている。	①ア自己の泳力を理解し，楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア計測や記録を他と協力しながら行っている。 ③ア計測結果に対して公正な態度をとっている。 ④ア入水時に他の泳者や入水者に注意を払っている。 イ禁止事項を遵守している。 ウ指導者やリーダーの指示を聞いている。	①ア楽しく学習に取り組んでいる。 ②ア仲間からの指摘を受けながら計測している。 ③ア仲間からの指摘を受けながら計測結果を受け入れている。 ④ア入水時に注意を払っている。 イ仲間からの指摘を受けながら禁止事項を守っている。 ウ仲間からの指摘を受けながら指導者やリーダーの指示を聞いている。
Ⅱ思考・判断	①ア常に現状を把握し、自己の能力を最大限に引き出すための目標距離をを設定している。 ②ア自己のフォームを常にチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具を有効に使ったり，積極的に仲間の補助をするなどしている。 ③ア仲間と互いのフォームや距離を評価し，問題点を助言し合ったり，練習方法を指示し合ったりしている。	①ア個々の泳力に応じた目標距離を設定している。 ②ア自己のフォームをチェックし修正しながら練習したりしている。 イ補助具などを有効に使ったりてしている。 ③アフォームや距離を評価し，問題点を見付け，練習方法を修正したりしている。	①ア自分の現状（泳力・記録）を把握している。 ②ア教師や仲間の助言を受けながら，練習したりしている。 イ教師や仲間の助言を受けながら，補助具などを使ったりししている。 ③ア教師や仲間の助言を受けながら，練習方法を見直したりしいる。
Ⅲ運動の技能	①ア常に目標距離に到達できる。 ②ア常に安定した状態で，体をまっすぐに伸ばし，体側を下にし，水面に垂直になるような姿勢で泳ぐことができる。 イ先手と受け手の動作が大きく正確にできる。 ウあおり足の動作を力強く正確にできる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれた大きく伸びのある泳ぎができる。 イ常に手の動作に合わせたスムーズな呼吸動作ができる。	①ア目標距離に到達できる。 ②ア体をまっすぐに伸ばし，体側を下にし，水面に垂直になるような姿勢で泳ぐことができる。 イ先手と受け手の動作がスムーズできる。 ウあおり足の動作ができる。 ③ア手と足のコンビネーションがとれた伸びのある泳ぎができる。 イ手の動作に合わせた呼吸動作ができる。	①ア目標距離におおむね到達できる。 ②ア体側を下にし，水面に垂直にるなるような姿勢で泳ぐことができる。 イ先手と受け手の動作ができる。 ウあおり足の動作を意識しながら泳ぐことができる。 ③ア手と足のコンビネーションが一部できる。 イ呼吸動作が一部できる。
Ⅳ知識・理解	①ア技術について，仲間と積極的に話し合ったり，詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画をより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処についてより詳しく学習ノートにまとめたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言を積極的にしたりしている。	①ア技術について，仲間と話し合ったり，学習ノートにまとめたりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画を学習ノートにまとめたりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について学習ノートにまとめてたりしている。 イ仲間に対して，水泳の事故防止や安全活動についての注意や助言をしたりしている。	①ア技術について，学習ノートに書き出したりしている。 ②ア練習方法や学習の進め方，練習計画の一部を学習ノートに書き出したりしている。 ③ア事故防止の心得や事故がおきたときの対処について知っている。 イ水泳の事故防止や安全活動について知っている。

５　指導と評価の計画例「水泳(横泳ぎ)＜２年生(１０時間)＞」

時間	ねらい・生徒の学習活動	具体の規準・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（２時間）	(1)　水泳の特性や安全活動，また泳法における技能の構造を理解する。 (2)　水なれと出入水時の安全確認方法の理解と実践。 ねらい１（今ある能力で工夫） (1)　泳力判定(初期計測とグループ分け) ア　壁キックから10m泳法チェック (2)　グループリーダーの選出	Ⅰ－① 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート Ⅱ－① 学習ノート	・横泳ぎの特性に興味を持ち，安全活動を心掛けるとともに，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・水泳の事故防止の心得や練習場のルール，事故発生時の対処について，言ったり書き出したりしている。 ・自分の現状（泳力・記録）を把握し，自己の能力に応じた目標記録を設定している。
なか１（３時間）	ねらい２（高まった能力に合わせて） (1)　泳法技術の習得 ア　基本姿勢 イ　あおり足 ウ　先手・納手 エ　コンビネーション オ　呼吸法 (2)　技能向上のための練習法の工夫 ア　補助者（２人１組） イ　補助具（ビート板） ウ　活動場所 a　プールサイド b　プール壁面 c　水中 (3)　泳法チェック	Ⅳ－① 行動観察 学習ノート Ⅳ－② 行動観察 学習ノート Ⅱ－② 行動観察 学習ノート Ⅰ－④ 行動観察 Ⅲ－② 行動観察	・横泳ぎの特性や技術の構造，ルールについて言ったり書き出したりしている。 ・合理的な練習方法や学習の進め方，練習計画の立て方について具体例を挙げている。 ・課題解決に必要な練習や競泳の方法を選んだり，見付けたりしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を守り健康・安全に留意して練習や競泳をしようとする。 ・基本姿勢を保ちながら，手や足の動作ができる。
なか２（２時間）	(1)　泳力向上のための練習法の工夫 (2)　総合練習	Ⅱ－③ 行動観察 学習ノート Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察	・課題の達成状況をとらえ，練習の仕方を見直したり,新しい課題を選んだりしている。 ・互いに助言しあったり，励まし合うなど，仲間と協力して練習に取り組もうとする。 ・手と足の調和のとれた動きができ，伸びをとって泳ぐことができる。
なか３（２時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　記録会 ア　距離計測 (2)「水」にかかわる事故防止について ア　着衣水泳 イ　救助法・運搬法 ウ　心肺蘇生法	Ⅲ－① 技能テスト Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ－③ 行動観察 学習ノート	・自分の能力に応じたフォームで，続けて長く泳ぐことができる。 ・記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ，その結果を受け入れようとする。 ・水泳の事故防止の心得や事故発生時の対処について,言ったり書き出したりしている。
まとめ（１時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1)　水泳に対して，興味や関心がさらに高まったかどうか。 (2)　学習活動の進め方や工夫の仕方はどうであったか。 (3)　技能はどのように向上したか。	学習ノートや評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1)　意欲的に取り組もうと更衣を早く済ませ，集合できたか。 (2)　安全活動を心掛け，不安全な行動や態度をとっていないか。

６　Ｉ個人評価シート例「水泳(横泳ぎ)」

２年○組　○○番　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	横泳ぎの特性に関心がある。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	計測結果や勝敗に対して公正な態度がとれる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・学習ノート	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	8	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	9	フォームを評価し、練習方法を見直している。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	10	目標距離に到達できる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－②	11	基本姿勢ができている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	12	先手と受け手の動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	13	あおり足の動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	14	手と足の調和のとれた動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	15	手の動作に合わせた呼吸ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	16	十分な伸びをとって泳ぐことができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察・学習ノート	Ⅳ－①	17	横泳ぎの特性や技術の構造について理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	18	ルールや審判法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	19	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	20	事故防止の心得や対処方法を理解している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	21	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　水泳（横泳ぎ）　2年生(10時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点			Ⅰ関心・意欲・態度							Ⅱ思考・判断				Ⅲ運動の技能								Ⅳ知識・理解						合計得点
評価方法			行動観察							行動観察・学習ノート				行動観察・技能テスト								行動観察・学習ノート				テスト		
具体の規準			Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②		Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－①		Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全		
項目番号			1	2	3	4	5	6		7	8	9		10	11	12	13	14	15	16		17	18	19	20	21		
観点別評価項目（具体例）			横泳ぎの特性に関心がある。	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。	水泳の事故防止に関する心得が守れている。	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。	Ⅰ小計	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。	フォームを評価し、練習方法を見直している。	Ⅱ小計	目標距離に到達できる。	基本姿勢ができている。	先手と受け手の動作ができる。	あおり足の動作ができる。	手と足の調和のとれた動作ができる。	手の動作に合わせた呼吸ができる。	十分な伸びをとって泳ぐことができる。	Ⅲ小計	横泳ぎの特性や技術の構造について理解している。	ルールや審判法を理解している。	練習の仕方や計画の立て方を理解している。	事故防止の心得や対処方法を理解している。	小テスト	Ⅳ小計	
実施月／日																												
No.	組・番	氏　名	／	／	／	／	／	／	倍率	／	／	／	倍率	／	／	／	／	／	／	／	倍率	／	／	／	／	／ ×10	倍率	
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	氏名＼評価項目番号														
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「水泳（横泳ぎ）」

２年生（１０時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	横泳ぎの特性に関心がある。
		Ⅰ－①	2	楽しく、積極的に学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－②	3	仲間と協力しながら学習に取り組んでいる。
		Ⅰ－③	4	計測結果や競泳の勝敗に対して公正な態度がとれる。
		Ⅰ－④	5	水泳の事故防止に関する心得が守れている。
		Ⅰ－④	6	健康・安全に留意して学習に取り組んでいる。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－①	7	自分の泳力に応じた目標距離を設定をしている。
		Ⅱ－②	8	目標達成に必要な練習方法を選んでいる。
		Ⅱ－③	9	フォームやタイムを評価し、練習方法を見直している。
Ⅲ運動の技能	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	10	目標距離に到達できる。
		Ⅲ－②	11	基本姿勢ができている。
		Ⅲ－②	12	先手と受け手の動作ができる。
		Ⅲ－②	13	あおり足の動作ができる。
		Ⅲ－③	14	手と足の調和のとれた動作ができる。
		Ⅲ－③	15	手の動作に合わせた呼吸ができる。
		Ⅲ－③	16	十分な伸びをとって泳ぐことができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	19	横泳ぎの特性や技術の構造について理解している。
		Ⅳ－①	20	ルールや審判法を理解している。
		Ⅳ－②	21	練習の仕方や計画の立て方を理解している。
		Ⅳ－③	22	事故防止の心得や対処方法を理解している。
	テスト	Ⅳ－全	23	小テスト

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｅ　球技(バスケットボール）」

１　単元目標

(1) チームの課題や自己の能力に応じてバスケットボールの技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) チームにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

バスケットボールの特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

① 技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

② 練習やゲームで，チームにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

③ 練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

④ 練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

チームや自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

① チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

② チームや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③ 技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④ チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

バスケットボールの特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

① ボールをコントロールしたパス，キャッチ，ドリブル，フットワーク，フェイントができる。

② 練習やゲームで，パスを受ける動き，フリーになる動き，ゴールチャンスを生み出す動きができる。

③ 練習やゲームで，マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンスの動きができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

バスケットボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

① 選択した球技種目の特性に応じた集団的技能や個人的技能の構造について，言ったり，書き出したりしている。

② 技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③ ルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④ 競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「球技（バスケットボール）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①バスケットボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①バスケットボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①バスケットボールの集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新たに発見した課題に合わせ、練習やゲームの内容の見直しや、合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて、練習やゲームを見直したり，課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①パスとキャッチで，攻撃につながるようにボールをとらえコントロールすることができる。 ②練習やゲームで，パスを受ける動き，フリーになる動き，ゴールチャンスを生み出す動きがタイミング良くできる。 ③練習やゲームで，マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンスの動きがタイミング良くできる。	①パスとキャッチでボールをコントロールすることができる。 ②練習やゲームで，パスを受ける動き，フリーになる動き，ゴールチャンスを生み出す動きができる。 ③練習やゲームで，マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンスの動きができる	①体勢を崩しながらも，パスとキャッチでボールをコントロールすることができる。 ②教師や仲間の助言を受けて，パスを受ける動き，フリーになる動き，ゴールチャンスを生み出す動きができる。 ③教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンスの動きができる。
Ⅳ知識・理解	①バスケットボールは攻防の中でボールを運び，ゴールにシュートすることを楽しむ特性があることについて具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ②バスケットボールの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げて説明している。 ③バスケットボールに必要な集団的な技術について，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げて説明している。	①バスケットボールは攻防の中でボールを運び，ゴールにシュートすることを楽しむ特性があることについて言ったり，書き出したりしている。 ②バスケットボールの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ③バスケットボールに必要な集団的な技術について，言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げている。	①バスケットボールは攻防の中でボールを運び，ゴールにシュートすることを楽しむ特性があることについて理解している。 ②バスケットボールの技能を高める合理的な練習法について知っている。 ③バスケットボールに必要な集団的な技術について知っている。 ④ゲームの運営の仕方について知っている。

４　評価規準の評価観点例「球技（バスケットボール）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①**ア**状況に応じた攻撃（速攻，セットオフェンス等）を適用しようとしている。 **イ**状況に応じた守備（マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンス等）を適用しようとしている。 ②**ア**練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③**ア**審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④**ア**危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具、ボール等）を積極的に行おうとしている。 **イ**練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し適切に対処しようとしている。	①**ア**状況に応じた攻撃（速攻，セットオフェンス等）を理解しようとしている。 **イ**状況に応じた守備（マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンス等）を理解しようとしている。 ②**ア**練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③**ア**審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④**ア**危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具、ボール等）を行おうとしている。 **イ**練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し対処しようとしている。	①**ア**状況に応じた攻撃（速攻，セットオフェンス等）が必要なことを理解している。 **イ**状況に応じた守備（マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンス等）が必要なことを理解している。 ②**ア**練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③**ア**審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④**ア**危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具、ボール等）が必要なことを理解している。 **イ**練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し何らかの対処が必要なことを理解している。
Ⅱ思考・判断	①**ア**練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②**ア**必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③**ア**各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④**ア**集団のレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①**ア**練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②**ア**必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③**ア**各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④**ア**集団のレベルに応じて，必要な戦術戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①**ア**練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②**ア**必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③**ア**各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④**ア**集団のレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①**ア**パスとキャッチで，攻撃につながるようにボールをとらえコントロールすることができる。 ②**ア**練習やゲームで，パスを受ける動き，フリーになる動き，ゴールチャンスを生み出す動きがタイミング良くできる。 ③**ア**練習やゲームで，マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンスの動きがタイミング良くできる。	①**ア**パスとキャッチでボールをコントロールすることができる。 ②**ア**練習やゲームで，パスを受ける動き，フリーになる動き，ゴールチャンスを生み出す動きができる。 ③**ア**練習やゲームで，マンツーマンディフェンス，ゾーンディフェンスの動きができる。	①**ア**体勢を崩しながらも，パスとキャッチでボールをコントロールすることができる。 ②**ア**教師や仲間の助言を受けて，パスを受ける動き，フリーになる動き，ゴールチャンスを生み出す動きができる。 ③**ア**教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームでマンツーマン，ゾーンディフェンスの動きができる。
Ⅳ知識・理解	①**ア**バスケットボールの技能ポイントや運動の特性について，説明することができる。 ②**ア**走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，具体的にあげて説明することができる。 ③**ア**バスケットボールにおける攻防のシステムや技能について，説明することができる。 ④**ア**ゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解し，アドバイスすることができる。	①**ア**バスケットボールの技能ポイントや運動の特性について，理解することができる。 ②**ア**走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，理解することができる。 ③**ア**バスケットボールにおける攻防のシステムや技能について，理解することができる。 ④**ア**ゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解している。	①**ア**バスケットボールの技能ポイントや運動の特性について，知っている。 ②**ア**走跳投運動において，効果的なトレーニング方法があることを知っている。 ③**ア**バスケットボールにおける攻防のシステムや技能について，教師や仲間の助言をもとに理解することができる。 ④**ア**ゲーム運営の仕方について，対応することができる。

５　指導と評価の計画例「球技(バスケットボール)」〈２年生(１５時間)〉

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1) バスケットボールの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やチームの課題を決める。 (3) チーム分けとチーム名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	 Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート	・バスケットボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 ・チームや自分の課題を設定しようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 自分の技能の課題を設定しながら，ゲームを楽しむ。 (2) チームや自分の課題の発見と単元目標の設定をする。 (3) お互いに見せ合ったり、協力して教え合ったりする。 (4)ボールをコントロールする。	 Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 学習ノート Ⅰ―④ 行動観察	 ・課題を設定して練習しようとする。 ・ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して練習しようとする。 ・パス，キャッチ，ドリブル，フェイントでボールをコントロールする。 ・ボールを片付けるなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２(高まった能力に合せて)** (1) 個人的技能を高めながら，ゲームを楽しむ。 (2) 作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わう。 (3) ゲームで相手に対する守備の動きを高める。 (4) 個人的技能と集団的技能の確認ゲームを適宜おこなう。	 Ⅲ―② 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―② 学習ノート	 ・さまざまな場面に応じたシュートができる。 ・集団的技能に着目して，作戦の具体例を挙げている。 ・パサーやレシーバーに対する守備の動きが合理的にできる。 ・ゲームでお互いの良いところを認めあい，仲間に働きかけている。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定する。 (2) 攻撃の連携プレーができる。 (3) 守備の連携プレーができる。 (4) まとめのゲームをおこなう。	 Ⅱ―④ 行動観察 Ⅲ―④ ⑤ 行動観察 Ⅳ―③ 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート 小テスト	 ・チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新しい課題を設定しようとしている。 ・練習やゲームで攻撃，守備の動きがタイミング良くできる。 ・基本的なルールや審判法について，具体例を挙げて書き出ししている。 ・ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) バスケットボールに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「球技(バスケットボール)」　　２年○組　○○番　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果 評価	○&×		特記事項	評価点	備考 評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	バスケットボールの特性に興味をもっている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームでボールをコントロールできる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－③	15	練習やゲームでゴールチャンスを生み出す動きができる。	A	B	C			× 1	
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－①	16	正確なパスができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	ドリブルが素早くできる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	シュートが正確にできる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	マンツーマン，ゾーンディフェンスの動きができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	バスケットボールの特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	バスケットボールに必要な集団的技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や，ルールや審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて言ったり，書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　球技（バスケットボール）　2年生（15時間）

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

| 評価観点 | | | Ⅰ関心・意欲・態度 | | | | | | | | Ⅱ思考・判断 | | | | | | | Ⅲ運動の技能 | | | | | | | | Ⅳ知識・理解 | | | | | | | |

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　） No.	組・番	氏名 / 評価項目番号	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
			月 日															
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「球技（バスケットボール）」　２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	バスケットボールの特性に興味をもっている。
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームでボールをコントロールできる。
		Ⅲ－④	15	練習やゲームでゴールチャンスを生み出す動きができる。
	技能テスト	Ⅲ－①	16	正確なパスができる。
		Ⅲ－①	17	ドリブルが素早くできる。
		Ⅲ－②	18	シュートが正確にできる。
		Ⅲ－③	19	マンツーマン，ゾーンディフェンスの動きができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	バスケットボールの特性を理解している。
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ－③	22	バスケットボールに必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単元　「E　球技(ハンドボール)」

1　単元目標

(1) チームの課題や自己の能力に応じてハンドボールの技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。　**(技能の内容)**

(2) チームにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。　**(態度の内容)**

(3) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**(学び方の内容)**

2　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

ハンドボールの特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

① 技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

② 練習やゲームで，チームにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

③ 練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

④ 練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

チームや自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

① チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

② チームや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③ 技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④ チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

チームの課題や自分の能力に応じて，ハンドボールの特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

① 自分の能力や課題に応じて選択した種目で，特性に応じた技能を身に付け，ゲームをすることができる。

② 身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり，新たに身に付けた技能で，攻防を展開してゲームをすることができる。

③ 技能の段階に応じて，相手との攻防にあった作戦でゲームや練習をすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

ハンドボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

① 選択した球技種目の特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について，言ったり，書き出したりしている。

② 技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③ ルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④ 競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例　「球技（ハンドボール）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ハンドボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うハンドボールの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①ハンドボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うハンドボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①ハンドボールの集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うハンドボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ,新たに発見した課題に合わせ,練習やゲームの内容の見直しや,合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ,練習やゲームの仕方を見直したり,新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて,練習やゲームを見直したり,課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①スピードにのってランニングパスをつなぎながら，ジャンプシュートを打つことができる。 ②フェイントでディフェンスを抜いてシュートをねらい，得点を決めることができる。また、相手シュートを予測して,デイフェンスの動作ができる。 ③練習やゲームで，ブロックプレーを使ったフォーメーションプレーの動きや,相手の攻撃パターンに対するディフェンスを選択して対応するための指示ができる。	①ランニングパスをつなぎながら，ジャンプシュートを打つことができる。 ②フェイントでデイフェンスを抜いてシュートを打つことが出きる。また、相手シュートに合わせて,ディフェンスの動作ができる。 ③練習やゲームで，ブロックプレーを使ったフォーメーションプレーの動きができる。また,相手の攻撃パターンに対するディフェンスができる。	①何とかランニングパスをつないで，シュート体勢に持ち込むことができる。 ②フェイントでディフェンスを抜こうとすることができる。また,相手シュートに対応が遅れながらも,何とかディフェンスの動作ができる。 ③教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，フォーメーションプレーの動きができる。また,相手の攻撃パターンに対するディフェンスができる。
Ⅳ知識・理解	①ハンドボールは相手ゴール目指してシュートを決めるために攻防を楽しむ特性があり，これについて具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ②ハンドボールの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げて説明している。 ③ハンドボールに必要な集団的な技術について，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げて説明している。	①ハンドボールは相手ゴール目指してシュートを決めるために攻防を楽しむ特性があり，これについて言ったり，書き出したりしている。 ②ハンドボールの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ③ハンドボールに必要な集団的な技術について，言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げている。	①ハンドボールは相手ゴール目指してシュートを決めるために攻防を楽しむ特性があり，このことを理解している。 ②ハンドボールの技能を高める合理的な練習法について知っている。 ③ハンドボールに必要な集団的な技術について知っている。 ④ゲームの運営の仕方について知っている。

4　評価規準の評価観点例　「球技（ハンドボール）」

	A　十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア状況に応じて攻撃システム（ダブルポスト，センタースリー等）を適用しようとしている。 イ状況に応じて防御システム（5-1，6-0，マンツーマンディフェンス等）を適用しようとしている。 ②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ゴール，ボール等）を積極的に行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，適切に対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃システム（ダブルポスト，センタースリー等）を理解しようとしている。 イ状況に応じた防御システム（5-1，6-0，マンツーマンディフェンス等）を理解しようとしている。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ゴール，ボール等）を行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃システム（ダブルポスト，センタースリー等）が必要なことを理解している。 イ状況に応じた防御システム（5-1，6-0，マンツーマンディフェンス等）が必要なことを理解している。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ゴール，ボール等）が必要なことを理解している。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，何らかの対処が必要なことを理
Ⅱ思考・判断	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④ア集団のレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①アスピードにのってランニングパスをつなぎながらジャンプシュートを打つことができる。 ②アフェイントでディフェンスを抜いてシュートをねらい，得点を決めることができる。 イ相手シュートを予測して，デイフェンスの動作ができる。 ③ア練習やゲームで，ブロックプレーを使ったフォーメーションプレーの動きがタイミング良くできる。 イ練習やゲームで，相手の攻撃パターンに対するディフェンスを選択して，対応するための指示（組織的な動作）ができる。	①アランニングパスをつなぎながら，ジャンプシュートを打つことができる。 ②アフェイントでデイフェンスを抜いてシュートを打つことができる。 イ相手シュートに合わせて，ディフェンスの動作ができる。 ③ア練習やゲームで，ブロックプレーを使ったフォーメーションプレーの動きができる。 イ練習やゲームで，相手の攻撃パターンに対するディフェンスを選択し，その中で個々の動作をすることができる。	①アランニングパスをつないで，シュート体勢に持ち込むことができる。 ②アフェイントでディフェンスを抜こうとすることができる。 イ相手シュートに対応が遅れながらも，何とかディフェンスの動作ができる。 ③ア教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，フォーメーションプレーの動きができる。 イ教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，相手の攻撃パターンに対するディフェンスができる。
Ⅳ知識・理解	①アハンドボールの攻防における，特徴的なパターン（クロス，ずらし，ブロックプレー等）について，説明することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，具体的にあげて説明することができる。 ③アハンドボールにおける攻防のシステムや技能について，説明することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解し，アドバイスすることができる。	①アハンドボールの攻防における，特徴的なパターン（クロス，ずらし，ブロックプレー等）について，理解することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，理解することができる。 ③アハンドボールにおける攻防のシステムや技能について，理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解している。	①アハンドボールの攻防において，特徴的なパターン（クロス，ずらし，ブロックプレー等）があることを知っている。 ②ア走跳投運動において，効果的なトレーニング方法があることを知っている。 ③アハンドボールにおける攻防のシステムや技能について，教師や仲間の助言をもとに理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，対応することができる。

5　指導と評価の計画例「球技(ハンドボール)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1) ハンドボールの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やチームの課題を決める。 (3) チーム分けとチーム名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート	・ハンドボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 ・チームや自分の課題を設定しようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) チームや自分の課題を設定しながら，パスゲームを楽しむ。 (2) チームや自分の課題の発見と単元目標の設定をする。 (3) パスとシュート，フェイントをおこなう。 (4) 安全に行えるように用具の整理をしたり，ゴールの点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 学習ノート Ⅰ―④ 行動観察	・課題を設定して練習しようとする。 ・ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して練習しようとする。 ・パスを続けてシュートに結びつけることができる。 ・ボールを片付けるなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２(高まった能力に合せて)** (1) 個人技能と集団技能を高めながら，ゲームを楽しむ。 (2) 作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わう。 (3) 集団的技能の学習（フォーメーションプレー）をおこなう。 (4) 個人的技能と集団技能の確認ゲームを適宜おこなう。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート	・各ポジション毎にシュートを狙い,得点することができる。 ・技能を高める合理的な練習法について，具体例をあげている。 ・多くのプレーについてポイントや練習方法を知っている。 ・ゲームでお互いの良いところを認めあい，仲間に働きかけている。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 練習やゲームの仕方を見直したり,新しい課題を設定する。 (2) オフェンスのコンビネーションプレーができる。 (3) ディフェンスのコンビネーションプレーができる。 (4) まとめのゲームをおこなう。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―③ 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート 小テスト	・チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新しい課題を設定しようとする。 ・審判の判定や指示にしたがい，勝敗や結果を受け入れようとする。 ・基本的なルールについて，具体例を上げて言ったり，書き出したりしている。 ・ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) ハンドボールに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例　「球技(ハンドボール)」　　２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	ハンドボールの特性に興味を持っている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて,勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り,公正な態度で取り組もうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど,健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い,仲間に働きかけている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり,新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能・行動観察	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じた攻撃ができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－③	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	A	B	C			× 1	
	技能テスト	Ⅲ－①	16	ランニングパスをつなぎながら,ジャンプシュートを打つことができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	フェイントでディフェンスを抜いてシュートを打つことができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	相手シュートに合わせて,ディフェンスの動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	練習やゲームで,フォーメーション・プレーの動きができる。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	ハンドボールの特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	ハンドボールに必要な集団的技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方,ルールや審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて,言ったり,書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について,具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　球技（ハンドボール）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能							Ⅳ知識・理解												
評価方法	行動観察						学習ノート		行動観察				学習ノート			行動観察		技能テスト・行動観察					行動観察				学習ノート			テスト					
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－①		Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－①	Ⅲ－③	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－全					
項目番号	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13		14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25	26	27					
観点別評価項目（具体例）	ハンドボールの特性に興味をもっている。	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	お互いに協力して練習しようとする。	審判の指示や判定に従っている。	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	Ⅰ 小計	自己の課題を設定して練習しようとする。	チームの課題を設定して練習しようとする。	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	学習ノートの活用方法を理解している。	チームや自己の課題を設定しようとする。	Ⅱ 小計	練習やゲームで相手の攻撃に対応できる守備を選択して対応することができる。	練習やゲームで、フォーメーション・プレーの動きができる。	フェイントでディフェンスを抜いてシュートを打つことができる。	ランニングパスをつなぎながらジャンプシュートを打つことができる。	相手シュートに合わせて、ディフェンスの動作ができる。	練習やゲームで自らの判断で場面に応じた攻撃ができる。	Ⅲ 小計	ハンドボールの特性を理解している。	技能を高める合理的な練習法を理解している。	ハンドボールに必要な集団的技能を理解している。	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。	ゲームの運営の仕方について知っている。	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	小テスト	Ⅳ 小計	合計得点	
実施月／日																																		
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／	／	／	／ ×10	倍率			
1																																		
2																																		
3																																		
4																																		
5																																		
6																																		
7																																		
8																																		
9																																		
10																																		
11																																		
12																																		
13																																		
14																																		
15																																		
16																																		
17																																		
18																																		
19																																		
20																																		

体育授業 記録シート

年 組 種目名( )	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	評価項目番号 / 氏名														
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「球技(ハンドボール)」

2年生(15時間)

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目(具体例)
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ-①	1	バンドボールの特性に興味をもっている。
		Ⅰ-①	2	作戦を立てて,勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ-②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ-③	4	審判の指示や判定に従っている。
		Ⅰ-③	5	ルールや規則を守り,公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ-④	6	仲間の安全に気を配るなど,健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ-①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い,仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ-②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ-②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ-③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ-④	11	練習やゲームの仕方を見直したり,新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ-①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ-①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ-①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じた攻撃ができる。
		Ⅲ-③	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。
	技能テスト・行動観察	Ⅲ-①	16	ランニングパスをつなぎながら、ジャンプシュートを打つことができる。
		Ⅲ-①	17	フェイントでディフェンスを抜いてシュートを打つことができる。
		Ⅲ-②	18	相手シュートに合わせて、ディフェンスの動作ができる。
		Ⅲ-③	19	練習やゲームで、フォーメーション・プレーの動きができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ-①	20	ハンドボールの特性を理解している。
		Ⅳ-②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ-③	22	ハンドボールに必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ-④	23	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ-②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ-③	25	基本的なルールについて,言ったり,書き出したりしている。
		Ⅳ-④	26	ゲームの運営の仕方について,具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ-全	27	小テスト

総時間数( )時間 , 欠席時間数( )時間 , 見学時間( )時間

単元　「Ｅ　球技(サッカー)」

１　単元目標

(1) チームの課題や自己の能力に応じてサッカーの技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。　**(技能の内容)**

(2) チームにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。　**(態度の内容)**

(3) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**(学び方の内容)**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

サッカーの特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

① 技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

② 練習やゲームで，チームにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

③ 練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

④ 練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

チームや自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

① チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

② チームや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③ 技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④ チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

チームの課題や自分の能力に応じて，特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

① 自分の能力や課題に応じて，特性に応じた技能を身に付け，ゲームをすることができる。

② 身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり，新たに身に付けた技能で，攻防を展開してゲームをすることができる。

③ 技能の段階に応じて，相手との攻防にあった作戦でゲームや練習をすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

サッカーの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

① 特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について，言ったり，書き出したりしている。

② 技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③ ルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④ 競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「球技（サッカー）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①サッカーの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うサッカーの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①サッカーの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うサッカーの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①サッカーの集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うサッカーの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新たに発見した課題に合わせ，練習やゲームの内容の見直しや，合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームを見直したり，課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①正確に，ボールをコントロールすることができ，１対１の守備が自らの判断でできる。 ②練習やゲームで，パスを受ける動き，タイミングよくパスが出せることや，守備においてチャレンジ・カバーなど，身につけた技能を生かすことができる。 ③練習やゲームでサイド攻撃やゾーンデフェンスができ，相手の攻守のパターンに対するシステムを選択して攻防することができる。	①ボールをコントロールすることができ，１対１の守備ができる。 ②練習やゲームでパスを受ける動きやパスを出すなどや守備においてカバーリングができる。 ③練習やゲームで，サイド攻撃やゾーンデフェンスができ，相手の攻守のパターンに対して攻防することができる。	①何とかパス，ドリブル，トラップができ，１対１の守備ができる。 ②練習やゲームで，教師や仲間の助言を受けて，身につけた技能ができる。 ③教師や仲間の助言を受けて，相手の攻守のパターンに対して攻防することができる。
Ⅳ知識・理解	①サッカーは相手との攻防の中で，手を用いないでボールを運ぶゴール型のゲームの特性があることについて，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ②サッカーの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げて説明している。 ③サッカーに必要な集団的な技術について，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げて説明している。	①サッカーは相手との攻防の中で，手を用いないでボールを運ぶゴール型のゲームの特性があることについて，言ったり，書き出したりしている。 ②サッカーの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ③サッカーに必要な集団的な技術について，言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げている。	①サッカーは相手との攻防の中で，手を用いないでボールを運ぶゴール型のゲームの特性があることについて，理解している。 ②サッカーの技能を高める合理的な練習法について知っている。 ③サッカーに必要な集団的な技術について知っている。 ④ゲームの運営の仕方について知っている。

４　評価規準の評価観点例「球技（サッカー）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア状況に応じた攻撃（ドリブル，パス，シュート等）を適用しようとしている。 イ状況に応じて守備（マンツーマンデフェンス，ゾーンデフェンス等）を適用しようとしている。 ②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）を積極的に行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，適切に対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃（ドリブル，パス，シュート等）を理解しようとしている。 イ状況に応じた守備（マンツーマンデフェンス，ゾーンデフェンス等）を理解しようとしている。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）を行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃（ドリブル，パス，シュート等）が必要なことを理解している。 イ状況に応じた守備（マンツーマンデフェンス，ゾーンデフェンス等）が必要なことを理解している。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）が必要なことを理解している。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，何らかの対処が必要なことを理解している。
Ⅱ思考・判断	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④ア集団のレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①ア正確なパス，ドリブル，トラップで，ボールをコントロールすることができ，自らの判断で場面に応じたプレーができる。 イ相手がボールを持っていないときから良いポジションがとれ，１対１の守備ができる。 ②ア練習やゲームで，ボールをコントロールし，自らの判断で場面に応じたプレーができる。 イ練習やゲームで，味方の守備に合わせてチャレンジやカバーの守備が確実にできる。 ③ア練習やゲームで，相手の守備に対する攻撃を選択し，指示をしてプレーできる。 イ練習やゲームで，相手の攻撃に対する守備を選択し，指示をしてプレーすることができる。	①アパス，ドリブル，トラップで、ボールをコントロールすることができる。 イボールを持っている相手との１対１の守備ができる。 ②ア練習やゲームでボールをコントロールすることができる。 イ練習やゲームで，味方の守備に合わせてチャレンジやカバーの守備ができる。 ③ア練習やゲームで，相手の守備に対する攻撃を選択し，その中でプレーすることができる。 イ練習やゲームで，相手の攻撃に対する守備を選択し，その中でプレーすることができる。	①アパス，ドリブル，トラップができる。 イ教師や仲間の助言を受けて，ボールを持っている相手との１対１の守備ができる。 ②ア練習やゲームで教師や仲間の助言を受けて，ボールをコントロールすることがでる。 イ練習やゲームで，教師や仲間の助言を受けてチャレンジやカバーの守備ができる。 ③ア教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，相手の守備に対する攻撃ができる。 イ教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，相手の攻撃に対する守備ができる。
Ⅳ知識・理解	①アサッカーの技能ポイントや運動の特性について、説明することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，具体的にあげて説明することができる。 ③アサッカーにおける攻防のシステムや技能について，説明することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解し，アドバイスすることができる。	①アサッカーの技能ポイントや運動の特性について，理解することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，理解することができる。 ③アサッカーにおける攻防のシステムや技能について，理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解している。	①アサッカーの技能ポイントや運動の特性について知っている。 ②ア走跳投運動において，効果的なトレーニング方法があることを知っている。 ③アサッカーにおける攻防のシステムや技能について，教師や仲間の助言をもとに理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，対応することができる。

５　指導と評価の計画「球技(サッカー)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1) サッカーの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やチームの課題を決める。 (3) チーム分けとチーム名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート	・サッカーの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 ・チームや自分の課題を設定しようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 自分の技能の課題を設定しながら，練習を選ぶ。 (2) チームや自分の課題の発見し作戦を立てる。 (3) お互いに見せ合ったり，協力して教え合ったりする。 (4) 自分の能力に応じてゲームを楽しむ。 (5) 安全に行えるように用具の整理をしたり，用具の点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ―④ 行動観察	・課題を設定して練習しようとする。 ・ゲームにおける作戦を見付けようとする。 ・お互いに協力して練習しようとする。 ・コントロールされたパス，ドリブル，トラップができる。 ・ボールを片付けるなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２(高まった能力に合せて)** (1) 個人技能と集団技能を高めながら，ゲームを楽しむ。 (2) 特性に応じて個人的・集団的技術を理解する。 (3) 集団的技能の学習（連携プレー）をおこなう。 (4) 個人的技能と集団技能の確認ゲームを適宜おこなう。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート	・さまざまな場面に応じたボールコントロールができる。 ・サッカーに必要な個人的・集団的技術の具体例を挙げている。 ・相手との攻防にあった作戦で練習やゲームができる。 ・ゲームでお互いの良いところを認めあい，仲間に働きかけている。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定する。 (2) 審判を行いながら練習やゲームを行う。 (3) ルールや審判法を理解する。 (4) まとめのゲームをおこなう。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―③ 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート 小テスト	・チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新しい課題を設定しようとしている。 ・審判の判定や指示にしたがい，勝敗や結果を受け入れようとする。 ・基本的なルールについて，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ・ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) サッカーに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「球技（サッカー）」

２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	サッカーの特性に興味を持っている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとしている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	10	チームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－③	13	チームや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	技能テスト	Ⅲ－①	14	正確なボールコントロールができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	15	１対１の守備ができる。	A	B	C			× 1	
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－①	16	場面に応じたボールコントロールができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	見方の守備に合わせたカバーリングができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたボールコントロールができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	サッカーの特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	サッカーに必要な集団技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方，ルールや審判法をについて理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　球技（サッカー）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能							Ⅳ知識・理解										
評価方法	行動観察						学習ノート		行動観察				学習ノート			技能テスト		行動観察					行動観察				学習ノート			テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－①		Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13		14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25	26	27			
観点別評価項目（具体例）	サッカーの特性に興味をもっている。	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	お互いに協力して練習しようとする。	審判の指示や判定に従っている。	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	Ⅰ 小計	自己の課題を設定して練習しようとする。	チームの課題を設定して練習しようとする。	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	学習ノートの活用方法を理解している。	チームや自己の課題を設定しようとする。	Ⅱ 小計	正確なボールコントロールができる。	1対1の守備ができる。	場面に応じたボールコントロールができる。	見方の守備に合わせたカバーリング動きがタイミングよくできる。	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたボールコントロールができる。	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。		サッカーの特性を理解している。	技能を高める合理的な練習法を理解している。	サッカーに必要な集団的技能を理解している。	ゲームの運営の仕方，ルールや審判法について理解している。	ゲームの運営の仕方について知っている。	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	小テスト	Ⅳ 小計	合計得点
実施月／日																																	
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／	／	／	／ ×10	倍率		
1																																	
2																																	
3																																	
4																																	
5																																	
6																																	
7																																	
8																																	
9																																	
10																																	
11																																	
12																																	
13																																	
14																																	
15																																	
16																																	
17																																	
18																																	
19																																	
20																																	

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　） No.	組・番	氏名 / 評価項目番号	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
				月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「球技（サッカー）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	サッカーの特性に興味をもっている。
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	技能テスト	Ⅲ－①	14	正確なボールコントロールができる。
		Ⅲ－①	15	1対1の守備ができる。
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－②	16	場面に応じたボールコントロールができる。
		Ⅲ－②	17	見方の守備に合わせたカバーリング動きがタイミングよくできる。
		Ⅲ－③	18	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたボールコントロールができる。
		Ⅲ－③	19	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	サッカーの特性を理解している。
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ－③	22	サッカーに必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方，ルールや審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単元　「E　球技(ラグビー)」

1　単元目標

(1) チームの課題や自己の能力に応じてラグビーの技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。　**(技能の内容)**

(2) チームにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。　**(態度の内容)**

(3) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**(学び方の内容)**

2　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

ラグビーの特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

① 技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

② 練習やゲームで，チームにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

③ 練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

④ 練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

チームや自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

① チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

② チームや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③ 技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④ チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

チームの課題や自分の能力に応じて，ラグビーの特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

① 自分の能力や課題に応じて選択した種目で，特性に応じた技能を身に付け，ゲームをすることができる。

② 身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり，新たに身に付けた技能で，攻防を展開してゲームをすることができる。

③ 技能の段階に応じて，相手との攻防にあった作戦でゲームや練習をすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

ラグビーの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

① 選択した球技種目の特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について，言ったり，書き出したりしている。

② 技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③ ルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④ 競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例　「球技（ラグビー）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ラグビーの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うラグビーの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①ラグビーの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うらぐびーの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①ラグビーの集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うラグビーの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ,新たに発見した課題に合わせ,練習やゲームの内容の見直し　や,合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ,練習やゲームの仕方を見直したり,新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて,練習やゲームを見直したり,課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①攻撃につながるようにタイミング良くボールをコントロールしたハンドリング,キッキングができる。 ②相手の状況に応じてコンタクトやタックルの動作ができる。 ③練習やゲームで,スクラム,ラインアウト,モール,ラックからの攻撃フォーメーションの動きがタイミング良くできる。また,相手の攻撃　に合わせた守備フォーメーション　の動きがタイミング良くできる。	①ボールをコントロールしたハンドリング,キッキングができる。 ②コンタクトやタックルの動作ができる。 ③練習やゲームで,スクラム,ラインアウト,モール,ラックからの攻撃フォーメーションの動きができる。また,相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きができる。	①体勢を崩しながらも,何とかボールをコントロールしたハンドリング,キッキングができる。 ②体勢を崩しながらも,何とかコンタクトやタックルの動作ができる。 ③教師や仲間の助言を受けて,練習やゲームで,スクラム,ラインアウト,モール,ラックからの攻撃フォーメーションの動きができる。また,相手の攻撃に合わせた守備フォーメーシ　ョンの動きができる。
Ⅳ知識・理解	①ラグビーは手や足でボールを操作し,身体接触が多いゴール　型のゲ　ームの特性があること　について，具体例を挙げて言ったり書き出し　たりしている。 ②ラグビーの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げて説明している。 ③ラグビーに必要な集団的な技術について,具体例を挙げて言ったり,書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げて説明している。	①ラグビーは手や足でボールを 操作し,身体接触が多いゴール型のゲームの特性があることについて,言ったり書き出したりしている。 ②ラグビーの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ③ラグビーに必要な集団的な技術について，言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げている。	①ラグビーは手や足でボールを 操作し,身体接触が多いゴール型のゲームの特性があることについて理解している。 ②ラグビーの技能を高める合理的な練習法について知っている。 ③ラグビーに必要な集団的な技術について知っている。 ④ゲームの運営の仕方について知っている。

4　評価規準の評価観点例　「球技（ラグビー）」

	A　十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心意欲・態度	①ア状況に応じた攻撃システム（スクラム,ラインアウト,モール,ラック等）を適用しようとしている。 イ状況に応じて防御システム（マンツーマンディフェンス等）を適用しようとしている。 ②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ゴール，ボール等）を積極的に行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，適切に対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃システム（スクラム,ラインアウト,モール,ラック等）を理解しようとしている。 イ状況に応じて防御システム（マンツーマンディフェンス等）を理解しようとしている。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ゴール，ボール等）を行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃システム（スクラム,ラインアウト,モール,ラック等）が必要なことを理解している。 イ状況に応じて防御システム（マンツーマンディフェンス等）が必要なことを理解している。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ゴール，ボール等）が必要なことを理解している。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，何らかの対処が必要なことを理解している。
Ⅱ思考・判断	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④ア集団のレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①ア攻撃につながるようにタイミング良くボールをコントロールしたハンドリング,キッキングができる。 ②ア相手の状況に応じたコンタクトが確実にできる。 イ相手の状況に応じたタックルが確実にできる。 ③ア練習やゲームで,攻撃フォーメーションの動きがタイミング良くできる。 イ練習やゲームで,相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きがタイミング良くできる。	①アボールをコントロールしたハンドリング,キッキングができる。 ②アコンタクトの動作ができる。 イタックルの動作ができる。 ③ア練習やゲームで,攻撃フォーメーションの動きができる。 イ練習やゲームで,相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きができる。	①ア体勢を崩しながらもボールをコントロールしたハンドリング,キッキングができる。 ②ア教師や仲間の助言を受けて,コンタクトの動作ができる。 イ教師や仲間の助言を受けて,タックルがの動作ができる。 ③ア教師や仲間の助言を受けて,練習やゲームで,攻撃フォーメーションの動きができる。 イ教師や仲間の助言を受けて,練習やゲームで,相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きができる。
Ⅳ知識・理解	①アラグビーの攻防における，特徴的なパターンについて，説明することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，具体的にあげて説明することができる。 ③アラグビーにおける攻防のシステムや技能について，説明することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解し，アドバイスすることができる。	①アラグビーの攻防における，特徴的なパターンについて，理解することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，理解することができる。 ③アラグビーにおける攻防のシステムや技能について，理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解している。	①アラグビーの攻防において，特徴的なパターンがあることを知っている。 ②ア走跳投運動において，効果的なトレーニング方法があることを知っている。 ③アラグビーにおける攻防のシステムや技能について，教師や仲間の助言をもとに理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，対応することができる。

５　指導と評価の計画例「球技(ラグビー)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1) ラグビーの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やチームの課題を決める。 (3) チーム分けとチーム名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート	・ラグビーの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 ・チームや自分の課題を設定しようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) チームや自分の課題を設定しながら，パスゲームを楽しむ。 (2) チームや自分の課題の発見と単元目標の設定をする。 (3) ボールをコントロールする。 (4) 安全に行えるように用具の整理をしたり，ゴールの点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 学習ノート Ⅰ―④ 行動観察	・課題を設定して練習しようとする。 ・ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して練習しようとする。 ・ボールをコントロールしたパス，キックができる。 ・ボールを片付けるなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２(高まった能力に合せて)** (1) 個人技能と集団技能を高めながら，ゲームを楽しむ。 (2) 作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わう。 (3) 集団的技能の学習（フォーメーションプレー）をおこなう。 (4) 個人的技能と集団技能の確認ゲームを適宜おこなう。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート	・コンタクト，タックルの動作ができる。 ・技能を高める合理的な練習法について，具体例をあげている。 ・多くのプレーについてポイントや練習方法を知っている。 ・ゲームでお互いの良いところを認めあい，仲間に働きかけている。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定する。 (2) オフェンスのコンビネーションプレーができる。 (3) ディフェンスのコンビネーションプレーができる。 (4) まとめのゲームをおこなう。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―③ 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート 小テスト	・チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新しい課題を設定しようとする。 ・スクラム，ラインアウト，モール，ラックからの攻撃ができる。 ・審判の判定や指示にしたがい，勝敗や結果を受け入れようとする。 ・マンツーマンディフェンスの動きができる。 ・基本的なルールについて，具体例を上げて言ったり，書き出したりしている。 ・ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) ラグビーに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例　「球技(ラグビー)」　　２年○組　○○番　　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	ラグビーの特性に興味を持っている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて,勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り,公正な態度で取り組もうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど,健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い,仲間に働きかけている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり,新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能・行動観察	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じた攻撃ができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－③	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	A	B	C			× 1	
	技能テスト	Ⅲ－①	16	ボールをコントロールしたハンドリングができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	ボールをコントロールしたキッキングができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	コンタクトやタックルの動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	攻撃フォーメーション・守備フォーメーションの動きができる。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	ラグビーの特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	ラグビーに必要な集団的技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方,ルールや審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて,言ったり,書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について,具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　球技（ラグビー）　2年生（15時間

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点			Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能							Ⅳ知識・理解													合計得点
評価方法			行動観察						学習ノート		行動観察				学習ノート			行動観察		技能テスト・行動観察					行動観察				学習ノート			テスト						
具体の規準			Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－①		Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－①	Ⅲ－③	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－全						
項目番号			1	2	3	4	5	6	7	Ⅰ小計	8	9	10	11	12	13	Ⅱ小計	14	15	16	17	18	19	Ⅲ小計	20	21	22	23	24	25	26	27	Ⅳ小計						
観点別評価項目（具体例）			ラグビーの特性に興味をもっている。	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	お互いに協力して練習しようとする。	審判の指示や判定従っている。	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。		自己の課題を設定して練習しようとする。	チームの課題を設定して練習しようとする。	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	学習ノートの活用方法を理解している。	チームや自己の課題を設定しようとする。		攻撃フォーメーション・守備フォーメーションの動きができる。	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	ボールをコントロールしたハンドリングができる。	ボールをコントロールしたキッキングができる。	コンタクトやタックルの動作ができる。	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたハンドリング・キッキングができる。		ラグビーの特性を理解している。	技能を高める合理的な練習法を理解している。	ラグビーに必要な集団的技能を理解している。	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。	ゲームの運営の仕方について知っている。	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	小テスト						
実施月／日																																					
No.	組・番	氏　名	／	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	×2		／	／	／	／	／	／	／	×10						
倍率										倍率							倍率							倍率									倍率						
1																																						
2																																						
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						
7																																						
8																																						
9																																						
10																																						
11																																						
12																																						
13																																						
14																																						
15																																						
16																																						
17																																						
18																																						
19																																						
20																																						

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）			実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
				日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
No.	組・番	氏名 ＼ 評価項目番号																
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「球技（ラグビー）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	ラグビーの特性に興味をもっている。
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定従っている。
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたハンドリング・キッキングができる。
		Ⅲ－③	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－①	16	ボールをコントロールしたハンドリングができる。
		Ⅲ－①	17	ボールをコントロールしたキッキングができる。
		Ⅲ－②	18	コンタクトやタックルの動作ができる。
		Ⅲ－③	19	攻撃フォーメーション・守備フォーメーションの動きができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	ラグビーの特性を理解している。
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ－③	22	ラグビーに必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｅ　球技(バレーボール）」

１　単元目標

(1) チームの課題や自己の能力に応じてバレーボールの技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) チームにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

バレーボールの特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

①　技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

②　練習やゲームで，チームにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

③　練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

④　練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

チームや自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

①　チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

②　チームや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③　技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④　チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

チームの課題や自分の能力に応じて，選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

①　自分の能力や課題に応じて選択した種目で，特性に応じた技能を身に付け，ゲームをすることができる。

②　身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり，新たに身に付けた技能で，攻防を展開してゲームをすることができる。

③　技能の段階に応じて，相手との攻防にあった作戦でゲームや練習をすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

バレーボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

①　選択した球技種目の特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について，言ったり，書き出したりしている。

②　技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③　ルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④　競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「球技（バレーボール）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①バレーボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うバレーボールの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①バレーボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うバレーボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①バレーボールの集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うバレーボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新たに発見した課題に合わせ、練習やゲームの内容の見直しや，合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて、練習やゲームを見直したり，課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①パス，サーブ，スパイク，ブロックの基本技能を身に付け練習やゲームをすることがで　きる。 ②練習やゲームで攻撃フォーメーションの動きがタイミングよくできる。 ③練習やゲームで，相手のサーブやスパイクに合わせた守備フォーメーションの動きがタイミング良くできる。	①パス，サーブ，スパイクの基本技能を身に付け練習やゲームをすることができる。 ②練習やゲームで攻撃フォーメーションの動きができる。 ③練習やゲームで，相手のサーブやスパイクに合わせた守備フォーメーションの動きができる。	①パス，サーブ基本技能を身に付け練習やゲームをすることができる。 ②教師や仲間の助言を受けて，攻撃フォーメーションの動きができる。 ③教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，相手のサーブやスパイクに合わせた守備フォーメーションの動きができる。
Ⅳ知識・理解	①バレーボールはネットを挟み攻防を楽しむ特性があり，これについて具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ②バレーボールの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げて説明している。 ③バレーボールに必要な集団的な技術について，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げて説明している。	①バレーボールはネットを挟み攻防を楽しむ特性があり，これについて言ったり，書き出したりしている。 ②バレーボールの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ③バレーボールに必要な集団的な技術について，言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げている。	①バレーボールはネットを挟み攻防を楽しむ特性があることを理解している。 ②バレーボールの技能を高める合理的な練習法について知っている。 ③バレーボールに必要な集団的な技術について知っている。 ④ゲームの運営の仕方について知っている。

４　評価規準の評価観点例「球技（バレーボール）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア状況に応じて攻撃展開（オープン，クイック等）を適用しようとしている。 イ状況に応じてレシーブフォーメーションを適用しようとしている。 ②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）を積極的に行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，適切に対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃展開（オープン，クイック等）を理解しようとしている。 イ状況に応じてレシーブフォーメーションをどのように適用するか理解している。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）を行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃展開（オープン，クイック等）が必要なことを理解している。 イ状況に応じたレシーブフォーメーションが必要なことを理解している。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）が必要なことを理解している。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，何らかの対処が必要なことを理解している。
Ⅱ思考・判断	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④ア集団のレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①アパス，サーブ，スパイク，ブロックの基本動作ができる。 ②ア練習やゲームで攻撃フォーメーションの動きがタイミングよくできる。 ③ア練習やゲームで，相手のサーブやスパイクに合わせた守備フォーメーションの動きがタイミングよくできる。	①アパス，サーブ，スパイクの基本動作ができる。 ②ア練習やゲームで攻撃フォーメーションの動きができる。 ③ア練習やゲームで，相手のサーブやスパイクに合わせた守備フォーメーションの動きができる。	①アパス，サーブの基本動作ができる。 ②ア教師や仲間の助言を受けて攻撃フォーメーションの動きができる。 ③ア教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，相手のサーブやスパイクに合わせた守備フォーメーションの動きができる。
Ⅳ知識・理解	①アバレーボールの技能ポイントや運動の特性について、説明することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，具体的にあげて説明することができる。 ③アバレーボールにおける攻防のシステムや技能について，説明することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解し，アドバイスすることができる。	①アバレーボールの技能ポイントや運動の特性について，理解することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，理解することができる。 ③アバレーボールにおける攻防のシステムや技能について，理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解している。	①アバレーボールの技能ポイントや運動の特性について，知っている。 ②ア走跳投運動において，効果的なトレーニング方法があることを知っている。 ③アバレーボールにおける攻防のシステムや技能について，教師や仲間の助言をもとに理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，対応することができる。

５　指導と評価の計画「球技(バレーボール)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1) バレーボールの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やチームの課題を決める。 (3) チーム分けとチーム名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート	・バレーボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 ・チームや自分の課題を設定しようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 自分の技能の課題を設定しながら，ゲームを楽しむ。 (2) チームや自分の課題の発見と単元目標の設定をする。 (3) お互いに見せ合ったり，協力して教え合ったりする。 (4) 安全に行えるように用具の整理をしたり，コートの点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 学習ノート Ⅰ―④ 行動観察	・課題を見付けて練習しようとする。 ・ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して練習しようとする。 ・パスを組み合わせて継続できる。 ・ボールを片付けるなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２(高まった能力に合せて)** (1) 個人技能と集団技能を高めながら，ゲームを楽しむ。 (2) 作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わう。 (3) 集団的技能の学習（トス～スパイク）をおこなう。 (4) 個人的技能と集団技能の確認ゲームを適宜おこなう。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート	・サーブでコースを狙い，相手コートに入れることができる。 ・技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ・多くのプレーについてポイントや練習方法を知っている。 ・ゲームでお互いの良いところを認めあい，仲間に働きかけている。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定する。 (2) 攻撃フォーメーションの動きができる。 (3) 守備フォーメーションの動きができる。 (4) まとめのゲームをおこなう。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―③ 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート 小テスト	・チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新しい課題を設定しようとしている。 ・審判の判定や指示にしたがい，勝敗や結果を受け入れようとする。 ・基本的なルールについて，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ・ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) バレーボールに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「球技（バレーボール）」

２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合 %
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	バレーボールの特性に興味をもっている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている	A	B	C			× 2	
							合計				
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
							合計				
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じた攻撃の選択ができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－③	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することがで	A	B	C			× 1	
	行動観察・技能テスト	Ⅲ－①	16	正確なオーバーハンドパスとアンダーハンドパスができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	サーブをでコースをねらい相手コートに入れることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	練習やゲームで攻守のフォーメーションの動きができる。	A	B	C			× 2	
		Ⅲ－③	19	相手に応じて作戦をたてコンビネーションを用いた攻撃ができる。	A	B	C			× 2	
							合計				
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	バレーボールの特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	バレーボールに必要な集団的技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
							合計				

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　球技（バレーボール）　2年生（15時間

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能							Ⅳ知識・理解														合計得点
評価方法	行動観察						学習ノート	Ⅰ小計	行動観察				学習ノート		Ⅱ小計	行動観察		技能テスト				Ⅲ小計	行動観察				学習ノート			テスト	Ⅳ小計						
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－①		Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－①	Ⅲ－③	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－全							
項目番号	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13		14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25	26	27							
観点別評価項目（具体例）	バレーボールの特性に興味をもっている。	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	お互いに協力して練習しようとする。	審判の指示や判定従っている。	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。		自己の課題を設定して練習しようとする。	チームの課題を設定して練習しようとする。	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	学習ノートの活用方法を理解している。	チームや自己の課題を設定しようとする。		練習やゲームで自らの判断で場面に応じた攻撃の選択ができる。	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	正確なオーバーハンドパスとアンダーハンドパスができる。	サーブをでコースをねらい相手コートに入れることができる。	練習やゲームで攻守のフォーメーションの動きができる。	相手に応じて作戦をたてコンビネーションを用いた攻撃ができる。		バレーボールの特性を理解している。	技能を高める合理的な練習法を理解している。	バレーボールに必要な集団的技能を理解している。	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。	ゲームの運営の仕方について知っている。	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	小テスト					
実施月／日																																					
No. 組・番 氏　名	／	／	／	／	／	／	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／	／	／	／ ×10	倍率						
1																																					
2																																					
3																																					
4																																					
5																																					
6																																					
7																																					
8																																					
9																																					
10																																					
11																																					
12																																					
13																																					
14																																					
15																																					
16																																					
17																																					
18																																					
19																																					
20																																					

E－オ－⑥

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　） No.	組・番	氏名 / 評価項目番号	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
				月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「球技（バレーボール）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	バレーボールの特性に興味をもっている。
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定従っている。
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じた攻撃の選択ができる。
		Ⅲ－③	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－①	16	正確なオーバーハンドパスとアンダーハンドパスができる。
		Ⅲ－①	17	サーブをでコースをねらい相手コートに入れることができる。
		Ⅲ－②	18	練習やゲームで攻守のフォーメーションの動きができる。
		Ⅲ－③	19	相手に応じて作戦をたてコンビネーションを用いた攻撃ができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	バレーボールの特性を理解している。
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ－③	22	バレーボールに必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単　元　「Ｅ　球技（テニス）」

１　単元目標

(1) ペアの課題や自己の能力に応じてテニスの技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。

（技能の内容）

(2) ペアにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 **（態度の内容）**

(3) ペアの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。

（学び方の内容）

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

テニスの特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習に取組もうとする。また健康や安全に留意して練習やゲームに取組もうとしている。

① 技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

② 練習やゲームで，ペアにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

③ 練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

④ 練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

ペアや自分の能力に応じた技能を習得するための課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫したりしている。

① ペアや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

② ペアや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③ 技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④ チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

テニスの特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

① ボールをコントロールしたグランドストローク，ボレー，スマッシュ，サービスができる。

② 練習やゲームで，相手の動きや打球に対応した作戦を立て，シングルス及びダブルスのゲームができる。

③ 練習やゲームで，コンビネーションプレーなどのパートナーとの連係等での自己の役割を理解し生かせるようにする。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

テニスの特性や技術の構造を理解するとともに，技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

① 選択した球技種目の特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について，言ったり，書き出したりしている。

② 技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③ テニスのルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④ 競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例　「球技（テニス）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①テニスの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うテニスの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①テニスの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うハンドボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①テニスの集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うテニスの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ、新たに発見した課題に合わせ、練習やゲームの内容の見直しや、合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ、練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて、練習やゲームを見直したり、課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①攻撃につながるようにボールをとらえ,コントロールしたグランドストローク，ボレー，スマッシュ，サービスができる。 ②練習やゲームで，相手の動きや打球に対応した作戦を立て実践することができる。 ③練習やゲームで，コンビネーションプレイなどのパートナーとの連係プレイ等での自己の役割を理解し,ゲームで生かすことができる。	①ボールをコントロールしたグランドストローク，ボレー，スマッシュ，サービスができる。 ②練習やゲームで，相手の動きや打球に対応した作戦を立てることができる。 ③練習やゲームで，コンビネーションプレイなどのパートナーとの連係プレイ等での自己の役割が理解できる。	①目標の方向に何とかボールをコントロールしたグランドストローク，ボレー，スマッシュ，サービスができる。 ②教師や仲間の助言を受けて，相手の動きや打球に対応した作戦を立てることができる。 ③教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，コンビネーションプレイなどのパートナーとの連係プレイ等での自己の役割が理解できる。
Ⅳ知識・理解	①テニスは,ネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて,具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。 ②テニスの技能を高める合理的な練習法について具体例を挙げて説明している。 ③テニスに必要な集団的な技能について，具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方や審判法について，具体例を挙げて説明している。	①テニスは,ネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて,言ったり書き出したりしている。 ②テニスの技能を高める合理的な練習法について具体例を挙げている。 ③テニスに必要な集団的な技能について,言ったり書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方や審判法について理解している。	①テニスは,ネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて理解している。 ②テニスの技能を高める合理的な練習法について知っている。 ③テニスに必要な集団的な技能について知っている。 ④ゲームの運営の仕方について知っている。

４　評価規準の評価観点例　「球技（テニス）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している姿がみられる。 イ練習している姿に熱意と高い意欲が感じられる。 ②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ボール等）を積極的に行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，適切に対処しようとしている。	①ア楽しそうに練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ボール等）を行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，対処しようとしている。	①ア教師や仲間に促されて、楽しく練習している。 イ教師や仲間に促されて、練習をしている姿に意欲が感じられる。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，ボール等）が必要なことを理解している。 イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損，けが等）に対し，何らかの対処が必要なことを理解している。
Ⅱ思考・判断	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④ア集団のレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①アグランドストローク，ボレー，スマッシュ，サーブを狙った所に緩急をつけ,正確に打つことができる。 ②ア打球を正確に予測し,相手からの返球に対応できる。 ③ア応用的なポジションを理解し,応用的なゲームを行うことができる。	①アグランドストローク，ボレー，スマッシュ，サービスを狙った所に打つことができる。 ②ア打球を予測し,相手からの返球に対応できる。 ③ア基本的なポジションを理解し,応用的なゲームを行うことができる。	①アグランドストローク，ボレー，スマッシュ，サービスを打つことができる。 ②ア相手からの返球に対応できる。 ③ア基本的なポジションを理解し,ゲームを行うことができる。
Ⅳ知識・理解	①ア技能ポイントや運動の特性を説明することができる。 ②ア自分にあった練習方法を詳しく挙げることが出来る。 ③ア**テニスのルールや審判方法を詳しく説明する**ことが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営するために、詳細な企画・立案ができる。	①ア技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。 ②ア自分にあった練習方法を挙げることが出来る。 ③ア**テニスのルールや審判方法を説明する**ことが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営るための企画・立案ができる。	①ア技能ポイントや運動の特性を仲間の助言を受けながらまとめている。 ②ア自分にあった練習仲間の助言を受けながら挙げることができる。 ③ア**テニスのルールや審判方法**を仲間の助言を受けながら説明することが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営するための企画・立案ができる。

５　指導と評価の計画例「球技（テニス）」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1) テニスの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やペアの課題を決める。 (3) 毎時の学習ノートの記　入の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―② 学習カード Ⅳ―④ 学習カード	・テニスの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 ・自分やペアの課題を見付けようとする。 ・学習カードや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間） **なか2**（4時間） **なか3**（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1)　自分やペアの技能の課題を見付けて練習する。 (2)　お互いに見せ合ったり，協力して教え合ったりする。 (3)　ボールをコントロールする。 (4)　健康・安全に留意しようとする。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ―④ 学習カード	・課題や技能の要点を見付けて練習している。 ・お互いに協力し合いながら練習している。 ・グランドストローク，ボレー，スマッシュ，サーブでボールをコントロールする。 ・場所の安全を確かめ，安全に気を配っている。
	ねらい２(高まった能力に合せて) (1)　ボールねらってをコントロールする。 (2)　シングルス及びダブルスのゲームをする。 (3)　集団的技能を高める練習法を理解する。 (4)　連係的な攻守に必要な練習法を見付けたり,作戦を立てたりする。	Ⅲ―① 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習カード	・グランドストローク，ボレー，スマッシュ，サーブでボールをコントロールする。 ・相手の動きや打球に対応した作戦を立てることができる。 ・集団的技能を高める練習法について言ったり，書き出したりする。 ・技能の段階に応じて,練習法を見付けたり,作戦を立てたりする。
	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1)　多様なグランドストローク，ボレー，スマッシュ，サーブを打つ。 (2)　ゲームで攻守のフォーメーションの動きをする。 (3)　公正な態度でゲームに取組む。 (4)　審判法について理解している。	Ⅲ―① 行動観察 Ⅲ―③ 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―③ 学習カード 小テスト	・様々な球種やコースの打ち分けができる。 ・攻守のフォーメーションを理解したプレーを行い,作戦を実践しようとしたプレーができる。 ・審判の判定に従い，ルールや規則を守り，公正な態度で取組もうとしている。 ・ゲームの運営の仕方や審判法について理解している。
まとめ（2時間）	自己の学習カードの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習カードやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) テニスに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「球技（テニス）」

２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	テニスの特性に興味をもっている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－③	14	練習やゲームで相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルスやダブルスのゲームができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－③	15	練習やゲームでコンビネーションプレーなどのパートナーとの連係等での自己の役割を理解し生かせるようにする。	A	B	C			× 1	
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－①	16	ボールをコントロールしたグランドストローク、ボレーができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	ボールをコントロールしたスマッシュ、サーブができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	正確なサービスができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	19	正確なレシーブができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	テニスの特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	テニスに必要な集団的技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　球技（テニス）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能							Ⅳ知識・理解									合計得点
評価方法	行動観察						学習ノート		行動観察				学習ノート			行動観察		技能テスト・行動観察					行動観察				学習ノート			テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－①		Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②			Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	Ⅰ小計	8	9	10	11	12	13	Ⅱ小計	14	15	16	17	18	19	Ⅲ小計		20	21	22	23	24	25	26	27	Ⅳ小計		
観点別評価項目（具体例）	テニスの特性に興味をもっている。	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	お互いに協力して練習しようとする。	審判の指示や判定に従っている。	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。		自己の課題を設定して練習しようとする。	チームの課題を設定して練習しようとする。	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	学習ノートの活用方法を理解している。	チームや自己の課題を設定しようとする。		練習やゲームで相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルスやダブルスのゲームができる。	練習やゲームでコンビネーションプレーなどのパートナーとの連係等での自己の役割を理解し生かせるようにする。	ボールをコントロールしたグランドストローク、ボレーができる。	ボールをコントロールしたスマッシュ、サーブができる。	正確なサービスができる。	正確なレシーブができる。			テニスの特性を理解している。	技能を高める合理的な練習法を理解している。	テニスに必要な集団的技能を理解している。	ゲームの運営の仕方やルールや審判法について理解している。	ゲームの運営の仕方について知っている。	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	小テスト			
実施月／日																																	
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	×2		／	／	／	／	／	／	／	／	×10		
倍率																																	
1																																	
2																																	
3																																	
4																																	
5																																	
6																																	
7																																	
8																																	
9																																	
10																																	
11																																	
12																																	
13																																	
14																																	
15																																	
16																																	
17																																	
18																																	
19																																	
20																																	

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）			実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
No.	組・番	評価項目番号 氏名		日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「球技（テニス）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	テニスの特性に興味をもっている。
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－③	14	練習やゲームで相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルスやダブルスのゲームができる。
		Ⅲ－③	15	練習やゲームでコンビネーションプレーなどのパートナーとの連係等での自己の役割を理解し生かせるようにする。
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－①	16	ボールをコントロールしたグランドストローク、ボレーができる。
		Ⅲ－①	17	ボールをコントロールしたスマッシュ、サーブができる。
		Ⅲ－②	18	正確なサービスができる。
		Ⅲ－②	19	正確なレシーブができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	テニスの特性を理解している。
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ－③	22	テニスに必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト

総時間数（　　）時間，　　欠席時間数（　　）時間，　　見学時間（　　）時間

単元　「Ｅ　球技(卓球）」

１　単元目標

(1) ペアの課題や自己の能力に応じて卓球の技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) ペアにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) ペアの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

卓球の特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるようペアにおける自分の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

① 技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

② 練習やゲームで，ペアにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

① 練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

② 練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

ペアや自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

① ペアや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

② ペアや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③ 技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④ ペアや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

ペアの課題や自分の能力に応じて，選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

① 自分の能力や課題に応じて選択した種目で，特性に応じた技能を身に付け，ゲームをすることができる。

② 身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり，新たに身に付けた技能で，攻防を展開してゲームをすることができる。

③ 技能の段階に応じて，相手との攻防にあった作戦でゲームや練習をすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

卓球の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

① 選択した球技種目の特性に応じた集団的技能や個人的技能の構造について，言ったり，書き出したりしている。

② 技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③ ルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④ 競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「球技（卓球）」

	A　十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①卓球の集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合う卓球の楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①卓球の集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合う卓球の楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①卓球の集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うバドミントンの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新たに発見した課題に合わせ，練習やゲームの内容の見直しや，合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームを見直したり，課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①攻撃につながるようにボールをとらえ,コントロールしたフォアハンド，バックハンドによるロング，ショート，カットなどができる。 ②サーブの種類が打ち分けられ，強いボールをコースに返球することができる。 ③練習やゲームで，相手の動きや球種に対応した作戦を立て実践することができる。	①ボールをコントロールしたフォアハンド，バックハンドによるロング，ショート，カットなどができる。 ②サービスでコースを狙い，レシーブもコースに返球することができる。 ③練習やゲームで，相手の動きや球種に対応した作戦を立てることができる。	①目標の方向にボールをコントロールしたフォアハンド，バックハンドによるロング，ショート，カットなどができる。 ②サービスがコートに入り,レシーブを返球することができる。 ③教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，相手の動きや球種に対応した作戦を立てることができる。
Ⅳ知識・理解	①卓球は,テーブル上のネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて,具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。 ②卓球の技能を高める合理的な練習法について具体例を挙げて説明している。 ③卓球のルール，審判法について，具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げて説明している。	①卓球は,テーブル上のネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて,言ったり書き出したりしている。 ②卓球の技能を高める合理的な練習法について具体例を挙げている。 ③卓球のルール，審判法について，言ったり書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げている。	①卓球は,テーブル上のネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて理解している。 ②卓球の技能を高める合理的な練習法について知っている。 ③卓球のルール，審判法について，知っている。 ④ゲームの運営の仕方について知っている。

４　評価規準の評価観点例「球技（卓球）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している姿がみられる。 イ練習している姿に熱意と高い意欲が感じられる。 ②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）を積極的に行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，適切に対処しようとしている。	①ア楽しそうに練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）を行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，対処しようとしている。	①ア教師や仲間に促されて，楽しく練習している。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）が必要なことを理解している。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，何らかの対処が必要なことを理解している。
Ⅱ思考・判断	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④アペアのレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④アペアのレベルに応じて，必要な戦術戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④アペアのレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①アフォアハンド,バックハンドによるロング,ショート,カットを狙った所に緩急をつけ,正確に打つことができる。 ②アサーブの球種が打ち分けられる。 イ強いボールをコースに返球することができる。 ③ア打球を正確に予測し,相手からの返球に対応できる。 ④ア応用的なポジションを理解し，応用的なゲームを行うことができる。	①アフォアハンド,バックハンドによるロング,ショート,カットを狙った所に打つことができる。 ②アサービスでコースを狙うことができる。 イレシーブでコースに返球することができる。 ③ア打球を予測し,相手からの返球に対応できる。 ④ア基本的なポジションを理解し,応用的なゲームを行うことができる。	①アフォアハンド,バックハンドによるロング,ショートカットを打つことができる。 ②アサービスを入れることができる。 イレシーブを返球することができる。 ③ア相手からの返球に対応できる。 ④ア基本的なポジションを理解し,ゲームを行うことができる。
Ⅳ知識・理解	①ア技能ポイントや運動の特性を説明することができる。 ②ア自分にあった練習方法を詳しく挙げることが出来る。 ③アペアにあった練習方法を挙げることが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営するために，詳細な企画・立案ができる。	①ア技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。 ②ア自分にあった練習方法を挙げることが出来る。 ③アペアにあった練習方法を挙げることが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営するための企画・立案ができる。	①ア技能ポイントや運動の特性を仲間の助言を受けながらまとめている。 ②ア自分にあった練習方法を仲間に教えてもらいながら挙げることができる。 ③アペアにあった練習方法を仲間に教えてもらいながら挙げることが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営するための企画・立案ができる。

５　指導と評価の計画「球技(卓球)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1)　卓球の特性や学習の仕方を理解する。 (2)　自分やペアの課題を決める。 (3)　ペアリングとペア名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート	・卓球の集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさ を味わおうとする。 ・ペアや自分の課題を設定しようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1)　自分の技能の課題を設定しながら，ゲームを楽しむ。 (2)　ペアや自分の課題の発見と単元目標の設定をする。 (3)　お互いに見せ合ったり，協力して教え合ったりする。 (4)　安全に行えるように用具の整理をしたり，用具の点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 学習ノート Ⅰ―④ 行動観察	・課題を設定して練習しようとする。 ・ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して練習しようとする。 ・コントロールされた各ショットができる。 ・ボールを片付けるなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２(高まった能力に合せて)** (1)　個人技能と集団技能を高めながら，ゲームを楽しむ。 (2)　作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わう。 (3)　集団的技能の学習（連携プレー）をおこなう。 (4)　個人的技能と集団技能の確認ゲームを適宜おこなう。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート	・さまざまな場面に応じたサービス，レシーブができる。 ・技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ・多くのプレーについてポイントや練習方法を知っている。 ・ゲームでお互いの良いところを認めあい，仲間に働きかけている。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1)　練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定する。 (2) 攻撃の連携プレーができる。 (3) 守備の連携プレーができる。 (4) まとめのゲームをおこなう。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―③ 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート 小テスト	・ペアや自分の課題の達成状況をとらえ，新しい課題を設定しようとしている。 ・審判の判定や指示にしたがい，勝敗や結果を受け入れようとする。 ・基本的なルールについて，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ・ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) 卓球に適した準備運動を行おう としていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「球技（卓球）」

２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	卓球の特性に興味を持っている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしてい	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	ペアの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－①	13	ペアや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたショットが打てる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－④	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	A	B	C			× 1	
	技能テスト	Ⅲ－①	16	コントロールした正確なショットが打てる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	コースをねらった正確なサービスが打てる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	コースをねらった正確なレシーブが打てる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	相手の動きに応じた作戦を立てることができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	卓球の特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	卓球に必要な集団的技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方やルール・審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　球技（卓球）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能							Ⅳ知識・理解										合計得点
評価方法	行動観察						学習ノート		行動観察				学習ノート			行動観察		技能テスト					行動観察				学習ノート			テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－①		Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－①	Ⅲ－④	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13		14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25	26	27			
観点別評価項目（具体例）	卓球の特性に興味をもっている。	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	お互いに協力して練習しようとする。	審判の指示や判定従っている。	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	Ⅰ 小計	自己の課題を設定して練習しようとする。	ペアの課題を設定して練習しようとする。	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	学習ノートの活用方法を理解している。	ペアや自己の課題を設定しようとする。	Ⅱ 小計	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたショットが打てる。	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	コントロールした正確なショットが打てる。	コースをねらった正確なサービスが打てる。	コースをねらった正確なレシーブが打てる。	相手の動きに応じた作戦を立てることができる。	Ⅲ 小計	卓球の特性を理解している。	技能を高める合理的な練習法を理解している。	卓球に必要な集団的技能を理解している。	ゲームの運営の仕方やルール・審判法について理解している。	ゲームの運営の仕方について知っている。	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	小テスト	Ⅳ 小計	
実施月／日																																	
No. 組・番 氏　名	／	／	／	／	／	／	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	倍率	／	／	／	／	／	／	倍率	／	／	／	／	／	／	／	／ ×10	倍率		
1																																	
2																																	
3																																	
4																																	
5																																	
6																																	
7																																	
8																																	
9																																	
10																																	
11																																	
12																																	
13																																	
14																																	
15																																	
16																																	
17																																	
18																																	
19																																	
20																																	

体育授業　記録シート

年　組	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
種目名（　　）		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
	評価項目番号	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
No. 組・番	氏名															
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「球技（卓球）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	卓球の特性に興味をもっている。
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定従っている。
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－②	9	ペアの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ－①	13	ペアや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたショットが打てる。
		Ⅲ－④	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。
	技能テスト	Ⅲ－①	16	コントロールした正確なショットが打てる。
		Ⅲ－①	17	コースをねらった正確なサービスが打てる。
		Ⅲ－②	18	コースをねらった正確なレシーブが打てる。
		Ⅲ－③	19	相手の動きに応じた作戦を立てることができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	卓球の特性を理解している。
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ－③	22	卓球に必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方やルール・審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｅ　球技(バドミントン）」

１　単元目標

(1) ペアの課題や自己の能力に応じてバドミントンの技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) ペアにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) ペアの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

バドミントンの特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるようペアにおける自分の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

① 技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

② 練習やゲームで，ペアにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

① 練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

② 練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

ペアや自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

① ペアや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

② ペアや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③ 技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④ ペアや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

ペアの課題や自分の能力に応じて，選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

① 自分の能力や課題に応じて選択した種目で，特性に応じた技能を身に付け，ゲームをすることができる。

② 身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり，新たに身に付けた技能で，攻防を展開してゲームをすることができる。

③ 技能の段階に応じて，相手との攻防にあった作戦でゲームや練習をすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

バドミントンの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

① 選択した球技種目の特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について，言ったり，書き出したりしている。

② 技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③ ルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④ 競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「球技（バドミントン)」

	A　十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①バドミントンの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うバドミントンの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①バドミントンの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うバドミントンの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①バドミントンの集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うバドミントンの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ、新たに発見した課題に合わせ、練習やゲームの内容の見直しや、合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ、練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて、練習やゲームを見直したり、課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①攻撃につながるようにシャトルをとらえコントロールしたハイクリア,ドロップ,ドライブ,スマッシュ,ヘアピンができる。 ②サービスの球種が打ち分けられ，強いフライトをコースに返球することができる。 ③練習やゲームで，相手の動きやシャトルに対応した作戦を立て実践することができる。	①シャトルをコントロールしたハイクリア,ドロップ,ドライブ,スマッシュ,ヘアピンができる。 ②サービスでコースを狙い，レシーブもコースに返球することができる。 ③練習やゲームで，相手の動きやシャトルに対応した作戦を立てることができる。	①目標の方向に何とかシャトルをコントロールしたハイクリア,ドロップ,ドライブ,スマッシュ,ヘアピンができる。 ②サービスがコートに入り,レシーブを返球することができる。 ③教師や仲間の助言を受けて，相手の動きやシャトルに対応した作戦を立てることができる。
Ⅳ知識・理解	①バドミントンは,ネットをはさんでラケットでシャトルを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて,具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。 ②バドミントンの技能を高める合理的な練習法について具体例を挙げて説明している。 ③バドミントンのルール，審判法について，具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げて説明している。	①バドミントンは,ネットをはさんでラケットでシャトルを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて,言ったり書き出したりしている。 ②バドミントンの技能を高める合理的な練習法について具体例を挙げている。 ③バドミントンのルール，審判法について，言ったり書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げている。	①バドミントンは,ネットをはさんでラケットでシャトルを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性があることについて理解している。 ②バドミントンの技能を高める合理的な練習法について知っている。 ③バドミントンのルール，審判法について，知っている。 ④ゲームの運営の仕方について知っている。

4　評価規準の評価観点例「球技（バドミントン）」

	A　十分満足	B　おおむね満足	C　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア前向きに楽しみながら練習している姿がみられる。 イ練習している姿に熱意と高い意欲が感じられる。 ②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，用具、シャトル等）を積極的に行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，適切に対処しようとしている。	①ア楽しそうに練習している姿がみられる。 イ練習をしている姿に意欲が感じられる。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（コート，用具、シャトル等）を行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，対処しようとしている。	①ア教師や仲間に促されて、楽しく練習している。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具、ボール等）が必要なことを理解している。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，何らかの対処が必要なことを理解している。
Ⅱ思考・判断	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④アペアのレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④アペアのレベルに応じて，必要な戦術戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④アペアのレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①アハイクリア，ドロップ，ドライブ，スマッシュ，ヘアピンを狙った所に緩急をつけ，正確に打つことができる。 ②アサーブの球種が打ち分けられる。 イ強いボールをコースに返球することができる。 ③ア打球を正確に予測し，相手からの返球に対応できる。 ④ア応用的なポジションを理解し、応用的なゲームを行うことができる。	①アハイクリア，ドロップ，ドライブ，スマッシュ，ヘアピンをコントロールして打つことができる。 ②アサービスでコースを狙うことができる。 イレシーブでコースに返球することができる。 ③ア打球を予測し，相手からの返球に対応できる。 ④ア基本的なポジションを理解し，応用的なゲームを行うことができる。	①アハイクリア，ドロップ，ドライブ，スマッシュ，ヘアピンを打つことができる。 ②アサービスをコートに入れることができる。 イレシーブを返球することができる。 ③ア相手からの返球に対応できる。 ④ア基本的なポジションを理解し，ゲームを行うことができる。
Ⅳ知識・理解	①ア技能ポイントや運動の特性を説明することができる。 ②ア自分にあった練習方法を詳しく挙げることが出来る。 ③アペアにあった練習方法を挙げることが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営するために、詳細な企画・立案ができる。	①ア技能ポイントや運動の特性を自分なりにまとめている。 ②ア自分にあった練習方法を挙げることが出来る。 ③アペアにあった練習方法を挙げることが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営するための企画・立案ができる。	①ア技能ポイントや運動の特性を仲間の助言を受けながらまとめている。 ②ア自分にあった練習方法を仲間に教えてもらいながら挙げることができる。 ③アペアにあった練習方法を仲間に教えてもらいながら挙げることが出来る。 ④アゲームをスムーズに運営するための企画・立案ができる。

５　指導と評価の計画「球技(バドミントン)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1) バドミントンの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やペアの課題を決める。 (3) ペアリングとペア名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート	・バドミントンの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 ・ペアや自分の課題を設定しようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 自分の技能の課題を設定しながら，ゲームを楽しむ。 (2) ペアや自分の課題の発見と単元目標の設定をする。 (3) お互いに見せ合ったり，協力して教え合ったりする。 (4) 安全に行えるように用具の整理をしたり，用具の点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 学習ノート Ⅰ―④ 行動観察	・課題を設定して練習しようとする。 ・ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して練習しようとする。 ・コントロールされた各ショットができる。 ・シャトルを片付けるなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２(高まった能力に合せて)** (1) 個人技能と集団技能を高めながら，ゲームを楽しむ。 (2) 作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わう。 (3) 集団的技能の学習（連携プレー）をおこなう。 (4) 個人的技能と集団技能の確認ゲームを適宜おこなう。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート	・さまざまな場面に応じたサービス，レシーブができる。 ・技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ・多くのプレーについてポイントや練習方法を知っている。 ・ゲームでお互いの良いところを認めあい，仲間に働きかけている。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定する。 (2) 攻撃の連携プレーができる。 (3) 守備の連携プレーができる。 (4) まとめのゲームをおこなう。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―③ 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート 小テスト	・ペアや自分の課題の達成状況をとらえ，新しい課題を設定しようとしている。 ・審判の判定や指示にしたがい，勝敗や結果を受け入れようとする。 ・基本的なルールについて，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ・ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) バドミントンに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「球技（バドミントン）」

２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	バドミントンの特性に興味を持っている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしてい	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	A	B	C			× 2	
						合計					
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	ペアの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－①	13	ペアや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
						合計					
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたショットが打てる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－④	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	A	B	C			× 1	
	技能テスト	Ⅲ－①	16	コントロールした正確なショットが打てる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	コースをねらった正確なサービスが打てる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	コースをねらった正確なレシーブが打てる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	相手の動きに応じた作戦を立てることができる。	A	B	C			× 1	
						合計					
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	バドミントンの特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	バドミントンに必要な集団的技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方やルール・審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
						合計					
						総合計					

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　球技（バドミントン）　2年生（15時間）

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点			Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能							Ⅳ知識・理解														合計得点
評価方法			行動観察						学習ノート		行動観察				学習ノート			行動観察		技能テスト					行動観察				学習ノート				テスト						
具体の規準			Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－①		Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－①	Ⅲ－④	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－全							
項目番号			1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13		14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25	26	27							
観点別評価項目（具体例）			バドミントンの特性に興味をもっている。	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	お互いに協力して練習しようとする。	審判の指示や判定従っている。	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	Ⅰ 小計	自己の課題を設定して練習しようとする。	ペアの課題を設定して練習しようとする。	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	学習ノートの活用方法を理解している。	ペアや自己の課題を設定しようとする。	Ⅱ 小計	練習やゲームで応じたショットが打てる。	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	コントロールした正確なショットが打てる。	コースをねらった正確なサービスが打てる。	コースをねらった正確なレシーブが打てる。	相手の動きに応じた作戦を立てることができる。	Ⅲ 小計	バドミントンの特性を理解している。	技能を高める合理的な練習法を理解している。	バドミントンに必要な集団的技能を理解している。	ゲームの運営の仕方やルール・審判法について理解している。	ゲームの運営の仕方について知っている。	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	小テスト	Ⅳ 小計					
実施月／日																																						
No.	組・番	氏　名	／	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／	／	／	／	×10						
倍率																																						
1																																						
2																																						
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						
7																																						
8																																						
9																																						
10																																						
11																																						
12																																						
13																																						
14																																						
15																																						
16																																						
17																																						
18																																						
19																																						
20																																						

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）			実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
				月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	評価項目番号 氏　名																
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「球技（バドミントン）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	バドミントンの特性に興味をもっている。
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定従っている。
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－②	9	ペアの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ－①	13	ペアや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたショットが打てる。
		Ⅲ－④	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。
	技能テスト	Ⅲ－①	16	コントロールした正確なショットが打てる。
		Ⅲ－①	17	コースをねらった正確なサービスが打てる。
		Ⅲ－②	18	コースをねらった正確なレシーブが打てる。
		Ⅲ－③	19	相手の動きに応じた作戦を立てることができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	バドミントンの特性を理解している。
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ－③	22	バドミントンに必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方やルール・審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｅ　球技(ソフトボール）」

１　単元目標

(1) チームの課題や自己の能力に応じてソフトボールの技能を高め，作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。　**（技能の内容）**

(2) チームにおける自己の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。　**（態度の内容）**

(3) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また，競技会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

ソフトボールの特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して，その責任を果たし，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，練習場などの安全を確かめ，健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

①　技能の段階に応じて，作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。

②　練習やゲームで，チームにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。

③　練習やゲームでは，審判の判定や指示に従い，ルールを守り，勝敗や結果を受け入れようとする。

④　練習やゲームの場所の安全を確かめ，安全な練習方法で行おうとし，危険なプレーをしないなど，健康・安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

チームや自分の能力に応じた課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

①　チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。

②　チームや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり，見付けたりしている。

③　技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。

④　チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

チームの課題や自分の能力に応じて，選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け，作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

①　自分の能力や課題に応じて選択した種目で，特性に応じた技能を身に付け，ゲームをすることができる。

②　身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり，新たに身に付けた技能で，攻防を展開してゲームをすることができる。

③　技能の段階に応じて，相手との攻防にあった作戦でゲームや練習をすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

ソフトボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し，知識を身に付けている。

①　選択した球技種目の特性に応じた集団的技能や個人的技能の構造について，言ったり，書き出したりしている。

②　技能を高めるための合理的な練習の仕方，練習計画の立て方について，具体例を挙げている。

③　ルール，審判法について，言ったり，書き出したりしている。

④　競技会の企画や運営の仕方について，具体例を挙げている。

３　評価規準例「球技（ソフトボール）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ソフトボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うソフトボールの楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習やゲームで，お互いのよいところを認め合い，仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ③審判の判定や指示を受け入れ，冷静に対処しようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に注意しようとする。	①ソフトボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うソフトボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで，自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従い，勝敗や結果を受け入れようとする。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，危険なプレーをしないなど，健康・安全に注意しようとする。	①ソフトボールの集団的な技能に着目して，勝敗を競い合うソフトボールの楽しさを味わおうとする。 ②練習やゲームで教え合ったり，励まし合ったりしようとする。 ③審判の判定や指示に従おうとしている。 ④練習やゲームの場所の安全を確かめ，健康・安全に注意しようとする。
Ⅱ思考・判断	①練習やゲームから，チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。 ②発見した課題に合わせ，技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり，作戦を立てたりしている。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新たに発見した課題に合わせ，練習やゲームの内容の見直しや，合理的な戦術を選んでいる。	①練習やゲームから，チームや自分の課題を設定している。 ②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③技能の段階に応じて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ④チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	①練習やゲームから自分の課題を設定している。 ②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。 ③教師や仲間の助言を受けて，組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。 ④教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームを見直したり，課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	①正確なスローイングとキャッチングで、ボールをコントロールすることがができ，自らの判断で場面に応じたバッティングをすることができる。 ②練習やゲームで，バントエンドラン，ヒットエンドランなどの動きが確実にできる。 ③練習やゲームでダブルプレー等の動きがタイミング良くでき，相手の攻撃パターンに対する守備を選択して対応するための指示ができる。	①スローイングとキャッチングでボールをコントロールすることができ，場面に応じたバッティングができる。 ②練習やゲームで，バントエンドラン，ヒットエンドランなどの動きができる。 ③練習やゲームで，ダブルプレー等の動きができ，相手の攻撃パターンに対する守備ができる。	①何とかスローイングとキャッチングができ，バットにボールを当てることができる。 ②教師や仲間の助言を受けて，バントエンドラン，ヒットエンドランなどの動きができる。 ③教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，ダブルプレー等の動きがができ，相手の攻撃パターンに対する守備ができる。
Ⅳ知識・理解	①ソフトボールは攻撃側と防御側とに分かれ，攻防を交替しながら得点を競うことを楽しむ特性がありこれについて具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ②ソフトボールの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げて説明している。 ③ソフトボールに必要な集団的な技術について，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げて説明している。	①ソフトボールは攻撃側と防御側とに分かれ，攻防を交替しながら得点を競うこと楽しむ特性があり，これについて言ったり，書き出したりしている。 ②ソフトボールの技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ③ソフトボールに必要な集団的な技術について，言ったり，書き出したりしている。 ④ゲームの運営の仕方について，具体例を挙げている。	①ソフトボールは攻撃側と防御側とに分かれ，攻防を交替しながら得点を競うことを楽しむ特性があり，このことを理解している。 ②ソフトボールの技能を高め合理的な練習法について知っている。 ③ソフトボールに必要な集団的な技術について知っている。 ④ゲームの運営の仕方について，知っている。

４　評価規準の評価観点例「球技（ソフトボール）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア状況に応じた攻撃（バントエンドラン，ヒットエンドラン等）を適用しようとしている。 イ状況に応じて守備（ダブルプレー等）を適用しようとしている。 ②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には，積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を円滑に行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具、ボール等）を積極的に行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，適切に対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃（バントエンドラン，ヒットエンドラン等）を理解しようとしている。 イ状況に応じた守備（ダブルプレー等）を理解しようとしている。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ったり認めようとしている。 ③ア審判と協力して，ゲームの進行を行おうとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）を行おうとしている。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，対処しようとしている。	①ア状況に応じた攻撃（バントエンドラン，ヒットエンドラン等）が必要なことを理解している。 イ状況に応じた守備（ダブルプレー等）が必要なことを理解している。 ②ア練習やゲーム中に，お互いに良いプレーができた時には，賛辞を送ろうとしている。 ③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。 ④ア危険なプレーが無いように，練習やゲーム前の点検（練習場，用具，ボール等）が必要なことを理解している。 イ練習やゲーム中に生じた問題（用具の破損，けが等）に対し，何らかの対処が必要なことを理解している。
Ⅱ思考・判断	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，話し合いや参考となる資料をもとにして，適切な対応を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を状況に応じて適用している。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術や練習方法を検討し，適切に適用している。	①ア練習やゲームを通して，必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，参考となる資料をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，必要な練習方法を適用しようとしている。 ④ア集団のレベルに応じて，必要な戦術戦術や練習方法を，適用しようとしている。	①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を，教師や仲間の助言によって理解しようとしてる。 ②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して，教師や仲間の助言をもとにして，選択を図ろうとしている。 ③ア各個人の技能に対して，特定の練習方法があることを理解している。 ④ア集団のレベルに応じて，適当な戦術や練習方法があることを理解している。
Ⅲ運動の技能	①ア正確なスローイングとキャッチングで，ボールをコントロールすることができ，自らの判断で場面に応じたバッティングをすることができる。 ②ア練習やゲームで，バントエンドランの動作が確実にできる。 イ練習やゲームで，ヒットエンドランの動作きが確実にできる。 ③ア練習やゲームで，ダブルプレー等の動きがタイミング良くできる。 イ練習やゲームで，相手の攻撃パターンに対する守備を選択して，対応するための指示（組織的な動作）ができる。	①アスローイングとキャッチングでボールをコントロールすることができ，場面に応じたバッティングができる。 ②ア練習やゲームで，バントエンドラの動作ができる。 イ練習やゲームで，ヒットエンドランの動作ができる。 ③ア練習やゲームで，ダブルプレーの動ができる。 イ練習やゲームで，相手の攻撃パターンに対する守備を選択し，その中で個々の動作をすることができる。	①アスローイングとキャッチングができ，バットにボールを当てることができる。 ②ア教師や仲間の助言を受けて，バントエンドランの動作ができる。 イ教師や仲間の助言を受けて，ヒットエンドランの動作ができる。 ③ア教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，ダブルプレーの動きができる。 イ教師や仲間の助言を受けて，練習やゲームで，相手の攻撃パターンに対する守備ができる。
Ⅳ知識・理解	①アソフトボールの技能ポイントや運動の特性について，説明することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，具体的にあげて説明することができる。 ③アソフトボールにおける攻防のシステムや技能について，説明することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解し，アドバイスすることができる。	①アソフトボールの技能ポイントや運動の特性について，理解することができる。 ②ア走跳投運動における，効果的なトレーニング方法について，理解することができる。 ③アソフトボールにおける攻防のシステムや技能について，理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，ルールや審判法を理解している。	①アソフトボールの技能ポイントや運動の特性について，知っている。 ②ア走跳投運動において，効果的なトレーニング方法があることを知っている。 ③アソフトボールにおける攻防のシステムや技能について，教師や仲間の助言をもとに理解することができる。 ④アゲーム運営の仕方について，対応することができる。

５　指導と評価の計画「球技（ソフトボール）」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	オリエンテーション (1) ソフトボールの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やチームの課題を決める。 (3) チーム分けとチーム名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―④ 学習ノート	・ソフトボールの集団的な技能に着目して，作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 ・チームや自分の課題を設定しようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 自分の技能の課題を設定しながら，ゲームを楽しむ。 (2) チームや自分の課題の発見と単元目標の設定をする。 (3) お互いに見せ合ったり，協力して教え合ったりする。 (4) 安全に行えるように用具の整理をしたり，用具の点検をおこなう。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅱ―③ 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―① 学習ノート Ⅰ―④ 行動観察	・課題を設定して練習しようとする。 ・ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。 ・お互いに協力して練習しようとする。 ・コントロールされたスローイング，キャッチングができる。 ・ボールを片付けるなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２（高まった能力に合せて）** (1) 個人技能と集団技能を高めながら，ゲームを楽しむ。 (2) 作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わう。 (3) 集団的技能の学習（連携プレー）をおこなう。 (4) 個人的技能と集団技能の確認ゲームを適宜おこなう。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―① 学習ノート	・さまざまな場面に応じたバッティング，ベースランニングができる。 ・技能を高める合理的な練習法について，具体例を挙げている。 ・多くのプレーについてポイントや練習方法を知っている。 ・ゲームでお互いの良いところを認めあい，仲間に働きかけている。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定する。 (2) 攻撃の連携プレーができる。 (3) 守備の連携プレーができる。 (4) まとめのゲームをおこなう。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅰ―③ 行動観察 Ⅳ―③ 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート 小テスト	・チームや自分の課題の達成状況をとらえ，新しい課題を設定しようとしている。 ・審判の判定や指示にしたがい，勝敗や結果を受け入れようとする。 ・基本的なルールについて，具体例を挙げて言ったり，書き出したりしている。 ・ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) ソフトボールに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して，進んでおこなおうとしていたか。

６　Ｉ個人評価シート例「球技（ソフトボール）」　　２年○組　○○番　　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	ソフトボールの特性に興味をもっている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	4	審判の判定や指示に従っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたバッティングができる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－③	15	練習やゲームで攻撃に対する守備を選択することができる。	A	B	C			× 1	
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－①	16	正確なスローイングができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	17	正確なキャッチングができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	18	バントエンドラン・ヒットエンドランの動きができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	19	ダブルプレーの動きがタイミングよくできる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	ソフトボールの特性を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	22	ソフトボールに必要な集団的技能を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの仕方について知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて言ったり，書き出したりしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営について，具体的に書き出している。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート 球技（ソフトボール） 2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点			Ⅰ関心・意欲・態度								Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能							Ⅳ知識・理解														合計得点
評価方法			行動観察						学習ノート		行動観察				学習ノート			行動観察		技能テスト・行動観察					行動観察				学習ノート			テスト							
具体の規準			Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－①		Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－①	Ⅲ－③	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－全							
項目番号			1	2	3	4	5	6	7	Ⅰ小計	8	9	10	11	12	13	Ⅱ小計	14	15	16	17	18	19	Ⅲ小計	20	21	22	23	24	25	26	27	Ⅳ小計						
観点別評価項目（具体例）			ソフトボールの特性に興味をもっている。	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	お互いに協力して練習しようとする。	審判の指示や判定に従っている。	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。		自己の課題を設定して練習しようとする。	チームの課題を設定して練習しようとする。	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。	学習ノートの活用方法を理解している。	チームや自己の課題を設定しようとする。		練習やゲームで自らの判断で場面に応じたバッティングができる。	練習やゲームで攻撃に対する守備を選択することができる。	正確なスローイングができる。	正確なキャッチングができる。	バントエンドラン・ヒットエンドランの動きができる。	ダブルプレーの動きがタイミングよくできる。		ソフトボールの特性を理解している。	技能を高める合理的な練習法を理解している。	ソフトボールに必要な集団的技能を理解している。	ゲームの運営の仕方や審判法について理解している。	ゲームの運営の仕方について知っている。	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。	小テスト						
実施月／日																																						
No.	組・番	氏　名	／	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	×2	／	／	／	／	／	／	／	／	×10						
1																																						
2																																						
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						
7																																						
8																																						
9																																						
10																																						
11																																						
12																																						
13																																						
14																																						
15																																						
16																																						
17																																						
18																																						
19																																						
20																																						

体育授業　記録シート

年　組			実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
種目名（　　）				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
				日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
No.	組・番	氏名 ＼ 評価項目番号																
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「球技（ソフトボール）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	ソフトボーの特性に興味をもっている。
		Ⅰ－①	2	作戦を立てて，勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		Ⅰ－③	4	審判の指示や判定に従っている。
		Ⅰ－③	5	ルールや規則を守り，公正な態度で取り組もうとしている。
		Ⅰ－④	6	仲間の安全に気を配るなど，健康・安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い，仲間に働きかけている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。
		Ⅱ－③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		Ⅱ－④	11	練習やゲームの仕方を見直したり，新しい課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
		Ⅱ－①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたバッティングができる。
		Ⅲ－③	15	練習やゲームで攻撃に対する守備を選択することができる。
	技能テスト・行動観察	Ⅲ－①	16	正確なスローイングができる。
		Ⅲ－①	17	正確なキャッチングができる。
		Ⅲ－②	18	バントエンドラン・ヒットエンドランの動きができる。
		Ⅲ－③	19	ダブルプレーの動きがタイミングよくできる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	20	ソフトボールの特性を理解している。
		Ⅳ－②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		Ⅳ－③	22	ソフトボールに必要な集団的技能を理解している。
		Ⅳ－④	23	ゲームの運営の仕方や審判法について理解している。
	学習ノート	Ⅳ－②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		Ⅳ－③	25	基本的なルールについて，言ったり，書き出したりしている。
		Ⅳ－④	26	ゲームの運営の仕方について，具体的に書き出している。
	テスト	Ⅳ－全	27	小テスト

総時間数（　　）時間，　　欠席時間数（　　）時間，　　見学時間（　　）時間

単元　「Ｆ　武道(柔道)」

１　単元目標

(1)　自己の能力に応じて次の技能を高め，相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようにする。

ア　素手で相手と直接組み合って技を競い合うという格闘形式の運動の特性を理解し基本動作や対人的技能を身につけ，得意技を生かした練習や試合ができるようにする。

イ　投げ技，固め技，技の連絡変化などについては，自己の能力に応じた技を選び，相手の動きに対応した攻防ができるようにし，試合で生かせるようにする。　**(技能の内容)**

(2)　伝統的な行動の仕方に留意して，互いに相手を尊重し，練習や試合ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，禁じ技を用いないなど安全に留意して練習や試合ができるようにする。　**(態度の内容)**

(3)　自己の能力に応じた技を習得するための練習の仕方や試合の仕方を工夫することができるようにする。　**(学び方の内容)**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

柔道の特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるよう伝統的な行動の仕方に留意して，互いに相手を尊重し，進んで練習や試合に取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，禁じ技を用いないなど，安全に留意して練習や試合をしようとする。

①　自分の能力に応じた技を習得する喜びや相手の動きに対応して，攻防を展開して競い合う柔道の楽しさを味わおうとする。

②　仲間と協力して助け合ったり教えあったりしようとする。

③　勝敗や結果を受け入れたり，礼儀作法を重視しようとしている。

④　用具や服装，練習場の安全を確かめたり，禁じ技を用いないなど自他の安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた技を習得するための課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や試合の仕方を工夫している。

①　自分に合った技を選び，課題を設定し，課題解決に適した練習方法を選択している。

②　試合では，自分の能力を把握して，使える技を選んでいる。

③　相手の動きや体勢に応じて技をかける機会を見つけている。

④　課題の達成状況をとらえ，練習や試合の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

柔道の特性に応じた技能を身につけるとともに，その技能を高め，相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。

①　練習や試合において，身につけた，基本動作と対人的技能で攻撃したり，相手の技をかわしたりすることができる。

②　自分の能力と相手の能力に応じた技を用いて，練習や試合ができる。

③　試合では相手の動きや技に応じて技をかけたり，返したりすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

柔道の特性や学び方，技術の系統性・構造，合理的な練習の仕方を理解するとともに，試合や審判の方法を理解し，知識を身に付けている。

①　柔道の伝統的な考え方，柔道の特性，基本動作や対人技能の構造を知っている。

②　柔道の礼儀作法，試合の運営や審判法を理解し，説明できる。

③　自分の課題に合った練習や試合の仕方，練習計画の立て方を知っている。

④　禁止事項や自他の安全を確保するための方法を知っている。

３　評価規準例「武道（柔道)」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①自分の能力に応じた技を習得する喜びや相手の動きに対応して，攻防を展開して競い合う柔道の楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ②練習や試合では，審判の判定や指示に従うとともに仲間と協力して積極的に教え合おうとする。 ③勝敗や結果を素直に受け入れたり自他を尊重し礼儀作法を重視しようとしている。 ④自ら進んで用具や服装，練習場の安全を確かめたり禁じ技を用いないなど自他の安全に留意しようとする。	①自分の能力に応じた技を習得する喜びや相手の動きに対応して，攻防を展開して競い合う柔道の楽しさを味わおうとする。 ②練習や試合では，審判の判定や指示に従うとともに仲間と協力して教え合おうとする。 ③勝敗や結果を受け入れたり，礼儀作法を重視したりしようとしている。 ④用具や服装，練習場の安全を確かめたり禁じ技を用いないなど自他の安全に留意しようとする。	①技をしかけ柔道の楽しさを味わおうとする。 ②練習や試合では，審判の指示には従おうとする。 ③勝敗や結果のみにこだわり，礼儀作法は仲間や教師に言われてしようとしている。 ④安全に対して配慮しようとする。
Ⅱ思考・判断	①自分に合った技を選び，得意技として身に付けるための課題を設定し，課題解決に適した練習方法や学習の場を選択している。 ②試合では，自分や相手の能力，学習段階を把握して，使える技や判定の仕方などを選んでいる。 ③相手の動きや体勢などに応じて，有効な技や技をかける機会などを見付けている。 ④自ら進んで課題の達成状況をとらえ，練習や試合の仕方を見直したり新しい課題を選んだりしている。	①自分に合った技を選び，課題を設定し，課題解決に適した練習方法や学習の場を選択している。 ②試合では，自分の能力を把握して，使える技や判定の仕方などを選んでいる。 ③相手の動きや体勢などに応じて，技をかける機会などを見付けている。 ④課題の達成状況をとらえ，練習や試合の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。	①自分の能力に適した技が何であるか分かっている。 ②試合では指示に従って技をかけたり，判定している。 ③習った技をかけようとする。 ④指示に従って練習や試合をしている。
Ⅲ運動の技能	①練習では，身に付けた基本動作と対人的技能で積極的に攻撃したり，相手の技をかわしたりすることができる。 ②自分の能力と相手の能力に応じた技で練習や試合をすることができる。 ③試合では，相手の動きや技に応じ，技をかける，防ぐ，返すなどをすることができ，相手の攻撃を自分の攻撃につなげることができる。	①練習では，基本動作と対人的技能で攻撃したり，相手の技をかわしたりすることができる。 ②自分の能力に応じて身に付けた得意技で練習や試合をすることができる。 ③試合では，相手の動きや技に応じ，技をかける，防ぐ，返すなどをすることができる。	①力を頼りに技をかけたり，相手の技を防いだりする。 ②自分のかけやすい技を使って試合や練習ができる。 ③試合では，相手の動きや技に応じ，自分の技に改善の余地がある。
Ⅳ知識・理解	①柔道の伝統的な考え方，柔道の特性，技の系統性，基本動作や対人的技能の構造を具体的に説明できる。 ②柔道の礼儀作法，試合の運営やルール，審判の方法を説明できる。 ③自分や相手の課題に合った練習や試合の仕方，練習計画の立て方を説明できる。 ④技の効果を高める方法や自他の安全を確保するための方法を説明できる。	①柔道の伝統的な考え方，柔道の特性，基本動作や対人的技能の構造を言ったり,書いたりできる。 ②柔道の礼儀作法，試合の運営やルール，審判の方法について具体例を挙げている。 ③自分の課題に合った練習や試合の仕方，練習計画の立て方を言ったり書いたりできる。 ④禁止事項や自他の安全を確保するための方法を言ったり書いたりできる。	①柔道の特性，基本動作や対人的技能などを知っている。 ②柔道の礼儀作法やルールの一部を知っている。 ③指示により，自分の課題や練習方法を知っている。 ④禁止事項を知っている。

４　評価規準の評価観点例「武道（柔道）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア学習した技から無理なくタイミング良くかけられる技を見つけ得意技にしている。 イ移動打込み・連絡技・変化技を自ら進んで練習している。 ②ア審判の判定は試合を見る角度により，微妙に異なることを理解し，状況を教え合っている。 ③ア試合の勝ち負けに関係なく，正しい礼法ができている。 イ試合に勝った場合でも，試合場内で相手の前で喜んだりしない。 ④ア手足の爪は事前に切り，長い髪は束ね，時計やめがね・貴金属ははずしている。	①ア学習した技から力任せではなく，スムーズにかけられる技を見つけ習得している。 イ移動打込み連絡技・変化技の練習においては進んで取り組んでいる。 ②ア試合中の動作の状況を話し合いながら，審判の判定や指示に従っている。 ③ア試合の勝ち負けに関係なく，正しい礼法ができている。 ④ア手足の爪は事前に切り，長い髪は束ね，時計やめがね・貴金属ははずしている。	①ア既習の技をいろいろと仕掛けている。 イ自分のかけやすい技をかけている。 ②ア審判の判定や指示には従っている。 ③ア負けた場合には，礼法が疎かになりがちで，試合に勝つことにこだわっている。 ④ア指摘により気づき，長い髪は束ね，時計やめがね・貴金属は身体からはずす。
Ⅱ思考・判断	①ア自分の体型・体格にあった技を得意技として習得しようと課題設定し，解決に向けに努力する。 ②ア相手の体型・体格に応じて，自分の技の中から有効な技を選んでいる。 イ試合者の動きの応じて，審判として適切な方向へ移動しながら状況を見て，判定している。 ③ア相手が前へ出る時に引き出す技例えば背負い投げ・体落とし・払い腰，さがる時の大外刈り・大内刈りなど技をかける機会を見つけている。 ④ア相手の体勢がどのような時に技がかかり，またどのような時にかからないかを見つけることができる。自分が投げられる状況も理解できる。	①ア自分の体型・体格にあった技を選び習得しようと課題を設定し解決のための練習をする。 ②ア相手の体型・体格に応じて自分の技を選んでいる。 イ試合者の動きに応じて，移動しながら状況を見て，判定している。 ③ア相手が前へ出る時に引き出す技例えば背負い投げ・体落とし・払い腰，さがる時の大外刈り・大内刈りなど技をかける機会を見つけている。 ④ア相手の体勢がどのような時に技がかかり，またどのような時にかからないかを見つけることができる。	①ア自分の体型・体格等にふさわしい技を知っている。 ②ア審判の「まて」には従い，技をかけることをやめている。 イ審判として，判定している。 ③ア背負い投げ・体落とし・大腰・払い腰・小内刈り・大内刈りなど既習技をかけることができる。 ④ア指示・助言に従って技をかけようとする。
Ⅲ運動の技能	①ア技をかけるために自ら動き，相手を崩すように移動させ，技をかける。 イ相手の動きから相手の技を見抜き、技をかわすことができる。 ②ア自分の体型・体格だけでなく相手の経験や能力に応じて，軽く投げたり，投げたかを調節できる。 ③ア相手の前後左右の動きを利用して相手を崩して技をかけることができる。同じ技でも，相手の動きに応じてかけ方を変えることができる。 イ相手の技を自分の動きによって防いだり，燕返し，大内刈返しなどで攻撃に変えることができる。	①ア技をかけるために自ら動き，相手を移動させ，技をかける。 イ相手の動きから相手の技を予想しかわすことができる。 ②ア相手の体型・体格に応じて身につけた得意技を利用して乱取，試合ができる。 ③ア相手が前へ出る時に引き出す技例えば背負い投げ・体落とし・払い腰，さがる時には大外刈り・大内刈りなど技をかけることができる。 イ相手の技を動きによって防いだり，燕返し，大内刈返しができる。	①ア重心移動のない状態の相手に対して技をかける。 イ相手の技に対して，力を頼りに防ぐことができる。 ②ア自分の一番かけやすい技を相手に関係なく練習や試合でかけることができる。 ③ア相手の動きに関わらず，自分の技をかけることができる。 イ力に頼るが相手の技を防ぐことができる。
Ⅳ知識・理解	①ア相手を敬い，礼に始まり礼に終わるなどの行動様式やその精神を理解し説明できる。 ②ア武道場の出入りの際の一礼や常に柔道衣を正しく着用でき，模範となっている。 ③ア自分の技がかからない原因を知り，改善するための練習方法や計画の立て方を説明できる。 ④アより安全に相手を投げるための方法や自分の安全のために相手の技にどう対応すべきかが説明できる。	①ア相手を敬い，礼に始まり礼に終わるなどの行動様式を理解している。 ②ア武道場の出入りの際の一礼をし，柔道衣を正しく着用している。 ③ア自分の技がかからない原因を知り，そのための練習方法や計画の立て方の見通しがたつ。 ④ア禁止事項のいくつかは，自他の安全を確保するためのものであることを理解している。	①ア心身の発達に有効であるという特性や組み方・受け身・固め技の基本動作など知っている。 ②ア柔道衣の正しい着用方法を知っている。 ③ア指示により自分の課題が理解でき，練習方法を見つけることができる。 ④ア払い腰等の軸足を内側から払う，内股などをかけ頭からつっこむ等の禁止事項を知っている。

５　指導と評価の計画例「武道（柔道）」＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1) 柔道の特性や学習の仕方を理解する。	Ⅰ－① 行動観察	・柔道の特性に興味を持ち楽しさや喜びを味わおうとする。
	(2) 自分やグループの課題を決める。	Ⅱ－① 学習ノート	・自己の課題を見つけようとする。
	(3) 学習ノート，学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅳ－① 学習ノート	・学習ノート・学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 自分に合った技を選び得意技として身に付けるための練習をする。	Ⅲ－② 行動観察	・自分に合った技を選んでいる。
	(2) お互いに教え合いながら練習をする。	Ⅰ－② 行動観察	・グループ・ペアーで協力し，教えあいながら練習している。
	(3) 速さ・強さを持って投げれるように練習する。	Ⅳ－③ 学習ノート	・用具・施設などの安全面に気を配っている。
	(4) 安全に実施できるように、施設や用具の点検をおこなう。	Ⅰ－④ 行動観察	・自分の課題を見つけて練習しようとしている。
なか2（4時間）	**ねらい２（高まった能力に合わせて）** (1) 得意技をさらに磨く	Ⅱ－③ 行動観察	・自らが技をかけるタイミングを作るため相手を移動させるなど工夫ができる
	(2) 自分の課題にあった練習計画に従って練習する。	Ⅱ－① 行動観察	・自分の能力に応じて設定した課題解決に向けた練習計画をたて練習できる。
	(3) 相手の動きに応じて連絡技・変化技ができる。	学習ノート Ⅲ－③ 行動観察	・相手の動きや技に応じて，技をかける，技を返すなどの攻防ができる。
	(4) 習得した技を発表・評価（出来映えの試合）することで柔道の楽しさを深める。	Ⅲ－① 行動観察 試合結果	・試合結果を練習に生かせる。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 自分の能力に応じて身に付けた得意技で試合ができる。	Ⅰ－③ 行動観察 学習ノート	・相手を尊重し，互いに協力しあいながら練習や試合ができる。
	(2) 相手の動きや技に応じて，技をかける，防ぐ，返すなどをすることができる。	Ⅱ－③ 行動観察	・相手の動きや技に応じて，技をかけたり，防いだりすることができる。
	(3) 試合のルールや審判の方法について理解し，試合を運営することができる。	Ⅳ－② 行動観察 Ⅳ－全 小テスト	・ルールや審判方法を理解し適切に審判や試合運営ができる。 ・試合の勝ち負けにかかわらず，礼儀作法を重視し，きちんとできる。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫の仕方はどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテストの項目、さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) 柔道に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・試合をしていたか。 (4) 礼儀作法に配慮できたか。

６　Ｉ個人評価シート例「武道（柔道）」

２年○組　○○番　氏名○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	新しい技能の習得に関心が高い。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	スムーズにかけられる技を見つけ習得してようとしてい	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－①	3	柔道の楽しさを味わおうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	仲間と協力しお互いに教え合って練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	5	禁じ技は用いないようにしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	試合や練習でも礼儀作法を重視しようとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	7	常に手足の爪の長さは適切にし，長い髪は束ねている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	8	時計などをはずし，安全に留意している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	9	学習ノートをきちんと記入している。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－③	10	勝敗の結果を素直に受け入れ，自分を省みようとしている。	A	B	C			× 2	
						合計					
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	11	自分の体型・体格あった技を選んでいる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	12	自分の能力を把握し，使える技を選んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	13	試合者の動きに応じて移動しながら，状況を見て判定している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	14	相手の動きや体勢に応じて，技をかける機会を見つけている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	15	自分の体型に応じた課題を設定している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－④	16	自分の能力に応じた課題を設定している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	17	自分にあった技が選べる。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－①	18	技の習得のために課題が設定できる。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－④	19	課題の達成状況により，さらに新しい課題の設定ができる。	A	B	C			× 2	
						合計					
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	20	技をかけるために自ら動き，相手を移動させて技をかける。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－②	21	自分の能力に応じて身につけた技で練習をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	22	相手の体格に応じて，得意技をかけることができる。	A	B	C			× 1	
	技能テスト	Ⅲ－③	23	相手の体勢に応じて技の入り方を変えてかけることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	24	相手のかけた技をかわし，返し技で攻撃する。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	25	背負い投げ，体落とし，払い腰等で投げることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	26	大外刈り，大内刈り等で投げることができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	27	試合	A	B	C			× 10	
						合計					
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	28	相手を敬い，礼儀を重んじた行動様式を理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	29	ルール，審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	30	試合の運営方法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	31	自分の課題を認識し，課題解決のための練習方法を知っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	32	禁止事項や安全に関する具体的事項を説明できる。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－①	33	柔道の特性や伝統的な考え方を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	34	自分の技がかからない原因を知り，練習方法の見通しが立つ。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	35	小テスト	A	B	C			× 10	
						合計					
						総合計					

総時間数（　　）時間	欠席時間数（　　）時間	見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　武道(柔道)　2年生(15時間)

総時間数(　　)時間,　欠席時間数(　　)時間,　見学時間(　　)時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度												Ⅱ思考・判断												Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解										合計得点
評価方法	行動観察								学習ノート		Ⅰ小計		行動観察						学習ノート			Ⅱ小計			行動観察			技能テスト					Ⅲ小計								テスト	Ⅳ小計			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－①	Ⅰ－③			Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－④	Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－④				Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－③									Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－④	Ⅳ－①	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			11	12	13	14	15	16	17	18	19				20	21	22	23	24	25	26	27									28	29	30	31	32	33	34	35			
観点別評価項目(具体例)	新しい技能の習得に関心が高い。	スムーズにかけられる技を見つけ習得してようとしている。	柔道の楽しさを味わおうとしている。	仲間と協力しお互いに教え合って練習している。	禁じ技は用いないようにしている。	試合や練習でも礼儀作法を重視しようとしている。	常に手足の爪の長さは適切にし，長い髪は束ねている。	時計などをはずし，安全に留意している。	学習ノートをきちんと記入している。	勝敗の結果を素直に受け入れ，自分を省みようとしている。			自分の体型・体格あった技を選んでいる。	自分の能力を把握し，使える技を選んでいる。	試合者の動きに応じて移動しながら，状況を見て判定している。	相手の動きや体勢に応じて，技をかける機会を見つけている。	自分の体型に応じた課題を設定している。	自分の能力に応じた課題を設定している。	自分にあった技が選べる。	技の習得のために課題が設定できる。	課題の達成状況により，さらに新しい課題の設定ができる。				技をかけるために自ら動き，相手を移動させて技をかける。	自分の能力に応じて身につけた技で練習をしている。	相手の体格に応じて，得意技をかけることができる。	相手の体勢に応じて技の入り方を変えてかけることができる。	相手のかけた技をかわし，返し技で攻撃する。	背負い投げ，体落とし，払い腰等で投げることができる。	大外刈り，大内刈り等で投げることができる。	試合								相手を敬い，礼儀を重んじた行動様式を理解している。	ルール，審判法について理解している。	試合の運営方法を理解している。	自分の課題を認識し，課題解決のための練習方法を知っている。	禁止事項や安全に関する具体的事項を説明できる。	柔道の特性や伝統的な考え方を理解している。	自分の技がかからない原因を知り，練習方法の見通しが立つ。	小テスト			
実施月／日																																													
No.	組・番	氏　名	／	／	／	／	／	／	／	／	／	×2		／	／	／	／	／	／	／	／	×2	／	×2		／	／	／	／	／	／	／	／	×10								／	／	／	／	／	／	／	／	×10			
1																																														
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														
6																																														
7																																														
8																																														
9																																														
10																																														
11																																														
12																																														
13																																														
14																																														
15																																														
16																																														
17																																														
18																																														
19																																														
20																																														

体育授業 記録シート

年 組 種目名( ) 実施月日			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
No.	組・番	評価項目番号 氏名	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	

観点別評価項目例「武道(柔道)」

2年生(15時間)

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目(具体例)
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	新しい技能の習得に関心が高い。
		Ⅰ－①	2	スムーズにかけられる技を見つけ習得してようとしている。
		Ⅰ－①	3	柔道の楽しさを味わおうとしている。
		Ⅰ－②	4	仲間と協力しお互いに教え合って練習している。
		Ⅰ－②	5	禁じ技は用いないようにしている。
		Ⅰ－③	6	試合や練習でも礼儀作法を重視しようとしている。
		Ⅰ－④	7	常に手足の爪の長さは適切にし，長い髪は束ねている。
		Ⅰ－④	8	時計などをはずし，安全に留意している。
	学習ノート	Ⅰ－①	9	学習ノートをきちんと記入している。
		Ⅰ－③	10	勝敗の結果を素直に受け入れ，自分を省みようとしている。
Ⅱ思考・判断	行動観察	Ⅱ－①	11	自分の体型・体格あった技を選んでいる。
		Ⅱ－①	12	自分の能力を把握し，使える技を選んでいる。
		Ⅱ－②	13	試合者の動きに応じて移動しながら，状況を見て判定している。
		Ⅱ－③	14	相手の動きや体勢に応じて，技をかける機会を見つけている。
		Ⅱ－③	15	自分の体型に応じた課題を設定している。
		Ⅱ－④	16	自分の能力に応じた課題を設定している。
	学習ノート	Ⅱ－①	17	自分にあった技が選べる。
		Ⅱ－①	18	技の習得のために課題が設定できる。
		Ⅱ－④	19	課題の達成状況により，さらに新しい課題の設定ができる。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	20	技をかけるために自ら動き，相手を移動させて技をかける。
		Ⅲ－②	21	自分の能力に応じて身につけた技で練習をしている。
		Ⅲ－③	22	相手の体格に応じて，得意技をかけることができる。
	技能テスト	Ⅲ－③	23	相手の体勢に応じて技の入り方を変えてかけることができる。
		Ⅲ－③	24	相手のかけた技をかわし，返し技で攻撃する。
		Ⅲ－③	25	背負い投げ，体落とし，払い腰等で投げることができる。
		Ⅲ－③	26	大外刈り，大内刈り等で投げることができる。
		Ⅲ－③	27	試合
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	28	相手を敬い，礼儀を重んじた行動様式を理解している。
		Ⅳ－②	29	ルール，審判法について理解している。
		Ⅳ－②	30	試合の運営方法を理解している。
		Ⅳ－③	31	自分の課題を認識し，課題解決のための練習方法を知っている。
		Ⅳ－④	32	禁止事項や安全に関する具体的事項を説明できる。
	学習ノート	Ⅳ－①	33	柔道の特性や伝統的な考え方を理解している。
		Ⅳ－③	34	自分の技がかからない原因を知り，練習方法の見通しが立つ。
	テスト	Ⅳ－全	35	小テスト

総時間数( )時間 , 欠席時間数( )時間 , 見学時間( )時間

単元　「F　武道(剣道)」

１　単元目標

(1) 自己の能力に応じて次の技能を高め，相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようにする。

ア　竹刀を使って相手と約束の部位を打突し合って競い合うという格技形式の運動の特性を理解し，基本動作や対人的技能を身に付け，得意技を生かした練習や試合ができるようにする。

イ　基本動作は，対人的技能との関連で取り扱うようにする。

ウ　しかけ技と応じ技については，自己の能力に応じた技を選び，相手の動きに対応した攻防ができるようにし，試合で生かせるようにする。　**(技能の内容)**

(2) 伝統的な行動の仕方に留意して，互いに相手を尊重し，練習や試合ができるようにするとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，禁じ技を用いないなど安全に留意して練習や試合ができるようにする。　**(態度の内容)**

(3) 自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができるようにする。　**(学び方の内容)**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

武道の特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるよう伝統的な行動の仕方に留意して,互いに相手を尊重し，進んで練習や試合に取り組もうとするとともに，勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また，禁じ技を用いないなど，安全に留意して練習や試合をしようとする。

① 自分の能力に応じた技を習得する喜びや，相手の動きや技に対応した攻防を展開して競い合う剣道の楽しさを味わおうとするとともに積極的に課題を解決しようとする。

② 練習や試合で，仲間と協力して教え合う中で自分の得意技を見つけ練習しようとする。

③ 練習や試合で，審判の判定や指示に従うとともに，勝敗や結果を受け入れたり課題を見つけ出そうとする。

④ 礼儀作法を重視し用具や服装，練習場などの安全を確かめたり，禁じ技を用いないなど，自他の安全に留意しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自分の能力に応じた技を習得するための課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や試合の仕方を工夫している。

① 自己に合った技を選び，得意技として身に付けるための課題を設定し，課題解決に適した練習方法や学習の場を選択している。

② 試合で，自分や相手の能力，学習段階を把握して，使える技を選ぶとともに試合において自信を持って判定する。

③ 相手の動きや体勢等に応じて，有効な技や技をかける機会などを見つけている。

④ 課題の達成状況をとらえ，練習の仕方を見直したり，新しい課題を選んだりしている。

Ⅲ　運動の技能

剣道の特性に応じた技能を身に付けるとともに，その技能を高め，相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。

① 練習する時に，身に付けた基本動作と対人的技能で攻撃したり，相手の技をかわしたりすることができる。

② 自分の能力に応じて，身に付けた得意技で練習や試合をすることができる。

③ 試合で，相手の動きや技に応じ，技をかける，防ぐ，返すなどをすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

剣道の特性や学び方，技術の系統性・構造，合理的な練習の仕方を理解するとともに，試合や審判の方法を理解し，知識を身に付けている。

① 剣道の伝統的な考え方，剣道の特性，技の系統性，基本動作や対人的技能の構造について知っている。

② 剣道の礼儀作法，ルール，審判方法について言ったり書き出したりしている。

③ 自分や相手の課題に合った練習や試合の仕方，練習計画の立て方，自分にあった試合の仕方について具体例を挙げている。

④ 剣道の礼儀作法と自他の安全確保について理解し，実践している。

３　評価規準例「武道(剣道)」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①剣道に強い興味や関心をもち相手と協力して，課題解決を図ろうとする。	①剣道に興味や関心があり，積極的に課題を解決しようとする。	①与えられた課題を解決しようとする。
	②自分に適した技を習得し，相手の動きや技に呼応した攻防を楽しもうとする。	②自分の得意技を発見し，相手とのかけひきの中で練習しようとする。	②得意技を練習しようとする。
	③練習や試合の成果を分析し，それを生かすなど，向上心を持って取組もうとする。	③練習や試合の成果を参考に次の課題を見つけ出そうとする。	③練習や試合の結果から課題を見つけようとする。
	④礼儀作法を重んじ相手を思いやるとともに，自己を律しようとする。	④礼儀作法を重んじ安全に留意して練習しようとする。	④剣道の礼儀や所作を理解しようとする。
Ⅱ思考・判断	①基本動作と対人的技能の関連が図れている。	①基本動作の学習内容を対人的技能に活用している。	①対人的技能について理解している。
	②試合において，技能に応じた判定基準を選択している。	②試合において，自信を持って判定している。	②試合においてルールや方法を理解し，判定して
	③相手の隙を見つけ，相手を崩す方法を発見している。	③相手の状況に応じて，効果的な打突をしている。	③相手の動きや技を予測しようとしている。
	④自己の課題解決に向け，工夫して練習している。	④正確に打突するために，工夫して練習している。	④指示された内容について練習している。いる。
Ⅲ運動の技能	①打突、足の引きつけ，発声のタイミングが合っており，力強い打突ができる。	①打突，体勢，発声のタイミングを合わせることができる。	①打突部位を打つことができる。
	②自己の能力に適した技の中から，得意技を見つけ，積極的に練習を行いしかけることができる。	②自己の能力に適した技の中から，得意技を見つけ練習することができる。	②得意技を選択し練習することができる。
	③相手の状況に応じ，効果的な技を選択することができる。	③相手の状況に応じて，効果的な対応ができる。	③相手の状況に応じて対応できる。
Ⅳ知識・理解	①剣道の伝統的な考え方や特性,技の系統性，基本動作や対人的技能の構造を具体的に説明できる。	①剣道の伝統的な考え方や特性,基本動作や対人的技能の構造を言ったり書いたりできる。	①剣道の特性，基本動作や対人的技能などを知っている。
	②試合の運営方法や基本的な審判法について説明できる。	②試合の運営方法や基本的な審判法について具体例を挙げている。	②試合の運営方法や審判法を知っている。
	③自分や相手の課題にあった練習や試合の仕方，練習計画の立て方を説明できる。	③自分の課題にあった練習や試合の仕方，練習計画の立て方を言ったり書いたりしている。	③自分の課題や練習方法を知っている。
	④礼儀作法や自他の安全について十分に理解しており，すすんで実践している。	④礼儀作法や自他の安全について理解し，実践している。	④礼儀作法や自他の安全について理解している。

４　評価基準の評価観点例「武道(剣道)」

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア強い興味・関心をもって学習している。 イ相手と協力して，すすんで課題解決を図ろうとしている。 ②ア既習の技の中から自分に適した得意技を見つけている。 イ相手との攻防を楽しみながら得意技の練習をしている。 ③ア練習や試合の中から多くの新しい課題を発見している。 ④ア礼儀作法を重んじ相手を思いやるとともに練習場所の安全に気を配り確認している。 イ防具を素早く正確に着装している。 ウ練習前や練習中に竹刀の点検をしている。	①ア興味・関心をもって学習している。 イすすんで課題解決を図ろうとしている。 ②ア既習の技の中から得意技を見つけている。 イ相手とのかけひきの中で得意技の練習をしている。 ③ア練習や試合の中から新しい課題を発見している。 ④ア礼儀作法を重視し練習場所の安全に気を配っている。 イ防具を正しく着装している。 ウ練習前に竹刀の点検をしている。	①ア関心をもって学習している。 イ与えられた課題を解決しようとしている。 ②ア得意技を決めている。 イ得意技の練習をしている。 ③ア練習や試合を振り返り反省をしている。 ④ア礼儀作法を重視し安全に練習している。 イ防具を着装している。 ウ指示を受けて竹刀の点検をしている。
Ⅱ思考・判断	①ア基本動作が対人的技能に活用されている。 ②ア試合において大きな声できびきびと宣告している。 イ試合において自信ある態度でわかりやすく判定している。 ③ア相手の動きを確認し，かけひきをしながら打突している。 イ相手の打突を予測し，かけひきをしながら打突している。 ④アいろいろな竹刀の振り方の中から正しい方法を見つけ出している。 イ相手との間合いを工夫し，かけひきをしながら練習している。	①ア基本動作を確認しながら対人的技能の練習をしている。 ②ア試合において大きな声で宣告している。 イ試合において自信ある態度で判定している。 ③ア相手の動きを確認して打突している。 イ相手の打突を予測して打突している。 ④アいろいろな竹刀の振り方を試しながら練習している。 イ相手との間合いを工夫しながら練習している。	①ア対人的技能の練習をしている。 ②ア試合において宣告している。 イ試合において判定している。 ③ア相手に対して打突している。 イ相手の打突に合わせて打突している。 ④ア竹刀の振り方を確認しながら練習している。 イ正しい構えで練習している。
Ⅲ運動の技能	①アすり足による打ち込みで，打突・足の引きつけ・発声が同時にでき，力強く打突することができる。 イ踏み込み足による打ち込みで，打突・足の踏み込み・発声が同時にでき，力強く打突することができる。 ②ア自分の技能や体格を考慮して応じ技の練習することができる。 イ約束練習で応じ技を正確に打突することができる。 ③ア相手の動きや考えを予測ししかけ技を出すことができる。 イ相手の動きを引き出して応じ技を出すことができる。	①アすり足による打ち込みで，打突・足の引きつけ・発声が同時にできる。 イ踏み込み足による打ち込みで，打突・足の踏み込み・発声が同時にできる。 ②ア自分の技能や体格を考慮して応じ技を選択し，練習することができる。 イ約束練習で選択した応じ技を正確に打突することができる。 ③ア相手の動きを予測ししかけ技を出すことができる。 イ相手の動きを見て応じ技を出すことができる。	①アすり足による打ち込みができる。 イ踏み込み足による打ち込みができる。 ②ア応じ技を選択し，練習することができる。 イ約束練習で選択した応じ技を打突することができる。 ③アしかけ技を出すことができる。 イ応じ技を出すことができる。
Ⅳ知識・理解	①ア剣道の特性について十分に理解しており，言ったり書いたりできる。 イ対人的技能の仕組みについて十分に理解しており，言ったり書いたりできる。 ②アすすんでくふうして試合の運営ができる。 イ審判法を理解しており，試合者の状態を考え，正しい判定をすることができる。 ③ア自分の課題にあった練習計画を立て工夫して練習してる。 イ自分の能力に方法を選択し積極的に試合をしている。 ④ア剣道の礼儀作法について十分に理解しており，言ったり書いたりできる。 イ剣道の礼儀作法について実践し，説明ができる。	①ア剣道の特性について言ったり書いたりできる。 イ対人的技能の仕組みについて言ったり書いたりできる。 ②アすすんで試合の運営ができる。 イ審判法を理解しており、正しい判定をすることができる。 ③ア自分の課題にあった練習計画を立てている。 イ自分の能力にあった試合方法を選択している。 ④ア剣道の礼儀作法について言ったり書いたりできる。 イ剣道の礼儀作法について実践している。	①ア剣道の特性について学習している。 イ対人的技能の仕組みについて学習している。 ②ア試合の運営をしている。 イ審判ができる。 ③ア練習計画を立てている。 イ試合方法を選択している。 ④ア剣道の礼儀作法について学習している。 イ剣道の礼儀作法について実践しようとしている。

５　指導と評価の計画例「武道(剣道)」＜２年生(１５時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の場面・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1) 剣道の特性や学習の仕方を理解する。	Ⅳ―① 学習ノート 行動観察	・剣道の伝統的な考え方や特性，基本動作や対人的技能の構造を理解しようとする。
	(2) 礼儀作法や安全に行うための練習方法を理解する。	Ⅰ―④ 学習ノート	・礼儀作法を理解しようとする。 ・安全に行うための留意点を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 正確な打突をするために工夫して練習する。	Ⅱ―④ 行動観察 Ⅲ―① 行動観察	・正確に打突するために，工夫して練習しようとする。 ・打突，体勢，発声のタイミングを合せようとする。
	(2) 得意技を見つけ，効果的な練習をする。	Ⅰ－② 行動観察	・得意技を発見し，相手とのかけひきの中で練習している。
	(3) 相手と協力しながら，技能の向上を図る。	Ⅱ―① 学習ノート	・基本動作の学習内容を対人的技能に活用している。
	(4) 安全に行えるように，防具の着装や竹刀の破損を確認する。	Ⅰ―④ 行動観察	・安全に練習を行うために気を配っている。
なか2（4時間）	**ねらい２（高まった能力に合せて）** (1) 習得した技から，能力に合った得意技を見つけて練習する。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅰ―③ 学習ノート	・自己の能力に適した技の中から，得意技を見つけることができる。 ・練習の成果を参考に次の課題を見つけ出そうとしている。
	(2) 相手とのかけひきの中で得意技を練習する。	Ⅱ―③ 行動観察 Ⅱ―① 実技テスト	・相手の状況に応じて，効果的な打突をしている。 ・基本動作の学習内容を対人的技能に活用している。
	(3) 剣道における礼儀作法を守って練習する。	Ⅳ－④ 行動観察	・礼儀作法について理解し、実践している。
	(4) 試合を通して課題の解決を図る。	Ⅰ―① 学習ノート Ⅱ―② 行動観察	・剣道に興味や関心があり，積極的に課題を解決しようとしている。 ・試合において，自信を持って判定している。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 試合の結果から課題を発見する。	Ⅰ―③ 学習ノート	・試合の結果を参考に次の課題を見つけ出そうとしている。
	(2) 自分にあった練習計画を立てて練習する。	Ⅳ―③ 学習ノート Ⅲ―③ 実技テスト	・自分の課題にあった練習や試合の仕方，練習計画の立て方を言ったり，書いたりする。 ・相手の状況に応じて，効果的な対応ができる。
	(3) 得意技を使って試合をする。		
	(4) 審判方法を理解し，公正な態度で審判を行う。	Ⅳ―② 学習ノート 行動観察 Ⅳ―全 小テスト	・試合の運営方法を理解しており，基本的な審判ができる。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録をてがかりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由 (2) 活動の進め方や工夫の仕方はどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) 剣道に適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・試合をしていたか。 (4) 礼儀作法に配慮できたか。

６　Ｉ個人評価シート例　「武道（剣道）」　　２年〇組　〇〇番　　氏名〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合 %
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	すすんんで課題解決を図ろうとしている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－②	2	既習の技の中から得意技を見つけている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	相手とのかけひきの中で得意技を練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	4	防具を正しく装着している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－④	5	練習前に竹刀の点検をしている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	6	興味・関心をもって学習している。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－③	7	練習や試合の中から新しい課題を発見している。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－④	8	礼儀作法を重視するとともに練習場所の安全に気を配っている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	9	構え，体さばきや竹刀の使い方を確認しながら相手との攻防の練習している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－②	10	試合において大きな声で宣告している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	11	試合において自信のある態度で判定している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	12	相手の動きを確認して打突している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	13	相手の打突を予想して打突している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－④	14	いろいろな竹刀の振り方を試しながら練習している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－④	15	相手との間合いを工夫しながら練習している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	16	自己に合って技を選んでいる。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－①	17	得意技として身につけるための課題を設定している。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	18	正しく基本動作(構え、体さばき、素振り)を行っている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	19	すり足による打ち込みで打突，体勢，発声が一致している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	20	踏み込みによる打ち込みで打突，体勢，発声が一致している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	21	自分の技能や体格を考慮し得意技を選択して練習している。	A	B	C			× 1	
	技能テスト	Ⅲ－③	22	相手の動きを予測して，タイミングよくしかけ技を出している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	23	相手の動きを見て応じ技を出している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	24	得意技，応じ技を使って試合をし，正確に打突している。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	25	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	26	ルール審判法について理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	27	試合の運営方法を理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－④	28	礼儀作法や自他の安全について理解し実践している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－①	29	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	30	試合の運営方法と基本的な審判法を理解し，正しい判定を行う。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－③	31	自分の課題にあった計画を立て，能力にあった試合方法を選択する。	A	B	C			× 1	
	テスト	Ⅳ－全	32	小テスト	A	B	C			× 10	
					合計						

総合計	

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　武道（剣道）　2年生（15時間）

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度									Ⅱ思考・判断										Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解										合計得点
評価方法	行動観察					学習ノート				行動観察							学習ノート			行動観察				技能テスト					行動観察				学習ノート			テスト			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－④	Ⅰ－④	Ⅰ－①	Ⅰ－③	Ⅰ－④		Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－③	Ⅱ－④	Ⅱ－④	Ⅱ－①	Ⅱ－①		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－③			Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－④	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－③	Ⅳ－全			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8		9	10	11	12	13	14	15	16	17		18	19	20	21	22	23	24			25	26	27	28	29	30	31	32			
観点別評価項目（具体例）	すすんんで課題解決を図ろうとしている。	既習の技の中から得意技を見つけている。	相手とのかけひきの中で得意技を練習している。	防具を正しく装着している。	練習前に竹刀の点検をしている。	興味・関心をもって学習している。	練習や試合の中から新しい課題を発見している。	礼儀作法を重視するとともに練習場所の安全に気を配っている。	Ⅰ 小計	構え，体さばきや竹刀の使い方を確認しながら相手との攻防の練習をしている。	試合において大きな声で宣告している。	試合において自信のある態度で判定している。	相手の動きを確認して打突している。	相手の打突を予想して打突している。	いろいろな竹刀の振り方を試しながら練習している。	相手との間合いを工夫しながら練習している。	自己に合って技を選んでいる。	得意技として身につけるための課題を設定している。	Ⅱ 小計	正しく基本動作（構え，体さばき，素振り）を行っている。	すり足による打ち込みで打突，体勢，発声が一致している。	踏み込みによる打ち込みで打突，体勢，発声が一致している。	自分の技能や体格を考慮し得意技を選択して練習している。	相手の動きを予測して，タイミングよくしかけ技を出している。	相手の動きを見て応じ技を出している。	得意技，応じ技を使って試合をし，正確に打突している。	Ⅲ 小計	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。	ルール審判法について理解している。	試合の運営方法を理解している。	礼儀作法や自他の安全について理解し実践している。	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。	試合の運営方法と基本的な審判法を理解し，正しい判定を行う。	自分の課題にあった計画を立て，能力にあった試合方法を選択する。	小テスト	Ⅳ 小計	
実施月／日																																						
No. 組・番 氏　名	／	／	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	／ ×2	／	／	／	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2		／	／	／	／	／	／	／ ×2		／	／	／	／	／	／	／	／ ×10			
倍率																																						
1																																						
2																																						
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						
7																																						
8																																						
9																																						
10																																						
11																																						
12																																						
13																																						
14																																						
15																																						
16																																						
17																																						
18																																						
19																																						
20																																						

体育授業 記録シート

年 組 種目名（ ）	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	氏名 ＼ 評価項目番号														
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「武道（剣道）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	すすんんで課題解決を図ろうとしている。
		Ⅰ－②	2	既習の技の中から得意技を見つけている。
		Ⅰ－②	3	相手とのかけひきの中で得意技を練習している。
		Ⅰ－④	4	防具を正しく装着している。
		Ⅰ－④	5	練習前に竹刀の点検をしている。
		Ⅰ－①	6	興味・関心をもって学習している。
	学習ノート	Ⅰ－③	7	練習や試合の中から新しい課題を発見している。
		Ⅰ－④	8	礼儀作法を重視するとともに練習場所の安全に気を配っている。
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	9	構え，体さばきや竹刀の使い方を確認しながら相手との攻防の練習している。
		Ⅱ－②	10	試合において大きな声で宣告している。
		Ⅱ－②	11	試合において自信のある態度で判定している。
		Ⅱ－③	12	相手の動きを確認して打突している。
		Ⅱ－③	13	相手の打突を予想して打突している。
		Ⅱ－④	14	いろいろな竹刀の振り方を試しながら練習している。
		Ⅱ－④	15	相手との間合いを工夫しながら練習している。
	学習ノート	Ⅱ－①	16	自己に合って技を選んでいる。
		Ⅱ－①	17	得意技として身につけるための課題を設定している。
Ⅲ運動の技能	行動観察	Ⅲ－①	18	正しく基本動作(構え，体さばき，素振り)を行っている。
		Ⅲ－①	19	すり足による打ち込みで打突，体勢，発声が一致している。
		Ⅲ－①	20	踏み込みによる打ち込みで打突，体勢，発声が一致している。
		Ⅲ－②	21	自分の技能や体格を考慮し得意技を選択して練習している。
	技能テスト	Ⅲ－③	22	相手の動きを予測して，タイミングよくしかけ技を出している。
		Ⅲ－③	23	相手の動きを見て応じ技を出している。
		Ⅲ－③	24	得意技，応じ技を使って試合をし，正確に打突している。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	25	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。
		Ⅳ－②	26	ルール審判法について理解している。
		Ⅳ－②	27	試合の運営方法を理解している。
		Ⅳ－④	28	礼儀作法や自他の安全について理解し実践している。
	学習ノート	Ⅳ－①	29	剣道の特性や技能の仕組みについて理解している。
		Ⅳ－②	30	試合の運営方法と基本的な審判法を理解し，正しい判定を行う。
		Ⅳ－③	31	自分の課題にあった計画を立て，能力にあった試合方法を選択する。
	テスト	Ⅳ－全	32	小テスト

総時間数（ ）時間 ， 欠席時間数（ ）時間 ， 見学時間（ ）時間

単元　「Ｇ　ダンス（創作ダンス）」

１　単元目標

(1)　自己の能力に応じた課題をもって運動を行い、感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりして、交流し、発表することができるようにする。

ア　自己の能力に応じてテーマや踊りを選択し，自分の感じたままを素直に表現し、ひとつの演技としてを発表できるようにする。

イ　感じを込めて踊ったり、仲間とのかかわりもって踊ったり、他のグループと交流しながら、自己のグループの演技を高める。　**（技能の内容）**

(2)　互いの良さを認め合い、協力して練習したり、交流したり、発表することができるようにする。　**（態度の内容）**

(3)　グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。また、発表交流会の企画や運営ができるようにする。　**（学び方の内容）**

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

ダンスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるよう互いのよさを認め合い、協力して進んで練習や発表会に取り組もうとする。

①　リズムにのって楽しく動くなどのダンスの楽しさや喜びを味わおうとする。

②　お互いの動きをよく観察し、アドバイスしあいながら、積極的に練習に取り組もうとする。

③　発表交流会では、自分の作品を恥ずかしがらずに発表しようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

グループの課題や自分の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫している。

①　グループや自分に適したテーマを設定し、テーマに応じた動きを組み合わせ、一つの作品としてまとめようとしている。

②　テーマや技能に応じた動きを創作し、作品づくりに協力しようとしている。

③　発表交流会に向けて、作品中での自分の役割をよく理解しながら、計画的に練習しようとしている。

Ⅲ　運動の技能

自分の感じたままを素直に表現したり、感じを込めて踊ったり、仲間とかかわりをもって踊ったりすることができる。

①　恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現することができる。

②　顔を上げて自信を持って動くことができる。

③　動きの強弱をつけたメリハリのある作品を作り、発表することができる。また、グループ作品では、他の人と調和のとれた動きをすることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

ダンスの特性や学び方、文化的背景や動きの特徴を理解するとともに、創作の手順や発表、鑑賞の仕方を理解し、知識を身につけている。

①　ダンスの特性や作品の作り方・練習の方法を言ったり、書き出したりしている。

②　発表や鑑賞の仕方を理解しており、発表交流会の運営方法の具体例をあげている。また、他の人の作品について、良い点・悪い点を認識し、正しい評価の仕方の具体例をあげている。

３　評価規準例　「ダンス（創作ダンス）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①思いっきり動く，恥ずかしがらずに感じを込めて動く，リズムにのって楽しく動くなどのダンスの楽しさや喜びを味わおうとする。 ②お互いの動きをよく観察し，動きをより良くしようとアドバイスをしあいながら，積極的に練習に取り組もうとする。 ③発表交流会では，自分たちの作品を思いきって発表でき，また，他の人の良い動きを認め，感じようとする。	①リズムにのって楽しく動くなどのダンスの楽しさや喜びを味わおうとする。 ②お互いの動きをよく観察し、アドバイスしあいながら、積極的に練習に取り組もうとする。 ③発表交流会では，自分の作品を恥ずかしがらずに発表しようとする。	①リズムにのって楽しく動くなどのダンスの楽しさを味わおうとする。 ②お互いの動きを観察しながら全体練習に参加しようとする。 ③発表交流会では、自分の作品を発表しようとする。
Ⅱ思考・判断	①グループや自分に適したテーマを設定し，イメージを出し合いながら、テーマに応じた動きを創作しようとしている。 ②テーマや技能に応じた動きを創作し，動きに変化をつけ，人を楽しませる作品をつくろうとしている。 ③発表交流会に向けて，作品づくりの中心となり，練習計画をしっかり立て，順序立てた練習をしようとしている。	①グループや自分に適したテーマを設定し，テーマに応じた動きを組み合わせ，一つの作品としてまとめてようとしている。 ②テーマや技能に応じた動きを創作し、作品づくりに協力しようとしている。 ③発表交流会に向けて，作品中での自分の役割を良く理解しながら，計画的に練習しようとしている。	①グループや自分に適したテーマを設定し、動きを組み合わせて，作品をつくろうとしている。 ②テーマや技能に応じた動きを指示に従ってつくろうとしている。 ③発表交流会に向けて，計画的に練習しようとしている。
Ⅲ運動の技能	①恥ずかしがらずに思いきって体を動かし，自分のテーマを表現することができる。 ②指先からつま先まで神経をいきわたらせ，顔をあげて生き生きと動きを表現することができる。 ③動きの強弱をつけたメリハリのある感情表現豊かな作品をつくり，発表することができる。グループ作品では，他の人をリードしながら，調和のとれた動きをすることができる。	①恥ずかしがらずに思いきって体を動かしながら表現することができる。 ②顔をあげて，自信を持って動くことができる。 ③動きの強弱をつけたメリハリのある作品をつくり、発表することができる。グループ作品では，他の人と調和のとれた動きをすることができる。	①恥ずかしがらずに体を部分的に使って表現することができる。 ②前を向いて動くことができる。 ③動きの強弱をつけた作品をつくることができる。グループ内で他の人の動きにあわせることができる。
Ⅳ知識・理解	①ダンスの特性を言ったり書き出したりしており、また、作品のつくり方・練習の方法，時間配分を具体的に説明できる。 ②発表や鑑賞の仕方を理解しており，発表交流会の運営の中心となることができる。他の人の作品を感情的・感覚的・知的に感じることができ，具体的な評価の仕方を説明できる。	①ダンスの特性や作品のつくり方・練習の方法を言ったり、書き出したりしている。 ②発表や鑑賞の仕方を理解しており、発表交流会の運営方法の具体例をあげている。他の人の作品について良い点・悪い点を認識し，正しい評価の仕方の具体例をあげている。	①ダンスの特性や作品のつくり方を理解している。 ②発表や鑑賞の仕方を言ったり、書き出したりしている。他の人の作品について評価の仕方を言ったり、書き出したりしている。

４　評価規準の評価観点例「ダンス（創作ダンス）」

	Ａ 十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア恥ずかしがらずに思いきって動いている。 イ感じを込めて，リズムにのって楽しく動いている。 ウ動きを見せ合いながらダンスの楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②アお互いの動きをよく観察している。 イ動きをより良くしようとアドバイスをしあっている。 ウ練習の中心的な役割をしている。 ③ア発表交流会で，自分たちの作品を思いきって発表できる。 イ発表交流会で、グループの中心として活躍している。 ウ他の人の良い動きを認め，感じようとする。	①ア恥ずかしがらずに動いている。 イリズムにのって楽しく動いている。 ウ他の人の動きを見てダンスの楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②アお互いの動きを観察している。 イアドバイスしあいながら、練習に取り組んでいる。 ウ積極的に練習に取り組んでいる。 ③ア発表交流会では，自分の作品を恥ずかしがらずに発表できる。 イ発表交流会では、自分の役割を果たしている。 ウ他のグループの作品をしっかり鑑賞できる。	①ア皆と一緒に動くことができる。 イリズムにのって動いている。 ウ自分でダンスの楽しさを味わおうとしている。 ②ア他の人の動きを見ている。 イアドバイスを受けながら練習に取り組んでいる。 ウ全体練習に参加している。 ③ア発表交流会では、自分の作品を発表している。 イ発表交流会に参加できる。 ウ他のグループの作品を鑑賞することができる。
Ⅱ思考・判断	①アグループや自分に適したテーマを設定し，創作の中心となっている。 イイメージを出し合いながら、新しい動きを創作しようとしている。 ②アテーマや技能に応じた動きを創作している。 イ動きに変化をつけ，人を楽しませる作品をつくっている。 ③ア発表交流会に向けて，作品づくりの中心となっている。 イ練習計画をしっかり立て，順序立てた練習を、指示しながら練習している。	①アグループや自分に適したテーマを設定し，創作に協力している。 イテーマに応じた動きを組み合わせ，一つの作品としてまとめている。 ②アテーマに応じた動きを創作している。 イ人を楽しませる作品づくりに協力している。 ③ア発表交流会に向けて，作品中での自分の役割を理解している。 イ計画的に従って練習している。	①アグループや自分に適したテーマを設定している。 イ動きを組み合わせて，作品をつくっている。 ②アテーマに応じた動きで作品をつくっている。 イ指示に従って作品をつくっている。 ③ア発表交流会に向けて，練習している。 イ計画を立て練習している。
Ⅲ運動の技能	①ア恥ずかしがらずに思いきって体を動かしている。 イ自分のテーマを表現するために一心不乱に動いている。 ②ア指先からつま先まで神経をいきわたらせた動きができる。 イ顔をあげて生き生きと動きを表現することができる。 ③ア動きの強弱をつけたメリハリのある動きができる。 イ感情表現豊かな作品をつくり，発表することができる。 ウグループ作品では，他の人をリードしながら，調和のとれた動きをすることができる。	①ア恥ずかしがらずに体を動かすことができる。 イ自分のテーマを表現することができる。 ②ア体全体を使った動きができる。 イ顔をあげて，自信を持って動くことができる。 ③ア動きの強弱をつけた動きができる。 イ変化に富んだ作品をつくり、発表することができる。 ウグループ作品では，他の人と調和のとれた動きをすることができる。	①ア恥ずかしがらずに体を部分的に使って動くことができる。 イ皆と一緒に動きを表現することができる。 ②ア曲にあわせて動くことができる。 イ前を向いて動くことができる。 ③ア強弱を考えた動きができる。 イ作品を完成させ発表することができる。 ウグループ内で他の人の動きにあわせることができる。
Ⅳ知識・理解	①アダンスの特性を言ったり、書き出したりしている。 イ作品のつくり方・練習の方法，時間配分を具体的に説明できる。 ②ア発表や鑑賞の仕方を理解しており，発表交流会の運営の中心となることができる。 イ他の人の作品を感情的・感覚的・知的に感じることができ，具体的な評価の仕方を説明できる。	①アダンスの楽しみ方に関する記述が見られる。 イ作品のつくり方・練習の方法を言ったり、書き出したりしている。 ②ア発表や鑑賞の仕方を理解しており、発表交流会の運営方法の具体例をあげている。 イ他の人の作品について良い点・悪い点を認識し，正しい評価の仕方の具体例をあげている。	①アダンスの特性に関する記述が見られる。 イ作品のつくり方を方を言ったり、書き出したりしている。 ②ア発表や鑑賞の仕方を言ったり、書き出したりしている。 イ他の人の作品について評価の仕方を言ったり、書き出したりしている。

５　指導と評価の計画例「ダンス（創作ダンス）」　＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の評価・方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1) ダンスの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やグループの課題を決める。 (3) 学習ノートや学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅰ―② 行動観察 Ⅱ―③ 学習ノート Ⅳ―① 学習ノート	・ダンスの特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見付けようとする。 ・学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 様々の基本の動きを練習をする。 (2) お互いに見せ合ったり，教え合ったりする。 (3) 基本の動きを組み合わせて、連続した動きができるようにする。 (4) 安全に行えるようにお互いの練習場所に留意する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅱ―①② 行動観察 学習ノート Ⅳ―① 行動観察	・課題を見つけて練習しようとする。 ・体のすみずみまで意識しながら動いている。 ・見せ合ったり、教え合ったりしながら動きの悪い部分を直そうとする。 ・動きを組み合わせて連続した動きができる。 ・練習場所の調節をするなどして，安全に気を配ろうとする。
なか2（4時間）	**ねらい２（高まった能力に合せて）** (1) 一つ一つの動きをより美しく行えるようにする。 (2) 曲に合わせてアドリブで動くことができるようにする。 (3) グループ内でシンクロナイズした動きができるようにする。 (4) 創作した演技を発表することでダンスの楽しさを深める。	Ⅲ―② 行動観察 Ⅱ―② 学習ノート 行動観察 Ⅲ－③ 行動観察 Ⅰ―①③ 学習ノート	・美しい姿勢となめらかな動きを表現することができる。 ・曲のリズムをとらえ、リズムに合った動きができる。 ・グループとしての演技内容・動きを考えることができる。 ・ダンスの特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。
なか3（4時間）	**ねらい３（さらに進んだ能力で）** (1) 曲に合わせて動きを組み合わせ、テーマに合った演技を構成する。 (2) 演技のできばえを理解してお互いに指導できる。 (3) 発表交流会の運営に協力し、鑑賞方法を理解して公正に評価できる。	Ⅲ―③ 行動観察 Ⅱ―① 行動観察 学習ノート Ⅰ―② 行動観察 Ⅳ―② 学習ノート Ⅲ―③ 行動観察 Ⅳ―全 行動観察 小テスト	・テーマに合った動きを組み合わせて、曲に合わせ一つの作品としてまとめることができる。 ・お互いに協力して良い点・悪い点を指摘しあうことができる。 ・仲間の演技の良し悪しがわかる。 ・発表交流会の運営に協力し、他のグループの演技を公正に評価することができる。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手掛かりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 演技のできばえはどうだったか。	学習ノートやテスト項目，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) ダンスに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 (4) 発表交流会の運営に協力することができたか。

６　Ｉ個人評価シート例「ダンス（創作ダンス）」

２年○組　○○番　氏名　○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	基本の動きを正確に練習している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	リズムにのって楽しく動いている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－①	3	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	他の人の動きをよく観察している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	5	アドバイスしあいながら練習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	6	準備などを積極的に行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	7	協力して授業に参加している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	8	恥ずかしがらずに授業に参加している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	9	ダンスの特性に関する記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－②	10	仲間の動きを観察した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－③	11	創作に関する意欲がある記述が見られる。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	12	テーマや自分の技能に応じた動きを創作している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	13	与えられた課題をすぐに創作できる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	14	テーマやグループの特性に応じた動きを創作している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	15	グループでの自分の役割を理解し、作品づくりに協力している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	16	発表会に向けて、計画的に練習をしている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	17	表現したいことを的確にまとめている。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－③	18	計画的に進行できるようにノートの記述が工夫されている。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察・発表会	Ⅲ－①	19	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	20	テーマに即した動きをしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	21	体の細かい部分に配慮した動きをしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	22	発表会において、自信を持って表現している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	23	ステージの位置取りが正確である。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	24	作品を一つの流れでとらえ、なめらかな表現をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	25	感じを込めて、メリハリをつけて踊っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	26	仲間と調和のとれた動きをしている。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	27	課題で与えられたことを自らのテーマに応用しようとしている。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	28	練習場所を工夫して、安全に留意している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	29	発表会の運営について、意見を言っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	30	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－①	31	作品のテーマや特性を理解した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅳ－②	32	作品の工夫の仕方を的確に評価した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　ダンス（創作ダンス）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度											Ⅱ思考・判断							Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解							合計得点
評価方法	行動観察								学習ノート			行動観察					学習ノート		行動観察・発表会									行動観察				学習ノート			
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－③	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－①	Ⅳ－②		
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		27	28	29	30	31	32		
観点別評価項目（具体例）	基本の動きを正確に練習している。	リズムにのって楽しく動いている。	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。	他の人の動きをよく観察している。	アドバイスしあいながら練習に取り組んでいる。	準備などを積極的に行っている。	協力して授業に参加している。	恥ずかしがらずに授業に参加している。	ダンスの特性に関する記述が見られる。	仲間の動きを観察した記述が見られる。	創作に関する意欲がある記述が見られる。	テーマや自分の技能に応じた動きを創作している。	与えられた課題をすぐに創作できる。	グループでの自分の役割を理解し、作品づくりに協力している。	グループでの自分の役割を理解し、作品づくりに協力している。	発表会に向けて、計画的に練習をしている。	表現したいことを的確にまとめている。	計画的に進行できるようにノートの記述が工夫されている。	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。	テーマに即した動きをしている。	体の細かい部分に配慮した動きをしている。	発表会において、自信を持って表現している。	ステージの位置取りが正確である。	作品を一つの流れでとらえ、なめらかな表現をしている。	感じを込めて、メリハリをつけて踊っている。	仲間と調和のとれた動きをしている。		課題で与えられたことを自らのテーマに応用しようとしている。	練習場所を工夫して、安全に留意している。	発表会の運営について、意見を言っている。	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。	作品のテーマや特性を理解した記述が見られる。	作品の工夫の仕方を的確に評価した記述が見られる。		
実施月／日																																		
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	／ ×2	／	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	／	／	／	／	／	／	／	／		／	／	／	／	／ ×2	／ ×2		
小計	Ⅰ 小計											Ⅱ 小計							Ⅲ 小計									Ⅳ 小計							
倍率	倍率											倍率							倍率									倍率							
1																																		
2																																		
3																																		
4																																		
5																																		
6																																		
7																																		
8																																		
9																																		
10																																		
11																																		
12																																		
13																																		
14																																		
15																																		
16																																		
17																																		
18																																		
19																																		
20																																		

体育授業　記録シート

年　組 種目名（　　）	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番 氏名 ＼ 評価項目番号															
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																

観点別評価項目例「ダンス（創作ダンス）」

２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	基本の動きを正確に練習している。
		Ⅰ－①	2	リズムにのって楽しく動いている。
		Ⅰ－①	3	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。
		Ⅰ－②	4	他の人の動きをよく観察している。
		Ⅰ－②	5	アドバイスしあいながら練習に取り組んでいる。
		Ⅰ－②	6	準備などを積極的に行っている。
		Ⅰ－②	7	協力して授業に参加している。
		Ⅰ－③	8	恥ずかしがらずに授業に参加している。
	学習ノート	Ⅰ－①	9	ダンスの特性に関する記述が見られる。
		Ⅰ－②	10	仲間の動きを観察した記述が見られる。
		Ⅰ－③	11	創作に関する意欲がある記述が見られる。
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	12	テーマや自分の技能に応じた動きを創作している。
		Ⅱ－①	13	与えられた課題をすぐに創作できる。
		Ⅱ－②	14	テーマやグループの特性に応じた動きを創作している。
		Ⅱ－②	15	グループでの自分の役割を理解し、作品づくりに協力している。
		Ⅱ－③	16	発表会に向けて、計画的に練習をしている。
	学習ノート	Ⅱ－①	17	表現したいことを的確にまとめている。
		Ⅱ－③	18	計画的に進行できるようにノートの記述が工夫されている。
Ⅲ運動の技能	行動観察・発表会	Ⅲ－①	19	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。
		Ⅲ－①	20	テーマに即した動きをしている。
		Ⅲ－②	21	体の細かい部分に配慮した動きをしている。
		Ⅲ－②	22	発表会において、自信を持って表現している。
		Ⅲ－②	23	ステージの位置取りが正確である。
		Ⅲ－③	24	作品を一つの流れでとらえ、なめらかな表現をしている。
		Ⅲ－③	25	感じを込めて、メリハリをつけて踊っている。
		Ⅲ－③	26	仲間と調和のとれた動きをしている。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	27	課題で与えられたことを自らのテーマに応用しようとしている。
		Ⅳ－①	28	練習場所を工夫して、安全に留意している。
		Ⅳ－②	29	発表会の運営について、意見を言っている。
		Ⅳ－②	30	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。
	学習ノート	Ⅳ－①	31	作品のテーマや特性を理解した記述が見られる。
		Ⅳ－②	32	作品の工夫の仕方を的確に評価した記述が見られる。

総時間数（　　）時間　，　欠席時間数（　　）時間　，　見学時間（　　）時間

単元　「Ｇダンス（フォークダンス）」

１　単元目標

(1)　フォークダンスの文化的背景や動きの特徴を理解し，自己の能力に応じた課題を選んで踊りを身に付けたり，相手との対応の仕方を工夫したりして，みんなで楽しく踊って交流することができるようにする。また，踊りを通して自国の文化や異文化の理解を深めることができるようにする。

ア　日本の民踊においては，地域の踊りや代表的な日本の民踊を身に付けて，文化的背景や動きの特徴を理解し，みんなで楽しく踊って交流することができるようにする。

イ　外国のフォークダンスにおいては，それらを身に付けて，文化的背景や動きの特徴を理解し，みんなで楽しく踊って交流することができるようにする。　**（技能の内容）**

(2)　互いに教え合いながら踊りを身に付けて誰とでも楽しく踊り，グループで協力して自発的･自主的に練習ができるようにしたり，みんなで交流して踊ったり発表し合ったりできるようにする。

（態度の内容）

(3)　グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や交流の仕方を工夫できるようにする。また，発表交流会の企画や運営ができるようにする。

（学び方の内容）

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

ダンスの特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や発表交流会に取り組もうとする。また，互いのよさを認め合い，協力して練習や発表交流会をしようとする。

①　伝承的な踊りを身に付ける楽しさや喜びを味わおうとする。

②　互いに教え合いながら協力し合って練習しようとする。

③　誰とでも心を合わせて仲良く踊り，積極的に参加し，みんなで楽しく踊って交流を深めようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自己の能力やグループの特性に応じた技能を習得するための課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や相手との対応の仕方を工夫している。

①　自己の能力やグループの特徴に応じた課題を設定し，取り組んでいる。

②　課題設定に応じた選曲、練習の工夫をしている。

③　発表交流会に向けて計画的に練習をしている。

Ⅲ　運動の技能

ダンスの特性に応じた正確な動きを身に付けるとともに，パートナーや仲間と対応しながら踊ることができる。

①　体全体で動き，相手と調子を合わせて正確なステップ（足運び）・動作ができる。

②　踊りの特徴を踏まえた組み方･隊形で踊ることができる。

③　踊りの特徴を生かし，様々な国や地域の踊りを身に付けて踊ることができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

ダンス（踊り）の文化的背景や動きの特徴を理解するとともに，踊りを通して自国の文化や異文化の理解を深めている。

①　日本の民踊や外国のフォークダンスの文化的背景や踊りの特徴について言ったり書き出したりしている。

②　学習の進め方を理解し，具体例をあげている。また，自国の文化や異文化への理解について言ったり書き出したりしている。

３　評価規準例「ダンス（フォークダンス）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①伝承的な踊りに興味を持ち，自ら進んで踊りを身に付ける楽しさや喜びを味わおうとする。 ②パートナーや仲間とお互いに協力し，リーダーシップを発揮しながら教え合い，協力し合って練習しようとする。 ③自ら進んで誰とでも心を合わせ，仲良く踊り，みんなで楽しみながら交流を深めようとする。	①伝承的な踊りを身に付ける楽しさや喜びを進んで味わおうとする。 ②パートナーや仲間とお互いに教え合いながら，協力し合って練習しようとする。 ③誰とでも心を合わせて仲良く踊り，みんなで楽しく踊りながら交流しようとする。	①伝承的な踊りを身に付ける楽しさや喜びを味わおうとする。 ②パートナーや仲間と教えあいながら，練習しようとする。 ③パートナーや仲間と仲良く踊り，交流しようとする。
Ⅱ思考・判断	①自己の能力やグループの特徴に応じた課題を選び，その解決に向けて踊りや曲選びを積極的に工夫している。 ②踊りや選曲に応じた練習の仕方を積極的に工夫し，進めている。 ③発表交流会に向けて，計画的に積極的に練習を進めている。	①自己の能力やグループの特徴に応じた課題を選び，その解決に向けて踊りや曲選びを工夫している。 ②踊りや選曲に応じた練習の仕方を工夫している。 ③発表交流会に向けて計画的に練習を進めている。	①自己の能力に応じた課題を選び，その解決に向けて工夫している。 ②練習の仕方を工夫している。 ③発表交流会に向けて練習を進めている。
Ⅲ運動の技能	①体全体を使った感じをこめた動きや，相手と調子を合わせた正確なステップ･足運び･動作などができる。 ②踊りの特徴を十分に生かした組み方・隊形・表現で踊ることができる。 ③踊りの特徴を十分に生かして，様々な国や地域の踊りを確実に身に付けて踊ることができる。	①体対全体を使って動き，相手と調子を合わせてステップ･足運び・動作などができる。 ②踊りの特徴を踏まえた組み方･隊形で踊ることができる。 ③踊りの特徴を生かして，様々な国や地域の踊りを身に付けて踊ることができる。	①体全体を使って動き，ステップ･足運び･動作などができる。 ②踊りの特徴に合わせた組み方・隊形で踊ることができる。 ③いくつかの国や地域の踊りを身に付けて踊ることができる。
Ⅳ知識・理解	①日本の民謡や外国のフォークダンスの文化的な背景や踊りの特徴について具体例をあげて説明したり，仲間に教えたりすることができる。 ②学習の進め方，相手のよさを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方について具体例を挙げて説明できる。また，自国の文化や異文化への理解について具体例をあげたり，仲間に教えたりすることができる。	①日本の民踊や外国のフォークダンスの文化的背景や踊りの特徴について言ったり書き出したりしている。 ②学習の進め方について理解し，具体例を挙げている。また，自国の文化や異文化への理解について，言ったり書き出したりしている。	①日本の民踊や外国のフォークダンスの踊りの特徴について言うことができる。 ②学習の進め方について言うことができる。また，自国の文化や異文化について言うことができる。

４　評価規準の評価観点例「ダンス（フォークダンス）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア伝承的な踊りに積極的に興味･関心を持っている。 イ踊りを身に付ける楽しさを進んで味わっている。 ②アパートナーや仲間と積極的に協力し，自ら進んで踊りを覚えている。 イパートナーや仲間とお互いに教え合いながら，リーダーシップを発揮して練習している。 ③ア自ら進んで誰とでも心を合わせ，仲良く踊っている。 イリーダーシップを発揮しながらみんなで楽しく踊り，交流している。	①ア伝承的な踊りに興味・関心を持っている。 イ踊りを身に付ける楽しさを味わっている。 ②アパートナーや仲間と協力して踊りを覚えている。 イパートナーや仲間とお互いに教え合って練習している。 ③ア誰とでも心を合わせて仲良く踊っている。 イみんなで楽しく踊りながら交流している。	①ア教師の支持によって，伝承的な踊りに関心を持っている。 イ仲間の助けを借りて，踊りを身に付ける楽しさを味わっている。 ②アパートナーや仲間と協力して踊りを覚えている。 イパートナーに教わりながら，練習している。 ③ア仲間の助けを借りて，仲良く踊っている。 イ仲間の助けを借りて，みんなと交流している。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力やグループの特徴に応じたより高度な課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けて，踊りや曲選びを積極的に工夫している。 ②ア踊りや曲の特徴を十分に捉えた上で，練習の仕方を積極的に工夫している。 イ自己や仲間の能力を十分に考慮し，積極的に練習を工夫している。 ③ア自ら進んで発表交流会に向けてより計画的に練習を進めている。 イ踊りや曲の特徴に合わせた衣装・演出などを積極的に工夫している。	①ア自己の能力やグループの特徴に応じた課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けて，踊りや曲選びを工夫している。 ②ア踊りや曲の特徴に応じた練習の仕方を工夫している。 イ自己や仲間の能力に応じた練習を工夫している。 ③ア発表交流会に向けて計画的に練習を進めている。 イ踊りや曲の特徴に合わせた衣装・演出などを工夫している。	①ア周囲の助けを借りて，自己の能力に応じた課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けて，仲間の助けを借りて踊りを工夫している。 ②ア周囲の助けを借りて，踊りに応じた練習をしている。 イ仲間の助けを借りて，自己の能力に応じた練習を工夫している。 ③ア発表交流会に向けて，仲間の助けを借りて練習している。 イ助けを借りながら，踊りの特徴に合わせた衣装を工夫している。
Ⅲ運動の技能	①ア体全体を使って，表現豊かに踊ることができる。 イ相手と調子を合わせ，正確なステップ・足運び･動作で踊ることができる。 ②ア踊りの特徴を十分に踏まえた組み方・隊形で踊ることができる。 イ踊りの特徴を十分に捉えた表現で踊ることができる。 ③ア様々な国や地域の踊りを正確に身に付けて踊ることができる。 イ踊りの特徴に合わせて，自由に表現を変化させることができる。	①ア体全体を使って踊ることができる。 イ相手と調子を合わせたステップ・足運び・動作で踊ることができる。 ②ア踊りの特徴を踏まえた組み方･隊形で踊ることができる。 イ踊りの特徴を捉えた表現で踊ることができる。 ③ア様々な国や地域の踊りを身に付けて踊ることができる。 イ踊りの特徴に合わせて表現を変化させることができる。	①ア体を使って踊ることができる。 イ相手に合わせてステップ･足運び動作ができる。 ②ア踊りに合わせた組み方隊形で踊ることができる。 イ相手に合わせて踊ることができる。 ③アいくつかの国や地域の踊りを踊ることができる。 イ踊りに合わせて表現ができる。
Ⅳ知識・理解	①ア日本の民踊や外国のフォークダンスの文化的背景について，詳しく表記したり，仲間に教えたりできる。 イ日本の民踊や外国のフォークダンスの踊りの特徴について詳しく表記したり，仲間に教えたりできる。 ②ア学習の進め方について具体例をあげたり，仲間に説明したりできる。 イ自国の文化や異文化への理解について具体例をあげたり，仲間に説明したりできる。	①ア日本の民踊や外国のフォークダンスの文化的背景について，言ったり書いたりしている。 イ日本の民踊や外国のフォークダンスの踊りの特徴について，言ったり書き出したりしている。 ②ア学習の進め方について具体例をあげている。 イ自国の文化や異文化への理解について，言ったり書き出したりしている。	①ア日本の民踊や外国のフォークダンスの文化的背景について，言うことができる。 イ日本の民踊や画オ国のフォークダンスの踊りの特徴について，言うことができる。 ②ア学習の進め方について言うことができる。 イ自国の文化や異文化について言うことができる。

５　指導と評価の計画例「ダンス（フォークダンス）」　＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1) ダンスの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自己やグループの課題を決める。 (3) 学習ノートや学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート	・ダンスの特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見付けようとする。 ・学習ノートやグループノートの活用方法を理解しようとする。
なか1（6時間）	**ねらい１（今ある能力で工夫）** (1) 音楽を聴いて踊りの背景を理解する。 (2) 基本的なステップ･手足の使い方・動き方を覚える。 (3) 協力して，教え合いながら練習する。 (4) 曲に合わせて，踊りの特徴を踏まえた組み方･隊形で踊ることができる。 (5) 誰とでも楽しく交流し，仲良く踊ることができる。	Ⅳ―① 学習ノート Ⅲ―① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―② 学習ノート Ⅰ―③ 行動観察	・曲調･テンポを理解し，文化的背景を知ろうとする。 ・全身を使って，正確に動こうとする。 ・お互いに協力して関わりを持ち，教え合いながら練習しようとする。 ・曲調を生かした動き，組み方・隊形で踊ることができる。 ・誰とでも心を合わせて，みんなで楽しく交流しようとする。
なか2（6時間）	**ねらい２（高まった能力に合せて）** (1) 様々な日本の民踊や地域の踊り，外国のフォークダンスを知り，それらの文化的背景や動きの特徴を理解する。 (2) 様々な民踊やフォークダンスを覚えて，踊る。 (3) 自己やグループに応じた課題に取り組み，課題設定に応じた曲選びをする。 (4) 課題に応じて練習を工夫し，交流会に向けて計画的に練習する。 (5) 発表交流会を企画・運営し，みんなで楽しく交流する。	Ⅳ－② 行動観察 学習活動 Ⅲ―③ 行動観察 Ⅱ―①② 学習ノート Ⅱ―②③ 学習ノート 行動観察 Ⅲ―③ 行動観察 Ⅳ―全 行動観察 小テスト	・様々な踊りの特徴を理解し，それらの文化的背景と自国の文化や異文化への理解を深めようとする。 ・踊りの特徴を生かし，様々な踊りを身に付けようとする。 ・自己の能力やグループの特徴に応じた課題を設定し，それに応じた選曲･練習をしている。 ・仲間の動きやリズムのとり方を感じながら動きをつくろうとする。 ・発表交流会の計画・運営を通して誰とでも交流し，仲良く踊りながらみんなで楽しもうとする。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手掛かりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 踊り･交流会のできばえはどうだったか。	学習ノートやグループノート，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) ダンスに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 (4) 発表交流会の運営に協力し，互いの踊りを評価することができたか。

６　Ｉ個人評価シート例「ダンス（フォークダンス）」　　２年○組　○○番　氏名　○○○○

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	伝承的な踊りを身に付けようとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	3	アドバイスしあいながら練習に取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	準備などを積極的に行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	5	協力して授業に参加している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	6	誰とでも心を合わせて仲良く踊ろうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	7	楽しく踊って交流を深めようとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	8	恥ずかしがらずに、心をほぐして踊っている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	9	伝承的な踊りをとらえた記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－②	10	仲間との合わせ方に関する記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－③	11	仲間との交流を意識した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	12	自己の能力に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	13	グループの特性に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	14	課題設定に応じた選曲をし、練習の工夫をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	15	踊りの特徴や文化的背景を考慮しながら、練習をしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	16	発表交流会に向けて、計画的に練習をしている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	17	ダンスの文化的背景について調べている。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－②	18	正確な動きを身につけるための記述が見られる。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察・発表会	Ⅲ－①	19	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	20	相手と調子を合わせて正確なステップ・動作ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	21	感じを込めて、丁寧に踊っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	22	仲間と調和して、踊っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	23	踊りの特徴を踏まえた組み方、隊形で踊っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	24	踊りの特徴を生かして、体全体で表現している。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	25	様々な国や地域の踊りを身に付けて踊っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	26	踊りの特徴に合わせて表現を変化させることができる。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	27	練習場所を工夫して、安全に留意している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－②	28	発表会の運営について、意見を言っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	29	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	30	自国の文化や異文化への理解について意見を言っている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－①	31	踊りの特徴や文化的背景を理解した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅳ－②	32	他のグループの発表について的確に評価した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　ダンス（フォークダンス）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度														Ⅱ思考・判断								Ⅲ運動の技能									Ⅳ知識・理解								合計得点
評価方法	行動観察									学習ノート					行動観察					学習ノート			行動観察・発表会									行動観察				学習ノート				
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－③	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③			Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－②		Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③		Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－①	Ⅳ－②			
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				12	13	14	15	16	17	18		19	20	21	22	23	24	25	26			27	28	29	30	31	32			
観点別評価項目（具体例）	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。	伝承的な踊りを身に付けようとしている	アドバイスしあいながら練習に取り組んでいる。	準備などを積極的に行っている。	協力して授業に参加している。	誰とでも心を合わせて仲良く踊ろうとしている。	楽しく踊って交流を深めようとしている。	恥ずかしがらずに、心をほぐして踊っている。	伝承的な踊りをとらえた記述が見られる。	仲間との合わせ方に関する記述が見られる。	仲間との交流を意識した記述が見られる。	Ⅰ 小計	倍率		自己の能力に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	グループの特性に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	課題設定に応じた選曲をし、練習の工夫をしている。	踊りの特徴や文化的背景を考慮しながら、練習をしている。	発表交流会に向けて、計画的に練習をしている。	ダンスの文化的背景について調べている。	正確な動きを身に付けるための記述が見られる。	Ⅱ 小計	倍率	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。	相手と調子を合わせて正確なステップ・動作ができる。	感じを込めて、丁寧に踊っている。	仲間と調和して、踊っている。	踊りの特徴を踏まえた組み方、隊形で踊っている。	踊りの特徴を生かして、体全体で表現している。	様々な国や地域の踊りを身に付けて踊っている。	踊りの特徴に合わせて表現を変化させることができる。	Ⅲ 小計	倍率	練習場所を工夫して、安全に留意している。	発表会の運営について、意見を言っている。	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。	自国の文化や異文化への理解について意見を言っている。	踊りの特徴や文化的背景を理解した記述が見られる。	他のグループの発表について的確に評価した記述が見られる。	Ⅳ 小計	倍率	
実施月／日																																								
No. 組・番 氏　名	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2	／ ×2			／	／	／		／	／ ×2	／ ×2		／	／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／ ×2	／ ×2			
1																																								
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								
6																																								
7																																								
8																																								
9																																								
10																																								
11																																								
12																																								
13																																								
14																																								
15																																								
16																																								
17																																								
18																																								
19																																								
20																																								

6 Ⅲ集団評価シート例(40人用)「ダンス(フォークダンス)」

体育授業　記録シート

年　組 種目名(　　)			実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
				月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	評価項目番号 / 氏名																
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		

観点別評価項目例「ダンス(フォークダンス)」　２年生（１５時間）

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。
		Ⅰ－①	2	伝承的な踊りを身に付けようとしている。
		Ⅰ－②	3	アドバイスしあいながら練習に取り組んでいる。
		Ⅰ－②	4	準備などを積極的に行っている。
		Ⅰ－②	5	協力して授業に参加している。
		Ⅰ－③	6	誰とでも心を合わせて仲良く踊ろうとしている。
		Ⅰ－③	7	楽しく踊って交流を深めようとしてる。
		Ⅰ－③	8	恥ずかしがらずに、心をほぐして踊っている。
	学習ノート	Ⅰ－①	9	伝承的な踊りをとらえた記述が見られる。
		Ⅰ－②	10	仲間との合わせ方に関する記述が見られる。
		Ⅰ－③	11	仲間との交流を意識した記述が見られる。
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	12	自己の能力に応じた課題を設定し、取り組んでいる。
		Ⅱ－①	13	グループの特性に応じた課題を設定し、取り組んでいる。
		Ⅱ－②	14	課題設定に応じた選曲をし、練習の工夫をしている。
		Ⅱ－②	15	踊りの特徴や文化的背景を考慮しながら、練習をしている。
		Ⅱ－③	16	発表交流会に向けて、計画的に練習をしている。
	学習ノート	Ⅱ－①	17	ダンスの文化的背景について調べている。
		Ⅱ－②	18	正確な動きを身に付けるための記述が見られる。
Ⅲ運動の技能	行動観察・発表会	Ⅲ－①	19	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。
		Ⅲ－①	20	相手と調子を合わせて正確なステップ・動作ができる。
		Ⅲ－①	21	感じを込めて、丁寧に踊っている。
		Ⅲ－①	22	仲間と調和して、踊っている。
		Ⅲ－②	23	踊りの特徴を踏まえた組み方、隊形で踊っている。
		Ⅲ－②	24	踊りの特徴を生かして、体全体で表現している。
		Ⅲ－③	25	様々な国や地域の踊りを身に付けて踊っている。
		Ⅲ－③	26	踊りの特徴に合わせて表現を変化させることができる。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	27	練習場所を工夫して、安全に留意している。
		Ⅳ－②	28	発表会の運営について、意見を言っている。
		Ⅳ－②	29	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。
		Ⅳ－②	30	時刻の文化や異文化への理解について意見を言っている。
	学習ノート	Ⅳ－①	31	踊りの特徴や文化的背景を理解した記述が見られる。
		Ⅳ－②	32	他のグループの発表について的確に評価した記述が見られる。

総時間数（　　）時間 ， 欠席時間数（　　）時間 ， 見学時間（　　）時間

単元　「Ｇ　ダンス（現代的なリズムのダンス）」

１　単元目標

(1)　現代的なリズムのダンスの特性を理解し，自己の能力に応じた課題を選んで，動きや相手との対応の仕方を工夫してみんなで交流して踊ったり，まとまりのある動きを工夫して発表し合ったりすることができるようにする。

ア　現代的なリズムにのって，リズムの取り方や動き方，相手との対応の仕方などを自由に工夫してみんなで踊りを楽しみ交流することができるようにする。

イ　現代的なリズムと動きの多様な関係をとらえてまとまりのある動きを工夫して踊ったり，作品にまとめてみんなで発表し合ったりすることができるようにする。　**（技能の内容）**

(2)　誰にでも心を開き，友達と自由にかかわったりしながらリズムにのって楽しく踊り，互いのよさ認め合い，協力して練習したり，交流したり，発表したりできるようにする。

（態度の内容）

(3)　グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して，計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫できるようにする。また，発表交流会の企画や運営ができるようにする。

（学び方の内容）

２　単元の評価規準

Ⅰ　運動への関心・意欲・態度

ダンスの特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や発表交流会に取り組もうとする。また，互いのよさを認め合い，協力して練習や発表交流会をしようとする。

①　リズムにのって体を動かす楽しさや喜びを味わおうとする。

②　誰にでも心を開き，仲間と自由にかかわったりしながら，協力して練習や創作に取り組もうとする。

③　練習や発表交流会では，互いによさを認め合い，グループで協力して積極的に参加し，自他の理解を深めようとする。

Ⅱ　運動についての思考・判断

自己の能力やグループの特性に応じた技能を習得するための課題を設定し，その解決を目指して，練習の仕方や作品の構成，発表交流会の仕方を工夫している。

①　自己の能力やグループの特徴に応じた課題を設定し、作品づくりをしている。

②　課題設定や特性に応じた曲選び、動きづくりをしている。

③　発表交流会に向けて計画的に練習・創作活動をしている。

Ⅲ　運動の技能

ダンスの特性に応じたリズミカルな動きを身に付けるとともに，音楽の特徴を生かしたまとまりのある表現ができる。

①　体全体でリズムをとらえ，リズミカルに動くことができる。

②　自己の能力・グループの特性に応じた表現ができる。

③　音楽の特徴を生かし，相手との対応の仕方を工夫した動き・表現ができる。

Ⅳ　運動や安全についての知識・理解

ダンスの特性やリズムの取り方・動き方を理解するとともに，その特徴を生かした作品の構成・動きのまとめ方を知っている。

①　仲間と関わりながら動く楽しさや，工夫して交流することの楽しさ・喜びについていったり書き出したりしている。

②　学習の進め方，動きや作品のまとめ方を理解し，具体例をあげている。また，お互いの作品について，評価の仕方の具体例をあげている。

３　評価規準例「ダンス（現代的なリズムのダンス）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①全身でリズムをとらえ，リズムにのって思い切り動いたり，誰とでも楽しく関わりながら動いたりして，自ら進んでダンスの楽しさを味わおうとする。 ②仲間との対応の仕方を自由に工夫し，積極的に誰とでも楽しく踊って交流しようとする。 ③仲間と協力して練習し，リーダーシップを発揮しながら仲間と教え合い，活動しようとする。	①全身でリズムをとらえ，リズムにのって動いたり，仲間と関わりながら動いたりして，ダンスの楽しさを味わおうとする。 ②相手との対応の仕方を自由に工夫し，仲間と楽しく踊って交流しようとする。 ③仲間と協力して練習し，仲間と教えあって活動しようとする。	①全身でリズムをとらえる，リズムにのって動くなどのダンスの楽しさを味わおうとする。 ②相手との対応の仕方を工夫し，仲間とかかわって楽しもうとする。 ③仲間と協力して練習し，活動しようとする。
Ⅱ思考・判断	①自己の能力や仲間の特徴に応じた課題を選び，自ら進んでその解決に向けてアイデアを出したり，出し合ったアイデアを積極的に作品にまとめようとしている。 ②現代的なリズムと動きの多様な関係を十分にとらえ，まとまりのある動きをいろいろと工夫しようとしている。 ③発表交流会に向けて，自ら積極的に作品の構成を工夫し，まとめようとしている。	①自己の能力や仲間の特徴に応じた課題を選び，その解決に向けてアイデアを出し合ったりして，作品にまとめようとしている。 ②現代的なリズムと動きの多様な関係をとらえ，まとまりのある動きを工夫しようとしている。 ③発表交流会に向けて作品の構成を工夫し，まとめようとしている。	①自己の能力に応じた課題を選び，作品にまとめようとしている。 ②現代的なリズムと動きの関係をとらえ，動きを工夫しようとしている。 ③発表交流会に向けて作品をまとめようとしている。
Ⅲ運動の技能	①体全体を使った大きな動きや，リズムに乗った多様なリズムのとり方ができる。 ②自己の能力やグループの特性を十分に生かした動き・表現ができる。 ③誰とでも対応しながら，相手や仲間と積極的に関わりを持ってリズムをとったり動いたりできる。	①体全体を使った動きや，リズムに乗ったリズムのとり方ができる。 ②自己の能力やグループの特性に応じた動き・表現ができる。 ③相手や仲間と対応しながら，関わりを持ってリズムを取ったり動いたりできる。	①体全体を使った動きやリズムのとり方ができる。 ②自己の能力に応じた動き・表現ができる。 ③相手と対応しながらリズムをとったり動いたりできる。
Ⅳ知識・理解	①現代的なリズムのダンスは，仲間との関わりを持ってリズムに乗って動く楽しさや，リズムの取り方や動き方を工夫することの楽しさや喜びを味わうことかできる運動であるという特性について，言ったり書き出したり，仲間に教えたりすることができる。 ②学習の進め方，相手のよさを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方，鑑賞・評価の仕方について具体例を挙げたり，仲間に教えたりすることができる。	①現代的なリズムのダンスは，仲間との関わりを持ってリズムに乗って動く楽しさや，リズムの取り方や動き方を工夫することの楽しさや喜びを味わうことができる運動であるという特性について，言ったり書き出したりしている。 ②学習の進め方，相手のよさを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方，鑑賞・評価の仕方について具体例を挙げている。	①現代的なリズムのダンスは，仲間との関わりを持って動く楽しさや喜びを味わうことができる運動であるという特性について言うことができる。 ②学習の進め方，相手のよさを感じ取る発表交流会の行い方，鑑賞・評価の仕方について言うことができる。

４　評価規準の評価観点例「ダンス（現代的なリズムのダンス）」

	Ａ　十分満足	Ｂ　おおむね満足	Ｃ　努力を要する
Ⅰ関心・意欲・態度	①ア自ら進んでリズムにのって思い切り動く楽しさを味わっている。 イ誰とでも楽しく関わりを持ちながら，自ら進んで楽しんでいる。	①アリズムにのって大きく動く楽しさを味わっている。 イ仲間と関わりを持ちながら楽しんでいる。	①ア周囲の助けを借りて，リズムにのって動く楽しさを味わっている。 イ周囲の助けを借りて，仲間と関わりを持ちながら楽しんでいる。
	②ア相手との対応の仕方を自由に工夫しながら，積極的に動いている。 イ仲間と楽しく踊りながら，自ら進んで交流している。	②ア相手との対応の仕方を自由に工夫しながら動いている。 イ仲間と楽しく踊りながら交流している。	②ア仲間の助けを借りて，相手と対応して動いている。 イ仲間と踊りながら交流している。
	③ア積極的に仲間と協力して練習している。 イリーダーシップを発揮しながら仲間と教え合い，交流しながら活動している。	③ア仲間と協力して練習している。 イお互いに教え合いながら交流し，活動している。	③ア仲間の助けを借りながら，協力している。 イ教えてもらいながら交流している。
Ⅱ思考・判断	①ア自己の能力や仲間の特徴に応じたより高度な課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けて積極的にアイデアを出しながら，作品にまとめている。	①ア自己の能力や仲間の特徴に応じた課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けてアイデアを出し合いながら，作品にまとめている。	①ア周囲の助けを借りて，自己の能力に応じた課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けて，仲間の助けを借りながら作品にまとめている。
	②ア現代的なリズムと動きの関係をより深く，多様な形でとらえて動きを作ろうと工夫している。 イより多様な動きを組み合わせながら，まとまりのある動きを工夫している。	②ア現代的なリズムと動きの関係を多様な形でとらえて動きを作っている。 イ多様な動きを組み合わせながら，まとまりのある動きを工夫している。	②ア現代的なリズムと動きの関係をとらえて，助けを借りながら動きを作っている。 イ仲間の助けを借りて，まとまりのある動きを工夫しようとしている。
	③ア発表交流会に向けて作品のはじめや終わり，全体の構成をより工夫している。 イリズムやアクセントのとらえ方をより工夫し，さらに変化とまとまりのある動きを作っている。	③ア発表交流会に向けて作品のはじめや終わりなど，構成を工夫している。 イリズムやアクセントのとらえ方を工夫し，まとまりのある動きを作っている。	③ア発表交流会に向けて仲間の助けを借りて，動きの構成を工夫している。 イ仲間の助けを借りて，まとまりのある動きを作っている。
Ⅲ運動の技能	①ア全身をリズミカルに弾ませながら，軽快に大きく動くことができる。 イより軽快な音楽にのってリズミカルに，変化を付けながらリズムをとって踊ることができる。	①ア全身を弾ませながら，軽快に動くことができる。 イ音楽にのってリズミカルに，リズムをとって踊ることができる。	①ア全身を弾ませながら，動くことができる。 イ音楽にのって，リズムをとって踊ることができる。
	②ア自己や相手の能力に応じてより軽快にステップを踏んだり，ストップモーションを入れたり，手拍子を入れたりして動きながら，リズムをとらえることができる。 イ相手やグループの特性を捉えて，より軽快に動きやリズムのとり方に変化を付けることができる。	②ア自己や相手の能力に応じてステップを踏んだり，ストップモーションを入れたり，手拍子を入れたりして動きながらリズムをとらえることができる。 イ相手やグループの特性を捉えて，動きやリズムのとり方に変化を付けることができる。	②ア自己の能力に応じてステップを踏んだり，手拍子を入れたりして動きながらリズムをとらえることができる。 イ相手や仲間と一緒に，動きやリズムのとり方に変化を付けることができる。
	③ア相手の動きを真似し合ったり，並んだりしながら，誰とでも関わりながら対応を自由に工夫することができる。 イ仲間との関わり方を様々に変化させながら，より軽快にリズムを取ったり，動いたりできる。	③ア相手の動きを真似し合ったり，並んだりしながら相手や仲間との対応を工夫することができる。 イ仲間との関わり方を様々に変化させながら，リズムを取ったり，動いたりできる。	③ア相手の動きを真似したり，並んだりしながら相手や仲間との対応することができる。 イ仲間と関わりながら，リズムを取ったり，動いたりできる。
Ⅳ知識・理解	①ア現代的なリズムのダンスは仲間との関わりを持って，リズムにのって動くことの楽しさが味わえるということについて，詳しく表現したり，仲間に教えたりできる。 イリズムの取り方や動き方の工夫について，詳しく表記したり，仲間に教えたりできる。	①ア現代的なリズムのダンスは仲間との関わりを持って，リズムにのって動くことの楽しさが味わえるということについて，言ったり書いたりしている。 イリズムの取り方や動き方の工夫について，言ったり書き出したりしている。	①ア現代的なリズムのダンスは仲間との関わりを持って，動くことの楽しさが味わえるということについて，言うことができる。 イリズムの取り方や動き方の工夫について，言うことができる。
	②ア練習の進め方や作品のまとめ方について具体例をあげたり，仲間に説明したりできる。 イ相手のよさを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方，作品の評価の仕方について具体例をあげたり，仲間に説明したりできる。	②ア練習の進め方や作品のまとめ方について具体例をあげている。 イ相手の良さを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方，作品の評価の仕方について具体例をあげている。	②ア練習の進め方や作品のまとめ方について言うことができる。 イ発表交流会の行い方，作品の評価の仕方について言うことができる。

５　指導と評価の計画例「ダンス（現代的なリズムのダンス）」　＜２年生（１５時間）＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の評価方法	学習活動における評価の観点
はじめ（1時間）	(1) ダンスの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自己やグループの課題を決める。 (3) 学習ノートや学習資料の活用の仕方を理解する。	Ⅰ―① 行動観察 Ⅱ―① 学習ノート Ⅳ―② 学習ノート	・ダンスの特性に興味を持ち，楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見つけようとする。 ・学習ノートの活用方法を理解しようとする。
なか1（4時間）	ねらい１（今ある能力で工夫） (1) 基本的なリズムのとり方･動き方を練習する。 (2) お互いにかかわったり，相手と自由に対応して動く。 (3) 基本的な動き・ステップを組み合わせてまとまりのある動きを作る。	Ⅱ―② 行動観察 Ⅳ―① 行動観察 Ⅰ－② 行動観察 Ⅲ―② 行動観察 Ⅳ―① 行動観察 学習ノート	・課題を見付けて練習しようとする。 ・全身で大きく動こうとする。 ・お互いに協力してかかわり合いながら練習しようとする。 ・リズムに乗った動きの組み合わせでまとまりのある動きができる。
なか2（4時間）	ねらい２（高まった能力に合せて） (1) よりリズミカルなリズムの取り方・動き方ができるようにする。 (2) 相手とより自由に対応しながら動きを作る。 (3) 仲間と協力してまとまりのある動きをつくり，作品にまとめる。 (4) 発表交流会を通して互いのよさを認め合い，ダンスの楽しさを深める。	Ⅲ―① 行動観察 Ⅲ―③ 学習ノート 行動観察 Ⅳ－② 行動観察 Ⅱ―③ 学習ノート Ⅰ―③ 学習ノート 行動観察	・よりリズミカルな動き･ステップで踊ろうとする。 ・仲間の動きやリズムのとり方を感じながら動きをつくろうとする。 ・はじめや終わりを工夫して，作品にまとめようとする。 ・発表交流会の計画･運営を通して，互いの交流を深め，次の課題を見付けようとする。
なか3（4時間）	ねらい３（さらに進んだ能力で） (1) 曲のリズム･テンポを生かして個性的な動き･リズムのとり方の作品を創作する。 (2) 互いの動きや作品のできばえを理解し，教えあって踊ったり，発表し合ったりする。 (3) 協力して発表交流会を企画・運営し，互いに評価する。	Ⅱ―② 学習ノート Ⅱ―③ 行動観察 Ⅲ―② 行動観察 Ⅲ―③ 学習ノート Ⅰ－③ 行動観察 Ⅳ―② 学習ノート Ⅲ―③ 行動観察 Ⅳ－全 行動観察 小テスト	・曲の特性を生かした個性的な動き作り・作品づくりができる。 ・お互いに認め合い，意見を出し合いながら教えあったり，発表し合ったりしようとする。 ・発表交流会に積極的に参加し，互いの動きや作品を評価しようとする。
まとめ（2時間）	自己の学習ノートの記録を手掛かりにしながら，学習を振り返り，学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと，楽しくなかったことやその理由 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 動き･作品のできばえはどうだったか。	学習ノートや小テスト，さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) ダンスに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 (4) 発表交流会の運営に協力し，互いの作品を評価することができたか。

６　Ｉ個人評価シート例「ダンス（現代的なリズムのダンス）」　２年〇組　〇〇番　氏名　〇〇〇〇

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果					備考	
					評価	○&×		特記事項	評価点	評価倍率	割合%
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅰ－①	2	全身でリズムをとらえようとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－①	3	リズムにのって動いている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	4	仲間と関わりながら、楽しく動こうとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	5	相手との対応の仕方を工夫し、自由に交流しようとしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	6	準備などを積極的に行っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－②	7	協力して授業に参加している。	A	B	C			× 1	
		Ⅰ－③	8	恥ずかしがらずに、リズムに合わせて踊っている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅰ－①	9	リズムや踊りに関する記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－②	10	仲間との動き作りに関する記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅰ－③	11	仲間との交流を意識した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	12	自己の能力に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅱ－①	13	グループの特性に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	14	課題設定に応じた選曲、動きづくりをしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－②	15	リズムを的確にとらえ、動きづくりを工夫している。	A	B	C			× 1	
		Ⅱ－③	16	発表交流会に向けて、計画的に練習をしている。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅱ－①	17	作品の構成を工夫した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅱ－②	18	多様なリズムと動きの関係をとらえた記述が見られる。	A	B	C			× 2	
					合計						
Ⅲ運動の技能	行動観察・発表会	Ⅲ－①	19	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅲ－①	20	体全体でリズムをとらえ、リズミカルに動いている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－①	21	体の細かい部分に配慮した動きをしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	22	グループの特性に応じた表現ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	23	音楽の特徴を生かした動きをしている。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－②	24	自己の能力に応じた表現ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	25	相手との応対を工夫した動きや表現ができる。	A	B	C			× 1	
		Ⅲ－③	26	ステージの位置取りを工夫している。	A	B	C			× 1	
					合計						
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	27	練習場所を工夫して、安全に留意している。	A	B	C			× 1	25%
		Ⅳ－①	28	リズムの取り方、動き方を工夫する楽しさを理解した言動である。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	29	発表会の運営について、意見を言っている。	A	B	C			× 1	
		Ⅳ－②	30	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。	A	B	C			× 1	
	学習ノート	Ⅳ－①	31	リズムにのって仲間と楽しく踊ることを理解した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
		Ⅳ－②	32	他のグループの発表について的確に評価した記述が見られる。	A	B	C			× 2	
					合計						
					総合計						

総時間数（　　）時間　、　欠席時間数（　　）時間　、　見学時間（　　）時間

特記事項

評価シート　ダンス（現代的なリズムのダンス）　2年生(15時間)

総時間数（　　）時間，　欠席時間数（　　）時間，　見学時間（　　）時間

評価観点	Ⅰ関心・意欲・態度															Ⅱ思考・判断										Ⅲ運動の技術										Ⅳ知識・理解										合計得点
評価方法	行動観察									学習ノート						行動観察					学習ノート					行動観察・発表会										行動観察				学習ノート						
具体の規準	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－②	Ⅰ－③	Ⅰ－①	Ⅰ－②	Ⅰ－③				Ⅱ－①	Ⅱ－①	Ⅱ－②	Ⅱ－②	Ⅱ－③	Ⅱ－①	Ⅱ－②					Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－①	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－②	Ⅲ－③	Ⅲ－③			Ⅳ－①	Ⅳ－①	Ⅳ－②	Ⅳ－②	Ⅳ－①	Ⅳ－②				
項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	Ⅰ小計	倍率			12	13	14	15	16	17	18	Ⅱ小計	倍率			19	20	21	22	23	24	25	26	Ⅲ小計	倍率		27	28	29	30	31	32	Ⅳ小計	倍率		
観点別評価項目（具体例）	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。	全身でリズムをとらえようとしている。	リズムにのって動いている。	仲間と関わりながら、楽しく動こうとしている。	相手との対応の仕方を工夫し、自由に交流しようとしている。	準備などを積極的に行っている。	協力して授業に参加している。	恥ずかしがらずに、リズムに合わせて踊っている。	リズムや踊りに関する記述が見られる。	仲間との動き作りに関する記述が見られる。	仲間との交流を意識した記述が見られる。					自己の能力に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	グループの特性に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	課題設定に応じた選曲、動きづくりをしている。	リズムを的確にとらえ、動きづくりを工夫している。	発表交流会に向けて、計画的に練習をしている。	作品の構成を工夫した記述が見られる。	多様なリズムと動きの関係をとらえた記述が見られる。			恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。	体全体でリズムをとらえ、リズミカルに動いている。	体の細かい部分に配慮した動きをしている。	グループの特性に応じた表現ができる。	音楽の特徴を生かした動きをしている。	自己の能力に応じた表現ができる。	相手との応対を工夫した動きや表現が見られる。	ステージの位置取りを工夫している。			練習場所を工夫して、安全に留意している。	リズムの取り方、動き方を工夫する楽しさを理解した言動である。	発表会の運営について、意見を言っている。	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。	リズムにのって仲間と楽しく踊ることを理解した記述が見られる。	他のグループの発表について的確に評価した記述が見られる。				
実施月／日																																													
No. 組・番 氏名	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2					／	／	／	／	／	／ ×2	／ ×2				／	／	／	／	／	／	／	／			／	／	／	／	／ ×2	／ ×2				
1																																													
2																																													
3																																													
4																																													
5																																													
6																																													
7																																													
8																																													
9																																													
10																																													
11																																													
12																																													
13																																													
14																																													
15																																													
16																																													
17																																													
18																																													
19																																													
20																																													

体育授業　記録シート

年　組 種目名(　　) 実施月日			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番	氏名 ＼ 評価項目番号															
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	

観点別評価項目例「ダンス(現代的なリズムのダンス)」 2年生(15時間)

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目(具体例)
Ⅰ関心・意欲・態度	行動観察	Ⅰ－①	1	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。
		Ⅰ－①	2	全身でリズムをとらえようとしている。
		Ⅰ－①	3	リズムにのって動いている。
		Ⅰ－②	4	仲間と関わりながら、楽しく動こうとしている。
		Ⅰ－②	5	相手との対応の仕方を工夫し、自由に交流しようとしている。
		Ⅰ－②	6	準備などを積極的に行っている。
		Ⅰ－②	7	協力して授業に参加している。
		Ⅰ－③	8	恥ずかしがらずに、リズムに合わせて踊っている。
	学習ノート	Ⅰ－①	9	リズムや踊りに関する記述が見られる。
		Ⅰ－②	10	リズムや踊りに関する記述が見られる。
		Ⅰ－③	11	リズムや踊りに関する記述が見られる。
Ⅱ思考・判断	行動観察・対話	Ⅱ－①	12	自己の能力に応じた課題を設定し、取り組んでいる。
		Ⅱ－①	13	グループの特性に応じた課題を設定し、取り組んでいる。
		Ⅱ－②	14	課題設定に応じた選曲、動きづくりをしている。
		Ⅱ－②	15	リズムを的確にとらえ、動きづくりを工夫している。
		Ⅱ－③	16	発表交流会に向けて、計画的に練習をしている。
	学習ノート	Ⅱ－①	17	作品の構成を工夫した記述が見られる。
		Ⅱ－②	18	多様なリズムと動きの関係をとらえた記述が見られる。
Ⅲ運動の技能	行動観察・発表会	Ⅲ－①	19	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。
		Ⅲ－①	20	体全体でリズムをとらえ、リズミカルに動いている。
		Ⅲ－①	21	体の細かい部分に配慮した動きをしている。
		Ⅲ－②	22	グループの特性に応じた表現ができる。
		Ⅲ－②	23	音楽の特徴を生かした動きをしている。
		Ⅲ－②	24	自己の能力に応じた表現ができる。
		Ⅲ－③	25	相手との応対を工夫した動きや表現ができる。
		Ⅲ－③	26	ステージの位置取りを工夫している。
Ⅳ知識・理解	行動観察	Ⅳ－①	27	練習場所を工夫して、安全に留意している。
		Ⅳ－①	28	リズムの取り方、動き方を工夫する楽しさを理解した言動である。
		Ⅳ－②	29	発表会の運営について、意見を言っている。
		Ⅳ－②	30	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。
	学習ノート	Ⅳ－①	31	リズムにのって仲間と楽しく踊ることを理解した記述が見られる。
		Ⅳ－②	32	他のグループの発表について的確に評価した記述が見られる。

総時間数(　　)時間　.　欠席時間数(　　)時間　.　見学時間(　　)時間